

第49回 市政世論調査

(令和4年度)

新潟市

< 目 次 >

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の項目	3
3. 調査の設計	3
4. 集計・分析にあたって	3
5. 回収結果	4
6. 区（行政区）の範囲	4
7. 回答者の特性	6
8. 回答者の特性（地区別集計）	7
II 調査結果	9
1. 市政情報の入手方法について	11
（1）市政情報の取得満足度	11
（2）市政情報の入手先	13
（3）「市報にいがた・区役所だより」を読む頻度	32
（4）電子版「市報にいがた・区役所だより」に希望する見た目、デザイン、形式	34
（5）日ごろよく使うメディア	36
2. 国産有機食品への関心について	42
（1）国産有機食品への関心	42
（2）国産有機食品の中で購入したい品目	44
（3）国産有機食品を主に購入したい場所	50
3. 新潟市の「花」や「花育」について	54
（1）花や植物に触れる機会	54
（2）花や植物に触れる機会がない理由	57
（3）花や植物に関して、欲しい情報	60
（4）新型コロナウイルス感染症による花や植物への関心の変化	63
（5）花や植物とのかかわり	65
（6）花の生産についての認知度	68
（7）「いくとぴあ食花」のガーデンや「食育・花育センター」への来訪	70
（8）花や植物に触れることで期待できる効果	72
（9）「花育」として市や「いくとぴあ食花」に期待すること	75

4. 移動しやすいまちづくりについて	80
(1) 新潟市内の移動について	80
(2) 交通手段についての満足度	82
(3) 歩行空間に対する満足度	88
(4) 新潟市が行っている取り組みへの満足度	92
(5) 「移動しやすいまち」として必要なこと	97
(6) まち歩きに対する満足度	102
5. 市政全般と区政について	105
(1) 新潟市として良くなっているもの	105
(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの	113
(3) 区として良くなっているもの	121
(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの	129
6. 市の取り組みについて	137
(1) 新潟市に住み続けたいか	137
(2) 取り組みへの感想	139
(3) 取り組みへの満足度	161
Ⅲ 調査票様式	183

I 調 査 概 要

1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

2. 調査の項目

(1) 市政情報の入手方法について	本質問	5問
(2) 国産有機食品への関心について	本質問	3問
(3) 新潟市の「花」や「花育」について	本質問	9問
(4) 移動しやすいまちづくりについて	本質問	6問
(5) 市政全般と区政について	本質問	1問
(6) 市の取り組みについて	本質問	2問
(7) 対象者属性	本質問	5問

3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：令和4年6月末現在の住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：令和4年7月21日～8月8日

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

5. 回収結果

(1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

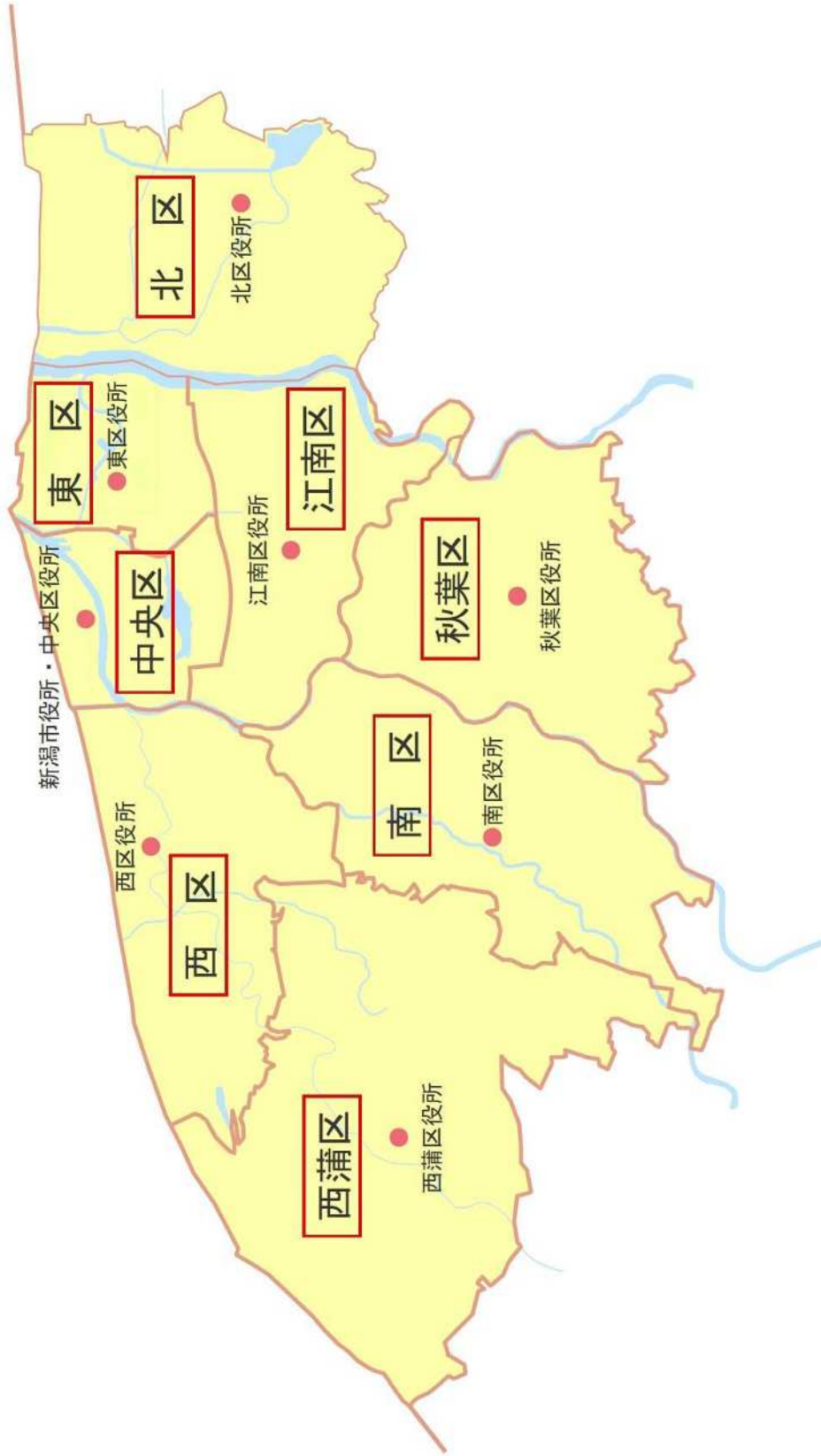
(2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	665,766	100.0%	4,000	2,083	52.1%
北 区	61,963	9.3%	354	189	53.4%
東 区	114,703	17.2%	698	346	49.6%
中央区	150,029	22.5%	879	461	52.4%
江南区	57,658	8.7%	355	173	48.7%
秋葉区	64,436	9.7%	369	202	54.7%
南 区	37,332	5.6%	257	125	48.6%
西 区	132,005	19.8%	808	432	53.5%
西蒲区	47,640	7.2%	280	140	50.0%
区名無回答				15	

6. 区（行政区）の範囲

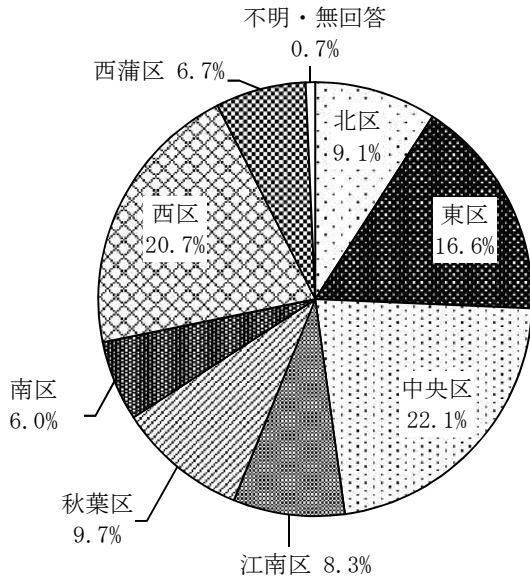
次頁区分図参照。

<区分图>

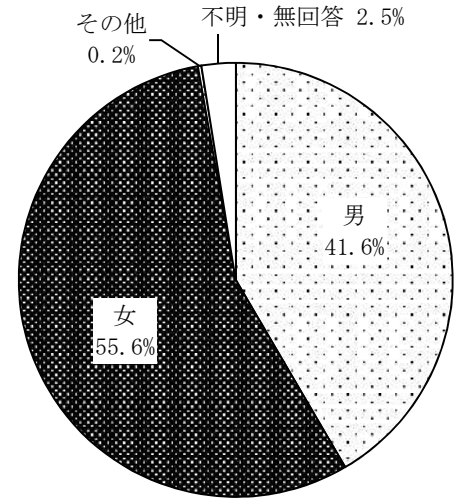


7. 回答者の特性

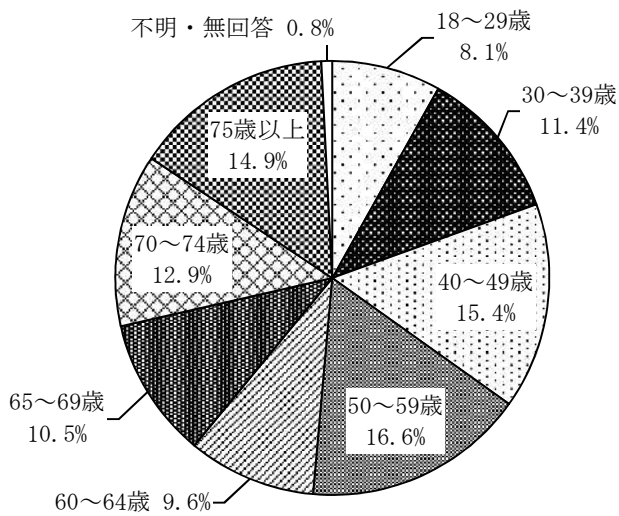
◆ 地区別



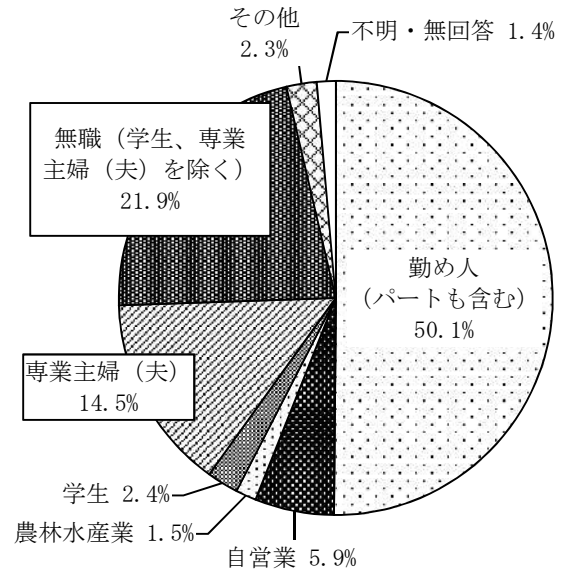
◆ 性別



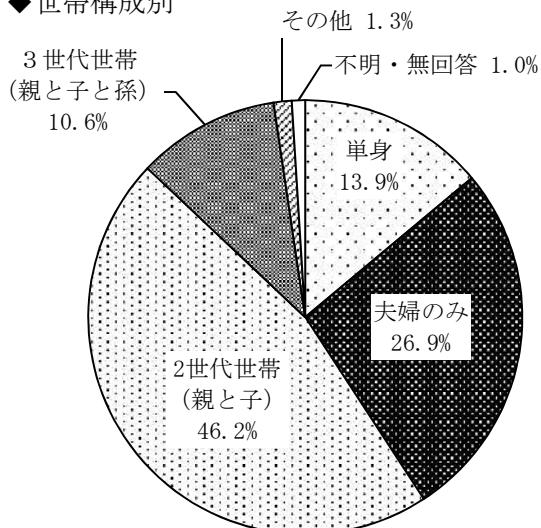
◆ 年齢別



◆ 職業別

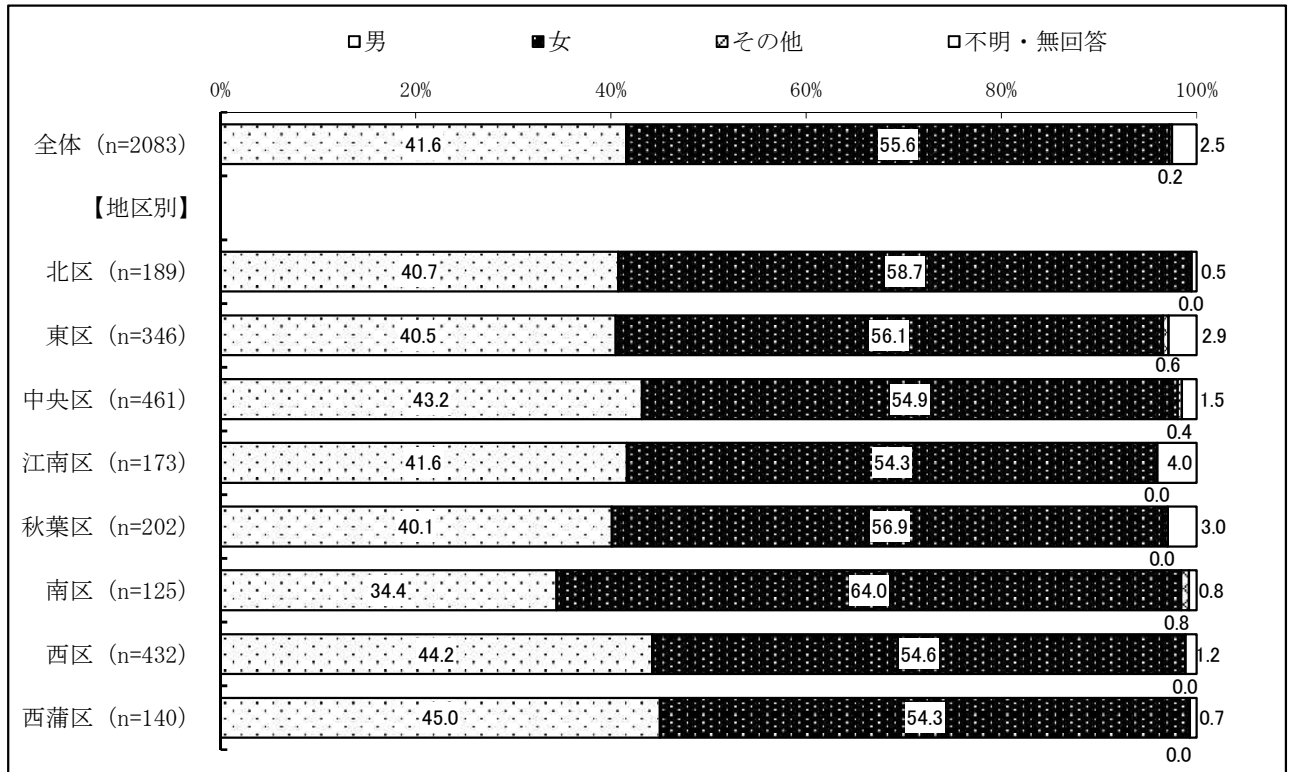


◆ 世帯構成別

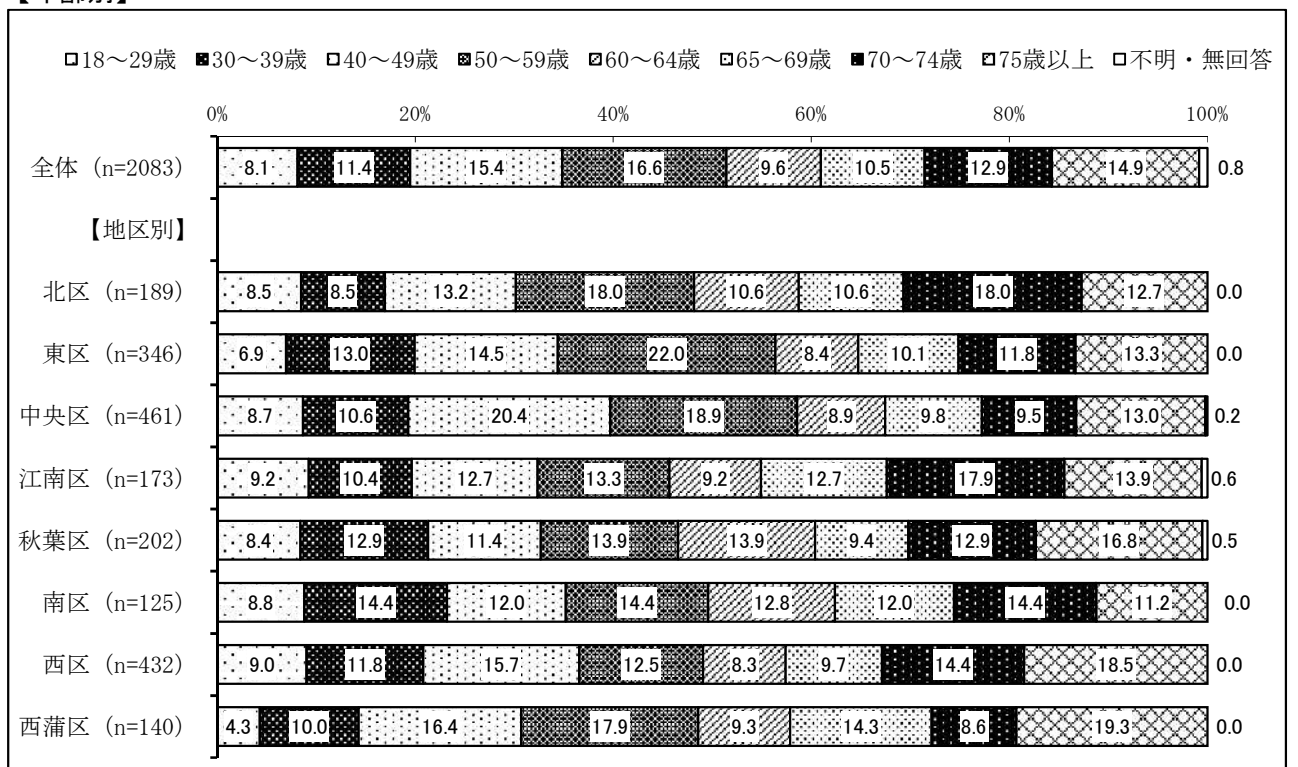


8. 回答者の特性（地区別集計）

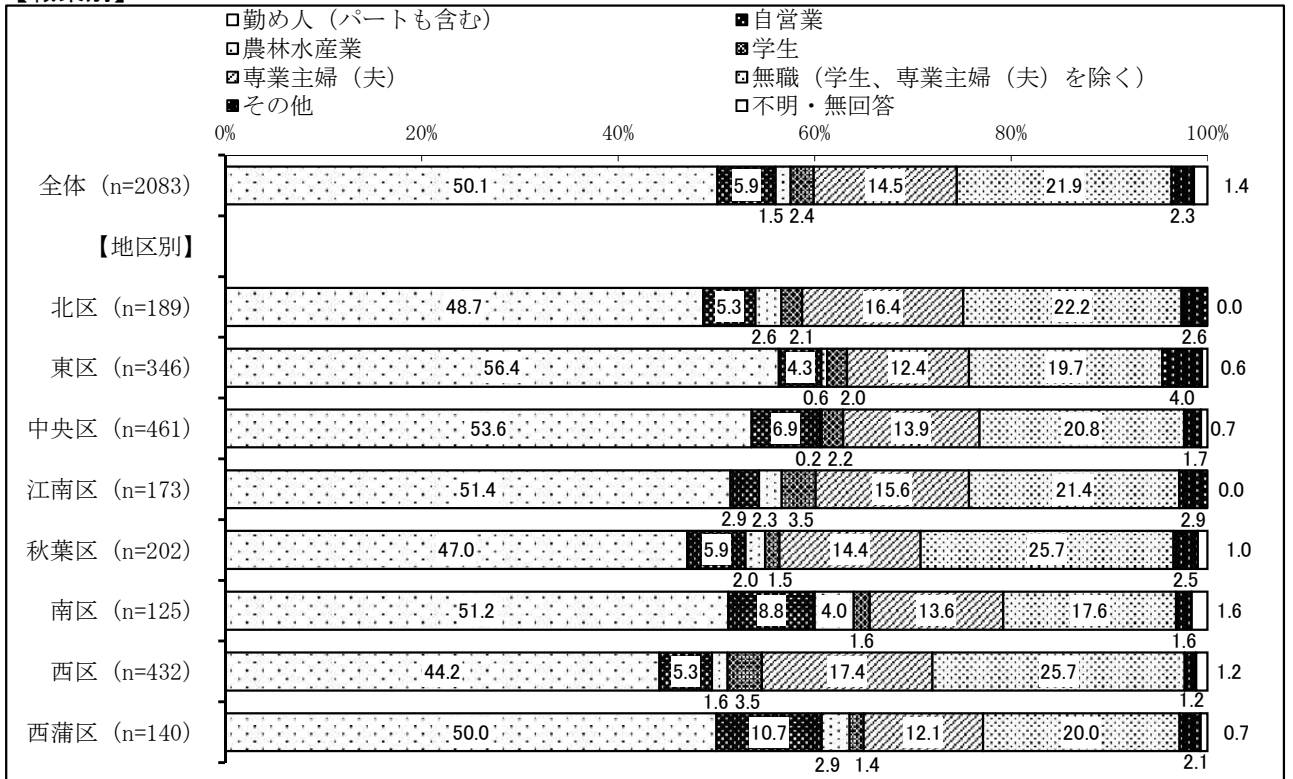
【性別】



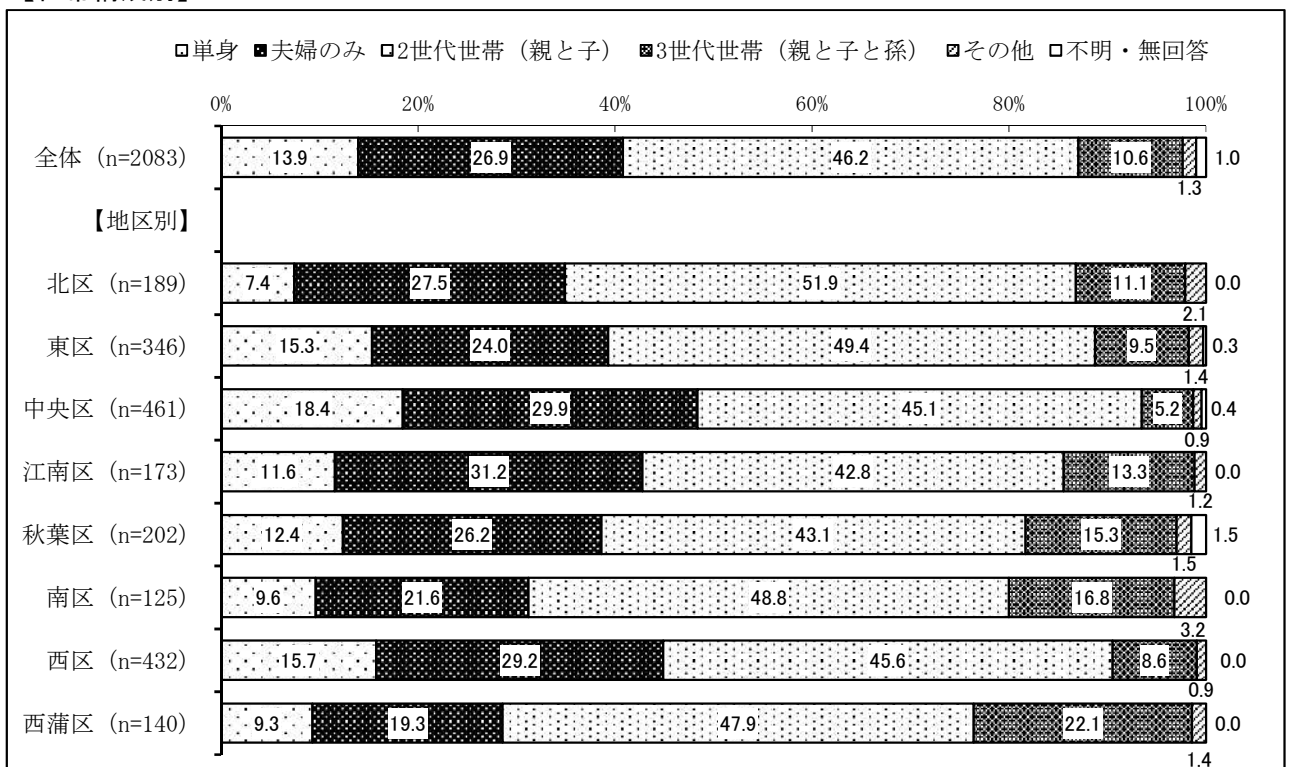
【年齢別】



【職業別】



【世帯構成別】

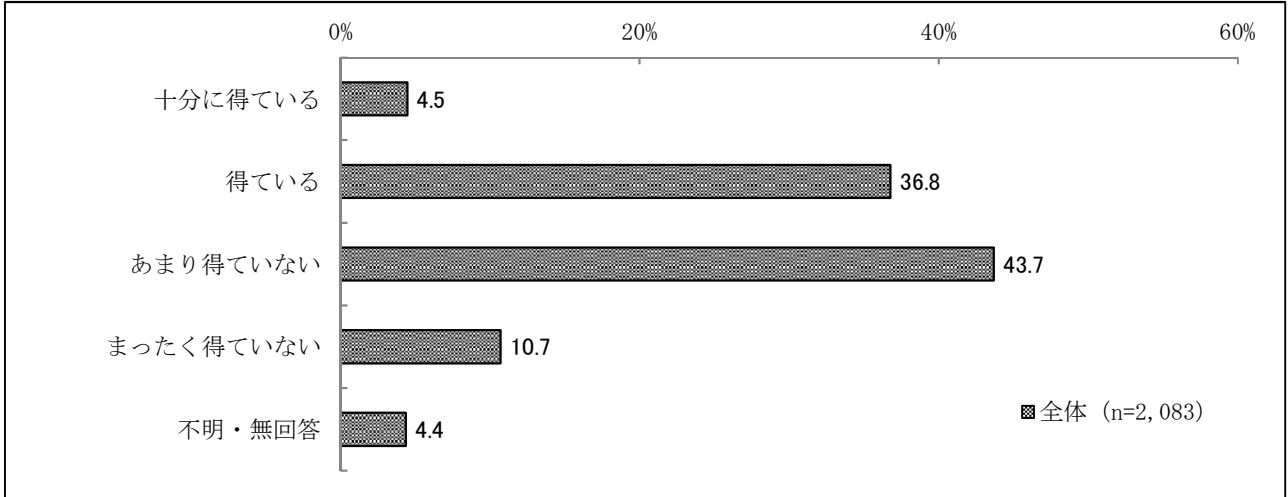


II 調查結果

1. 市政情報の入手方法について

(1) 市政情報の取得満足度

問1 あなたは、新潟市の市政や暮らし、イベントなどに関する市政情報を十分に得ていますか。(〇は1つだけ)



— 約4割が新潟市の市政や暮らし、イベントなどに関する情報を「得ている」 —

【全体結果】

「十分に得ている」と「得ている」を合わせた『得ている』(41.2%)は、約4割となった。「あまり得ていない」と「まったく得ていない」を合わせた『得ていない』(54.4%)は、5割半ばとなった。

【属性別結果】(次ページ図1-1参照)

① 地区別

『得ている』と回答した割合は、秋葉区(44.1%)、南区(44.0%)で高い。

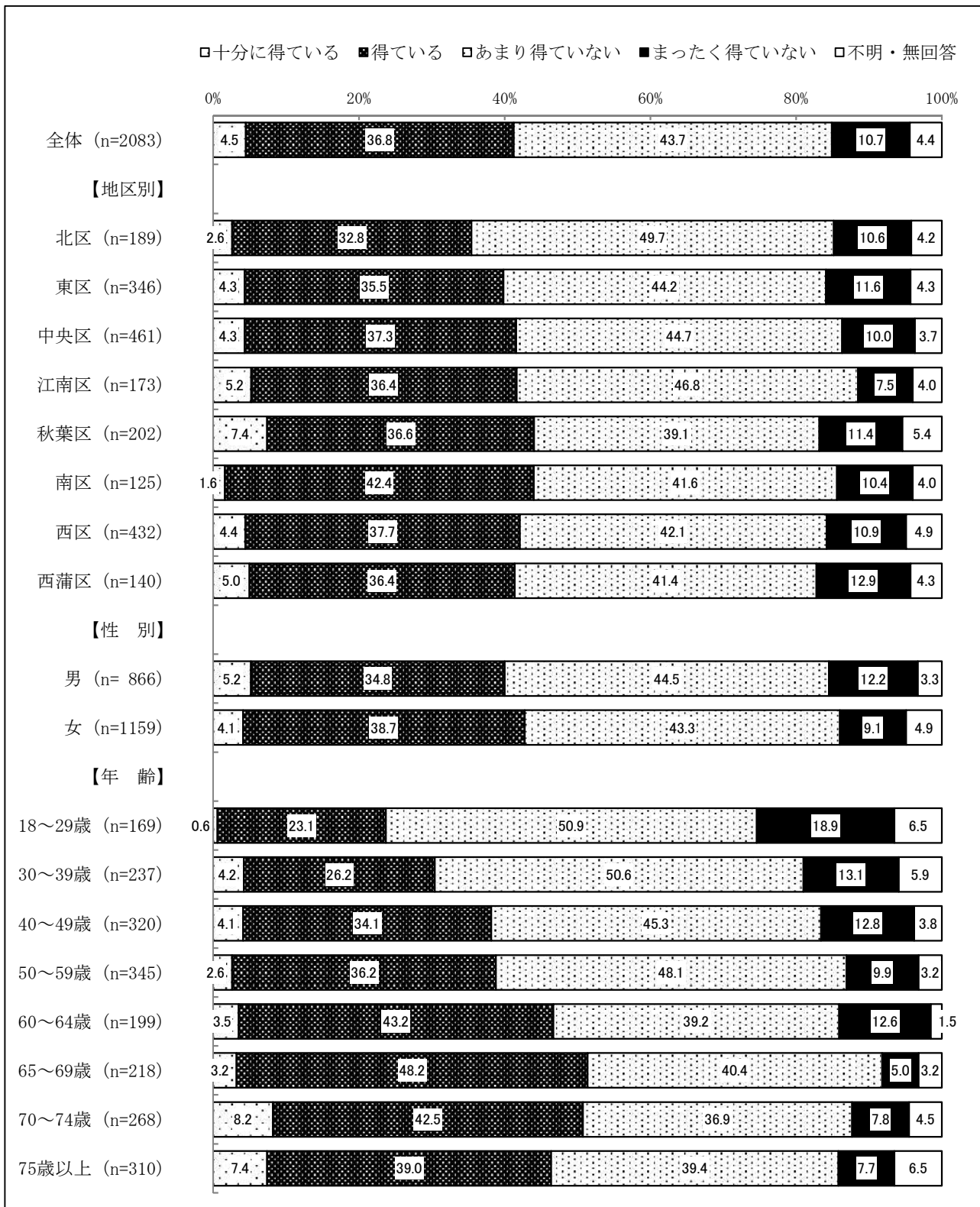
① 性別

『得ている』と回答した割合は、男性(40.0%)と比較して女性(42.7%)でやや高い。

② 年齢別

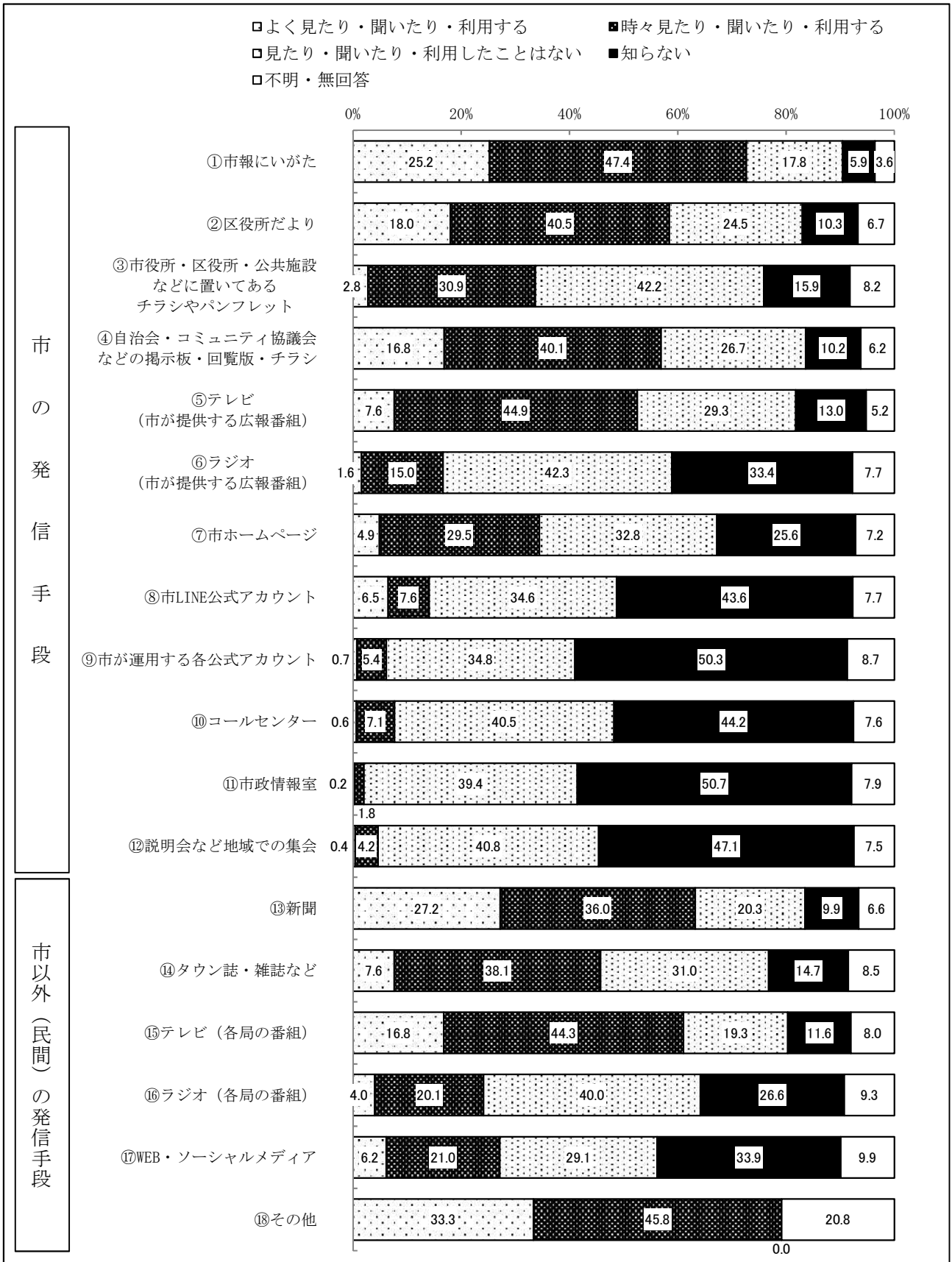
年齢別では、『得ている』と回答した割合が65～69歳(51.4%)で最も高い。最も低いのは18～29歳で(23.7%)となっている。

図 1-1 市政情報の取得満足度（地区別/性別/年齢別）



(2) 市政情報の入手先

問2 あなたは、新潟市が発信する市政情報を何から入手していますか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に○をつけてください。



— 最も『見たり・聞いたり・利用する』のは「市報にいがた」で7割以上 —

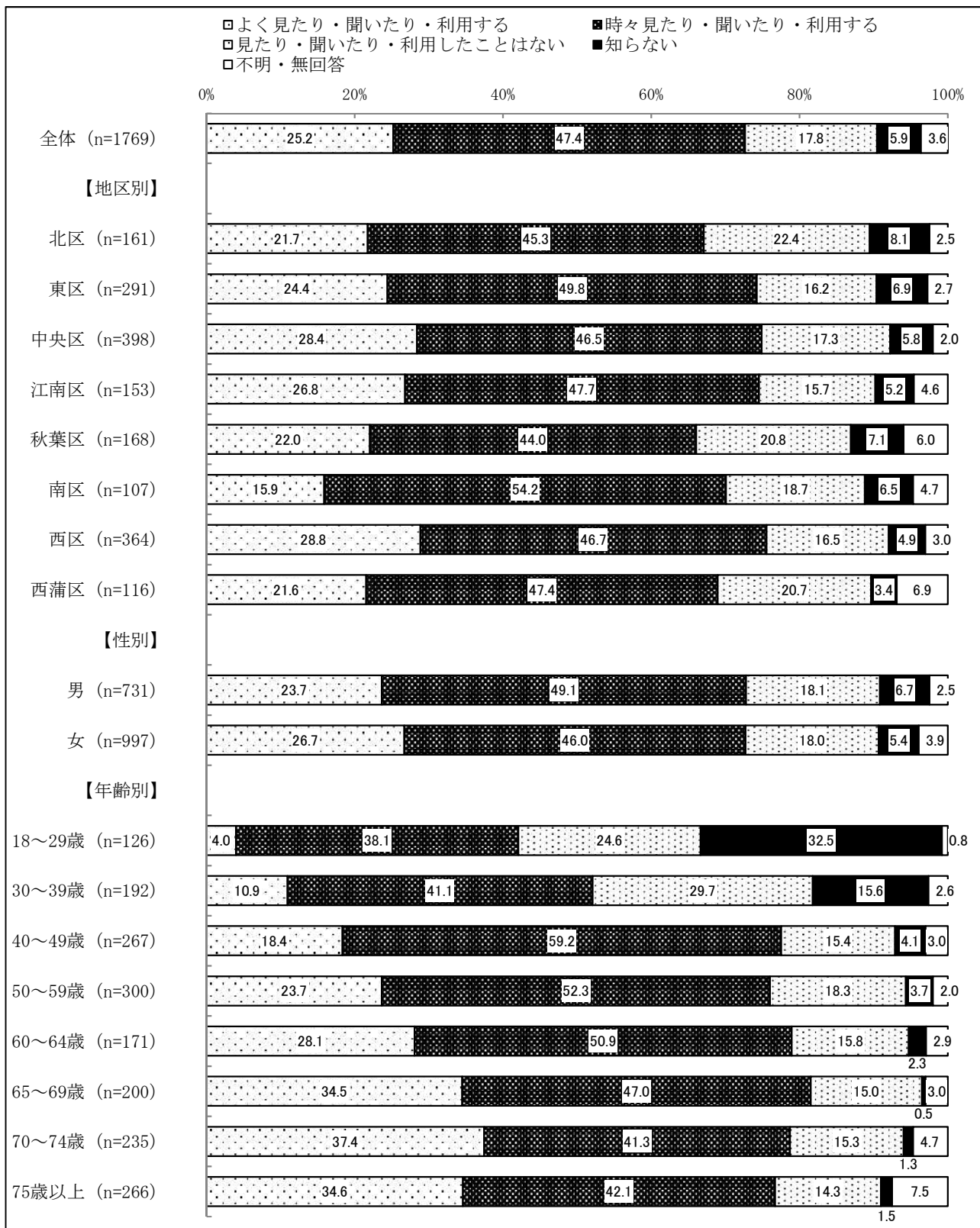
【全体結果】

「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた『見たり・聞いたり・利用する』の割合は、「市報にいがた」(72.6%)で最も高く、7割以上となった。次いで「新聞」(63.2%)、「テレビ(各局の番組)」(61.1%)と続き、6割を超えた。

【属性別結果】

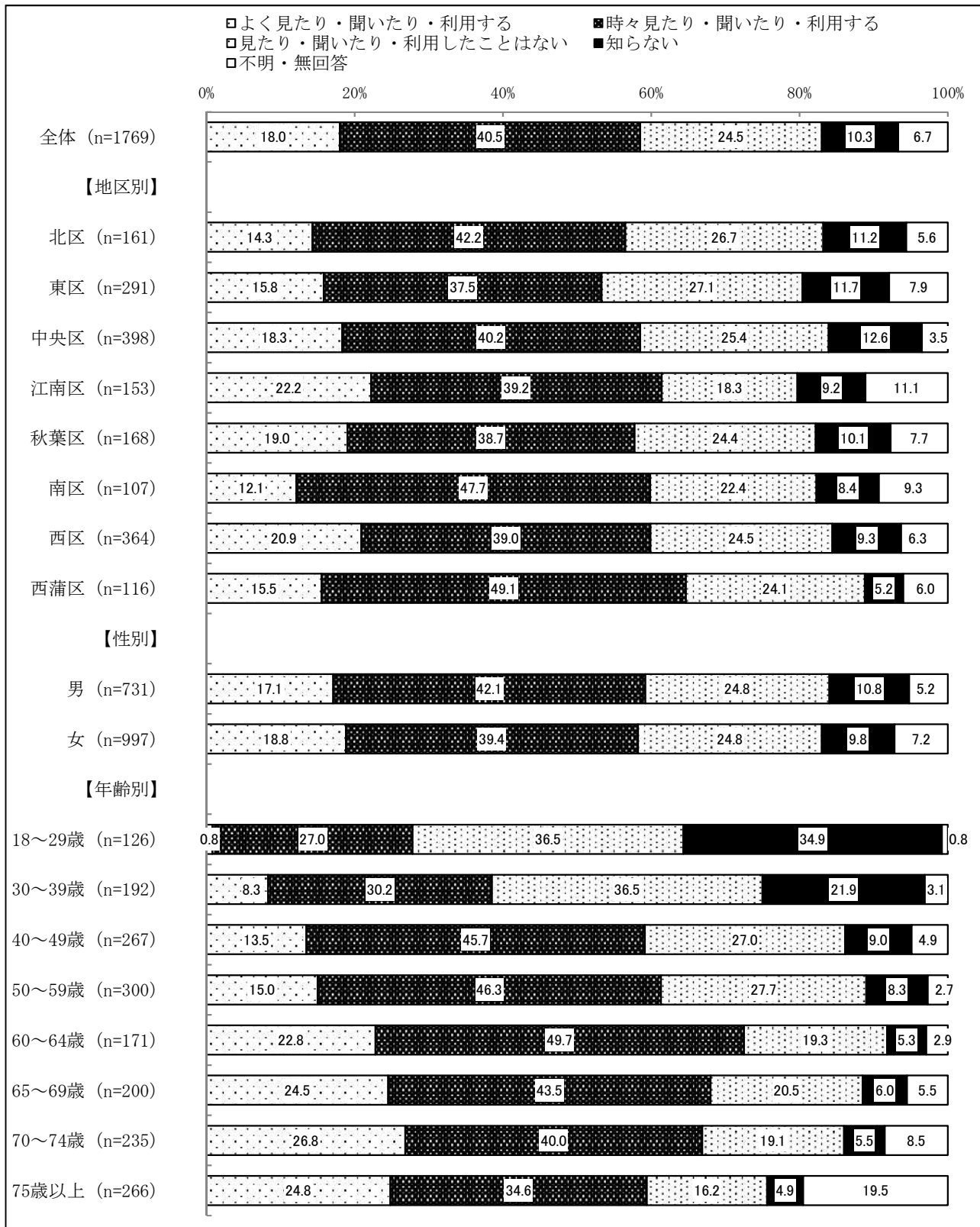
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 市報にいがた



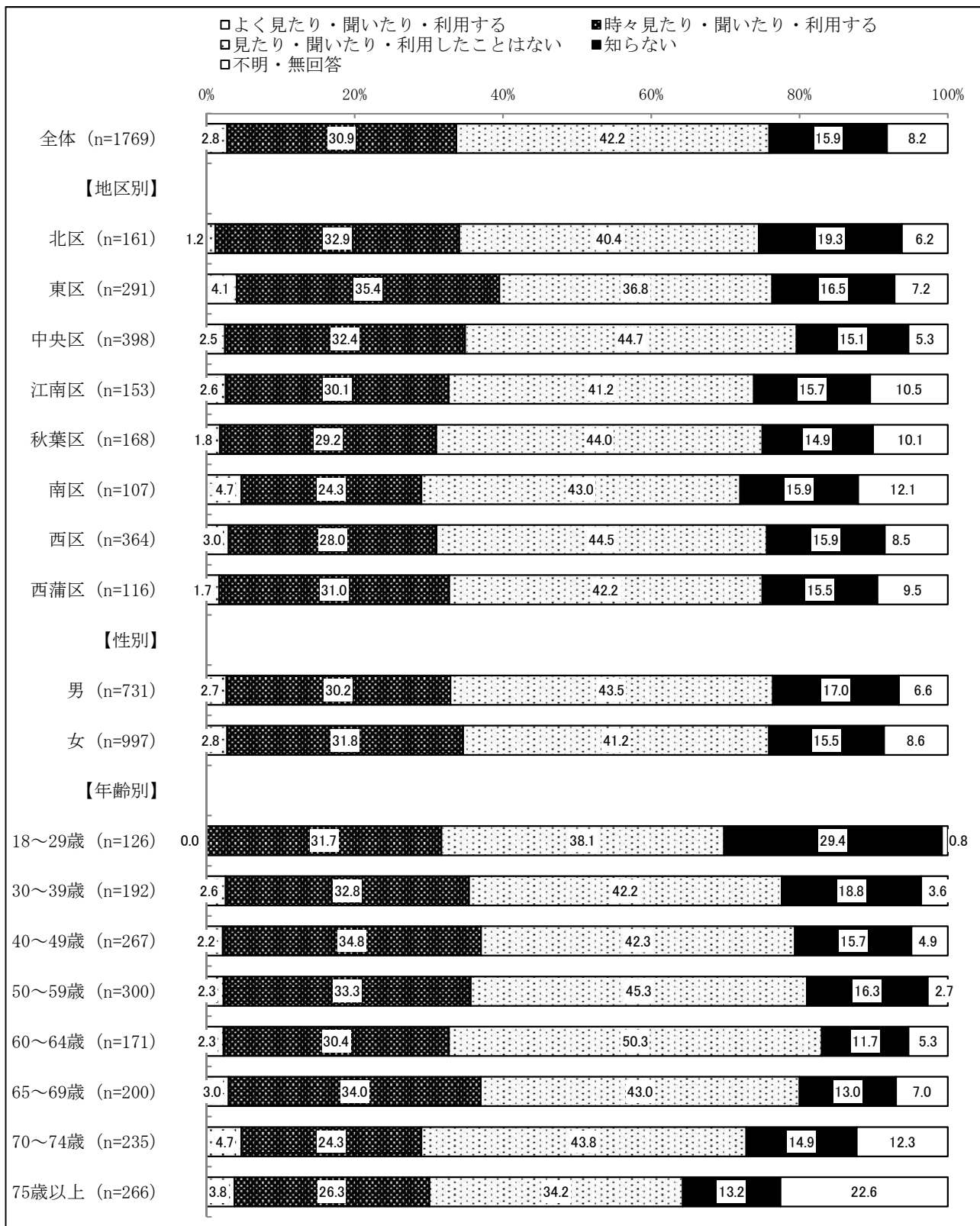
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、地区別では、西区（75.5%）、中央区（74.9%）、江南区（74.5%）、東区（74.2%）で高く7割半ばとなった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では65～69歳（81.5%）で最も高い。

② 区役所だより



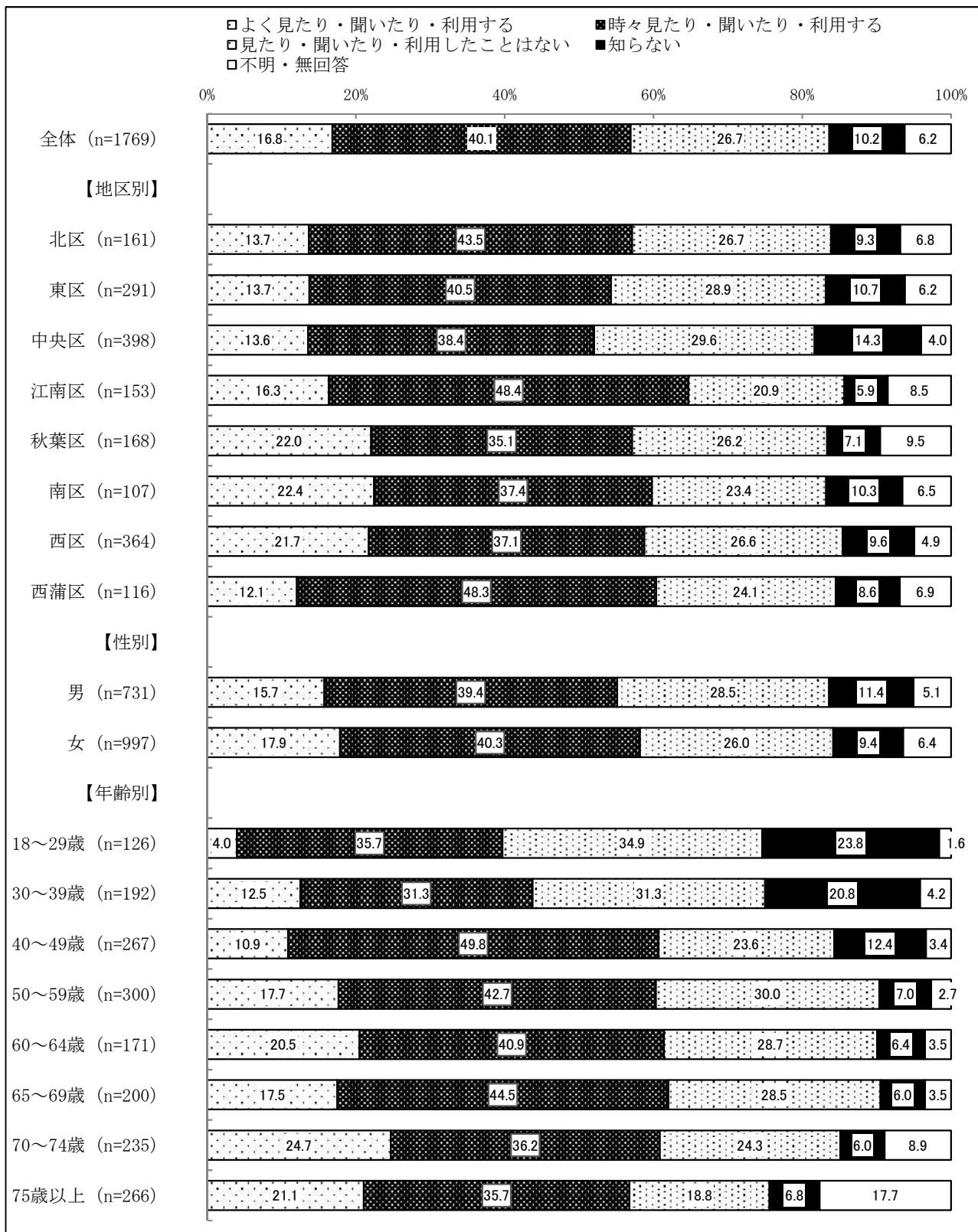
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、西蒲区（64.7%）で最も高く、6割半ばを占めた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では60～64歳（72.5%）で7割を超え最も高くなっている。

③ 市役所・区役所・公共施設などに置いてあるチラシやパンフレット



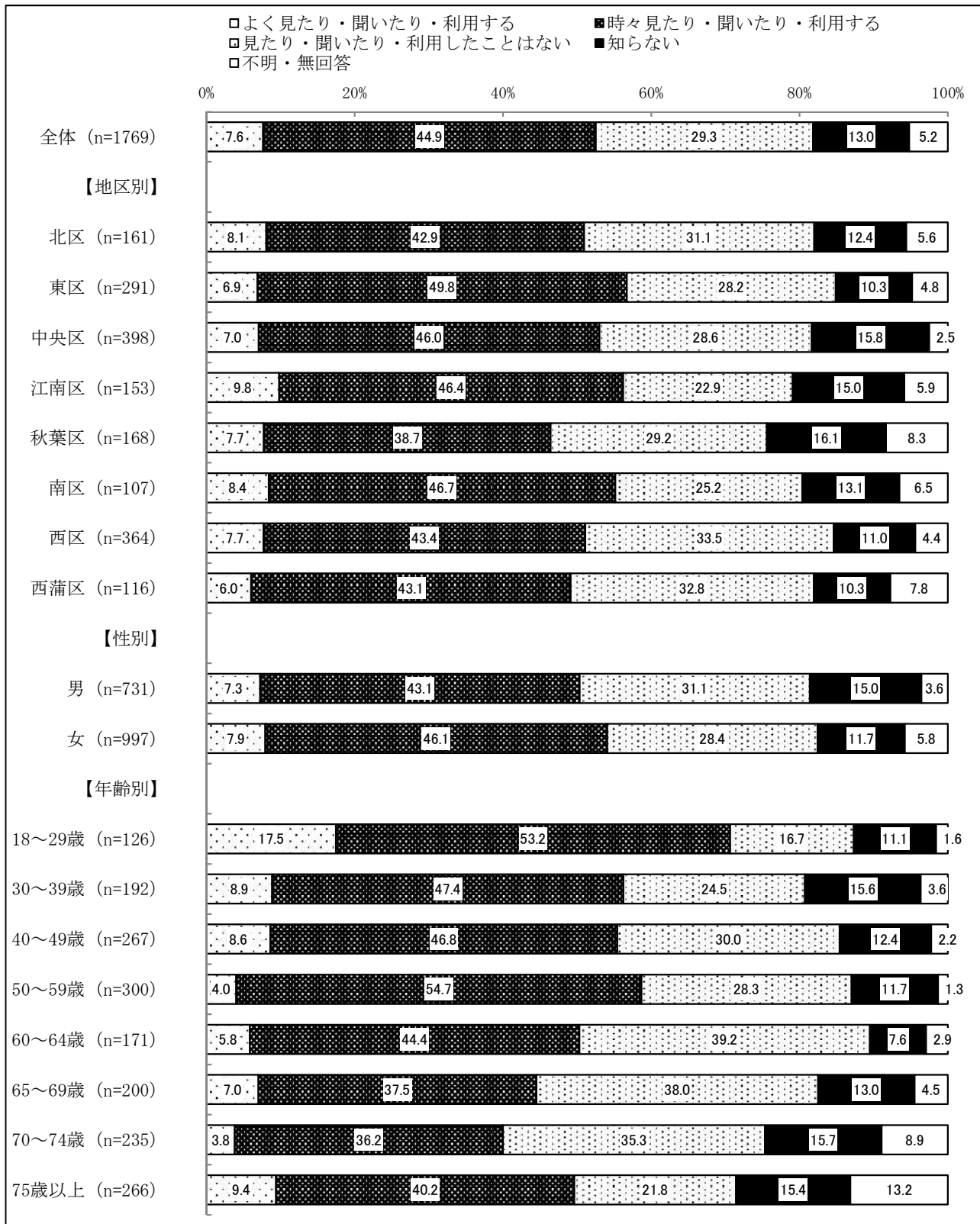
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、東区 (39.5%) で最も高く、4割近くを占めた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では40～49歳 (37.1%)、65～69歳 (37.0%) で高く、4割近くを占めた。

④ 自治会・コミュニティ協議会などの掲示板・回覧版・チラシ



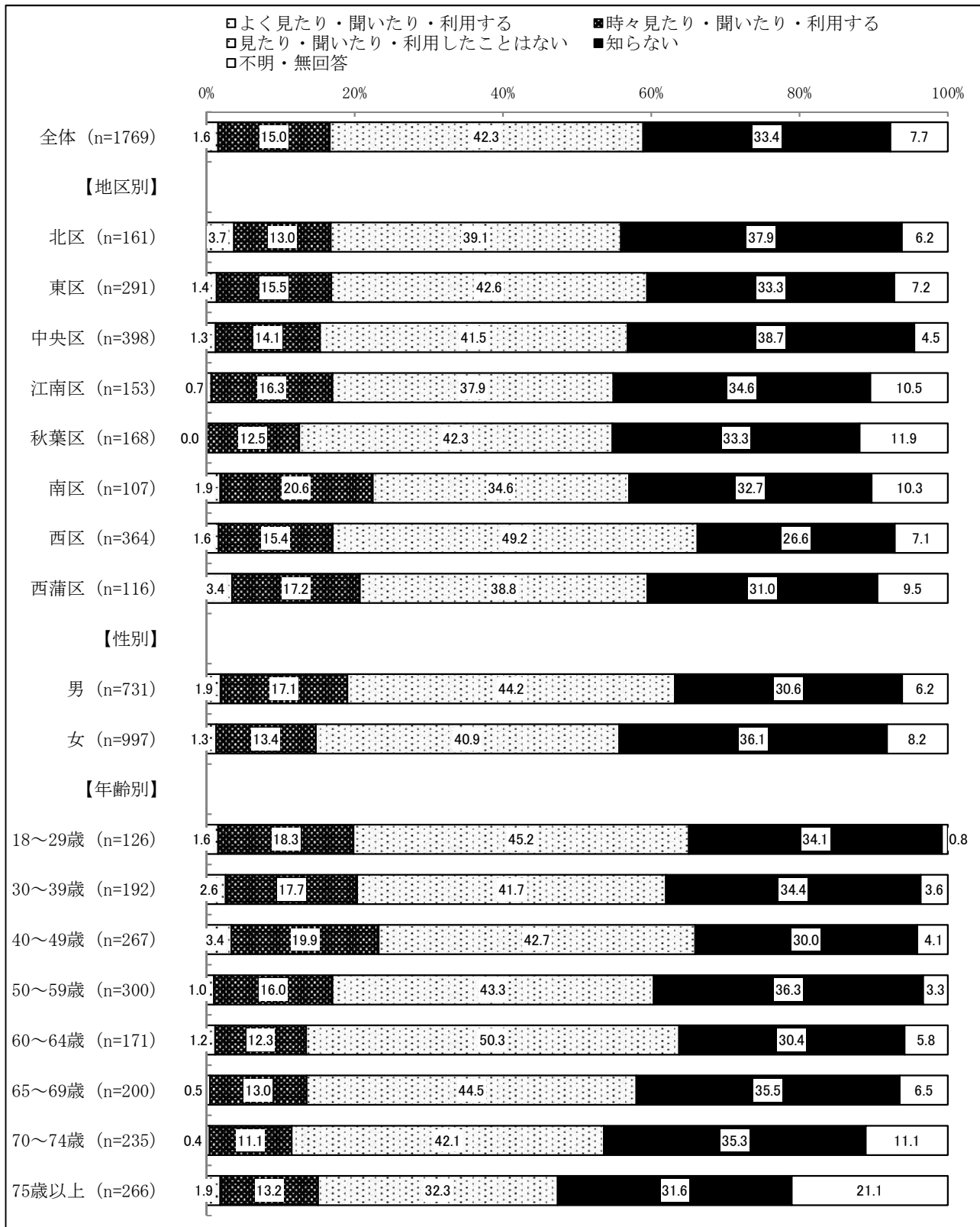
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、江南区（64.7%）、西蒲区（60.3%）で高く、6割を超えた。男性（55.1%）と比べて女性（58.2%）で割合がやや高い。年齢別では40～74歳で高く、それぞれ6割以上となった。

⑤ テレビ（市が提供する広報番組）



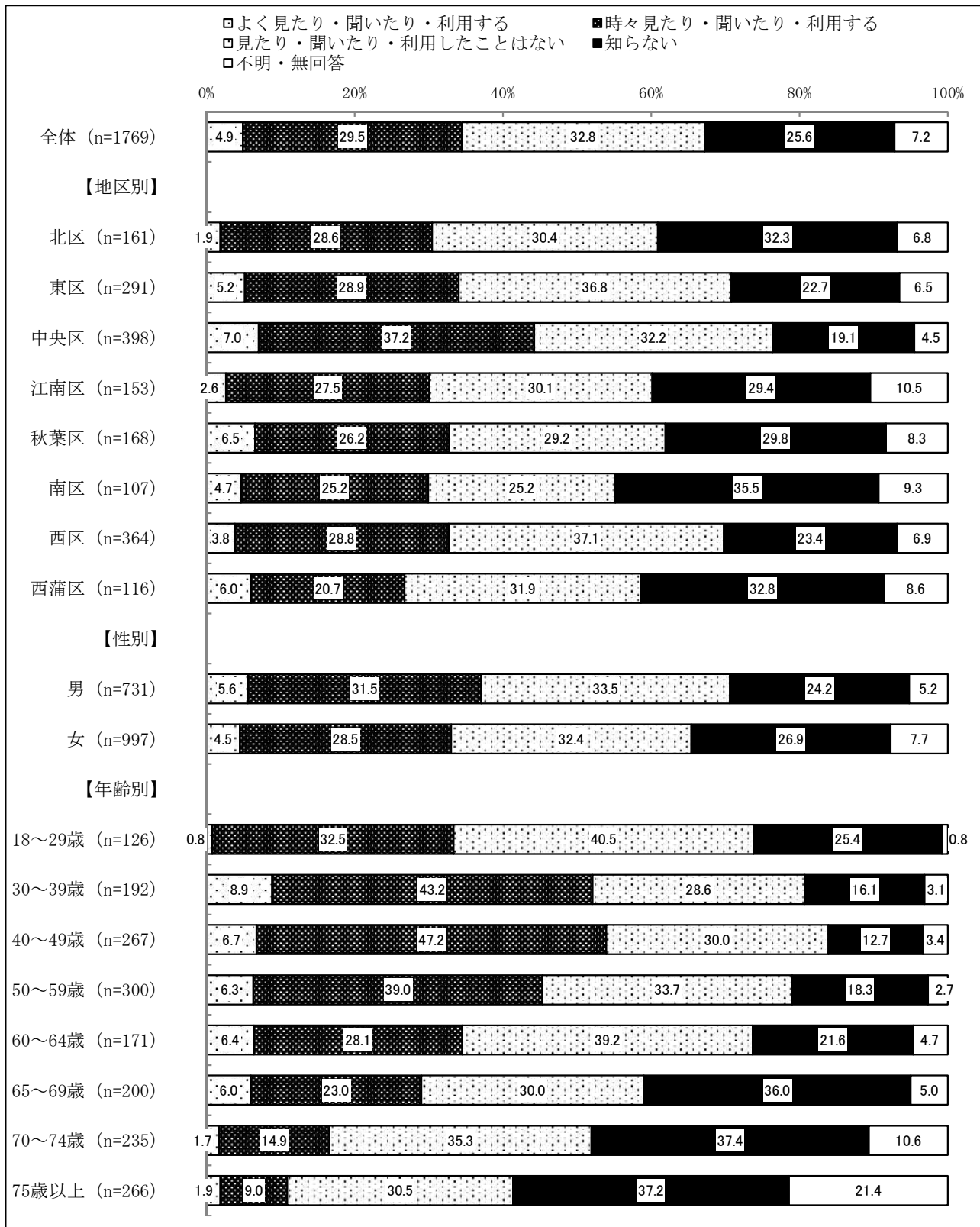
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、秋葉区、西蒲区を除くすべての地区で5割を超えた。男性（50.3%）と比べて女性（54.1%）で割合がやや高い。年齢別では18～29歳（70.6%）で割合が最も高く、若い年代ほど割合が高い傾向にある。

⑥ ラジオ（市が提供する広報番組）



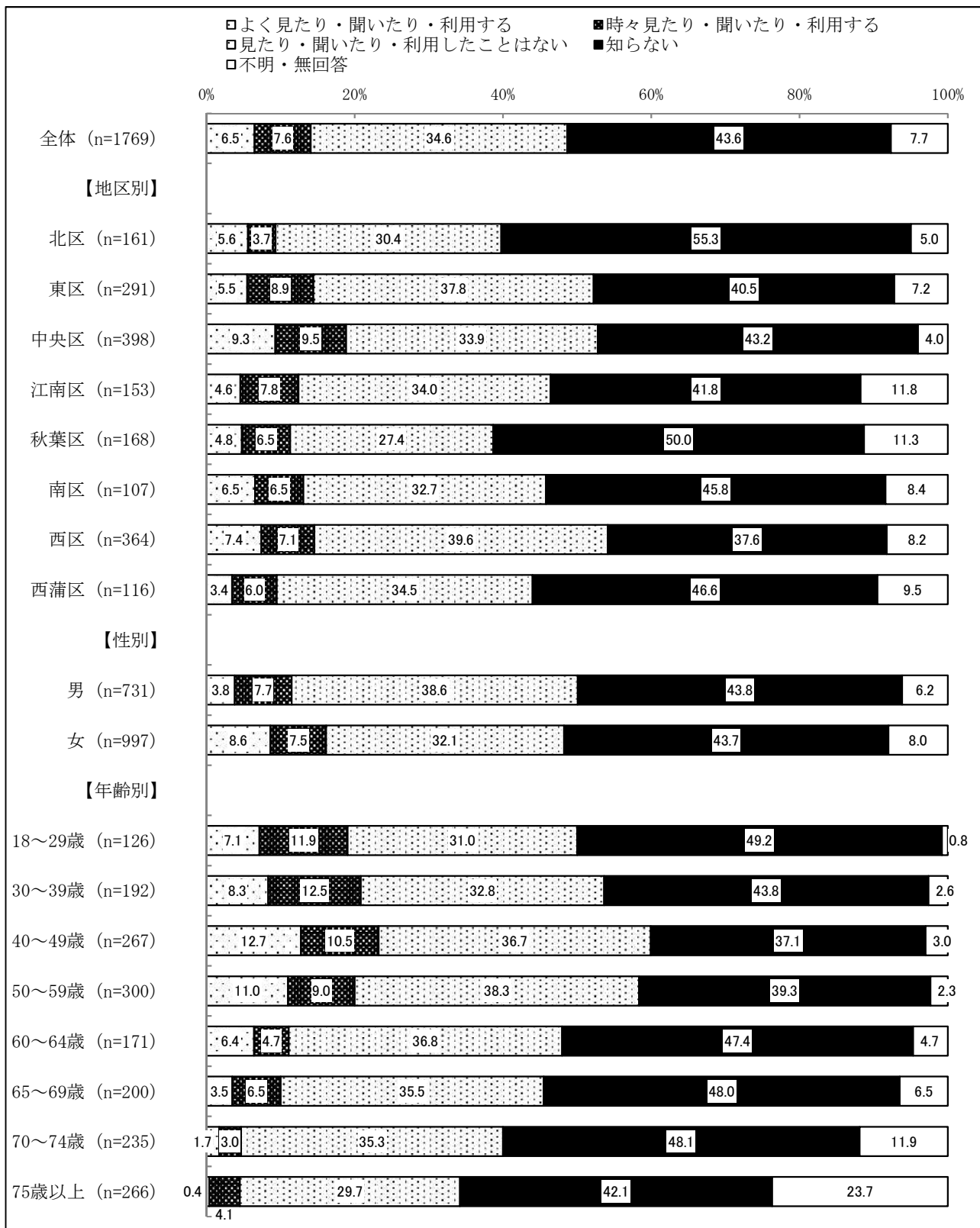
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、南区（22.4%）、西蒲区（20.7%）で他の地区と比べて割合が高い。女性（14.7%）と比べて男性（19.0%）で割合がやや高い。年齢別では40～49歳（23.2%）で割合が最も高い。

⑦ 市ホームページ



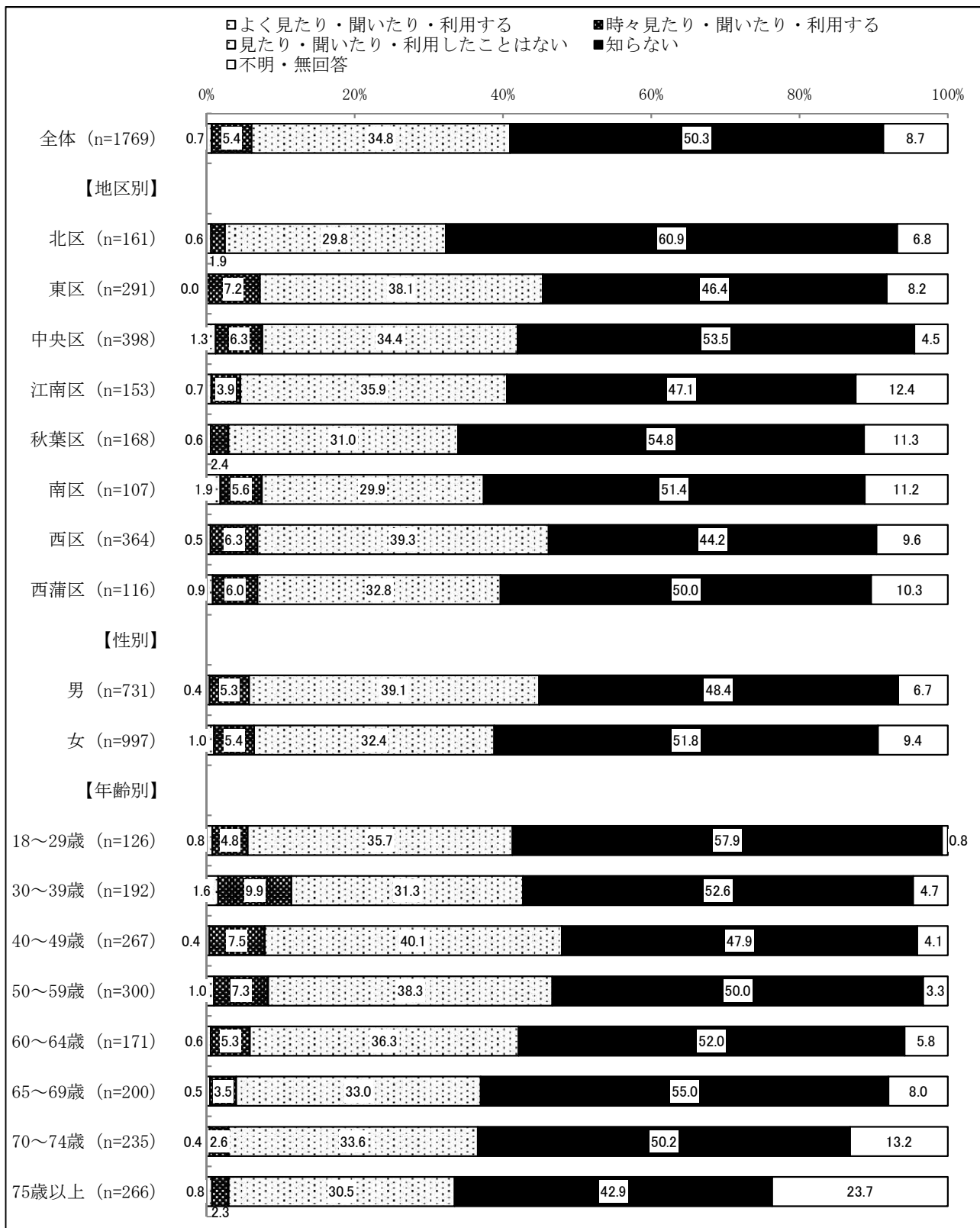
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、中央区（44.2%）で最も高く、4割半ばとなった。女性（33.0%）と比べて男性（37.1%）で割合がやや高い。年齢別では40～49歳（53.9%）、30～39歳（52.1%）で割合が高い。

⑧ 市 LINE 公式アカウント



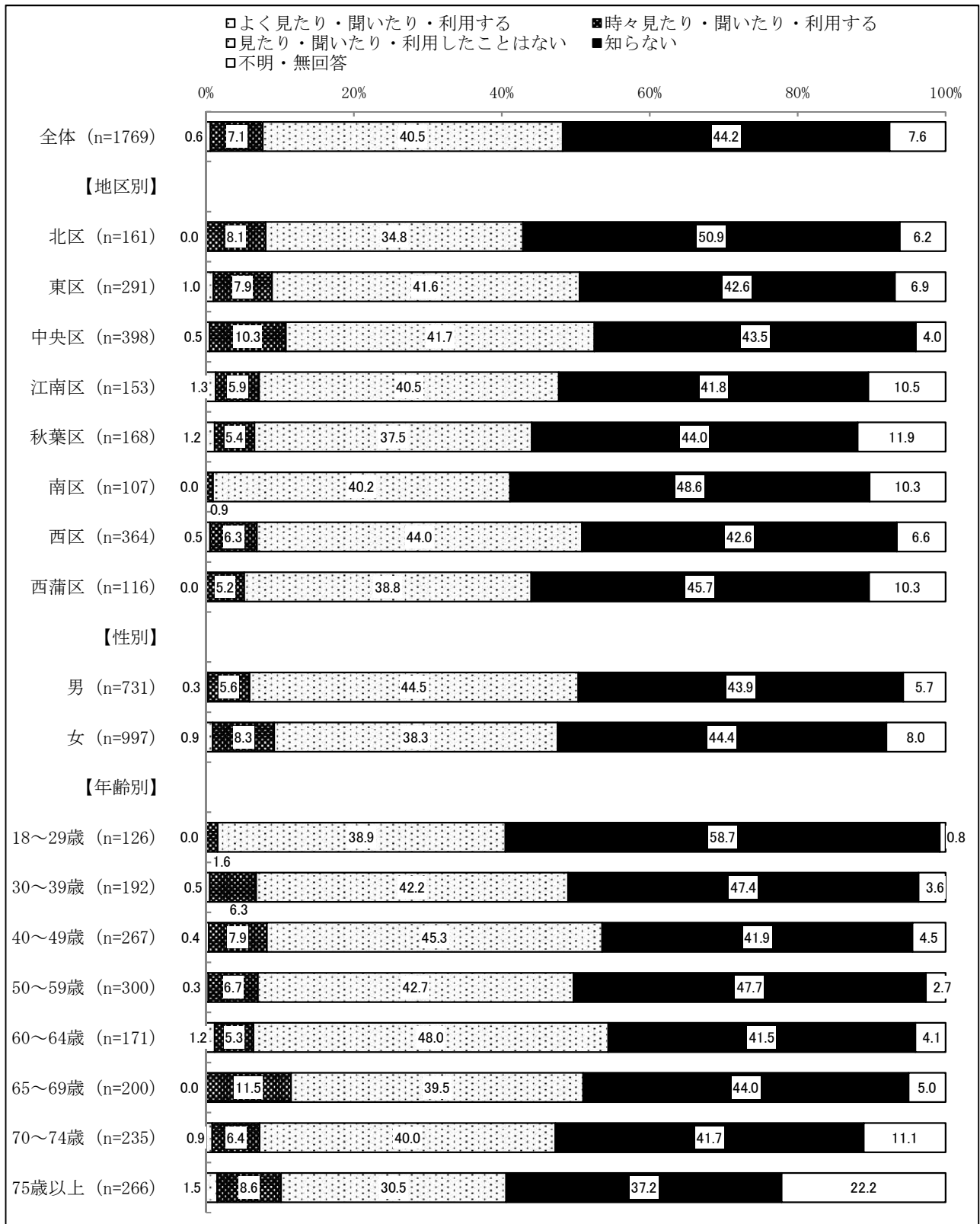
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、中央区（18.8%）で最も高い。男性（11.5%）と比べて女性（16.1%）で割合がやや高い。年齢別では30～59歳で割合が高く、2割以上となっている。

⑨ 市が運用する各公式アカウント



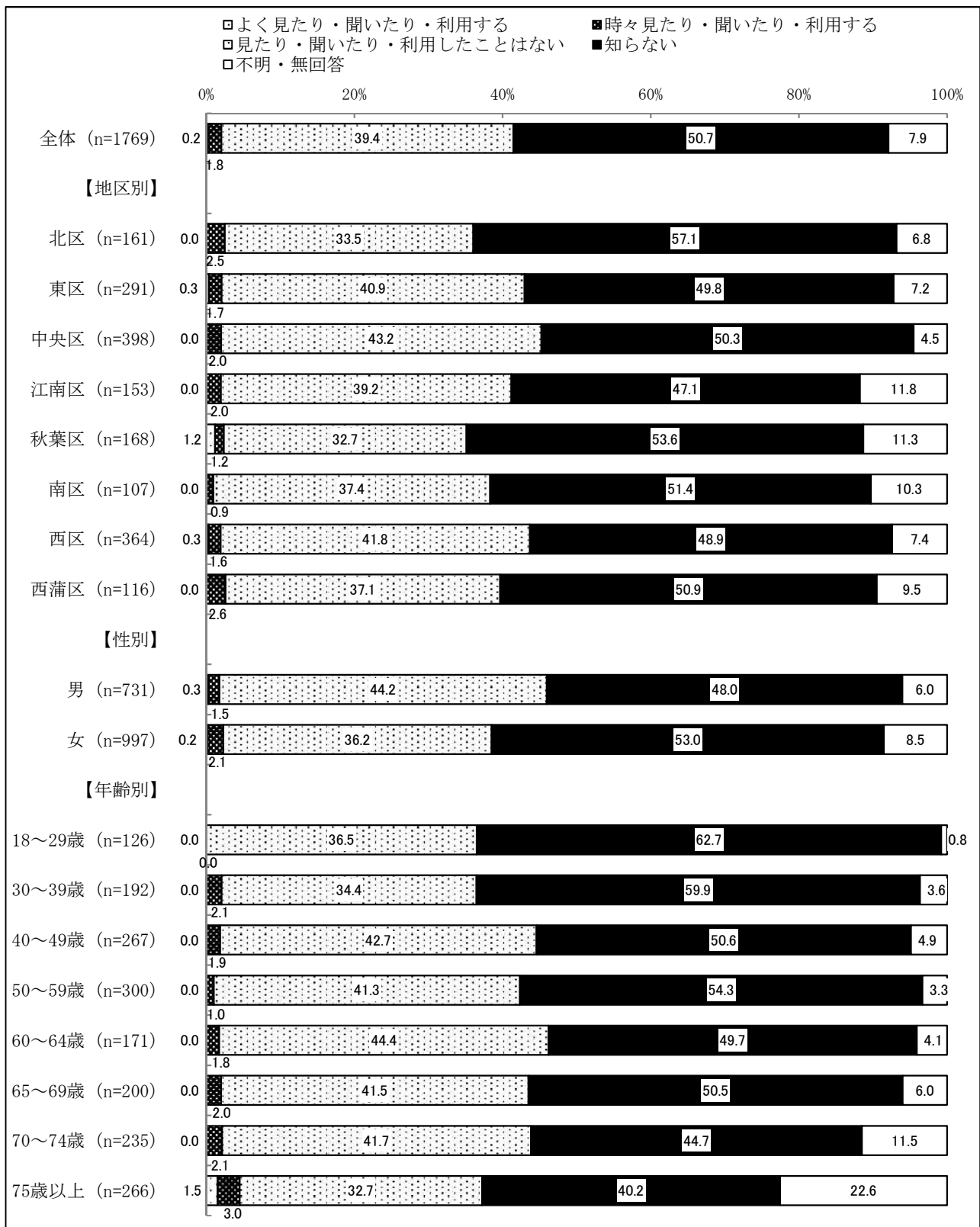
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、すべての地区で1割に満たなかった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では30～39歳(11.5%)で割合が最も高く、その他の年代では1割未満となった。

⑩ コールセンター



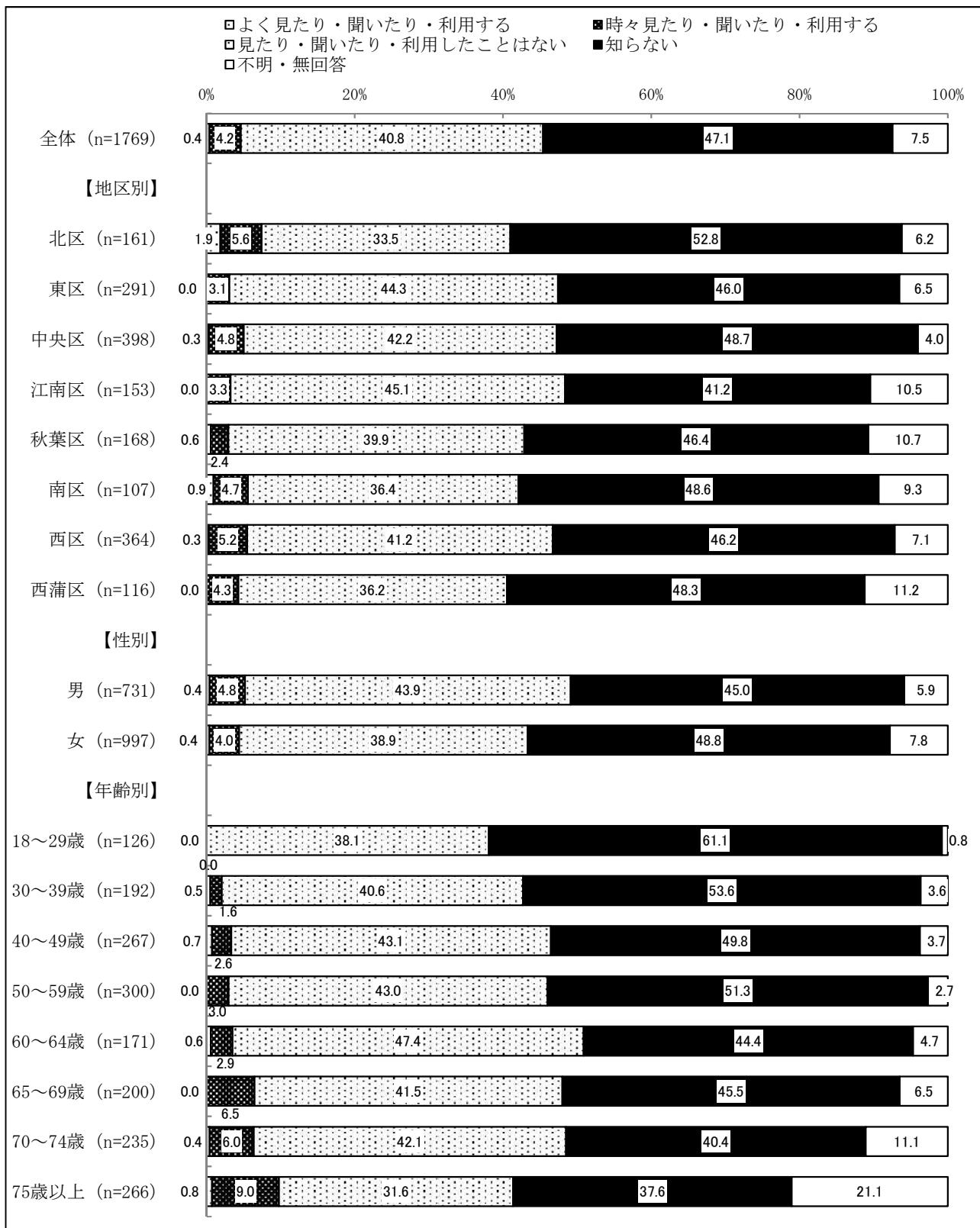
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、中央区（10.8%）で最も高く、その他の地区では1割未満となった。男性（5.9%）と比べて女性（9.2%）で割合がやや高い。年齢別では65～69歳（11.5%）、75歳以上（10.2%）で割合が高く、その他の年代では1割未満となった。

⑪ 市政情報室



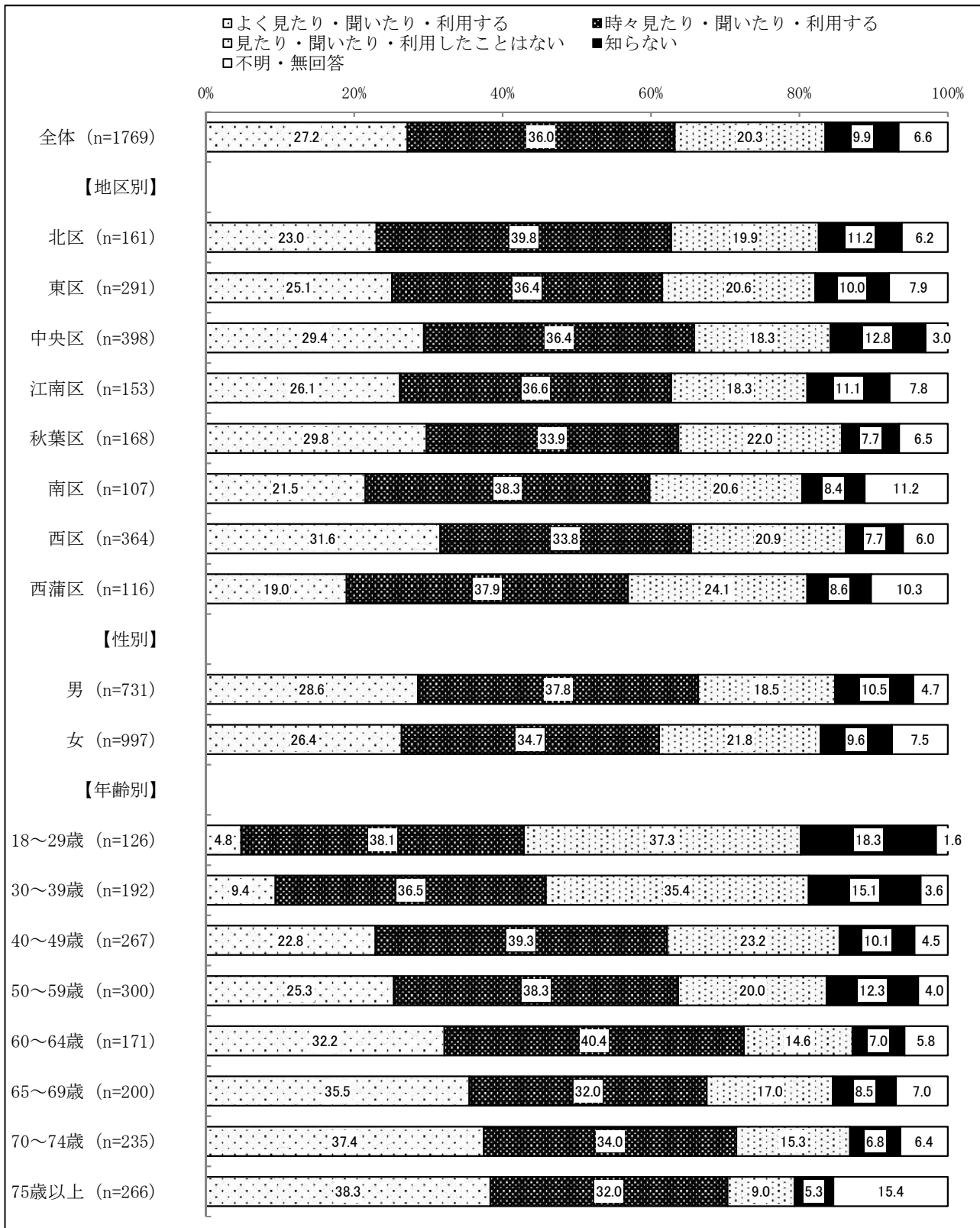
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、すべての地区で1割未満となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、75歳以上(4.5%)で最も高かったが、すべての年代で1割未満となった。

⑫ 説明会など地域での集会



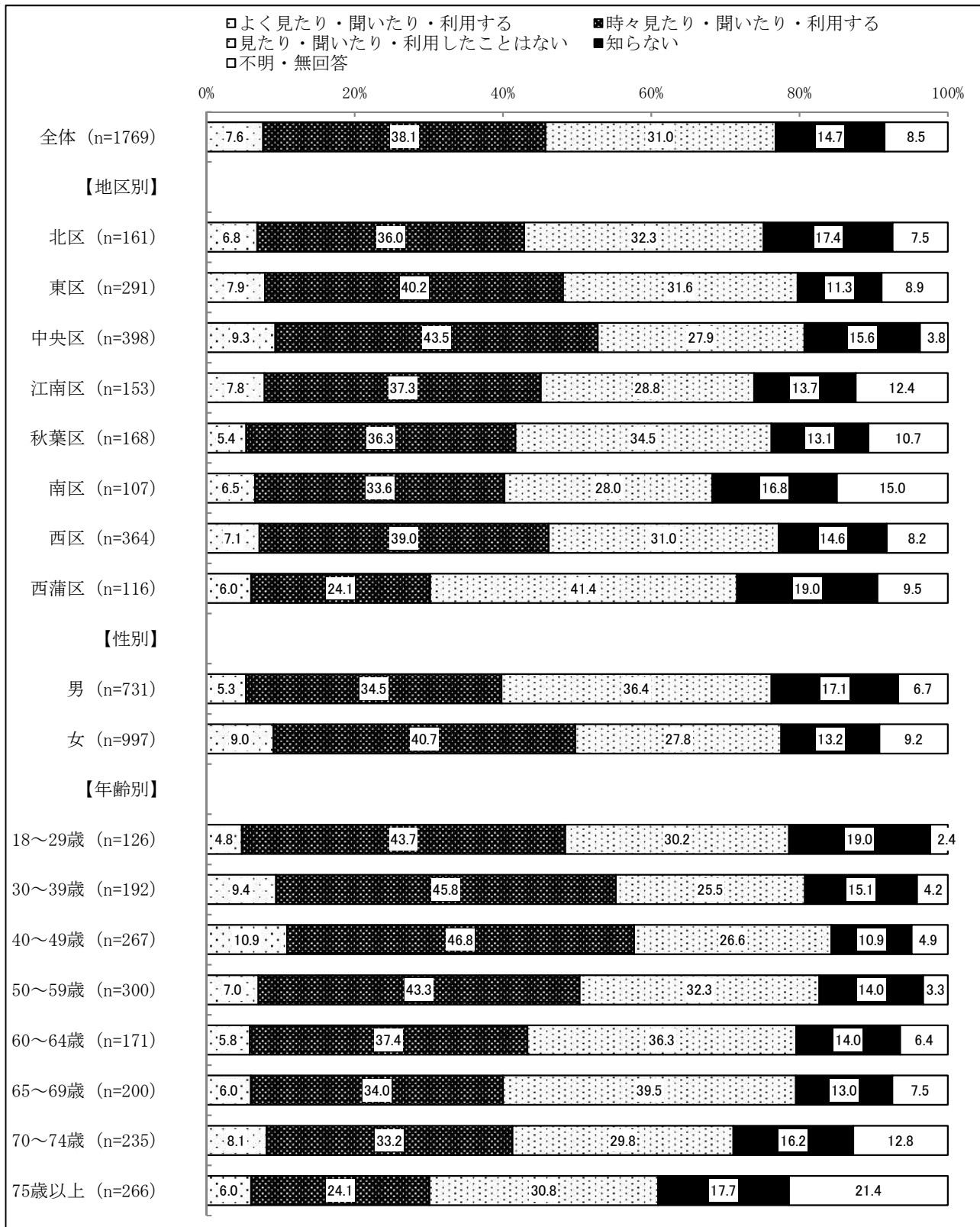
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、すべての地区で1割未満となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、75歳以上(9.8%)で最も割合が高かったが、すべての年代で1割未満となった。

⑬ 新聞



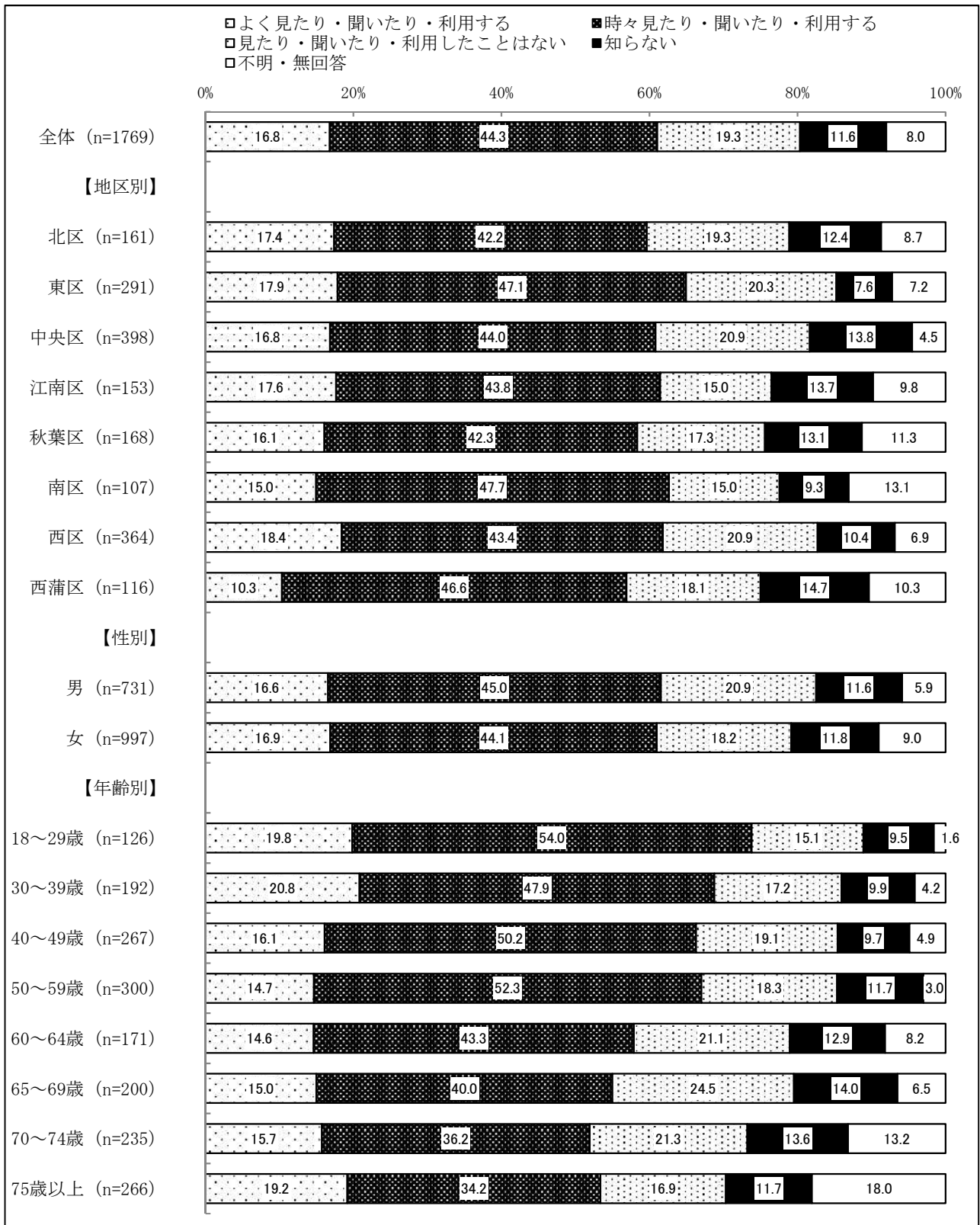
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、南区 (59.8%) と西蒲区 (56.9%) を除くすべての地区で6割台となった。女性 (61.1%) と比べて男性 (66.3%) で割合がやや高い。年齢別では60～64歳 (72.5%) で最も割合が高い。

⑭ タウン誌・雑誌など



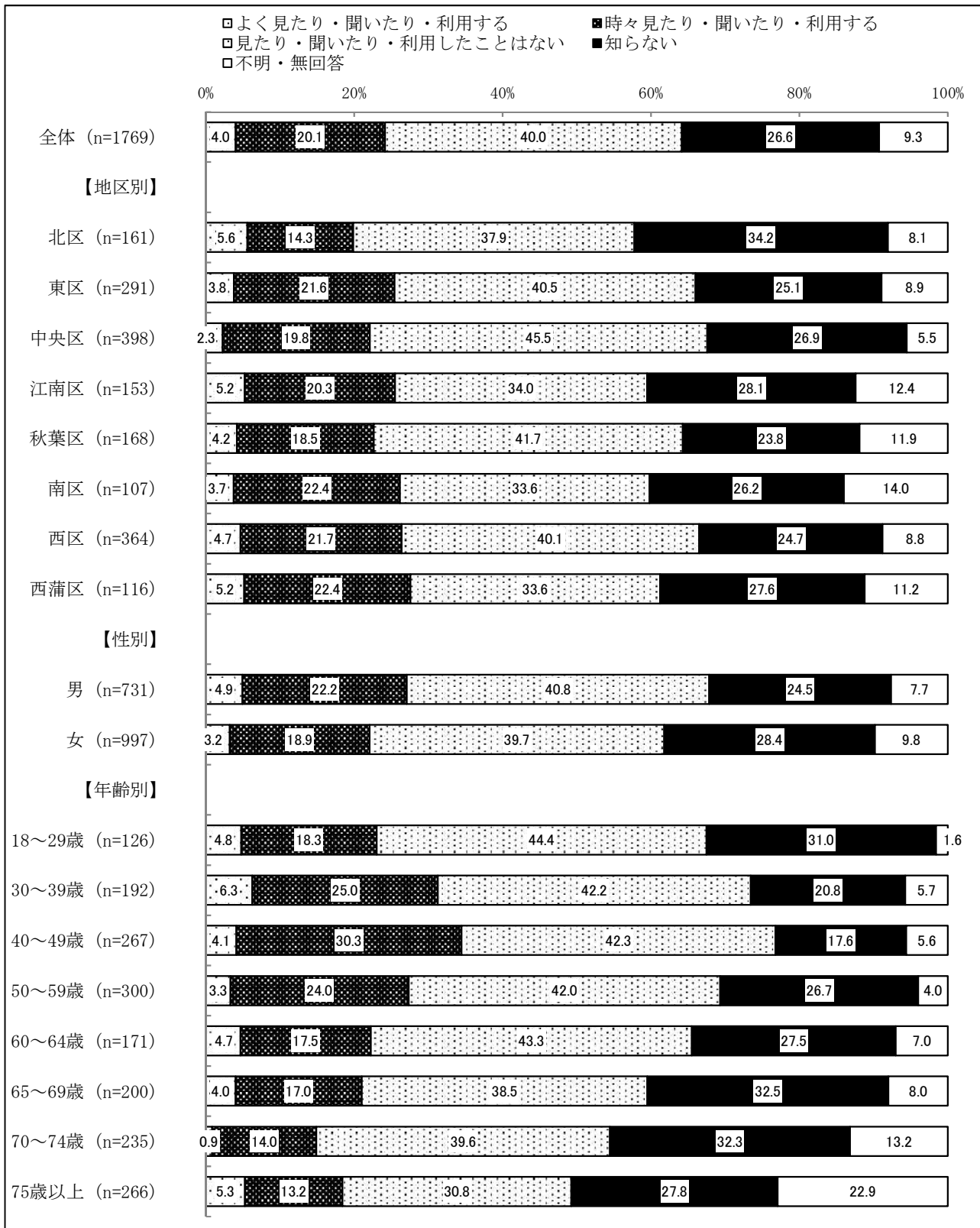
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、中央区(52.8%)で高く、5割を超えた。性別では男性(39.8%)と比べて女性(49.7%)で割合が高い。年齢別では40～49歳(57.7%)で最も割合が高い。

⑮ テレビ（各局の番組）



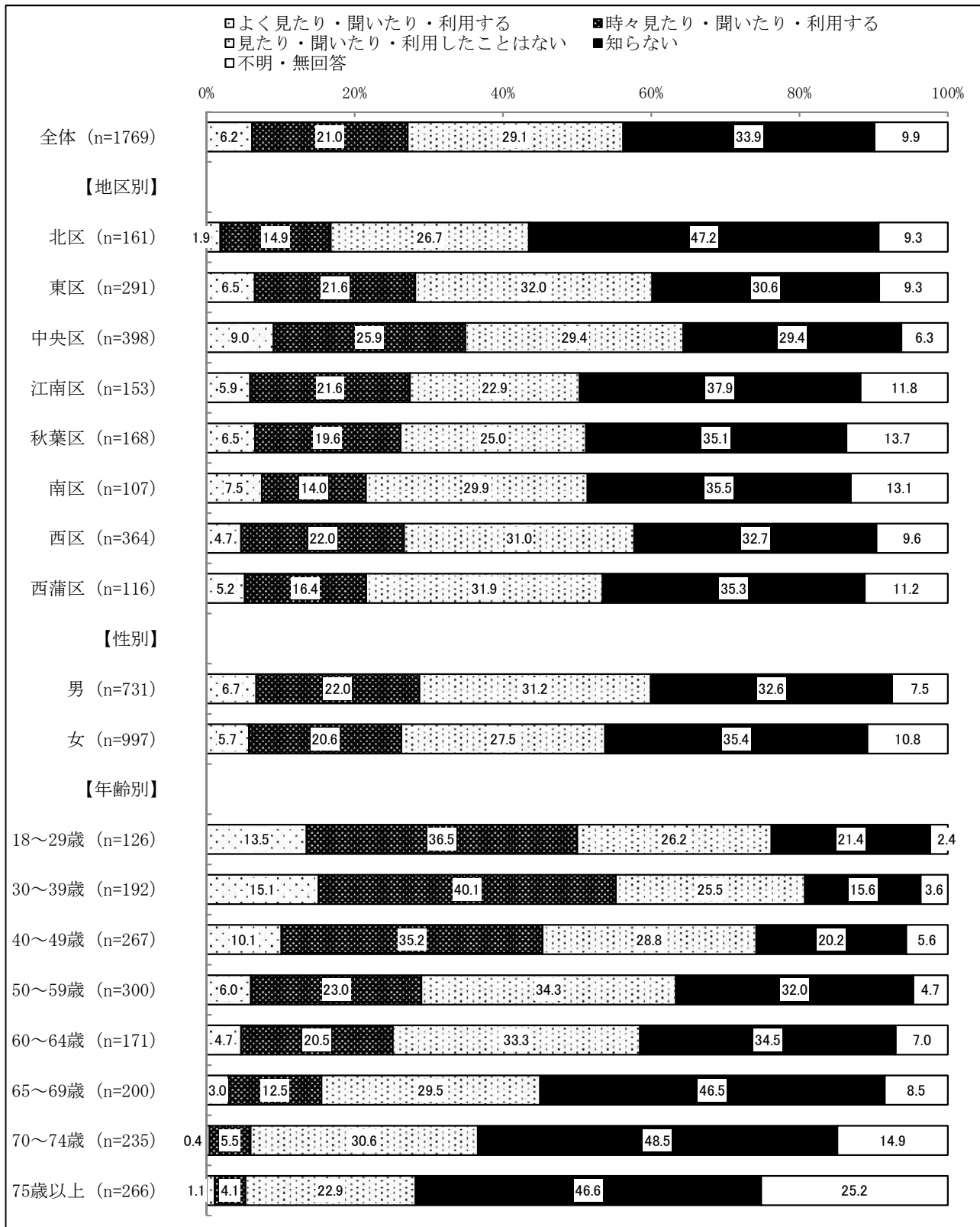
「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、東区（64.9%）で最も高い。性別による大きな差はみられない。年齢別では18～29歳（73.8%）で最も割合が高く、年齢が低いほど割合が高くなる傾向にある。

⑩ ラジオ（各局の番組）



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、西蒲区（27.6%）で最も高い。女性（22.1%）と比べて男性（27.1%）で割合が高い。年齢別では40～49歳（34.5%）で最も割合が高い。

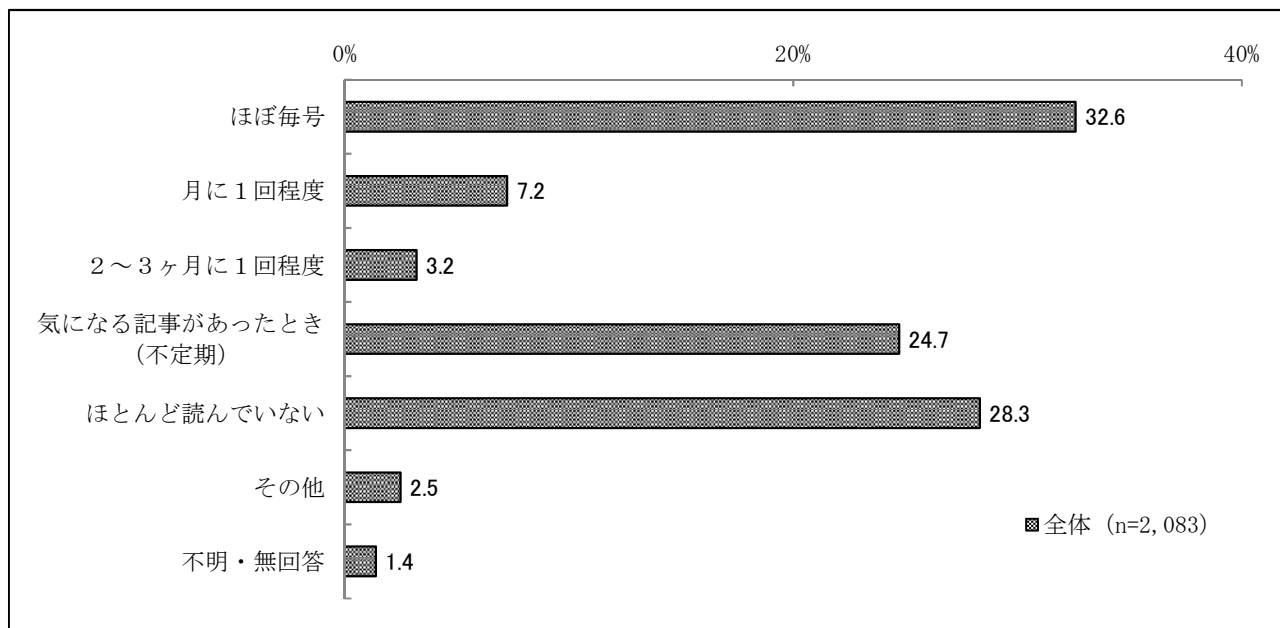
⑰ WEB・ソーシャルメディア



「よく見たり・聞いたり・利用する」と「時々見たり・聞いたり・利用する」を合わせた割合は、中央区 (34.9%) で最も高い。女性 (26.3%) と比べて男性 (28.7%) で割合がやや高い。年齢別では30～39歳 (55.2%) で最も割合が高い。

(3) 「市報にいがた・区役所だより」を読む頻度

問3 現在、月に2回、「市報にいがた・区役所だより」を発行しています。市報・区役所だよりを読む頻度はどのくらいですか。(〇は1つだけ)



— 3割強が「ほぼ毎号」市報にいがた・区役所だよりを読んでいる—

【全体結果】

「ほぼ毎号」(32.6%)が最も割合が高く、3割強となった。次いで、「ほとんど読んでいない」(28.3%)、「気になる記事があったとき(不定期)」(24.7%)が2割台で続く。

【属性別結果】(次ページ図1-2参照)

① 地区別

「ほぼ毎号」と回答した割合は、江南区(37.0%)で高い。

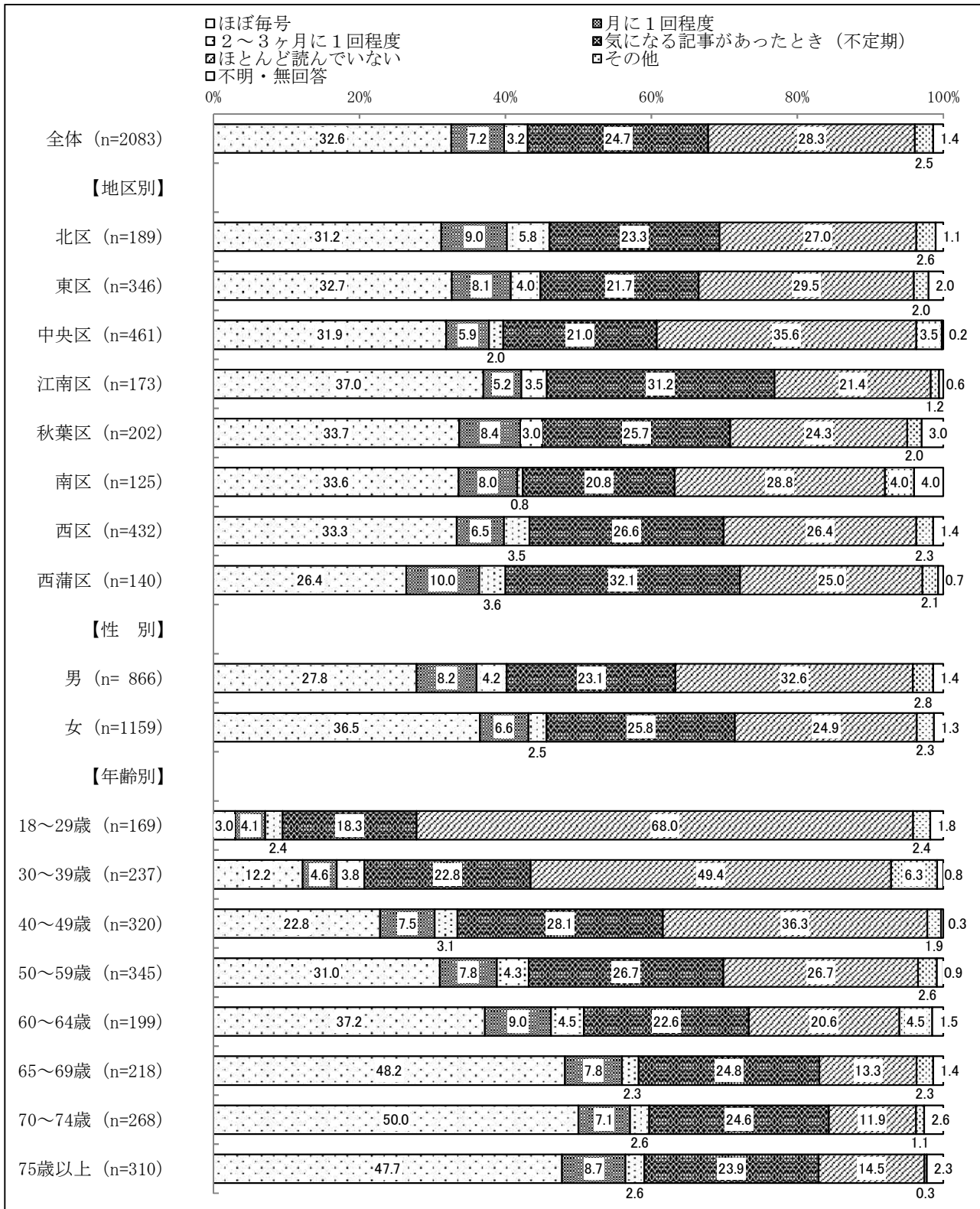
② 性別

「ほぼ毎号」と回答した割合は、男性(27.8%)と比較して女性(36.5%)で高い。

③ 年齢別

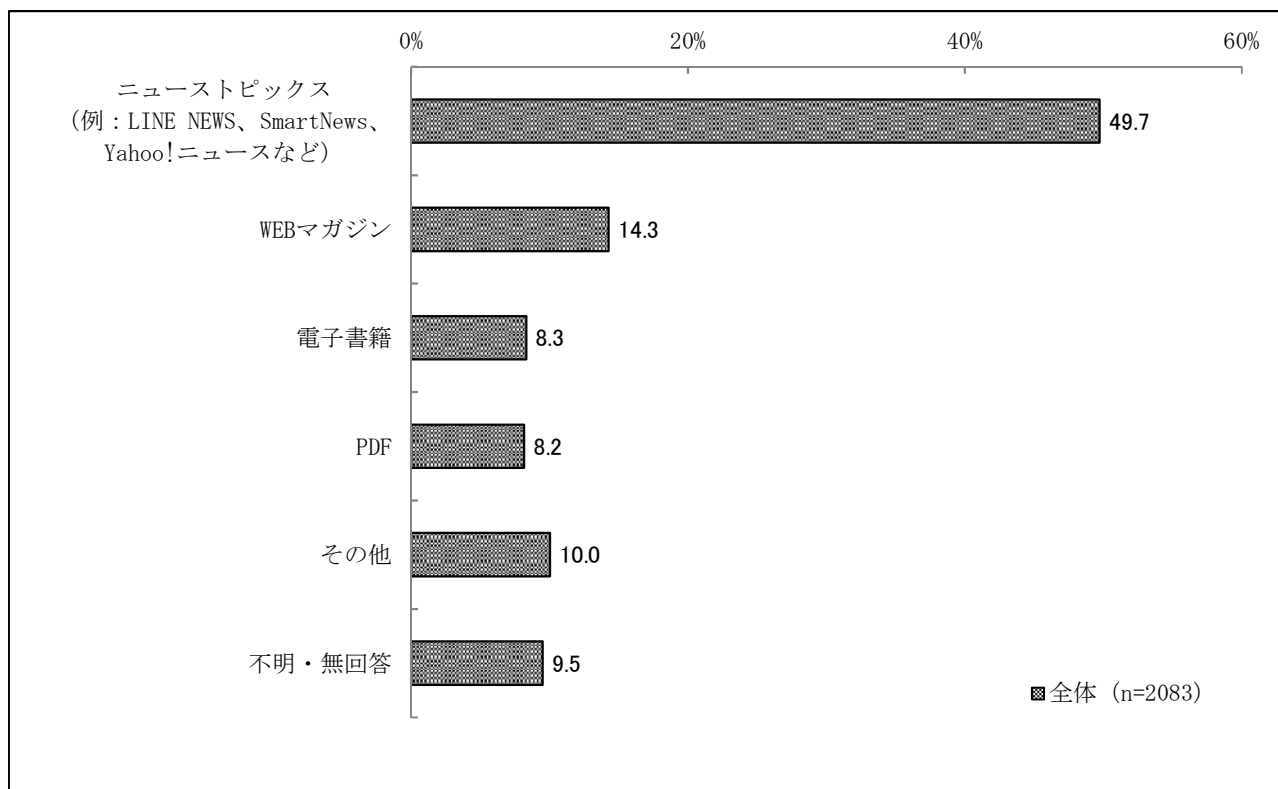
年齢別では、「ほぼ毎号」と回答した割合が70～74歳(50.0%)で最も高い。年齢が高いほど割合も高くなる傾向にある。

図 1-2 「市報にいがた・区役所だより」を読む頻度（地区別/性別/年齢別）



(4) 電子版「市報にいがた・区役所だより」に希望する見た目、デザイン、形式

問4 「市報にいがた・区役所だより」を現在の紙面に加えて電子化する場合、どのような見た目、デザイン、形式を希望しますか。(○は1つだけ)



— 約5割が「ニューストピックス」を希望している—

【全体結果】

「ニューストピックス (例: LINE NEWS、SmartNews、Yahoo!ニュースなど)」(49.7%) が最も割合が高く、約5割となった。次いで、「WEBマガジン」(14.3%)、「電子書籍」(8.3%)、「PDF」(8.2%)と1割前後で続く。

【属性別結果】(次ページ図1-3参照)

① 地区別

「ニューストピックス (例: LINE NEWS、SmartNews、Yahoo!ニュースなど)」と回答した割合は、西蒲区(54.3%)で最も高く、すべての地区で4割半ばを超えた。

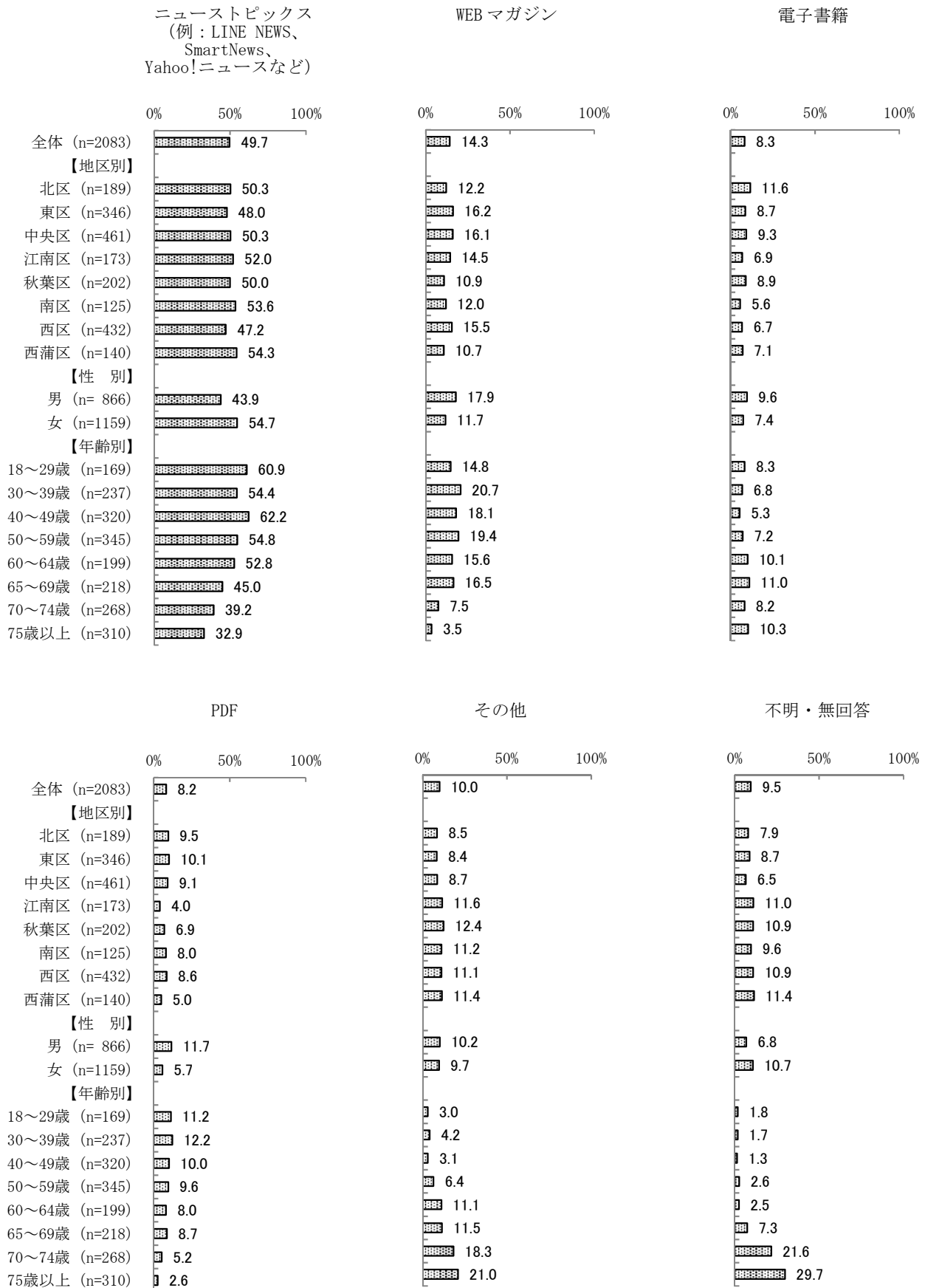
② 性別

「ニューストピックス (例: LINE NEWS、SmartNews、Yahoo!ニュースなど)」と回答した割合は、男性(43.9%)と比べて女性(54.7%)で割合が高い。

③ 年齢別

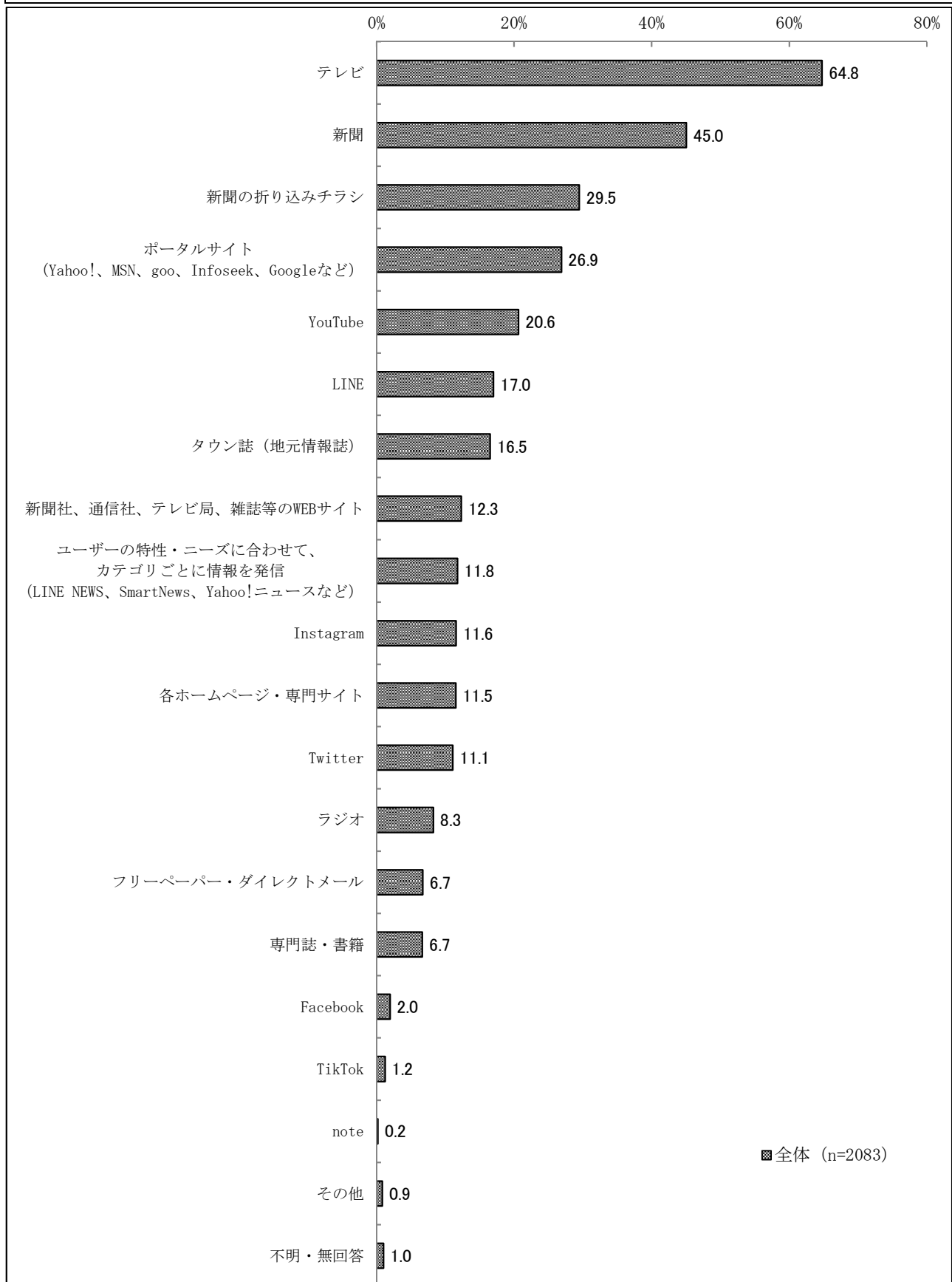
年齢別では、「ニューストピックス (例: LINE NEWS、SmartNews、Yahoo!ニュースなど)」と回答した割合が40～49歳(62.2%)で最も高く、6割を超えた。

図 1-3 電子版「市報にいがた・区役所だより」に希望する見た目、デザイン、形式（地区別/性別/年齢別）



(5) 日ごろよく使うメディア

問5 趣味や娯楽、情報収集などで、日ごろよく使うメディア（広報媒体）は何ですか。使用頻度が高いメディアの番号に○を付けてください。（○は3つまで）



— 最もよく使うメディア（広報媒体）は「テレビ」で6割半ば—

【全体結果】

「テレビ」（64.8%）が最も割合が高く、6割半ばとなった。次いで、「新聞」が45.0%、「新聞の折り込みチラシ」が29.5%となった。

【属性別結果】（次ページ図1-4参照）

① 地区別

「テレビ」と回答した割合は、南区（72.0%）で高い。

② 性別

「新聞」と回答した割合は、女性（41.4%）と比較して男性（50.2%）で高い。「新聞の折り込みチラシ」と回答した割合は、男性（25.6%）と比較して女性（32.4%）で高い。

③ 年齢別

30歳以上では「テレビ」と回答した割合が最も高く、特に75歳以上（80.6%）では8割を超えた。18～29歳（49.1%）では「Twitter」の割合が最も高い。

図 1-4 日ごろよく使うメディア（地区別/性別/年齢別） 1/4

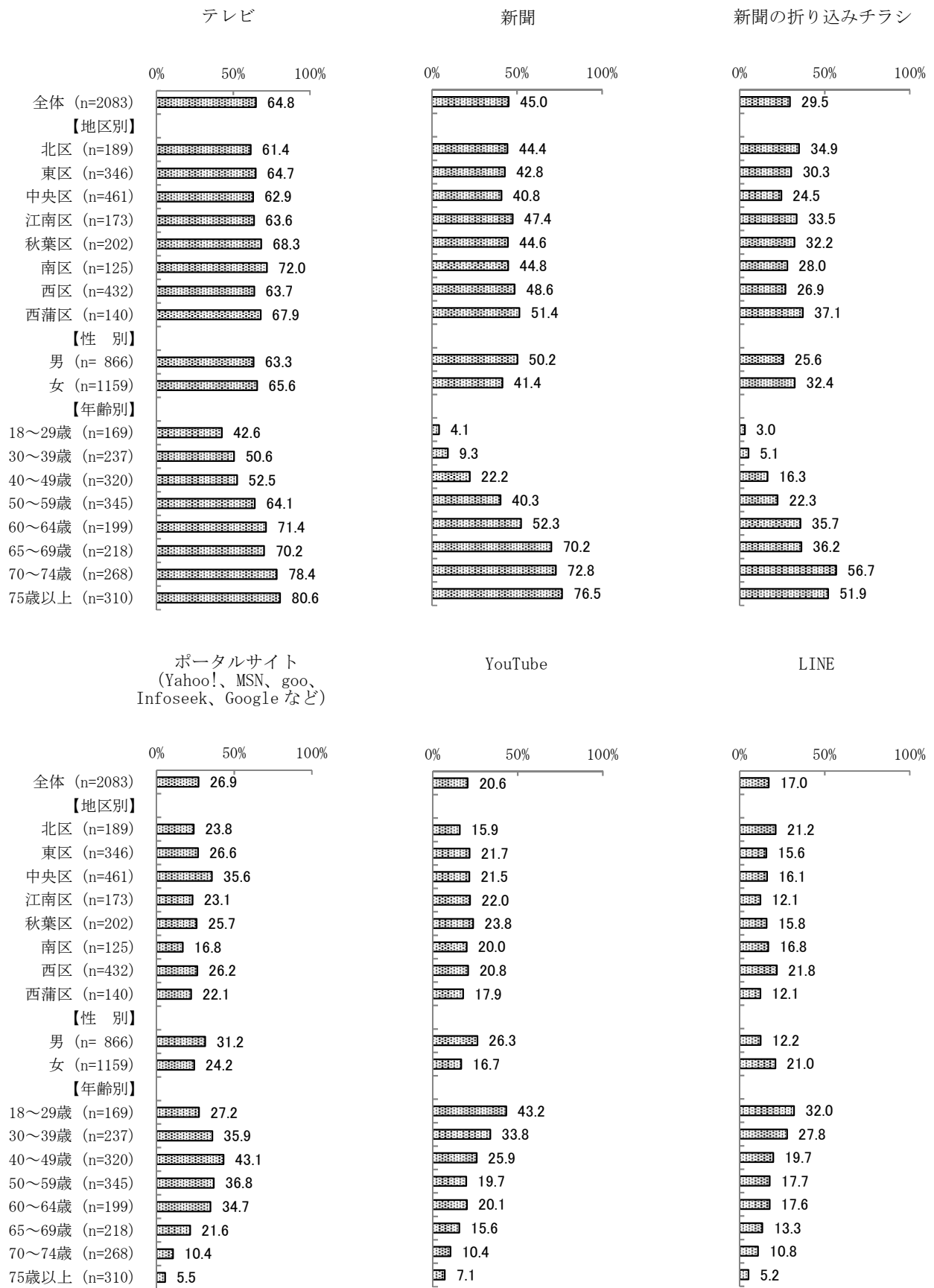


図1-4 日ごろよく使うメディア（地区別/性別/年齢別） 2/4

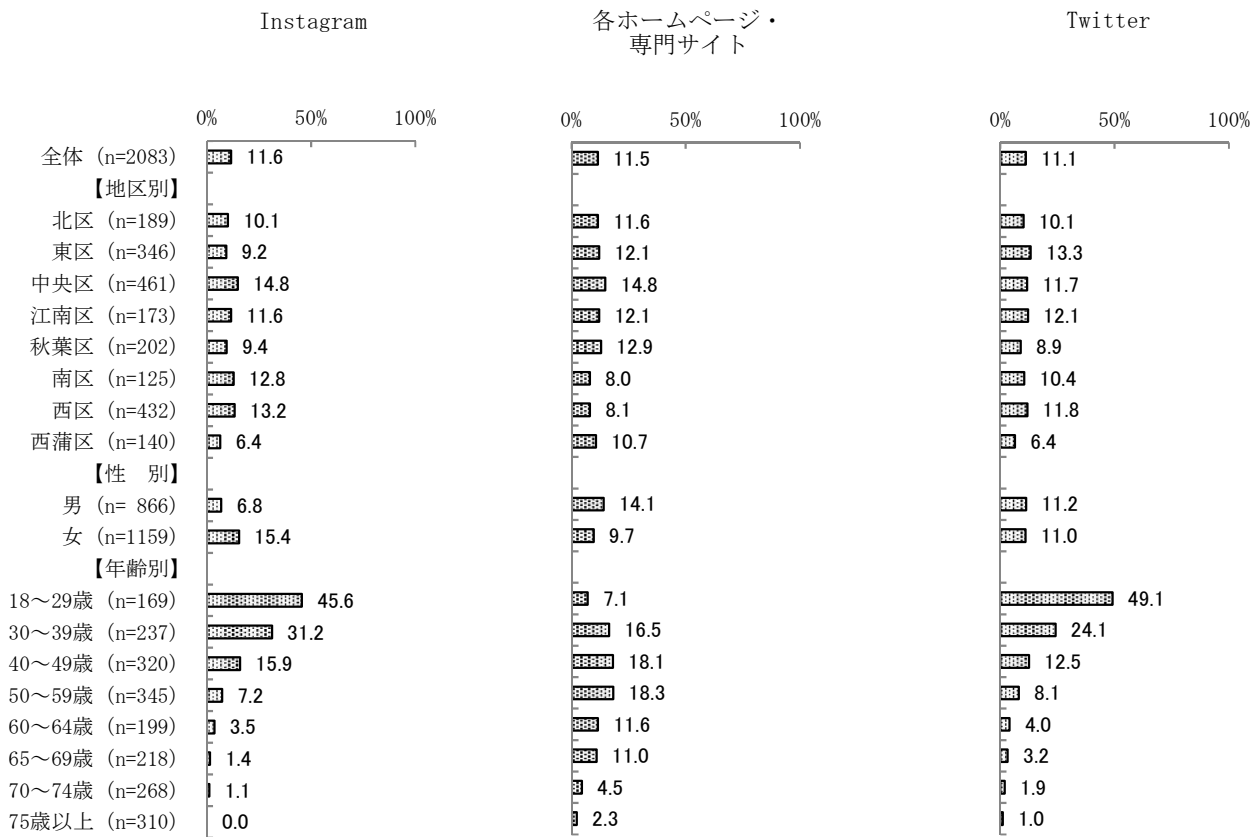
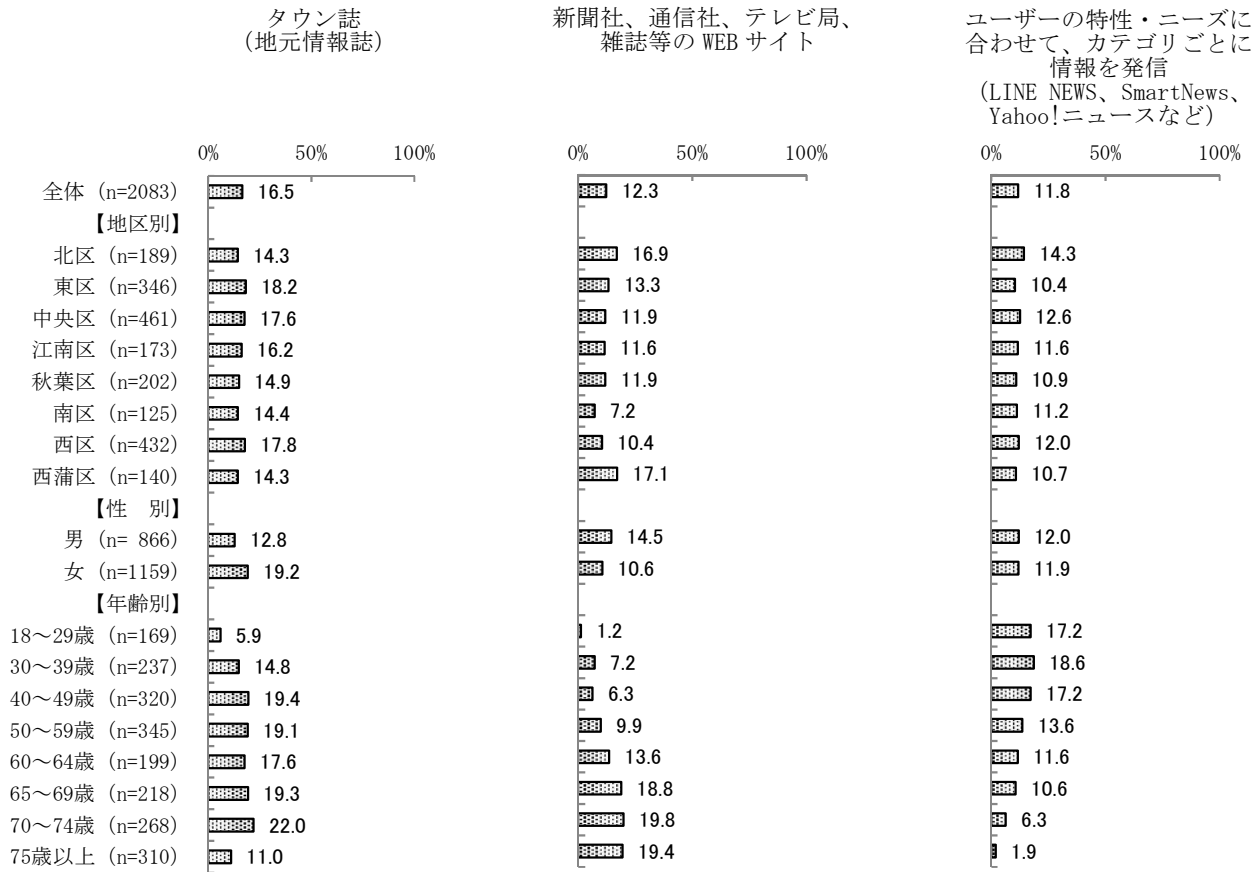


図 1-4 日ごろよく使うメディア（地区別/性別/年齢別） 3/4

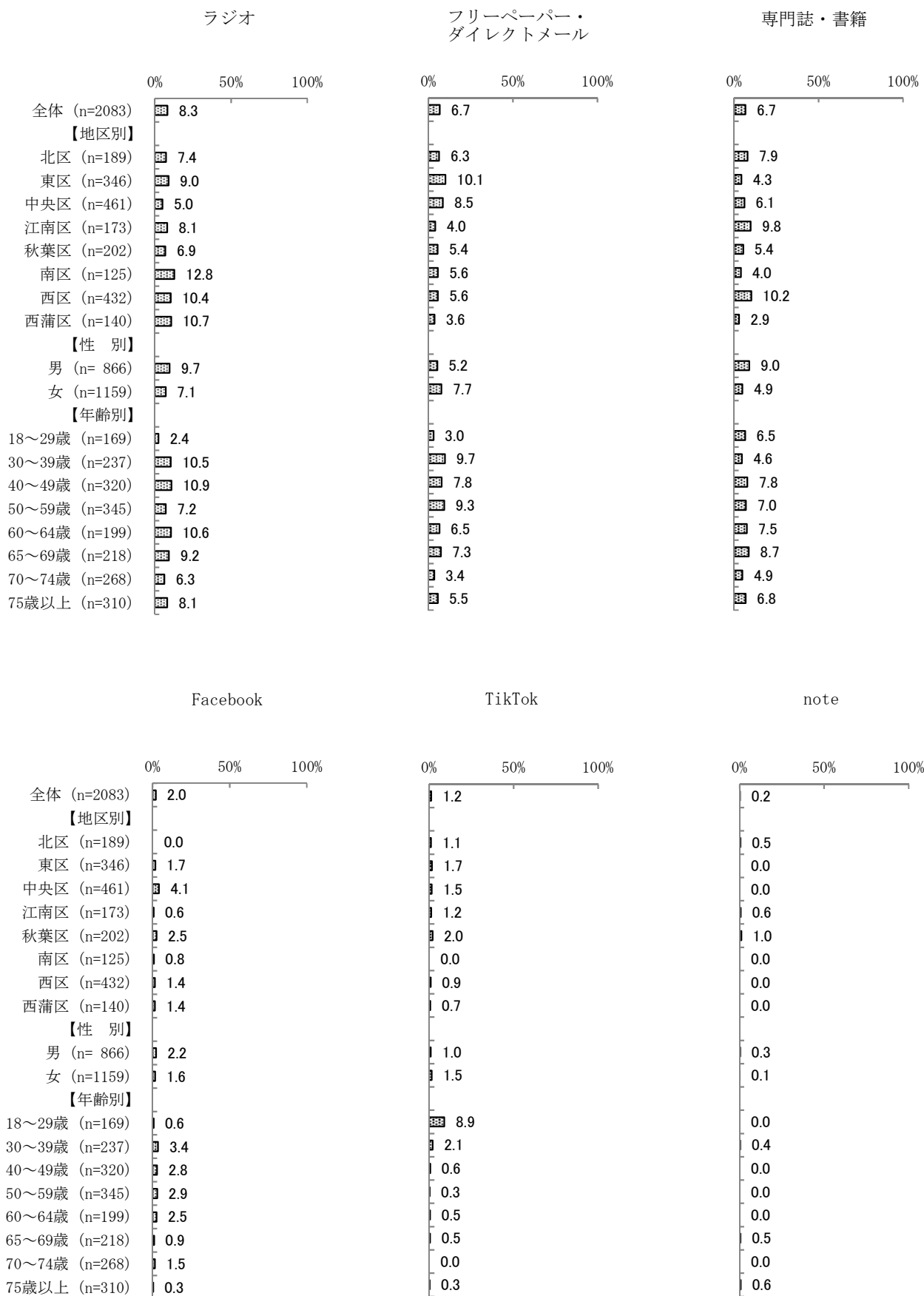
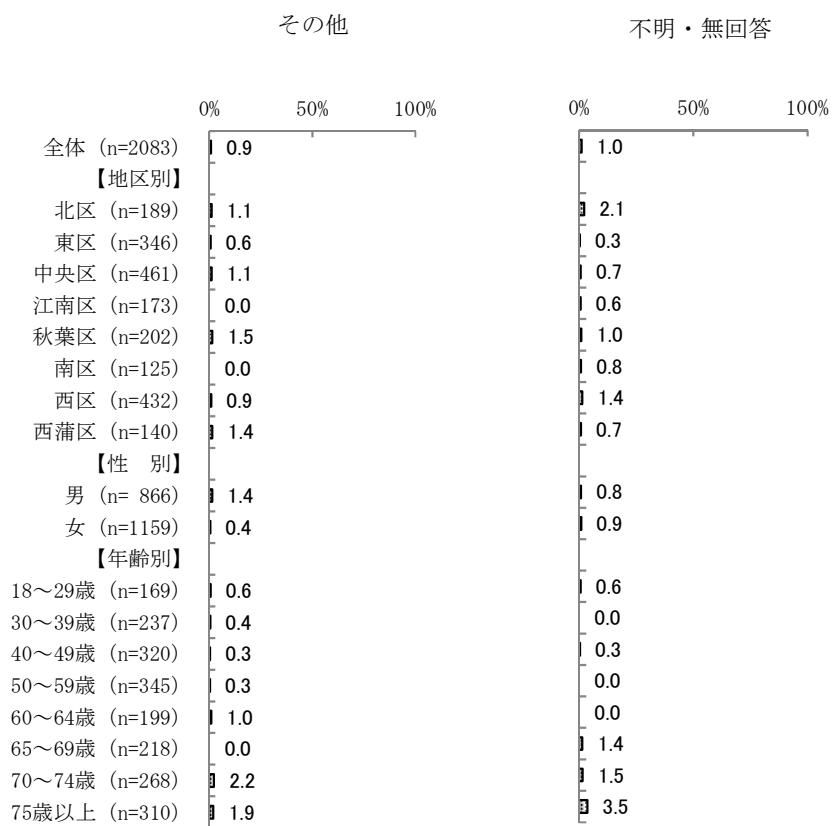


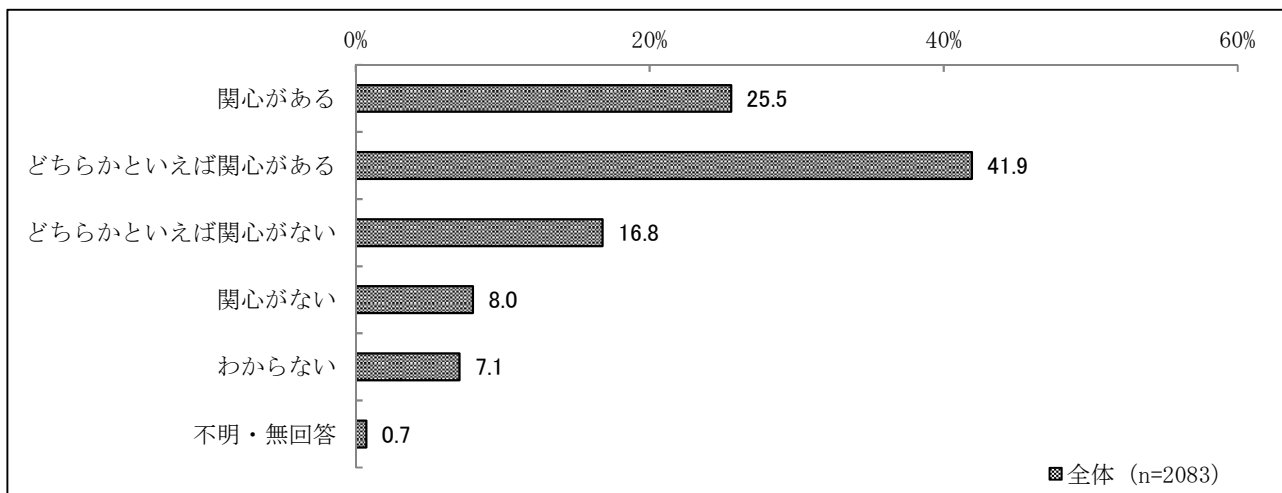
図 1-4 日ごろよく使うメディア（地区別/性別/年齢別） 4/4



2. 国産有機食品への関心について

(1) 国産有機食品への関心

問6 あなたは、国産有機食品に関心がありますか。(○は1つだけ)



— 7割近くが『関心がある』 —

【全体結果】

「関心がある」(25.5%)、「どちらかといえば関心がある」(41.9%)を合わせた『関心がある』(67.5%)は7割近くとなった。「どちらかといえば関心がない」(16.8%)、「関心がない」(8.0)を合わせた『関心がない』(24.8%)は2割半ばとなった。

【属性別結果】(次ページ図2-1参照)

① 地区別

『関心がある』の割合は、江南区(70.5%)、中央区(70.1%)で高く、7割を超えた。一方、『関心がない』の割合は、西蒲区(30.7%)で最も高い。

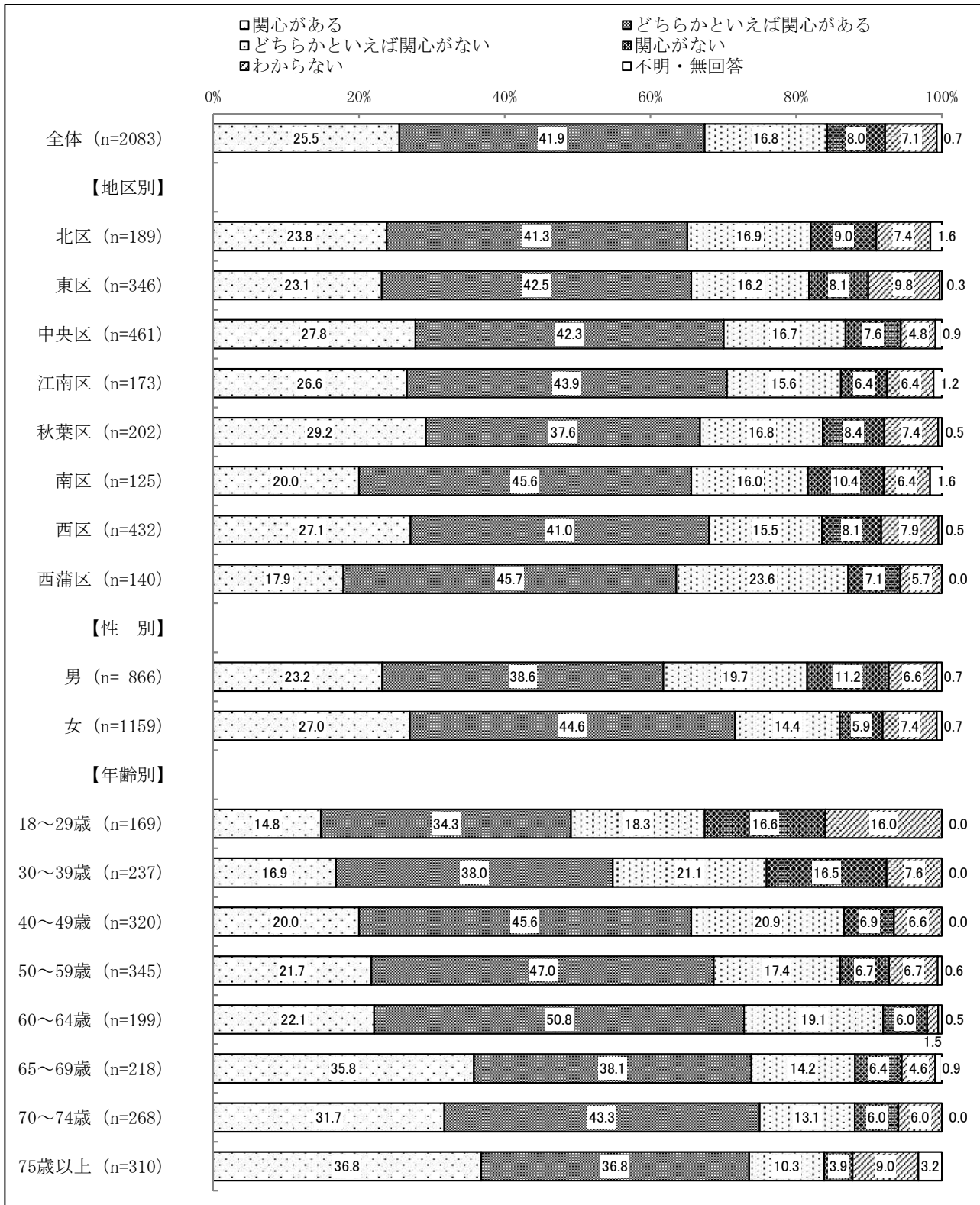
② 性別

『関心がある』の割合は、男性(61.8%)と比較して女性(71.6%)で割合が高い。

③ 年齢別

『関心がある』の割合は、70～74歳以上(75.0%)で最も高く、7割半ばとなった。年齢が高いほど割合が高くなる傾向にある。

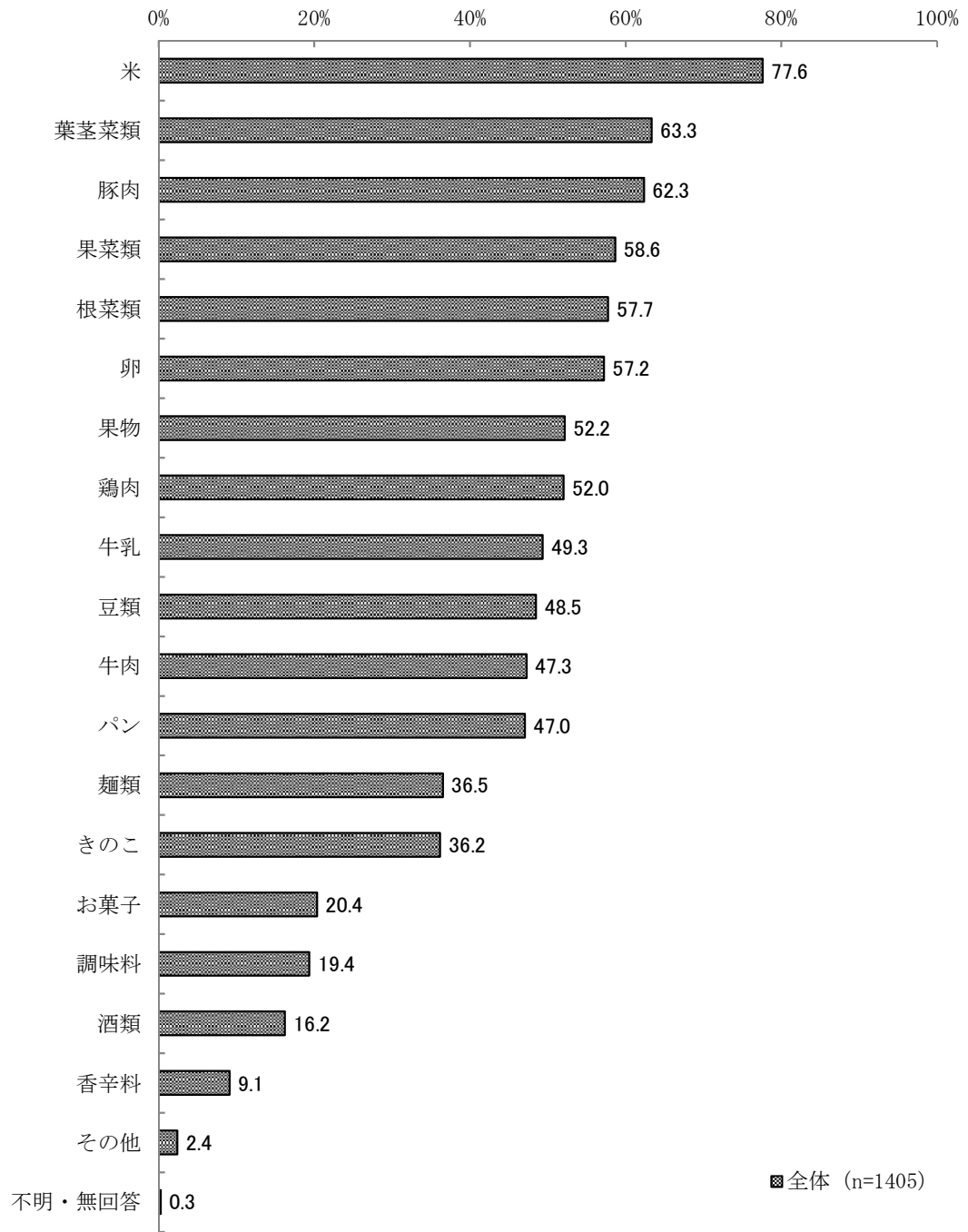
図 2-1 国産有機食品への関心（地区別/性別/年齢別）



(2) 国産有機食品の中で購入したい品目

問7 上記問6で、「1. 関心がある」または「2. どちらかといえば関心がある」と回答した方へ質問です。

あなたが、国産有機食品の中で購入したい品目は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)



— 国産有機食品の中で購入したい品目は8割弱が「米」 —

【全体結果】

「米」（77.6%）、「葉茎菜類」（63.3%）、「豚肉」（62.3%）の割合が高く、6割以上となった。一方、割合が低かったのは「調味料」（19.4%）、「酒類」（16.2%）、「香辛料」（9.1%）であった。

【属性別結果】（次ページ図 2-2 参照）

① 地区別

すべての地区で「米」と回答した割合が最も高い。

② 性別

「根菜類」、「葉茎菜類」、「卵」と回答した割合は、男性（各 51.6%、57.2%、51.4%）と比較して女性（各 62.5%、67.8%、61.4%）で高い。

③ 年齢別

すべての年代で「米」の割合が最も高く、6割を超えた。次いで、回答した割合が高かったのは、18～39歳では「果物」、40～69歳では「葉茎菜類」、70歳以上では「豚肉」が多い結果となった。

図 2-2 国産有機食品の中で購入したい品目（地区別/性別/年齢別） 1/4

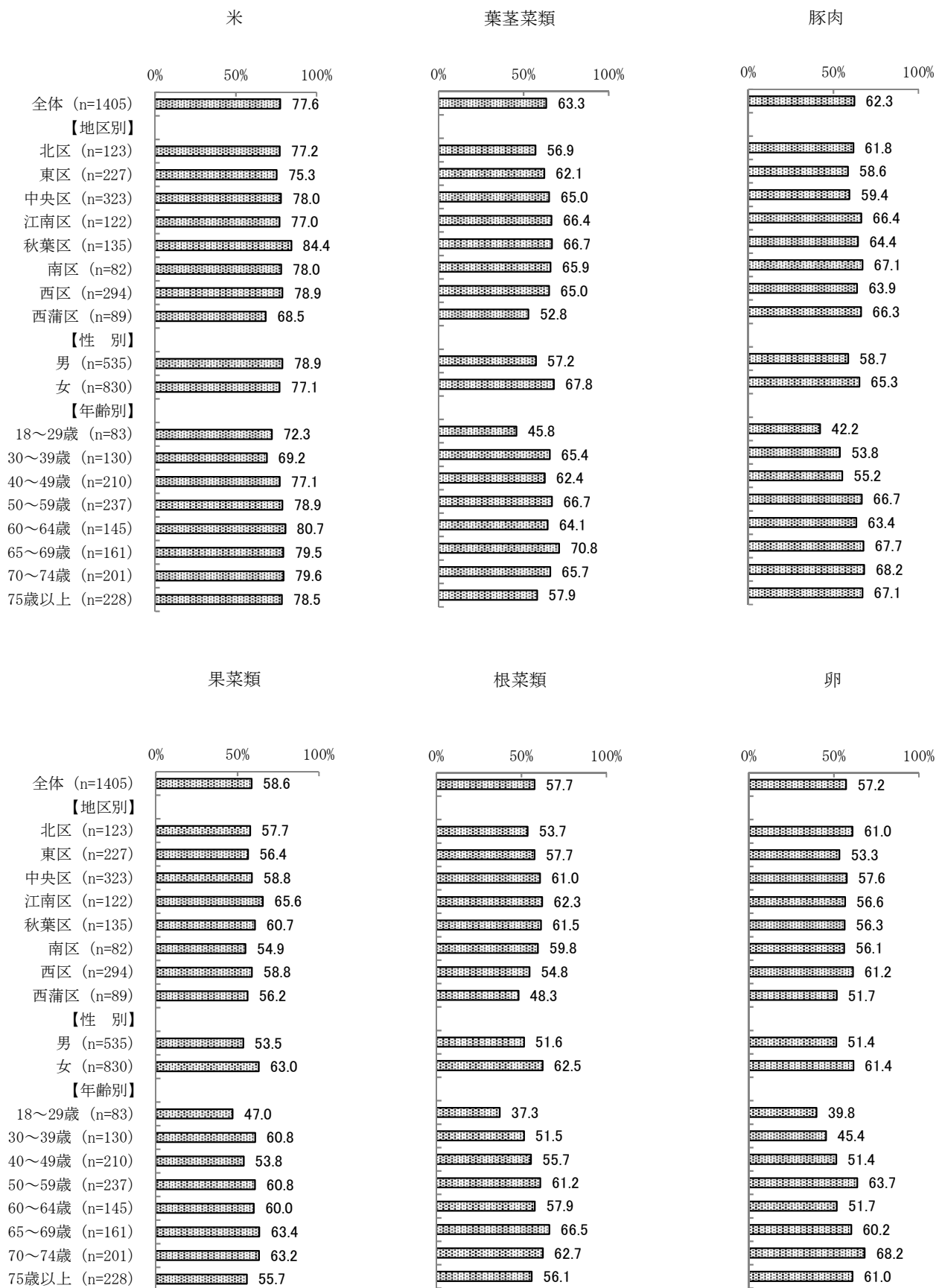


図 2-2 国産有機食品の中で購入したい品目（地区別/性別/年齢別） 2/4

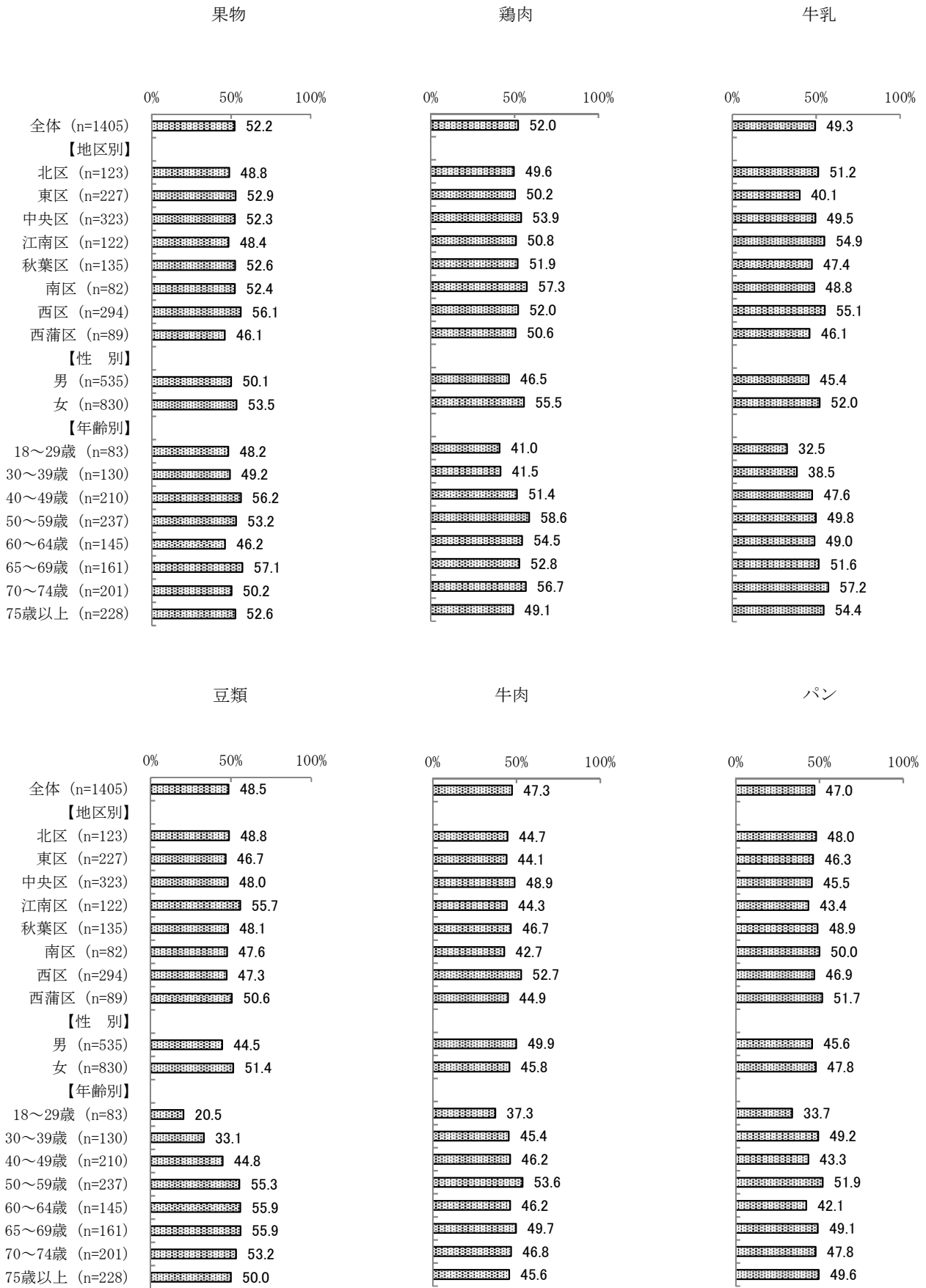


図 2-2 国産有機食品の中で購入したい品目（地区別/性別/年齢別） 3/4

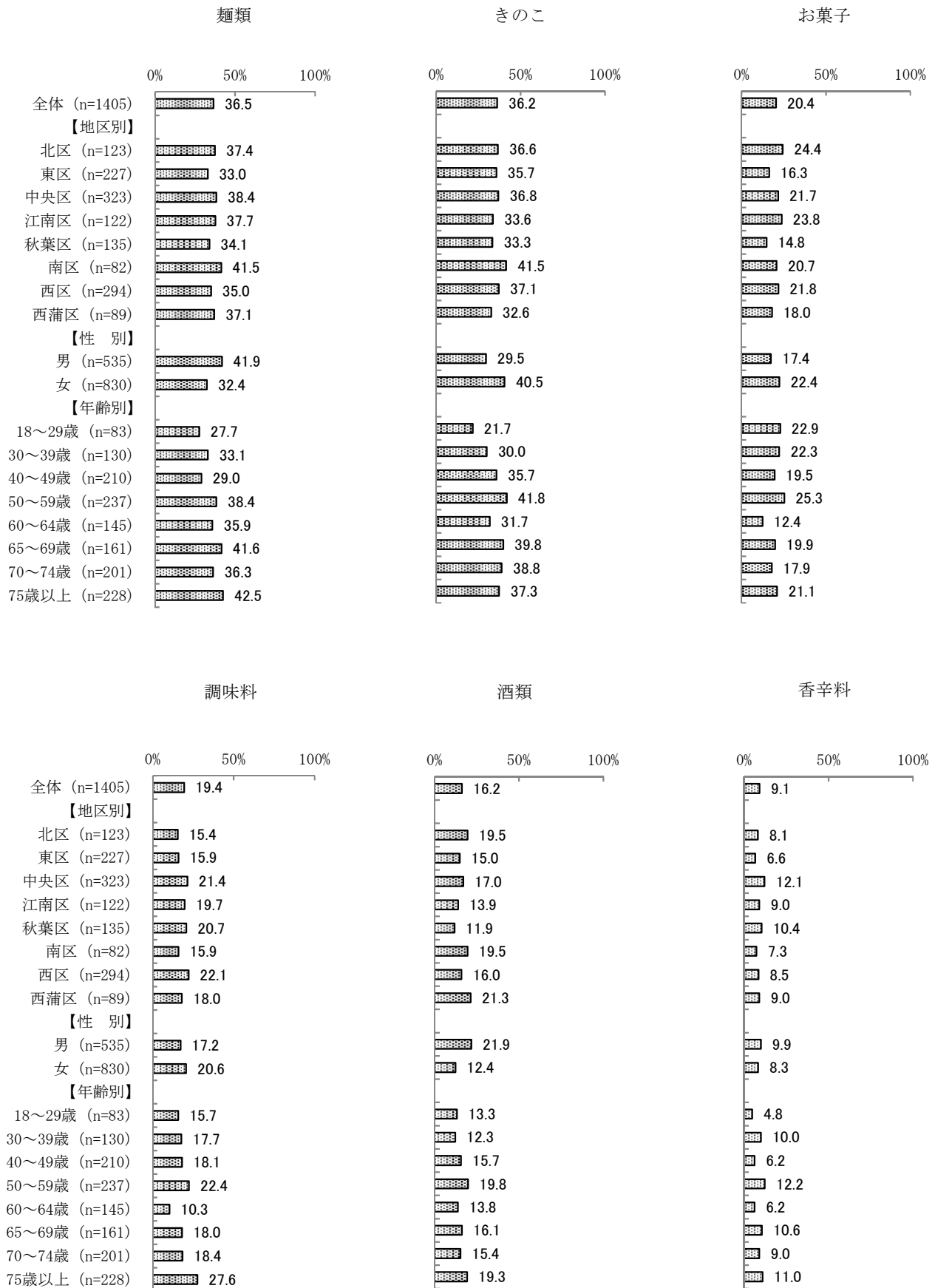
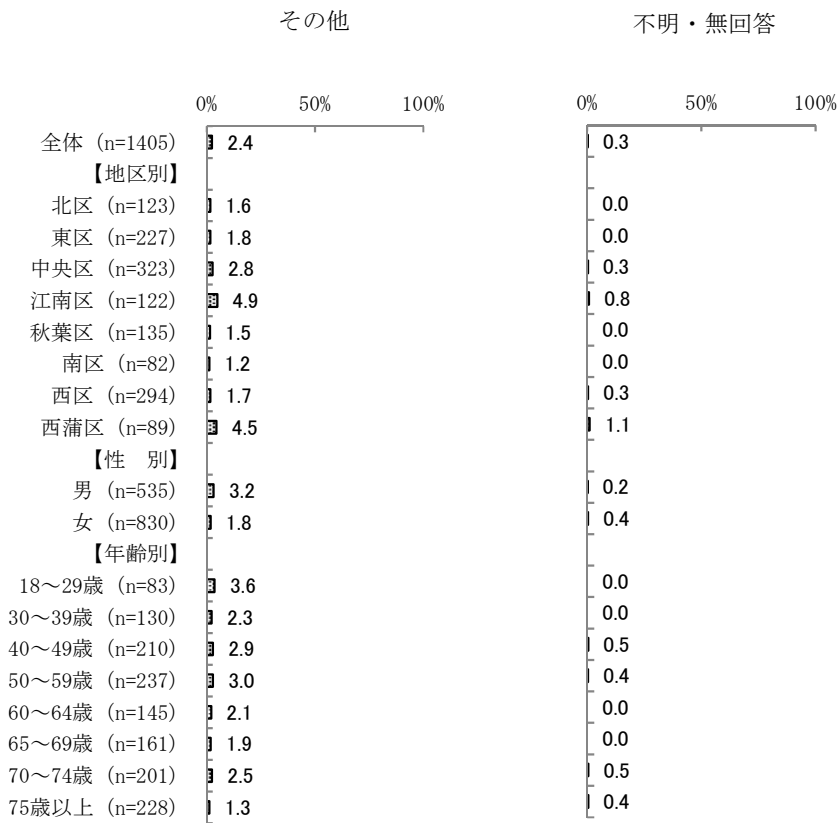
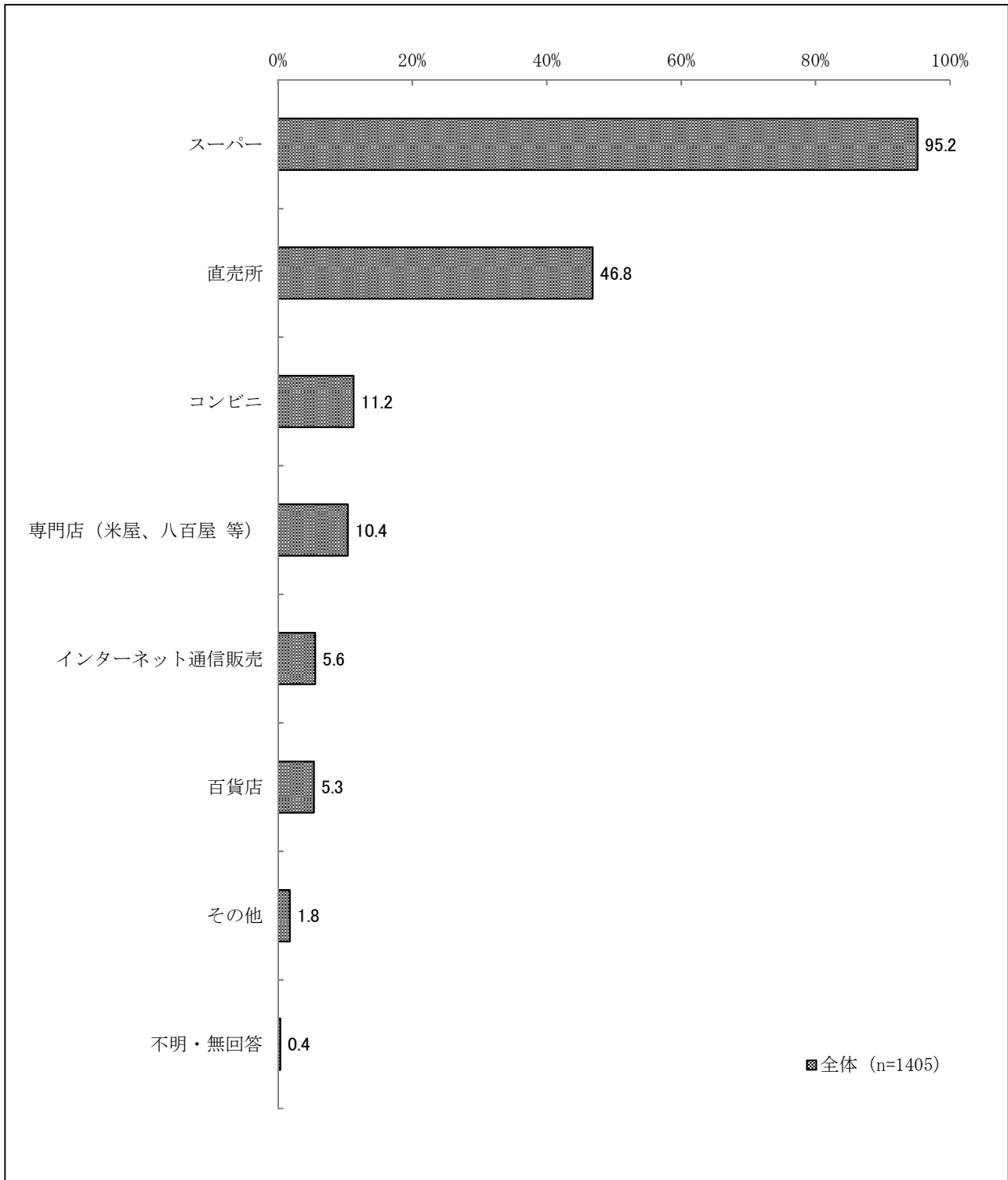


図 2-2 国産有機食品の中で購入したい品目（地区別/性別/年齢別） 4/4



(3) 国産有機食品を主に購入したい場所

問8 上記問6で、「1. 関心がある」または「2. どちらかといえば関心がある」と回答した方へ質問です。
あなたが、国産有機食品を主に購入したい場所は次のうちどれですか。(〇は2つまで)



— 9割半ばが「スーパー」で購入したい—

【全体結果】

「スーパー」（95.2%）が最も割合が高く、9割半ばとなった。次いで、「直売所」が（46.8%）、「コンビニ」が（11.2%）、「専門店（米屋、八百屋等）」が（10.4%）と続く。

【属性別結果】（次ページ図2-3参照）

① 地区別

すべての地区で「スーパー」と回答した割合が最も高かった。「直売所」と回答した割合は、北区（56.9%）と秋葉区（56.3%）で高く、5割半ばを超えている。

② 性別

「直売所」と回答した割合は、男性（41.9%）と比べて女性（50.7%）で割合が高い。

③ 年齢別

すべての年代で「スーパー」と回答した割合が最も高かった。「直売所」については、60～64歳（61.4%）で最も高く、6割を超えた。18～29歳では、「コンビニ」（20.5%）の割合が他の年代に比べて高い。

図 2-3 国産有機食品を主に購入したい場所（地区別/性別/年齢別） 1/2

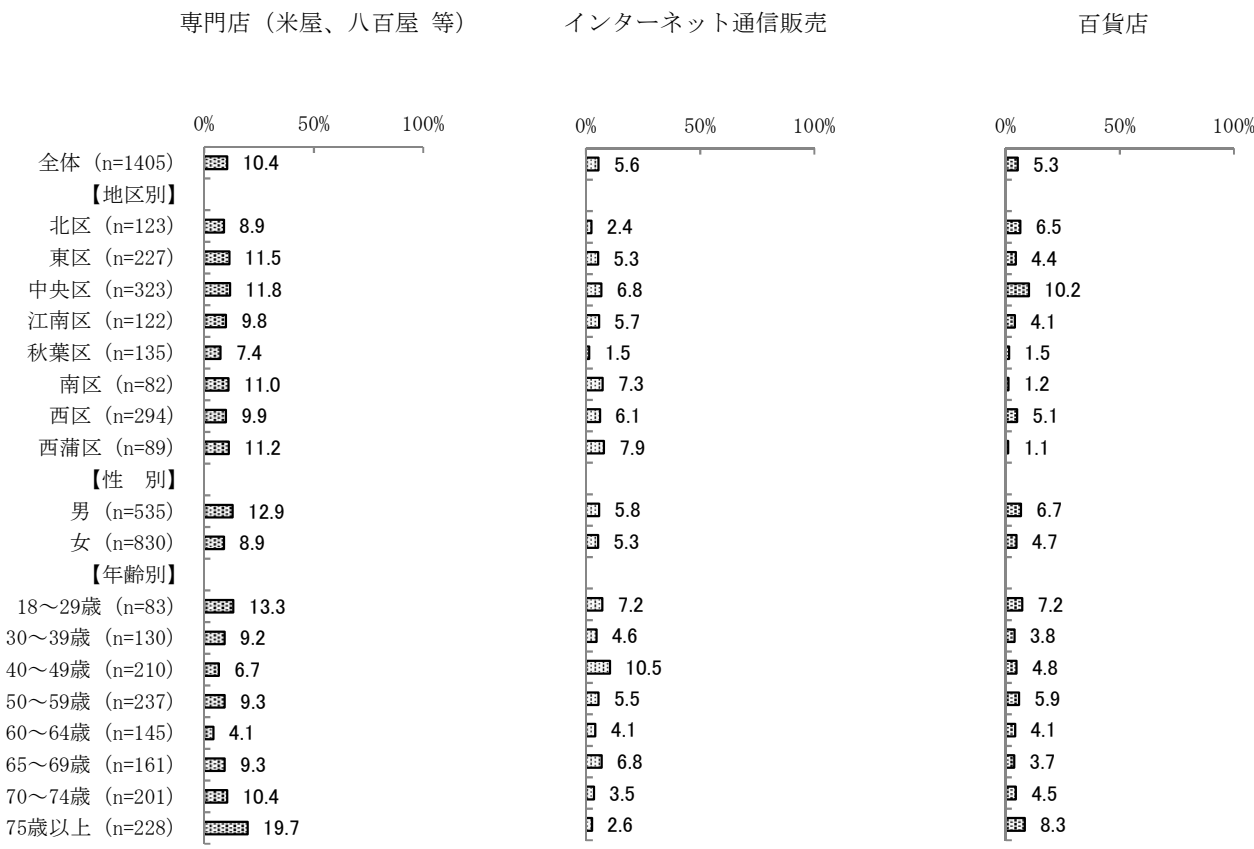
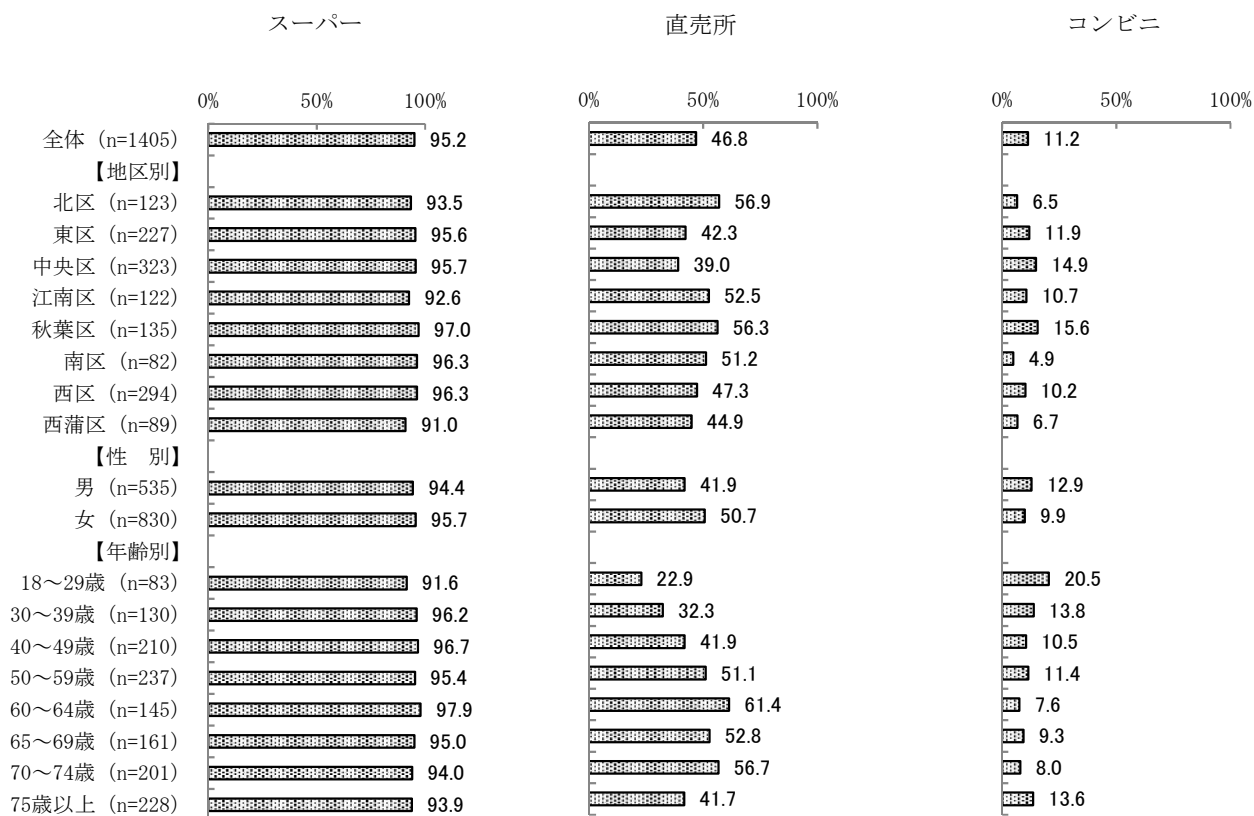
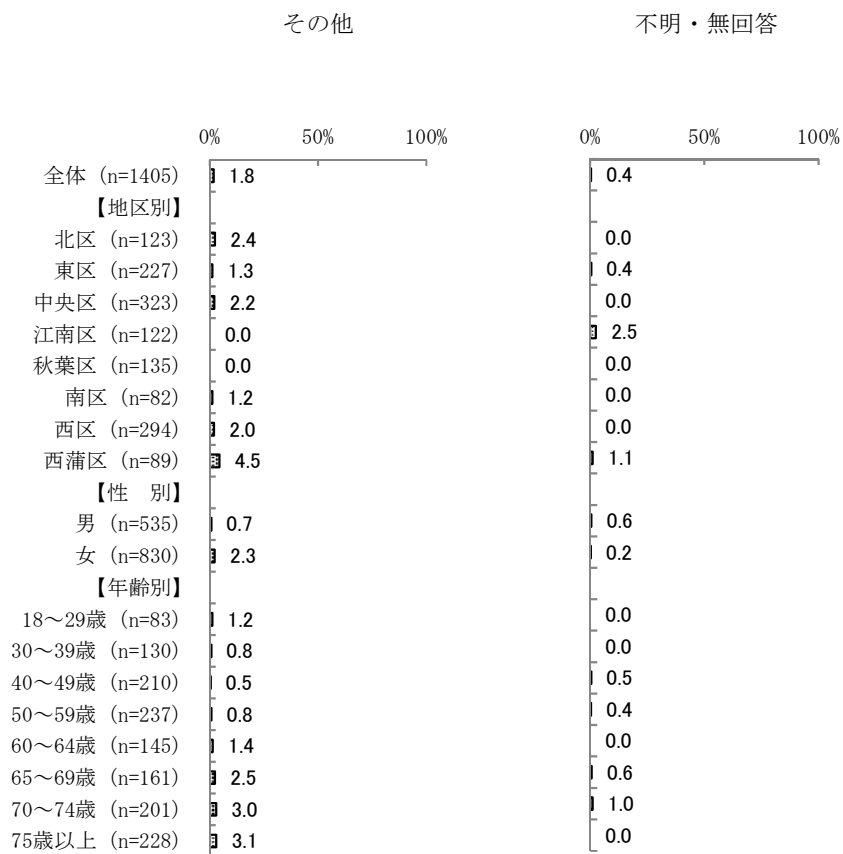


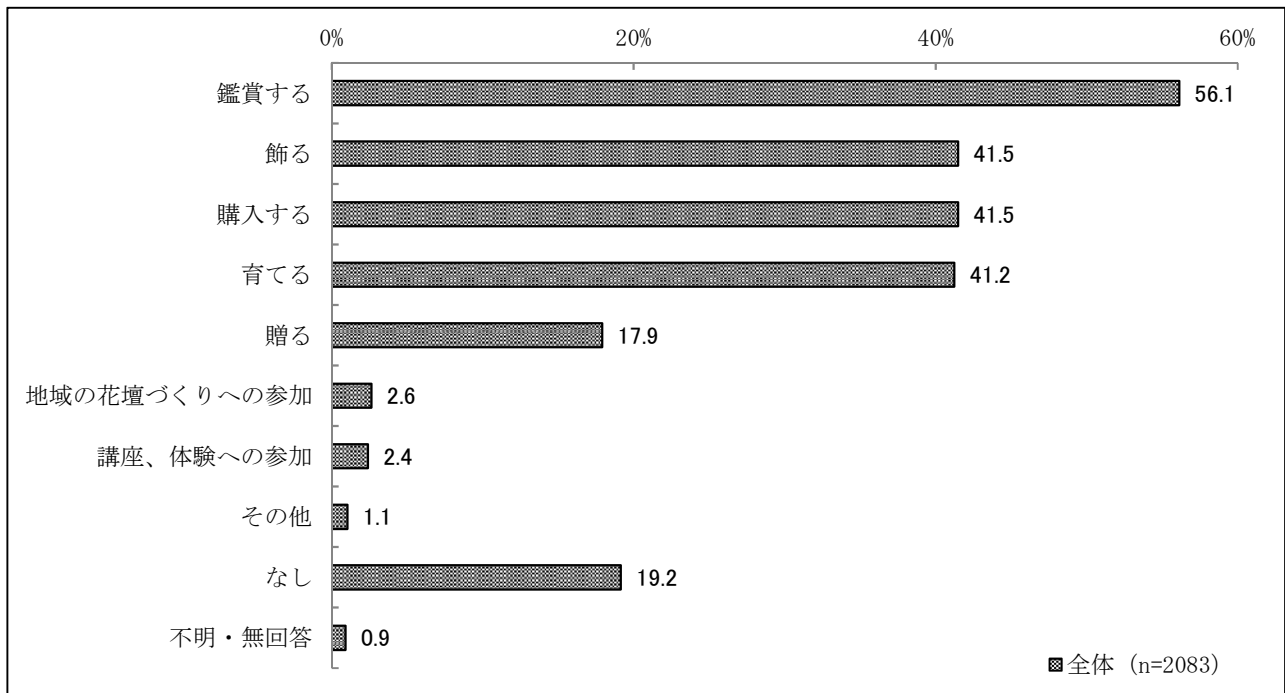
図 2-3 国産有機食品を主に購入したい場所（地区別/性別/年齢別） 2/2



3. 新潟市の「花」や「花育」について

(1) 花や植物に触れる機会

問9 あなたが、日常生活で花や植物に触れる機会は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)



— 5割半ばが「鑑賞する」 —

【全体結果】

「鑑賞する」(56.1%)、「飾る」(41.5%)、「購入する」(41.5%)「育てる」(41.2%)の割合が高く、4割以上となった。次いで、「なし」(19.2%)、「贈る」(17.9%)が1割台で続く。

【属性別結果】(次ページ図3-1参照)

① 地区別

「鑑賞する」と回答した割合は、西区(61.1%)で最も高く、すべての地区で5割を超えた。

「飾る」「購入する」の割合は、南区(各47.2%、45.6%)で高く、「育てる」の割合は江南区(51.4%)で高い。

② 性別

男女とも「鑑賞する」と回答した割合が最も高く、次いで多かったのが、男性では「育てる」(35.5%)、女性では「飾る」(51.3%)という結果となった。

③ 年齢別

70～74歳で「鑑賞する」(65.3%)と回答した割合が最も高く、6割半ばとなった。「鑑賞する」「飾る」「購入する」「育てる」は、年齢が高いほど割合も高くなる傾向にある。

図 3-1 花や植物に触れる機会（地区別/性別/年齢別） 1/2

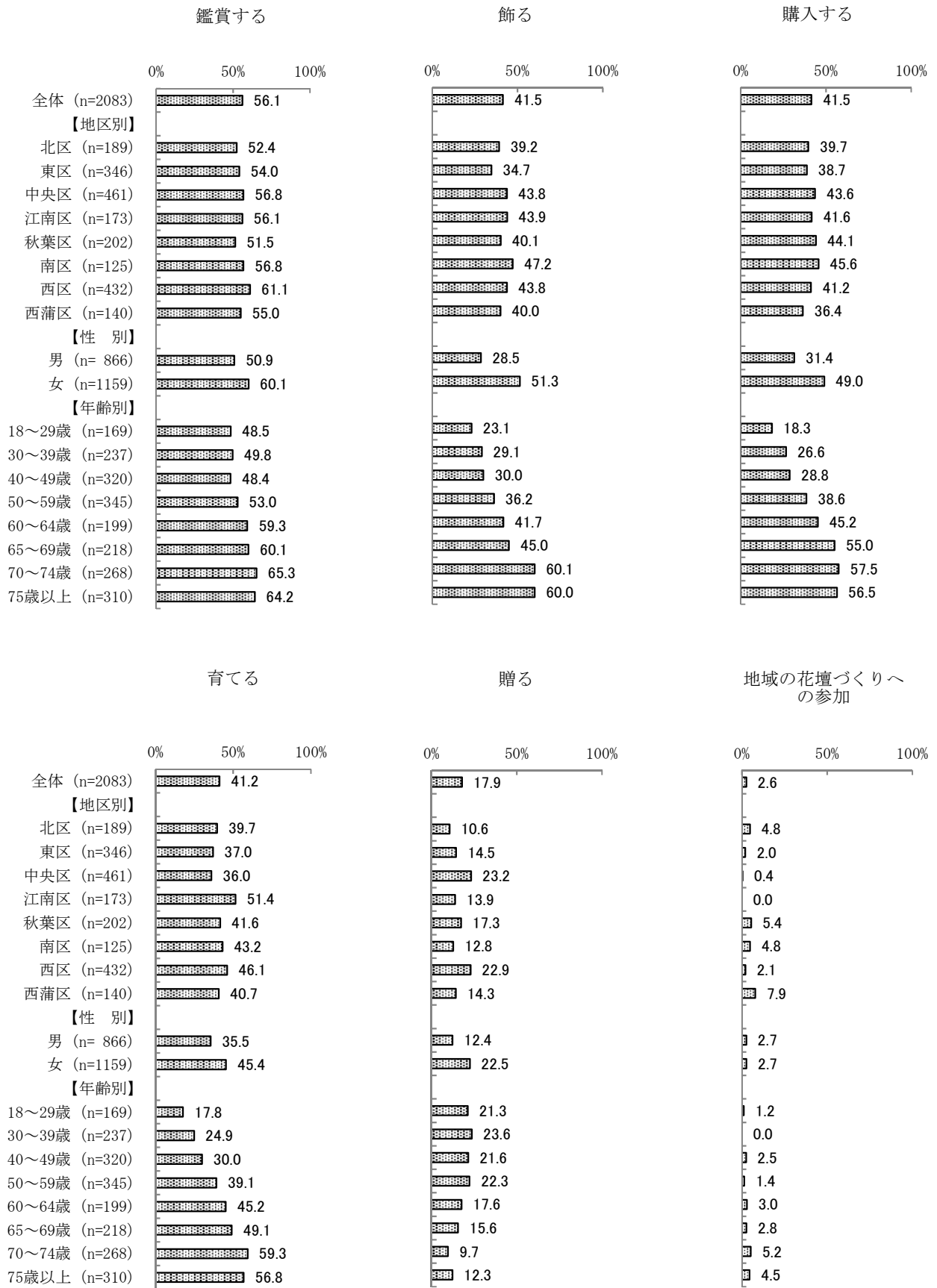
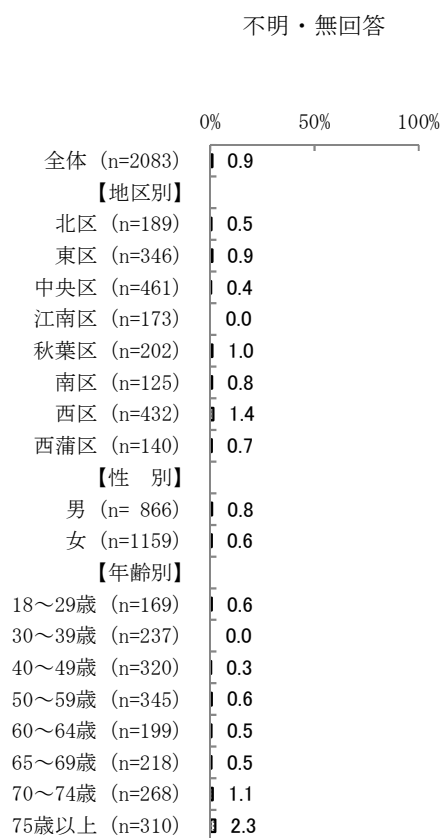
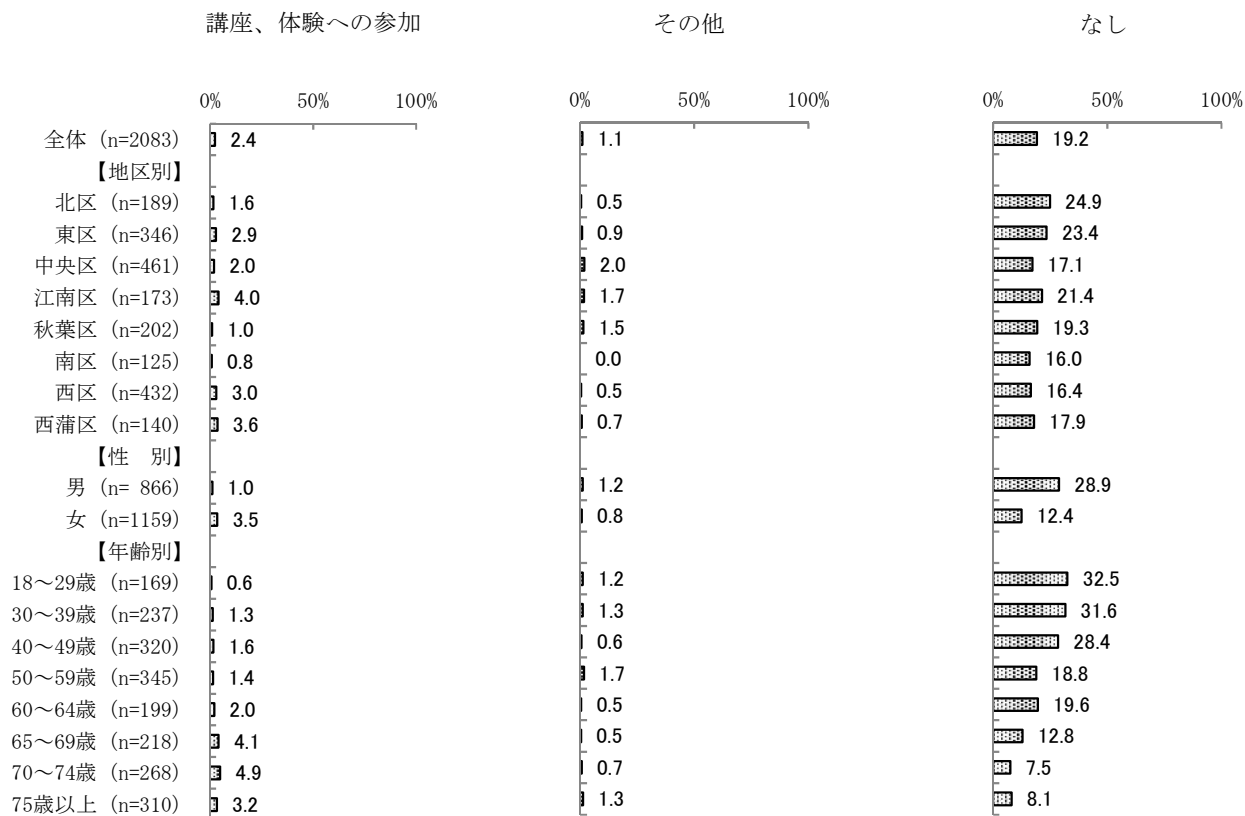


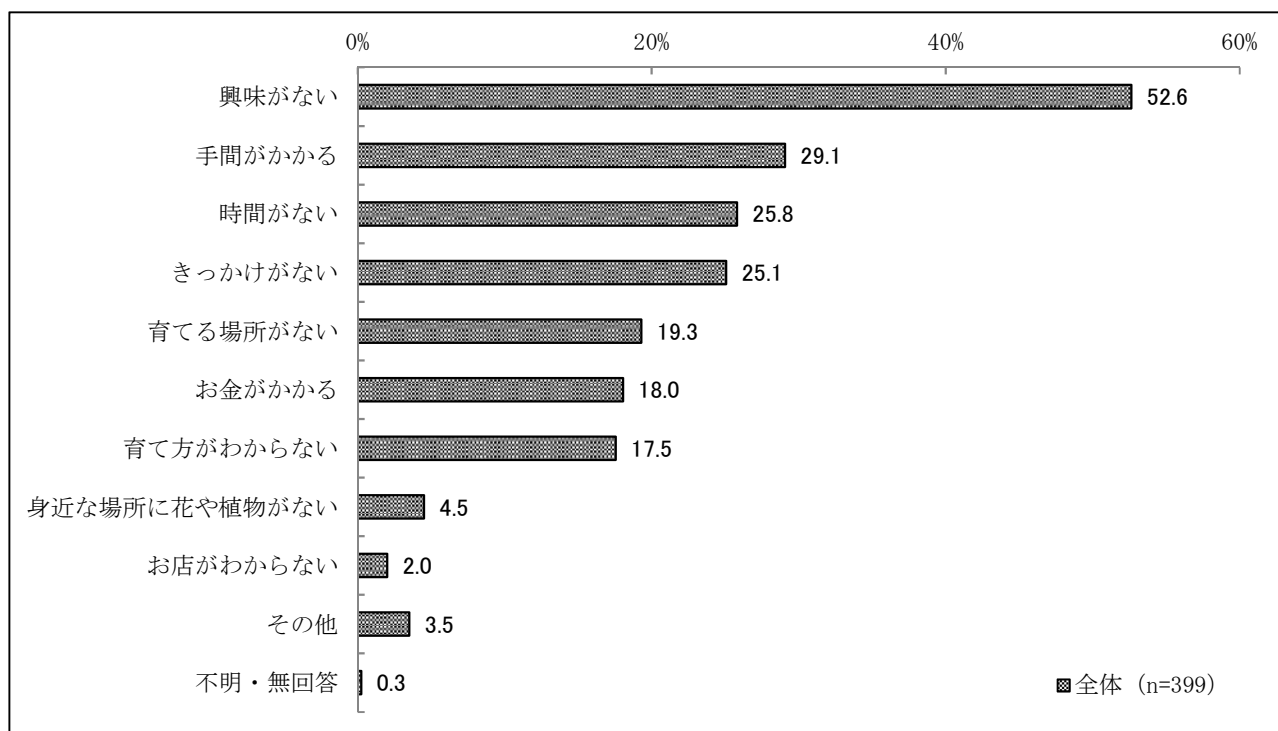
図 3-1 花や植物に触れる機会（地区別/性別/年齢別） 2/2



(2) 花や植物に触れる機会がない理由

問10 上記問9で「8. なし」と回答した方へ質問です。

あなたが、花や植物に触れる機会がない理由としてあてはまるものは、次のうちどれですか。
(〇はいくつでも)



— 約5割が「興味がない」 —

【全体結果】

「興味がない」(52.6%)が最も高く5割を超え、「手間がかかる」(29.1%)、「時間がない」(25.8%)、「きっかけがない」(25.1%)が2割台で続く。

【属性別結果】(次ページ図3-2参照)

① 地区別

「興味がない」の割合は南区、西蒲区(各60.0%)で高く、6割だった。

② 性別

「興味がない」は、女性(37.5%)と比較して男性(61.6%)で割合が高い。

③ 年齢別

「興味がない」の割合はすべての年代で高く、60～64歳で7割を超えた。65～69歳では、「興味がない」、「育てる場所がない」(各39.3%)が最も高く、約4割となった。

図 3-2 花や植物に触れる機会がない理由（地区別/性別/年齢別） 1/2

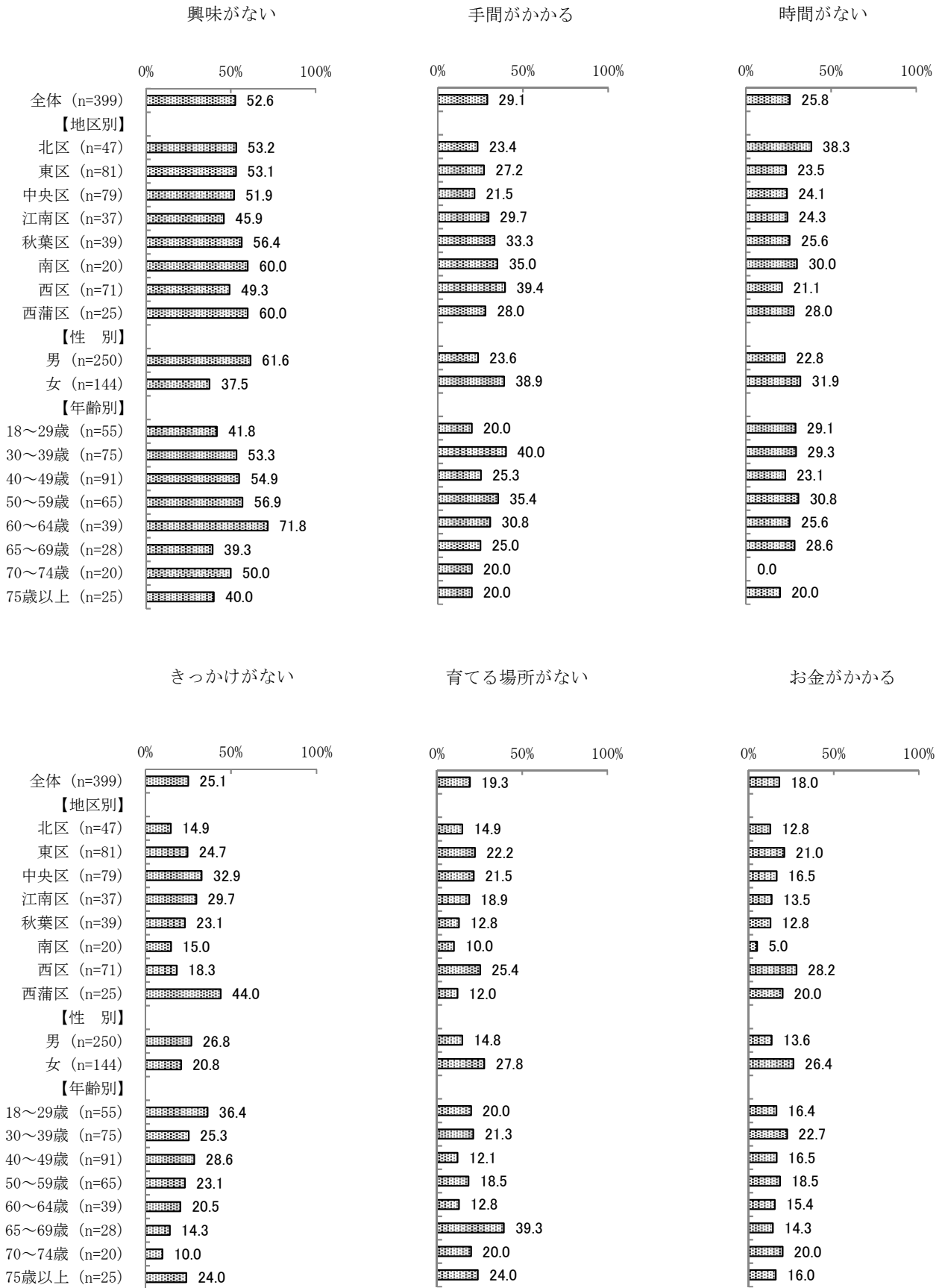
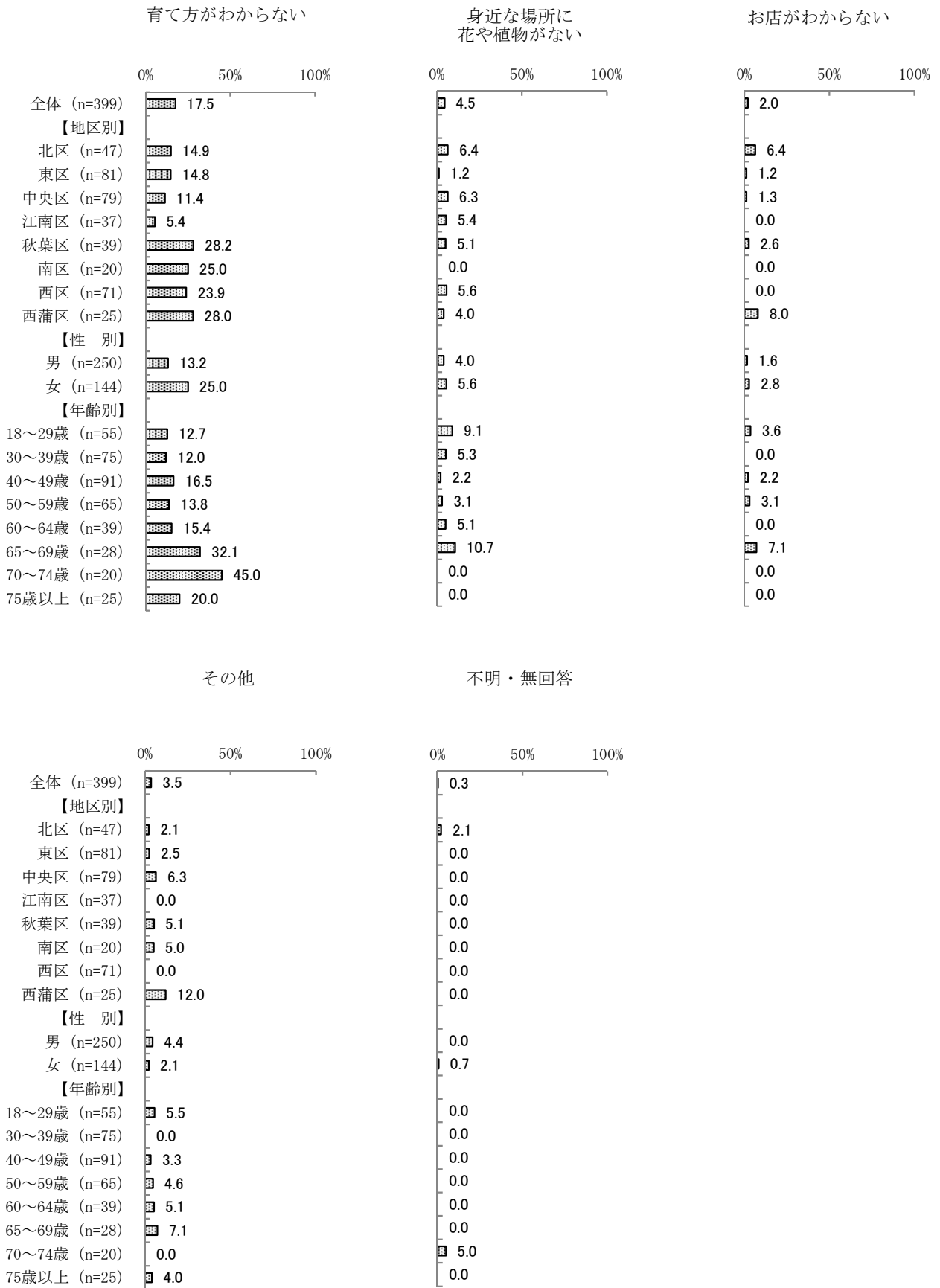
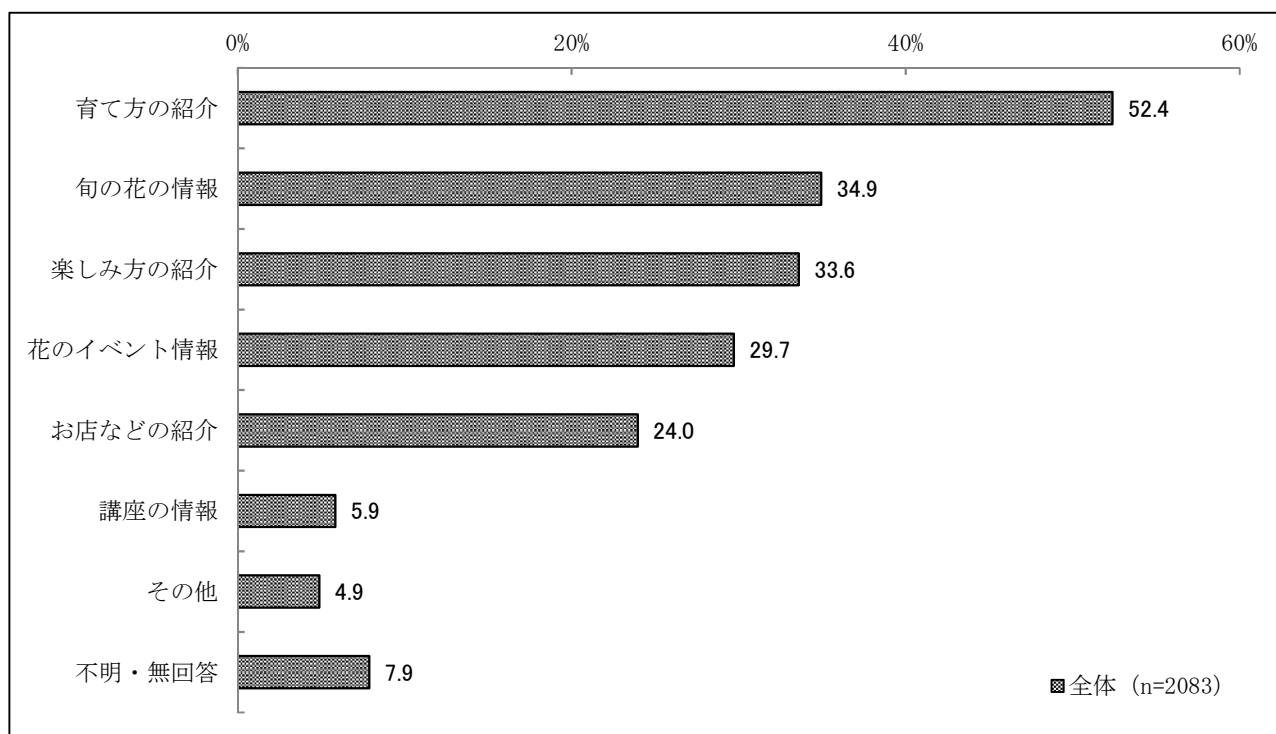


図 3-2 花や植物に触れる機会がない理由（地区別/性別/年齢別） 2/2



(3) 花や植物に関して、欲しい情報

問11 あなたが、花や植物に関して、欲しい情報は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)



— 「育て方の紹介」が5割以上 —

【全体結果】

「育て方の紹介」(52.4%)の割合が最も高く、5割強となった。次いで、「旬の花の情報」(34.9%)、「楽しみ方の紹介」(33.6%)が3割台、「花のイベント情報」(29.7%)、「お店などの紹介」(24.0%)が2割台で続く。

【属性別結果】(次ページ図3-3参照)

① 地区別

「育て方の紹介」については、西蒲区(58.6%)で最も高く、約6割となった。「旬の花の情報」についても、西蒲区(45.0%)で割合が最も高く、「楽しみ方の紹介」については、南区(37.6%)で割合が最も高かった。

② 性別

「育て方の紹介」、「旬の花の情報」、「花のイベント情報」については、男性(各47.0%、31.8%、22.3%)と比較して女性(各56.7%、37.7%、35.2%)で割合が高い。

③ 年齢別

「育て方の紹介」の割合は、65~74歳で割合が高く、6割を超えた。「楽しみ方の紹介」では18~29歳(46.2%)で割合が最も高い。

図 3-3 花や植物に関して、欲しい情報（地区別/性別/年齢別） 1/2

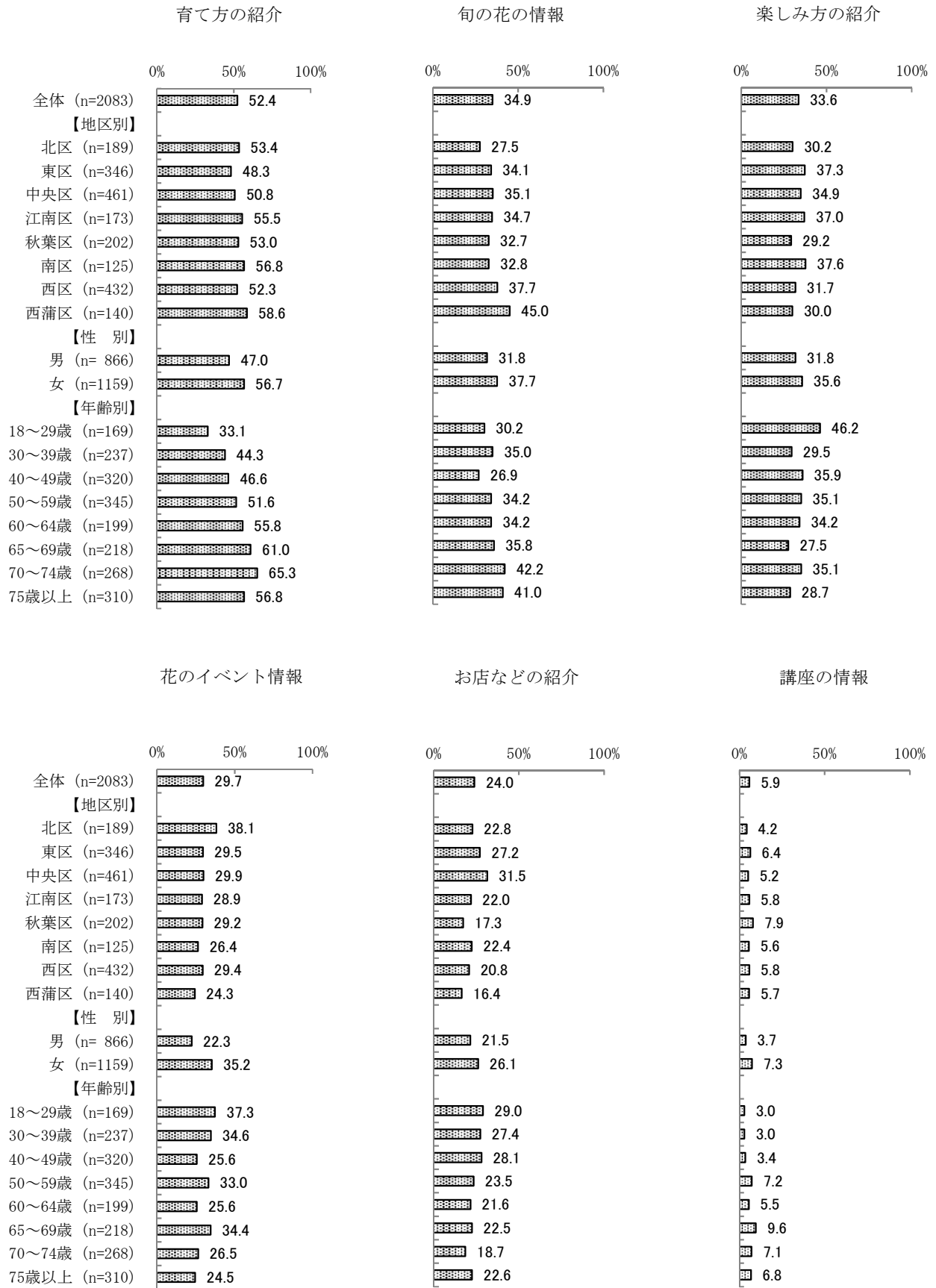
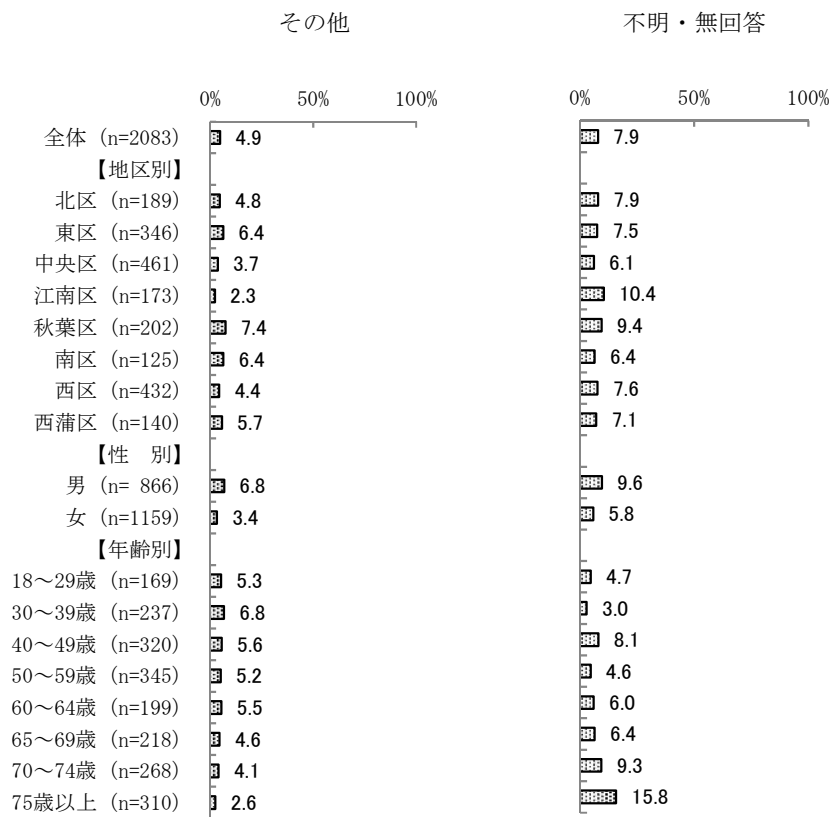
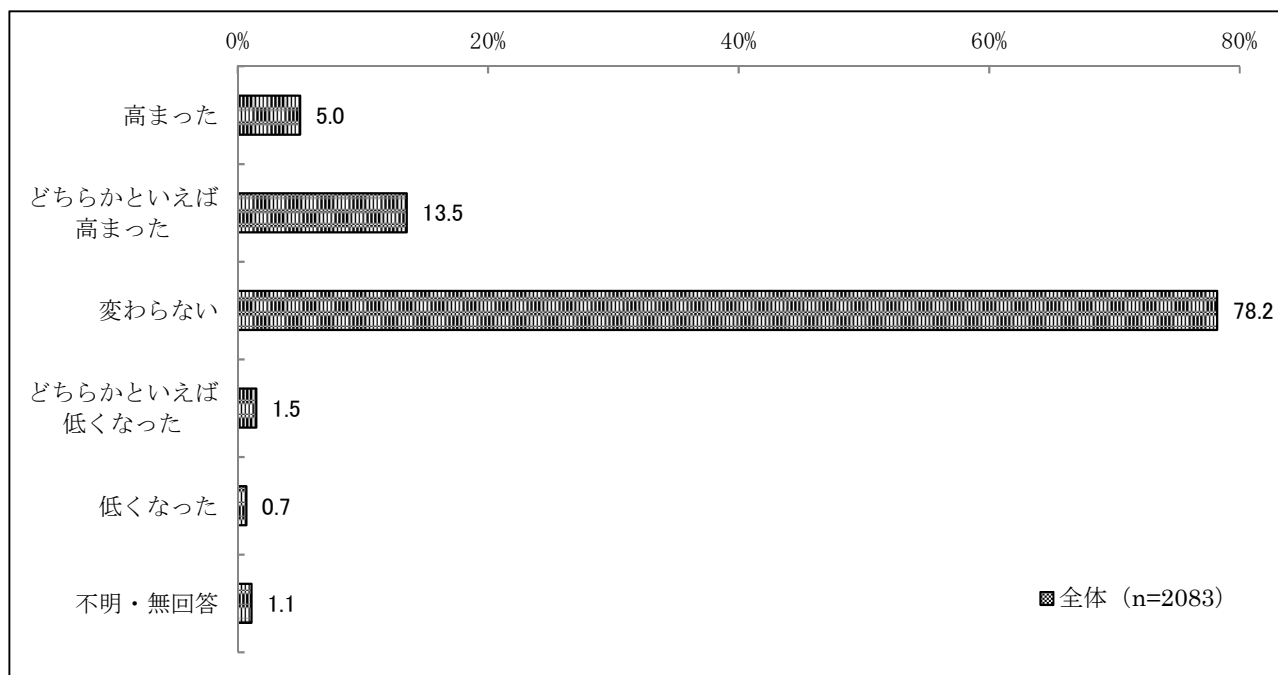


図 3-3 花や植物に関して、欲しい情報（地区別/性別/年齢別） 2/2



(4) 新型コロナウイルス感染症による花や植物への関心の変化

問12 あなたは、新型コロナウイルス感染拡大による日常生活の変化により、花や植物への関心が高まりましたか。(○は1つだけ)



— 『高まった』は約2割 —

【全体結果】

「高まった」(5.0%)、「どちらかといえば高まった」(13.5%)を合わせた『高まった』(18.5%)は約2割となった。「変わらない」(78.2%)が最も高く、約8割となった。

「低くなった」(0.7%)、「どちらかといえば低くなった」(1.5%)を合わせた『低くなった』と回答した割合は(2.2%)とわずかであった。

【属性別結果】(次ページ図3-4参照)

① 地区別

『高まった』と回答した割合は、東区(21.1%)で最も高く、2割を超えた。

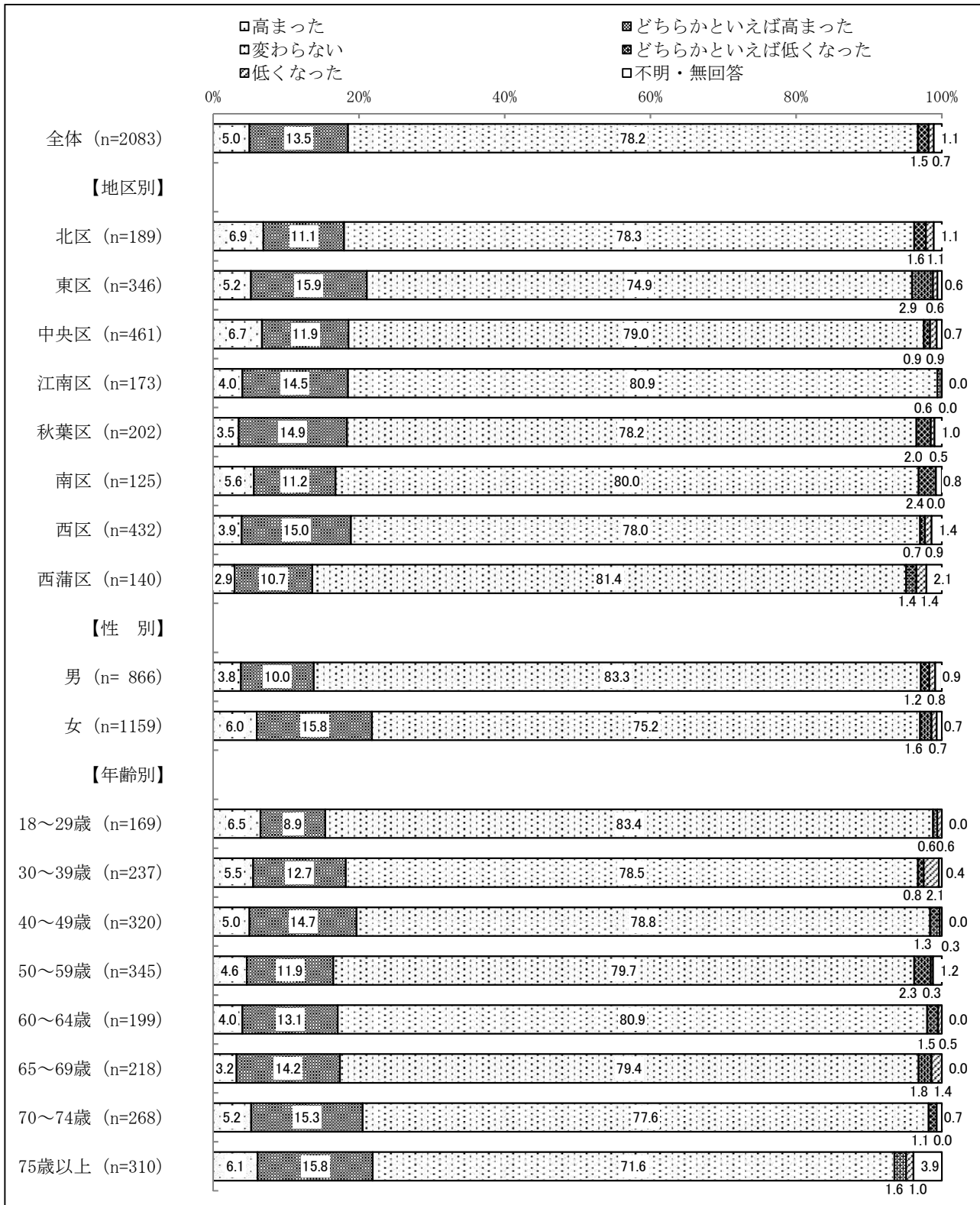
② 性別

『高まった』と回答した割合は、男性(13.9%)と比較して女性(21.7%)で割合が高い。

③ 年齢別

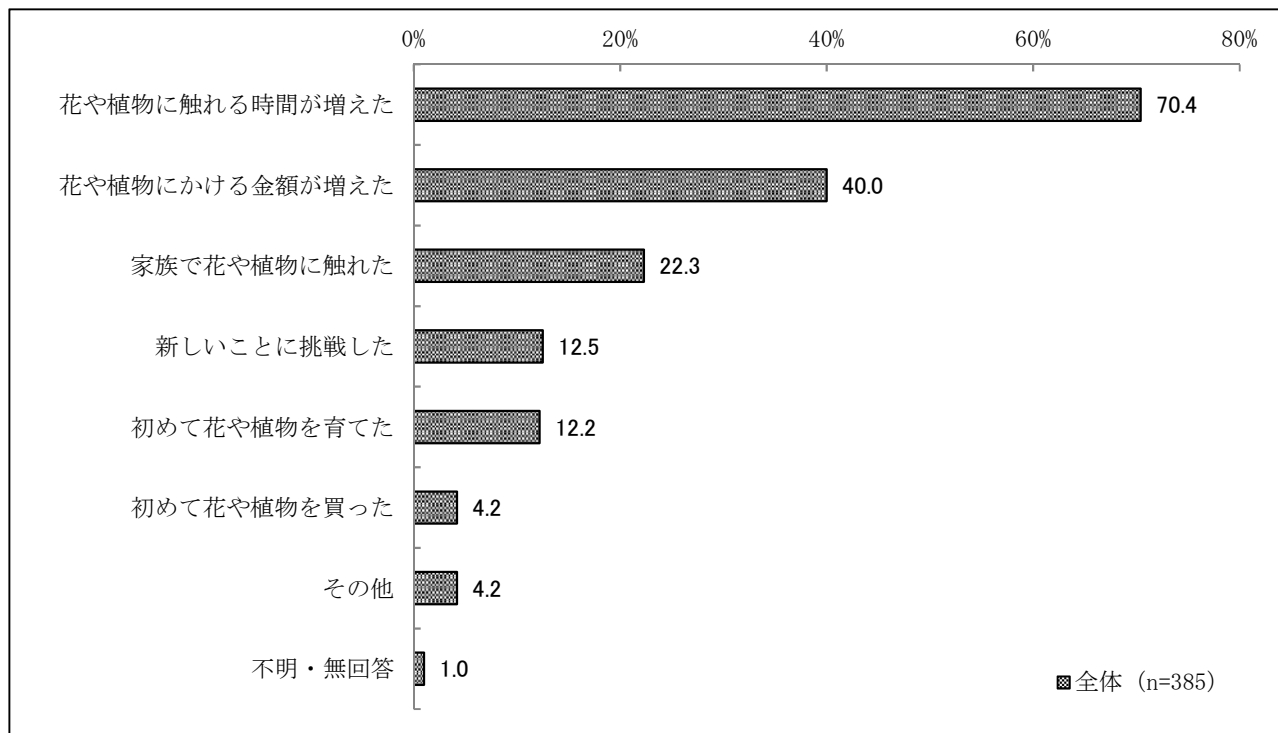
『高まった』と回答した割合は、75歳以上(21.9%)で最も高く、2割を超えた。

図 3-4 新型コロナウイルス感染症による花や植物への関心の変化（地区別/性別/年齢別）



(5) 花や植物とのかかわり

問13 上記問12で「1. 高まった」または「2. どちらかといえば高まった」と回答した方へ質問です。
あなたの、花や植物とのかかわりで、あてはまるものは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)



— 7割以上が「花や植物に触れる時間が増えた」 —

【全体結果】

「花や植物に触れる時間が増えた」(70.4%)で最も高く、7割以上となった。次いで、「花や植物にかける金額が増えた」(40.0%)、「家族で花や植物に触れた」(22.3%)が続く。

【属性別結果】(次ページ図3-5参照)

① 地区別

「花や植物に触れる時間が増えた」については、江南区(81.3%)、南区(81.0%)で高く、8割を超えた。「初めて花や植物を育てた」については、南区(23.8%)で高い。

② 性別

「花や植物に触れる時間が増えた」、「花や植物にかける金額が増えた」の割合は、男性(各66.7%、32.5%)と比較して女性(各73.8%、43.7%)で割合が高い。

③ 年齢別

「花や植物に触れる時間が増えた」の割合は、65~74歳で8割半ばを超えた。「初めて花や植物を育てた」の割合は、年齢が低いほど割合が高くなる傾向にある。

図 3-5 花や植物とのかかわり（地区別/性別/年齢別） 1/2

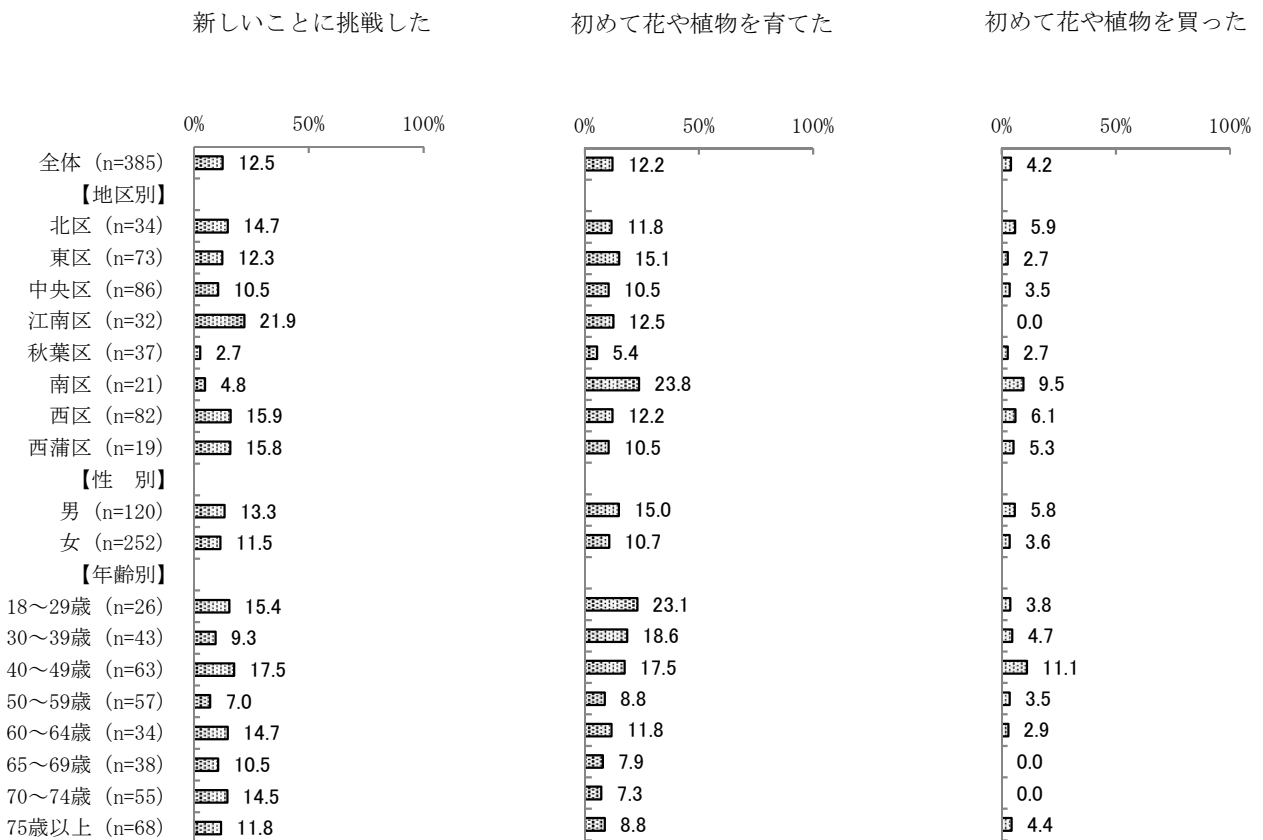
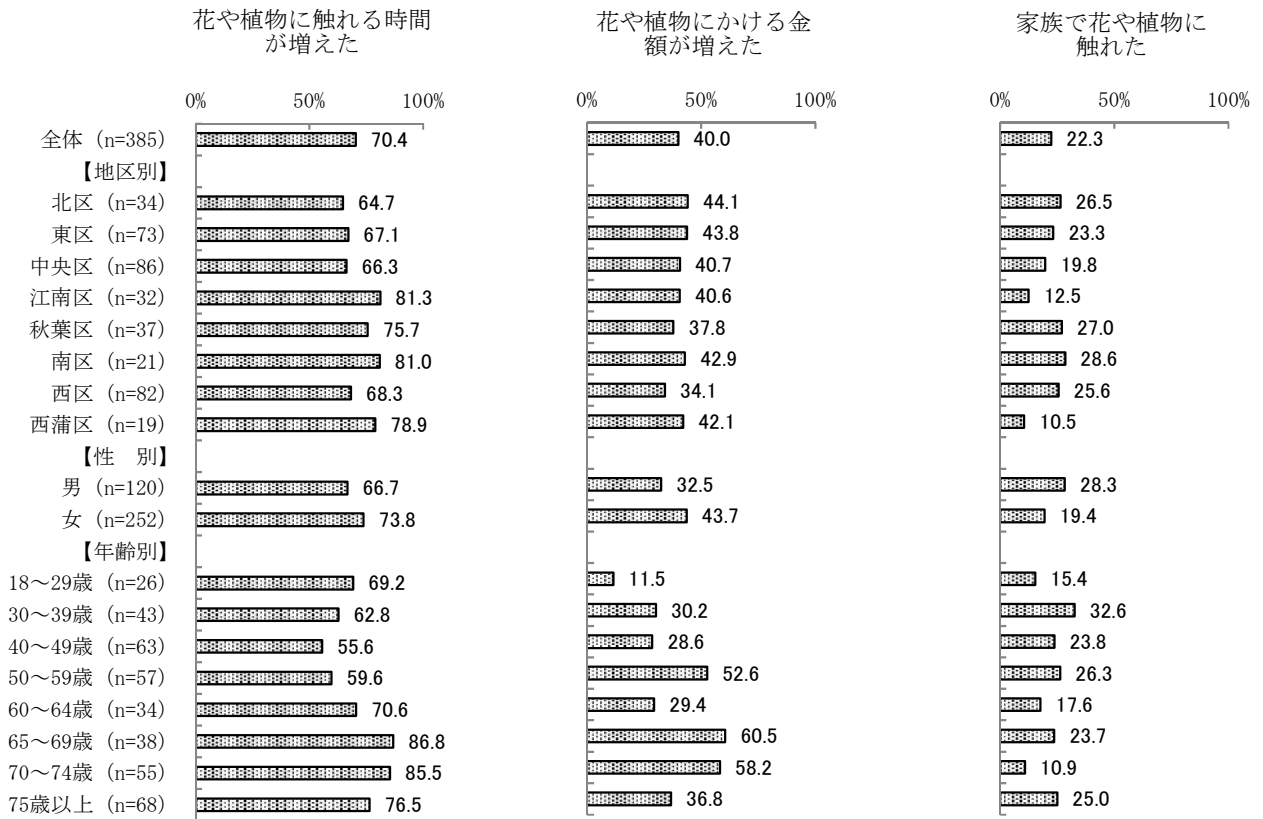
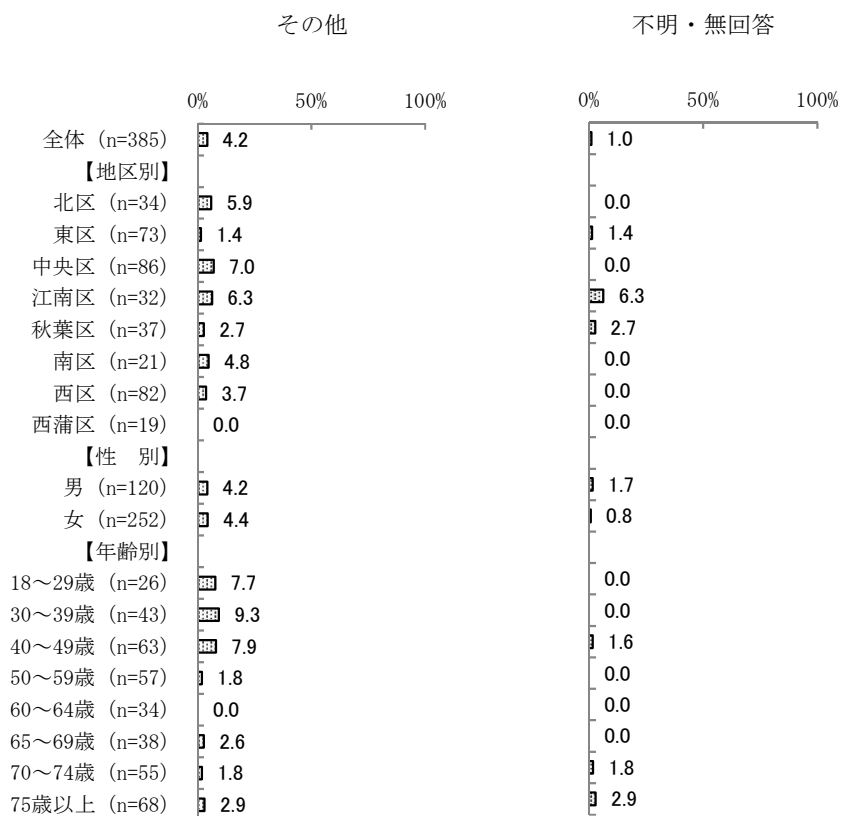
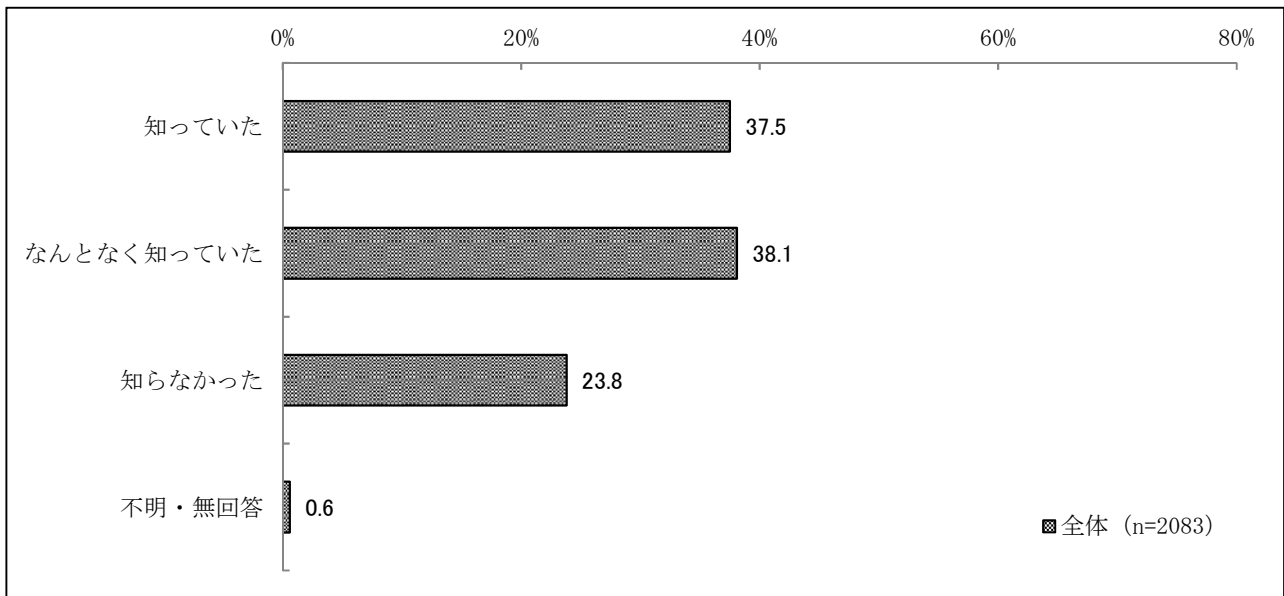


図 3-5 花や植物とのかかわり（地区別/性別/年齢別） 2/2



(6) 花の生産についての認知度

問14 あなたは、新潟市が花の生産が盛んであることを知っていましたか。(〇は1つだけ)



— 7割半ばが『知っていた』 —

【全体結果】

「知っていた」(37.5%)、「なんとなく知っていた」(38.1%)を合わせた『知っていた』(75.6%)は7割半ばとなった。

【属性別結果】(次ページ図3-6参照)

① 地区別

『知っていた』の割合は、秋葉区(81.2%)で最も高く、その他の地区でも7割を超えた。

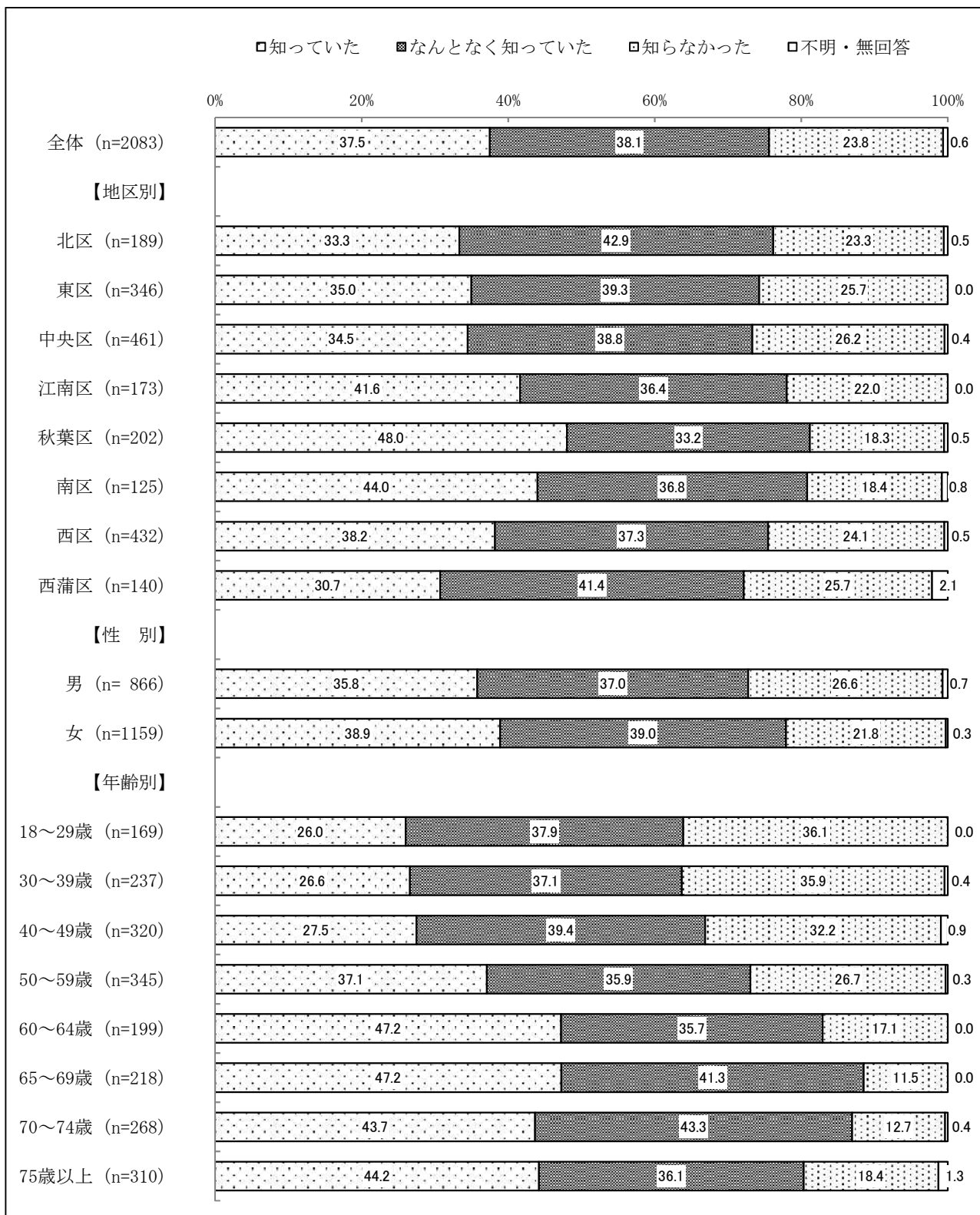
② 性別

『知っていた』は、男性(72.7%)と比較して女性(77.9%)で割合が高い。

③ 年齢別

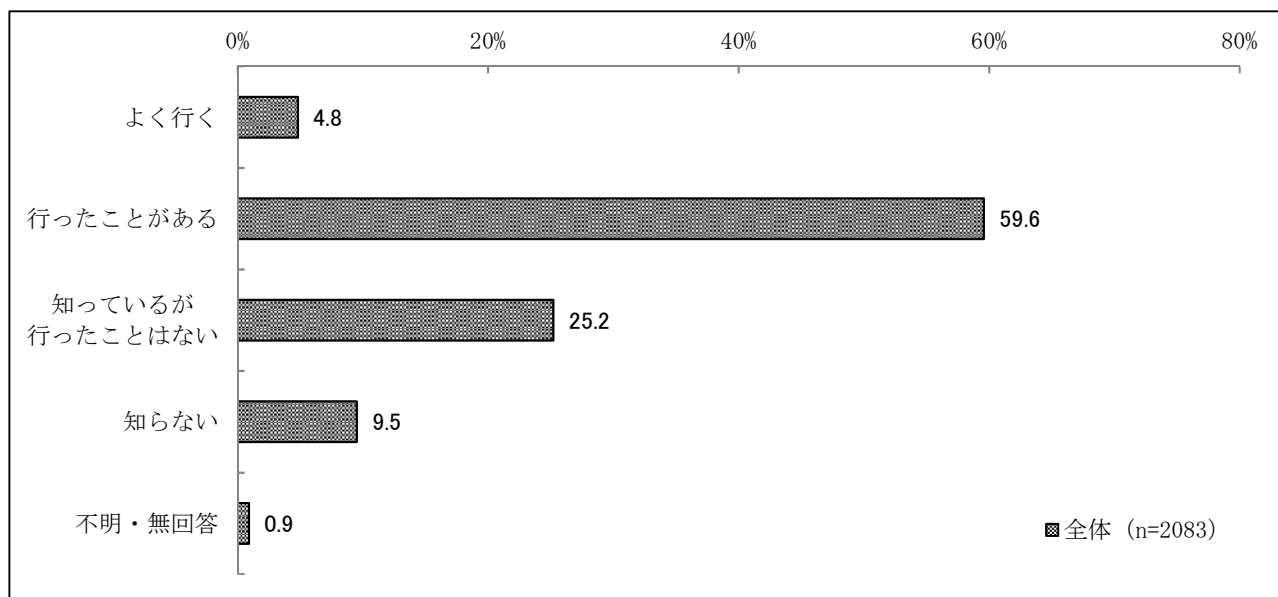
『知っていた』の割合は、65～69歳(88.5%)で最も高く、その他の年代でも6割を超えた。

図 3-6 花の生産についての認知度（地区別/性別/年齢別）



(7) 「いくとぴあ食花」のガーデンや「食育・花育センター」への来訪

問15 あなたは、「いくとぴあ食花」のガーデンや「食育・花育センター」に行ったことがありますか。(〇は1つだけ)



— 6割半ばが『行ったことがある』 —

【全体結果】

「よく行く」(4.8%)、「行ったことがある」(59.6%)を合わせた『行ったことがある』(64.4%)は6割半ばとなった。一方で、「知っているが行ったことはない」(25.2%)は2割半ばであった。

「知らない」(9.5%)と回答した割合は約1割となった。

【属性別結果】(次ページ図3-7参照)

① 地区別

『行ったことがある』の割合は、江南区(71.7%)と中央区(70.7%)で高い。

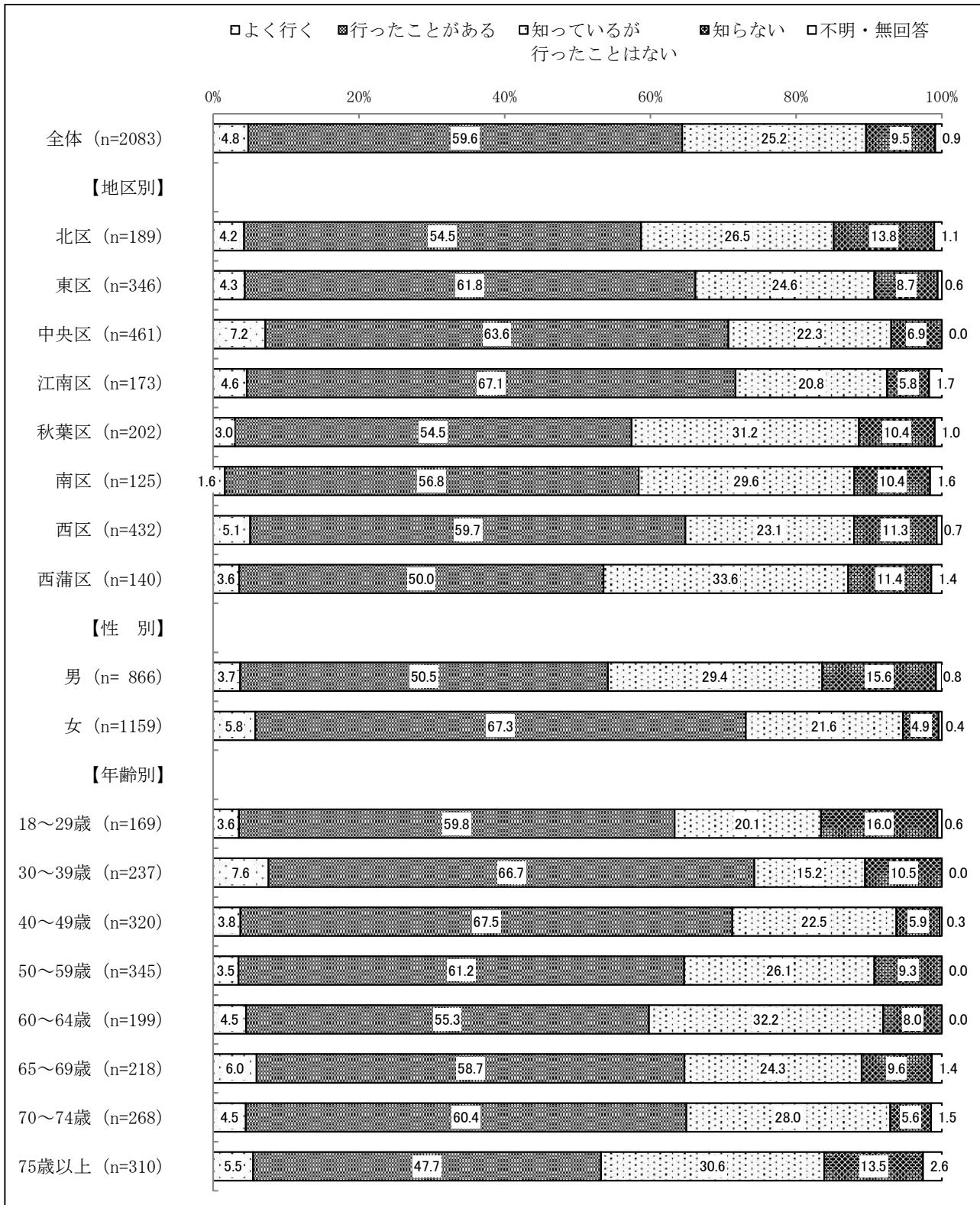
② 性別

『行ったことがある』は、男性(54.2%)と比較して女性(73.1%)で割合が高い。

③ 年齢別

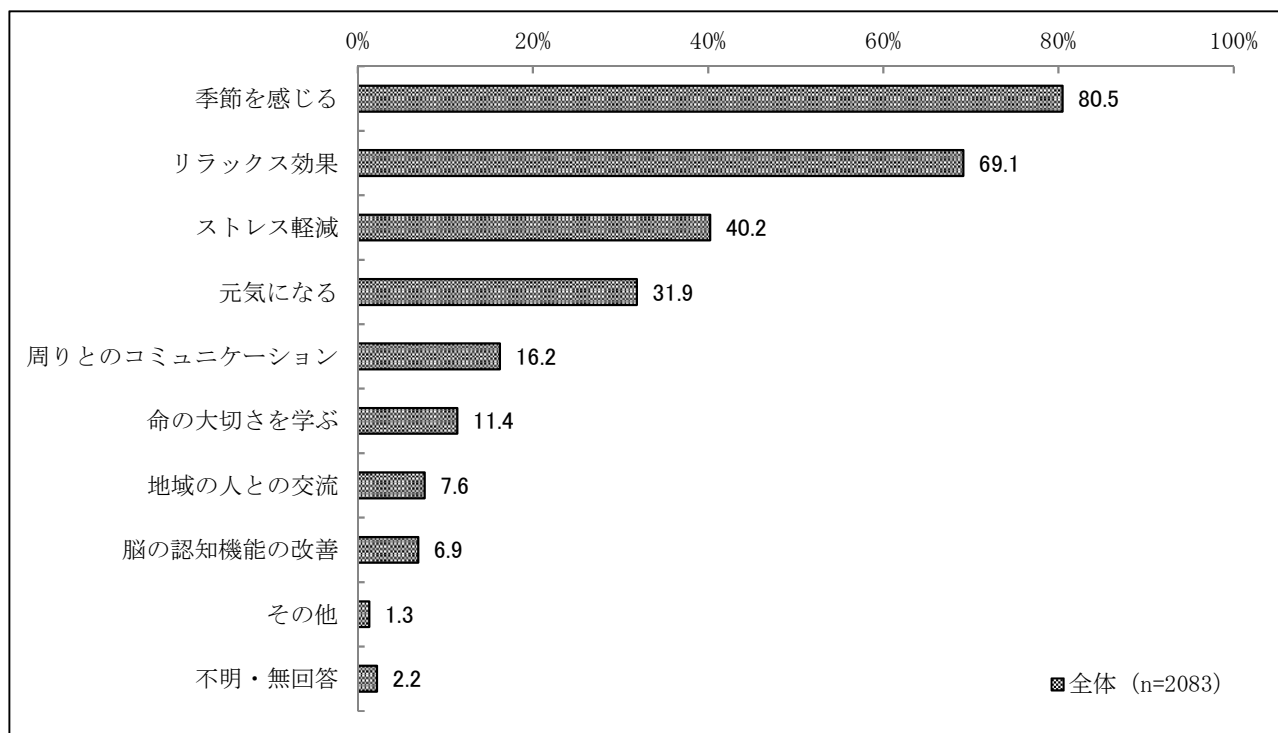
『行ったことがある』と回答した割合は30~49歳で高く、7割を超えた。

図 3-7 「いくとぴあ食花」のガーデンや「食育・花育センター」への来訪（地区別/性別/年齢別）



(8) 花や植物に触れることで期待できる効果

問16 花や植物に触れることで、あなたや周りの人にどのような効果が期待できると思いますか。
(〇はいくつでも)



— 約8割が「季節を感じる」 —

【全体結果】

「季節を感じる」(80.5%)の割合が高く8割を超えた。次いで、「リラックス効果」(69.1%)、「ストレス軽減」(40.2%)、「元気になる」(31.9%)の順に続く。

【属性別結果】(次ページ図3-8参照)

① 地区別

東区、江南区を除くすべての地区で「季節を感じる」の割合は、8割を超えた。

② 性別

「元気になる」は、男性(21.5%)と比較して女性(39.5%)で割合が高く差が大きい。

③ 年齢別

すべての年代で「季節を感じる」の割合が高く、7割半ばを超えた。「周りとのコミュニケーション」では、75歳以上(25.2%)で最も高く、年代が高いほど割合も高い。

図 3-8 花や植物に触れることで期待できる効果（地区別/性別/年齢別）

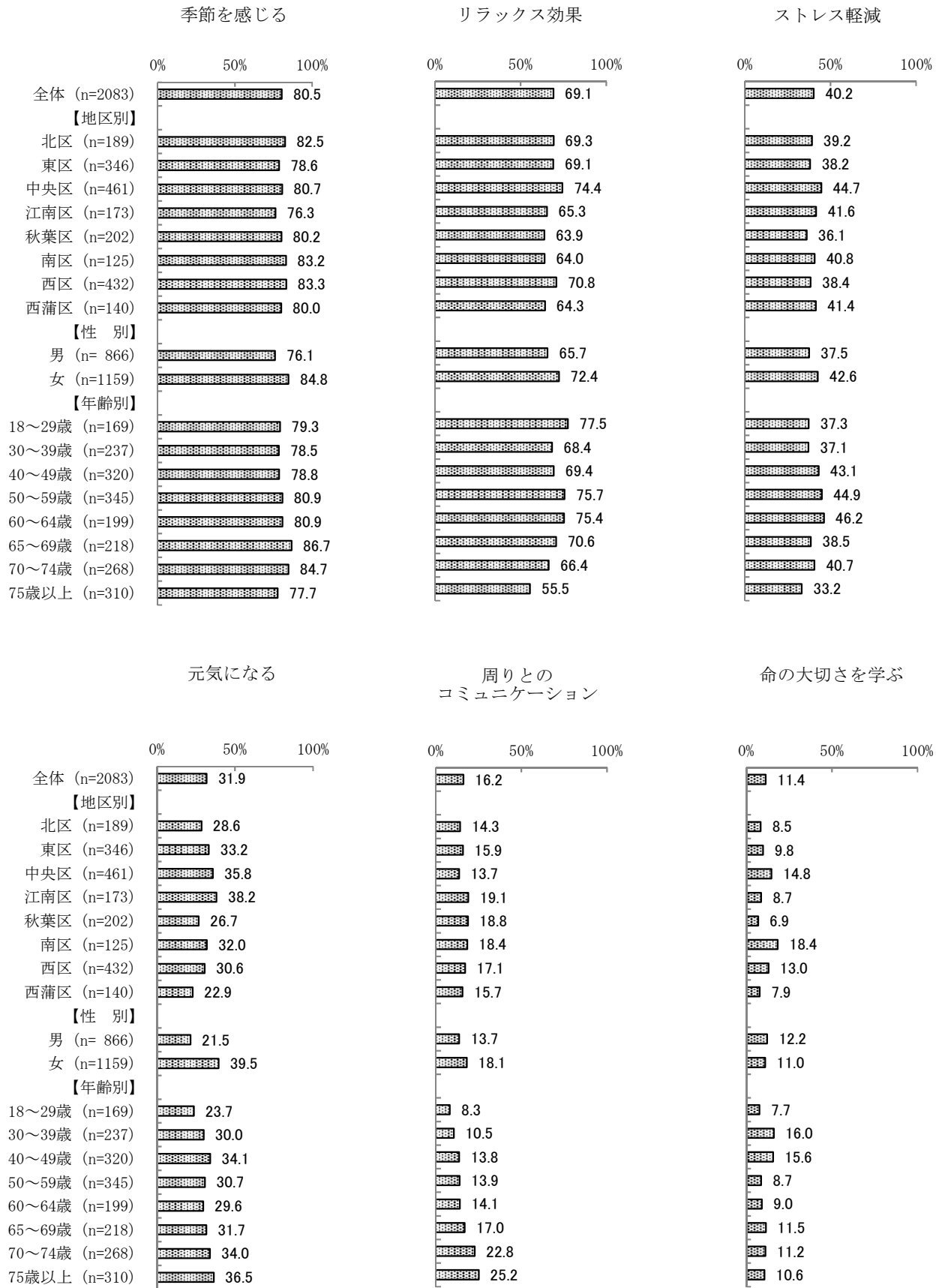
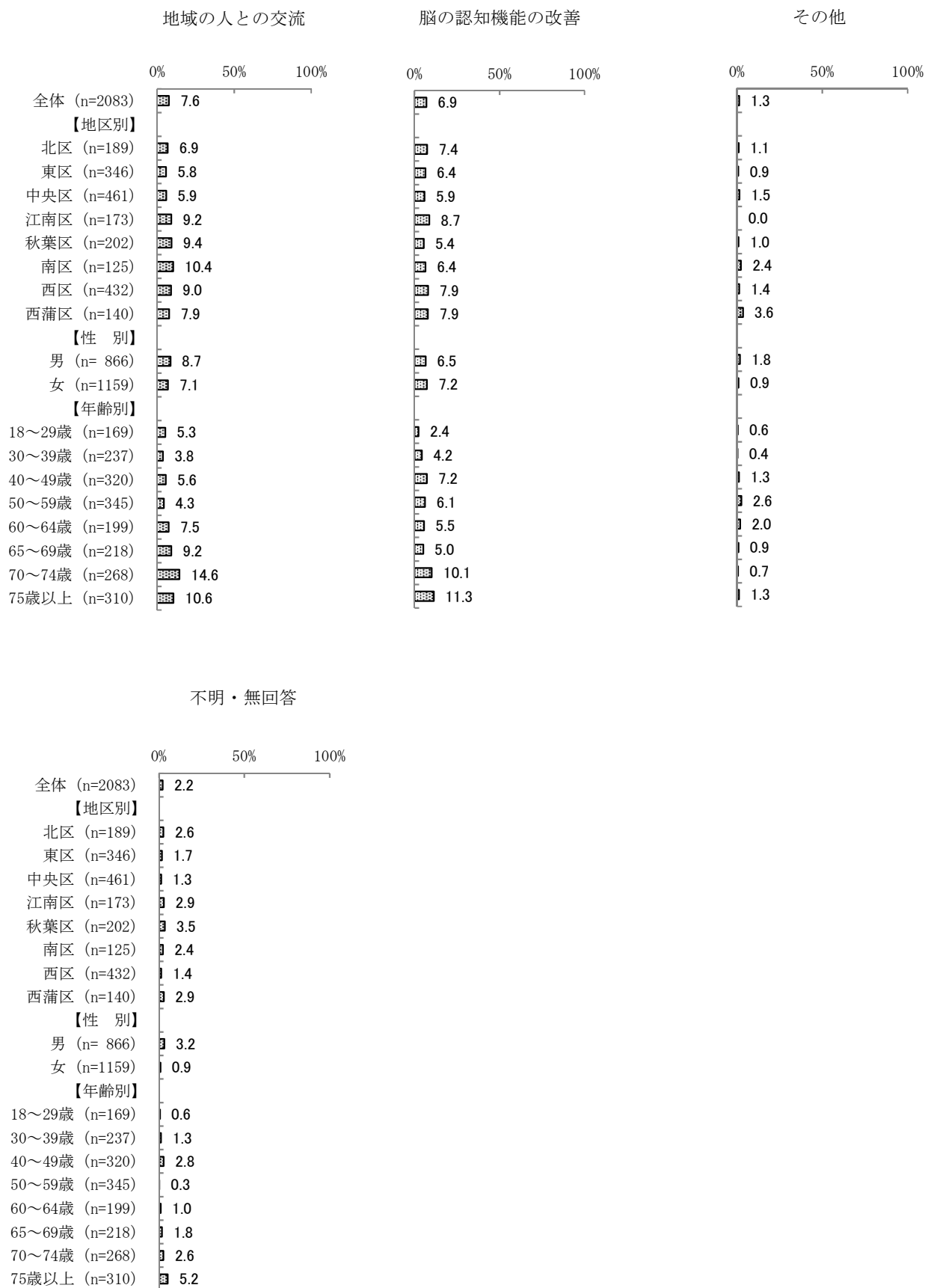
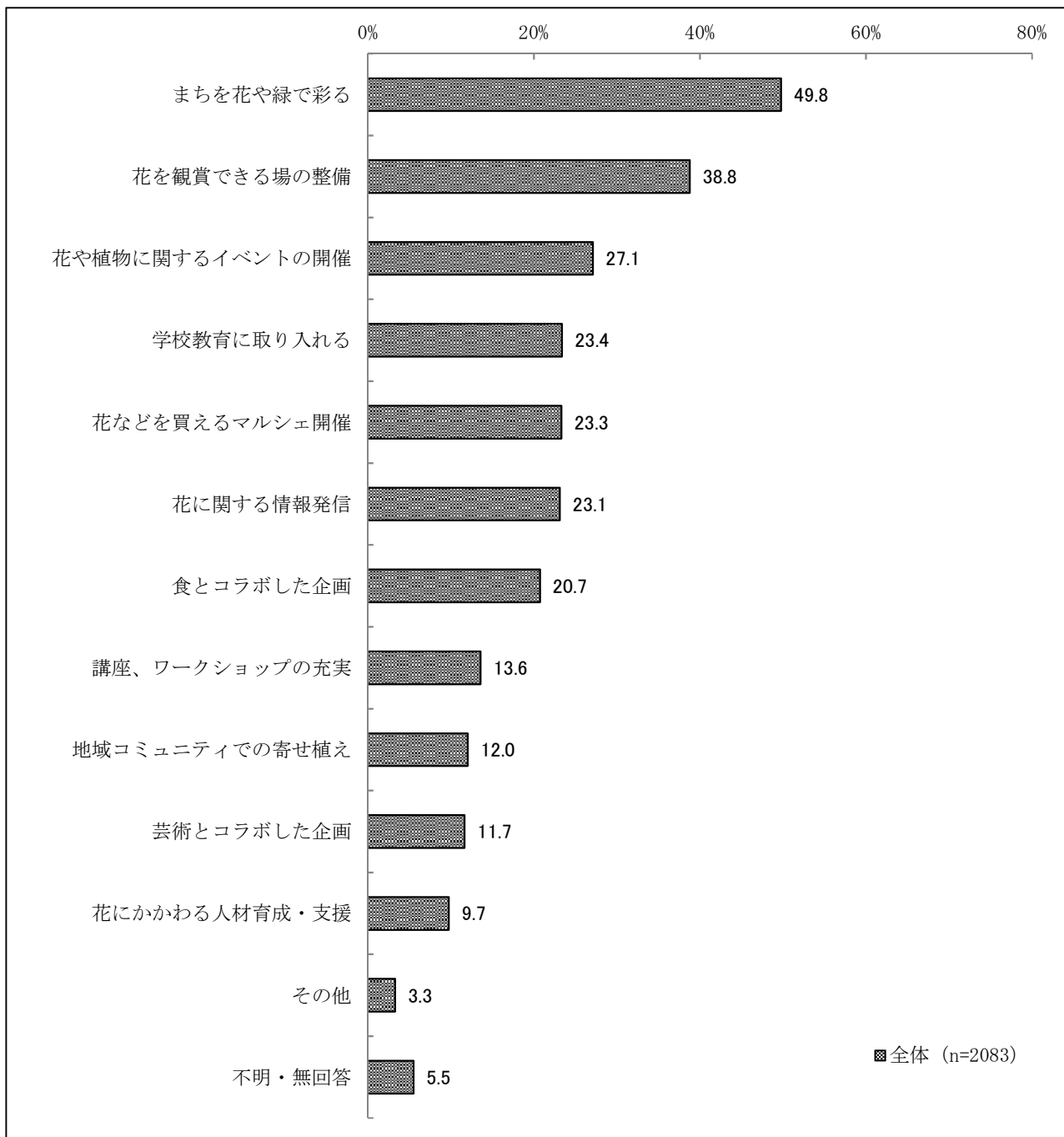


図 3-8 花や植物に触れることで期待できる効果（地区別/性別/年齢別）



(9)「花育」として市や「いくとぴあ食花」に期待すること

問17 あなたは、新潟市らしい「花育」として市や「いくとぴあ食花」にどのような取り組みを期待しますか。(〇はいくつでも)



【全体結果】

「まちを花や緑で彩る」(49.8%)の割合が最も高く、次いで、「花を観賞できる場の整備」(38.8%)が約4割となった。次に「花や植物に関するイベントの開催」(27.1%)、「学校教育に取り入れる」(23.4%)、「花などを買えるマルシェ開催」(23.3%)、「花に関する情報発信」(23.1%)、「食とコラボした企画」(20.7%)が2割台で続く。

【属性別結果】(次ページ図3-9参照)

① 地区別

「まちを花や緑で彩る」については、中央区(52.9%)で最も高く、他の地区でも4割半ばを超えた。

② 性別

「花などを買えるマルシェ開催」は、男性(14.7%)と比較して女性(30.1%)で割合が高く差が大きい。

③ 年齢別

「まちを花や緑で彩る」の割合は、18~29歳(55.0%)で最も高く、5割半ばとなった。

図 3-9 「花育」として市や「いくとびあ食花」に期待すること（地区別/性別/年齢別） 1/3

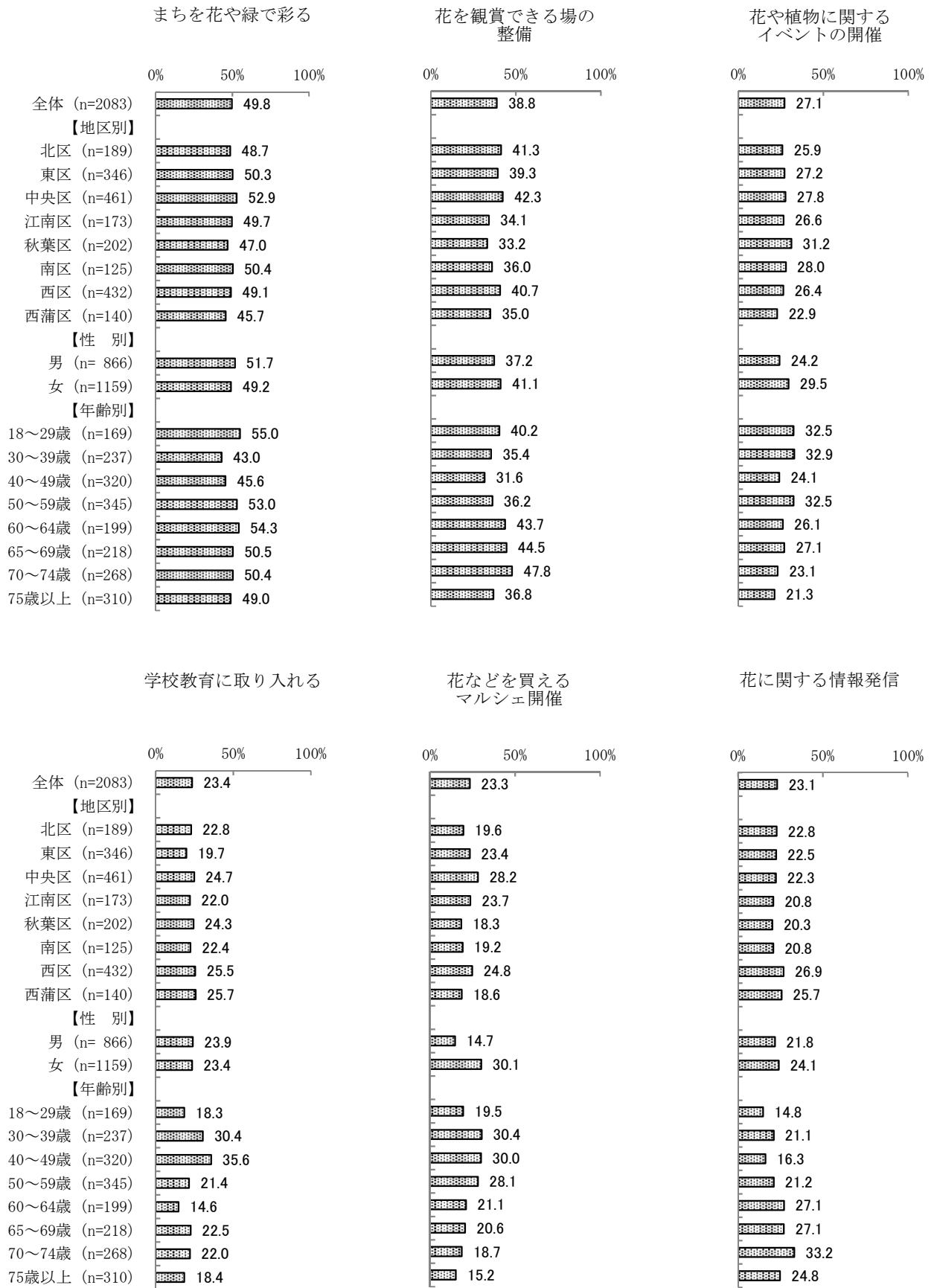


図 3-9 「花育」として市や「いくとびあ食花」に期待すること（地区別/性別/年齢別） 2/3

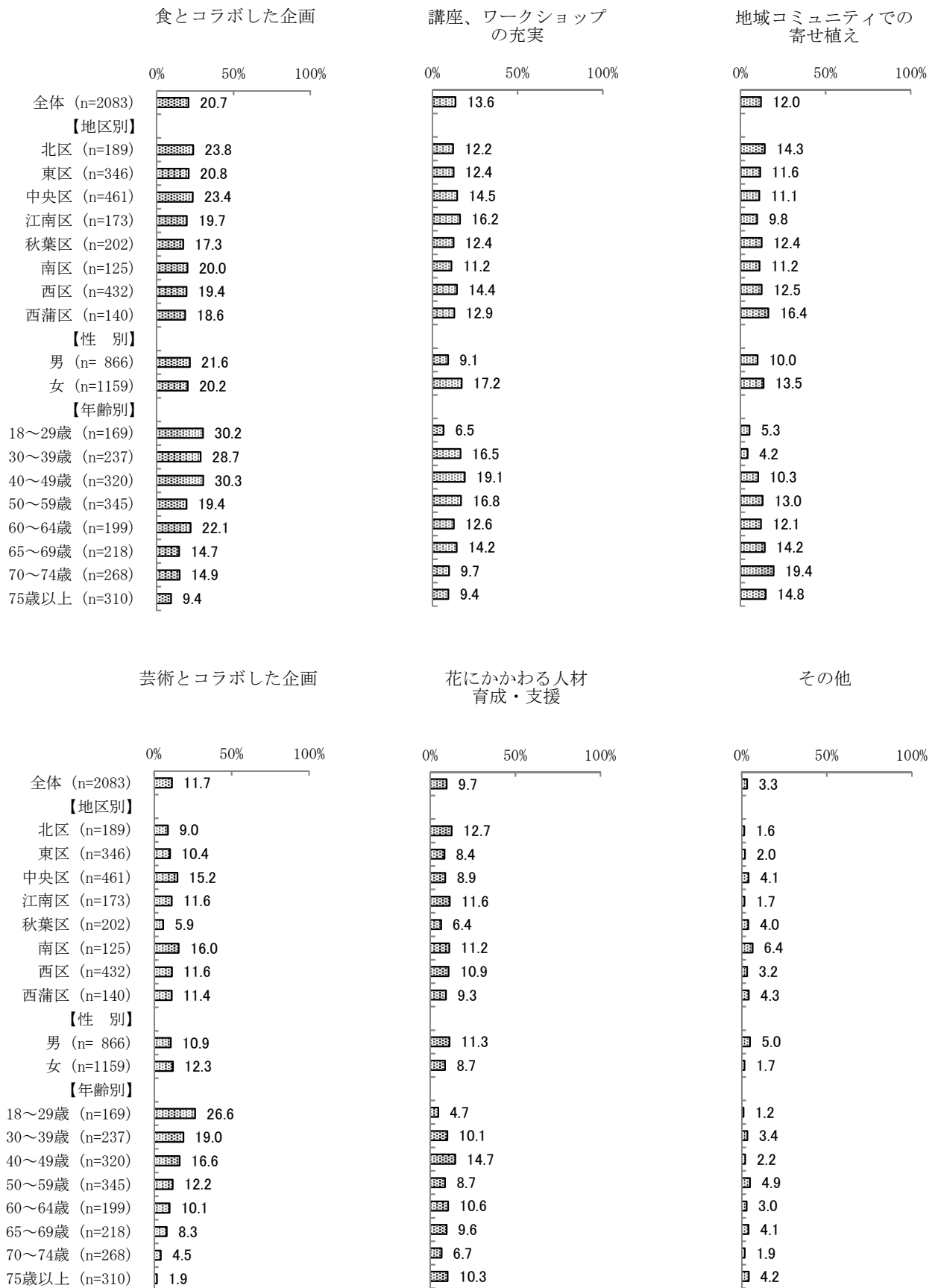
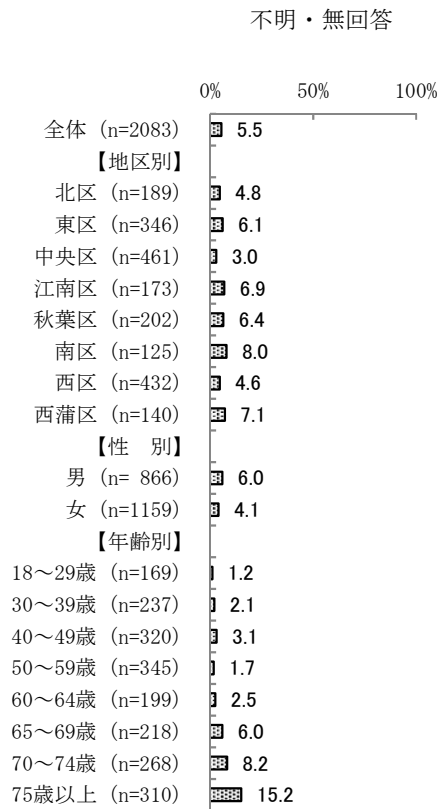


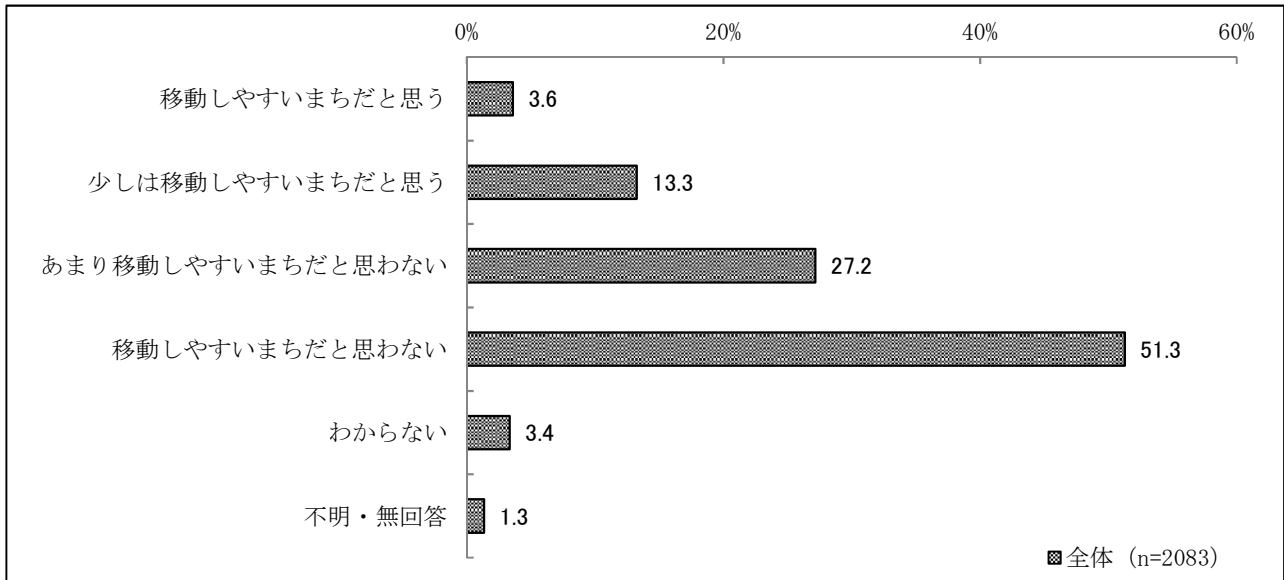
図 3-9 「花育」として市や「いくとびあ食花」に期待すること（地区別/性別/年齢別）



4. 移動しやすいまちづくりについて

(1) 新潟市内の移動について

問18 あなたにとって、新潟市は自動車に頼らなくても移動しやすいまちだと思いますか。(○は1つだけ)



— 約8割が『移動しやすいまちだと思わない』 —

【全体結果】

「移動しやすいまちだと思う」(3.6%)、「少しは移動しやすいまちだと思う」(13.3%)を合わせた『移動しやすいまちだと思う』(16.9%)は2割に満たない結果となった。一方で、「移動しやすいまちだと思わない」(51.3%)、「あまり移動しやすいまちだと思わない」(27.2%)を合わせた『移動しやすいまちだと思わない』(78.4%)は約8割となった。

【属性別結果】(次ページ図4-1参照)

① 地区別

『移動しやすいまちだと思う』の割合は、中央区(22.3%)で高く、2割台であった。一方、『移動しやすいまちだと思わない』の割合は、西蒲区(92.9%)で高く、9割を超えた。

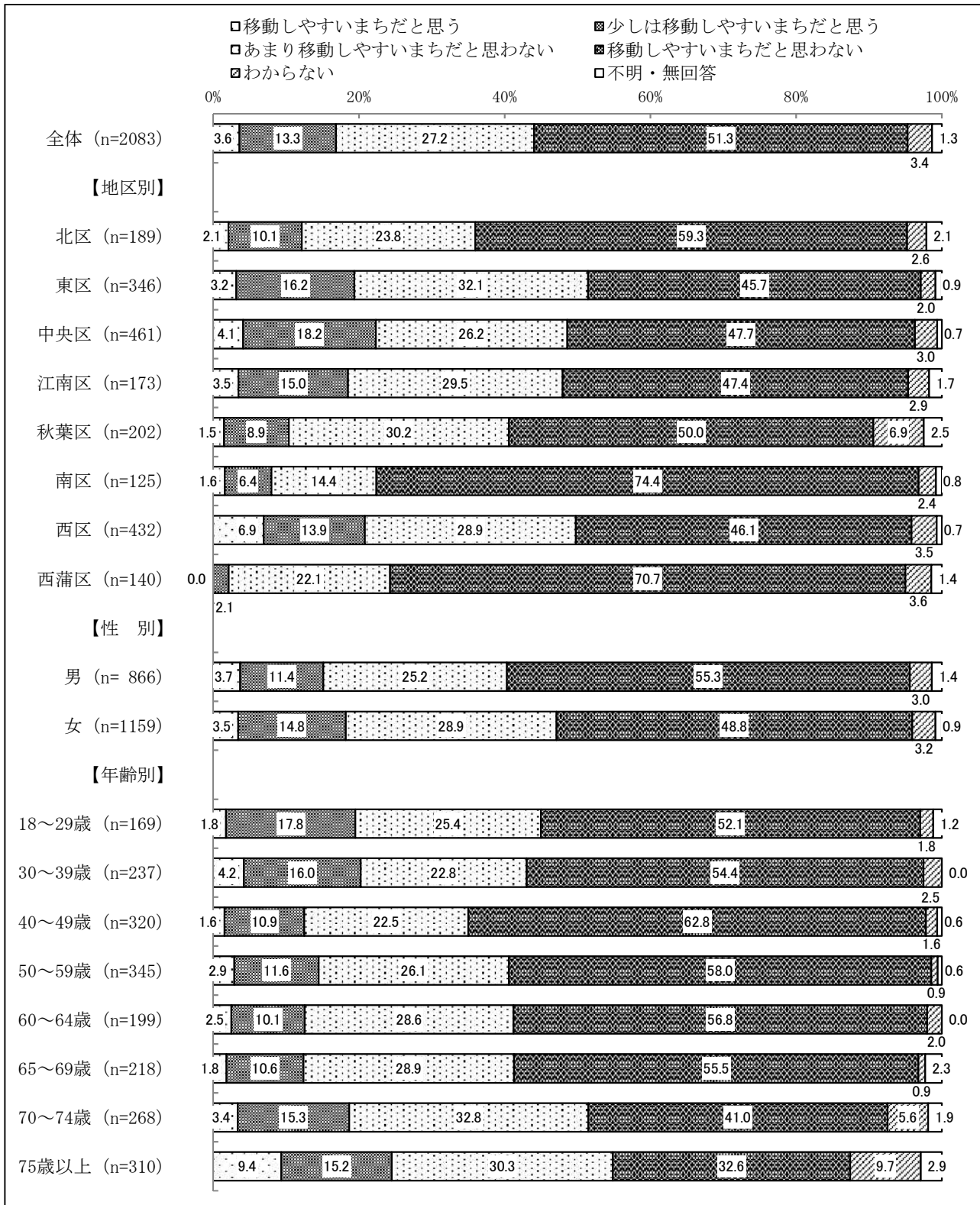
② 性別

『移動しやすいまちだと思う』の割合は、男性(15.1%)と比べて女性(18.2%)で割合がやや高い。

③ 年齢別

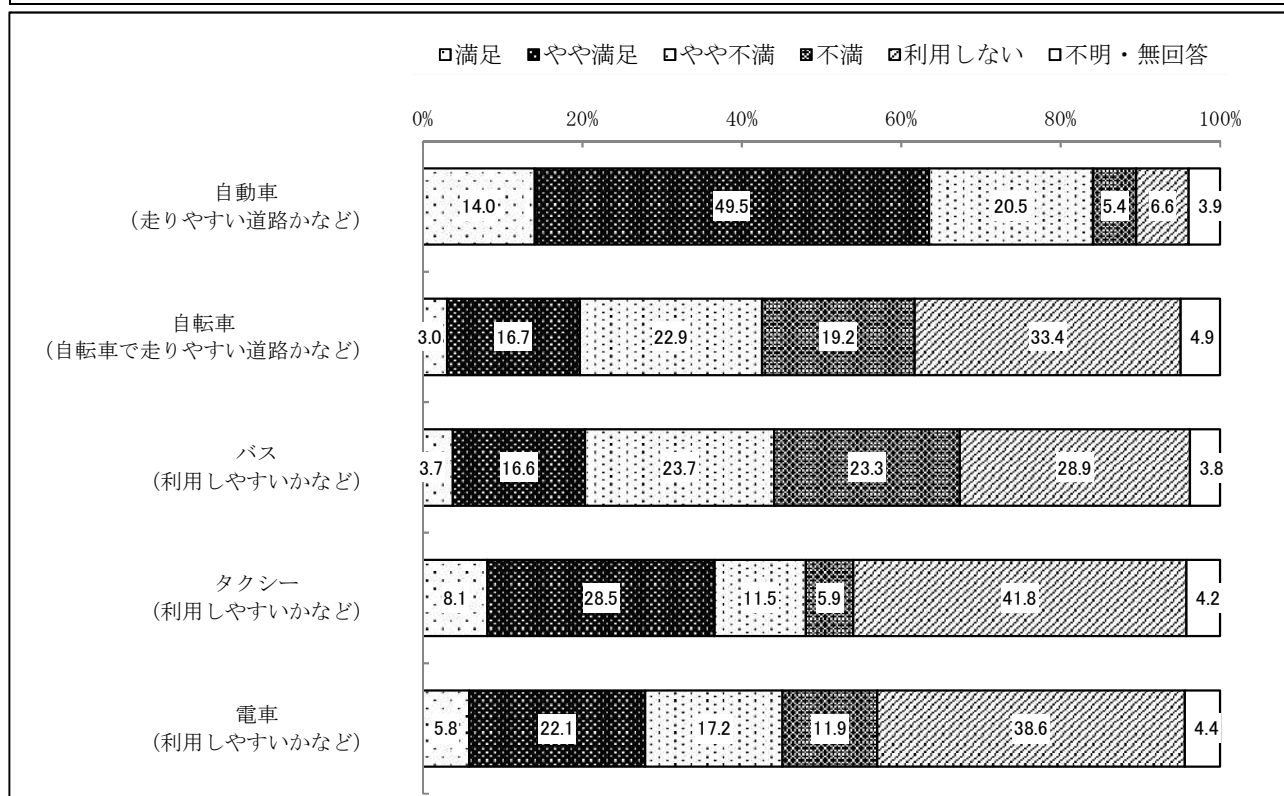
『移動しやすいまちだと思う』の割合は、75歳以上(24.5%)、30~39歳(20.3%)で高く、2割を超えた。一方、『移動しやすいまちだと思わない』の割合は、60~64歳(85.4%)、40~49歳(85.3%)で高く8割半ばを超えた。

図 4-1 新潟市内の移動について（地区別/性別/年齢別）



(2) 交通手段についての満足度

問19 あなたが次の交通手段で市内を移動する際の満足度を教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)



— 6割以上が「自動車」(走りやすい道路かなど)に『満足』 —

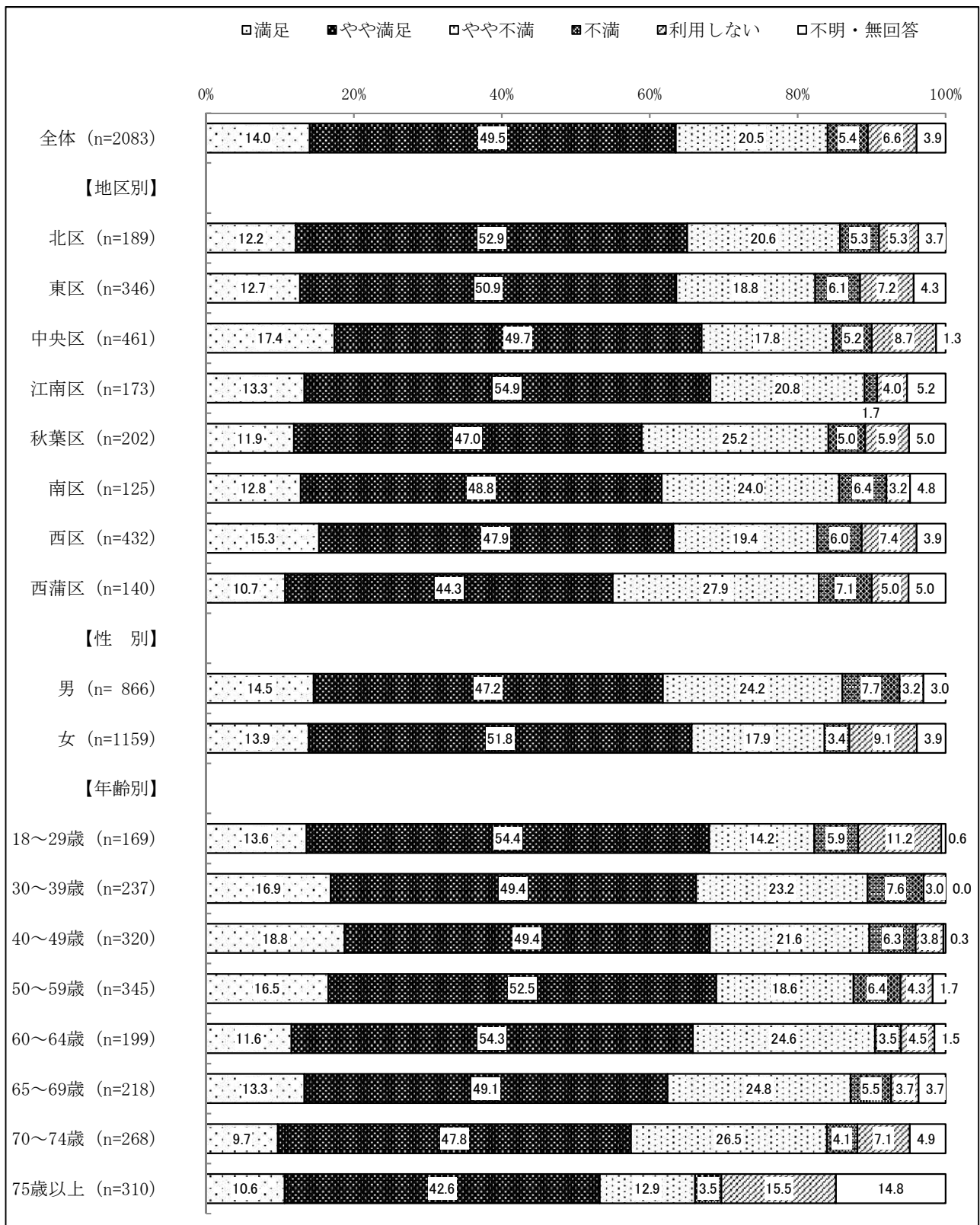
【全体結果】

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合は、「自動車(走りやすい道路かなど)」(63.5%)で最も高く、6割以上となった。次いで「タクシー(利用しやすいかなど)」(36.6%)、「電車(利用しやすいかなど)」(27.9%)と続く。

【属性別結果】

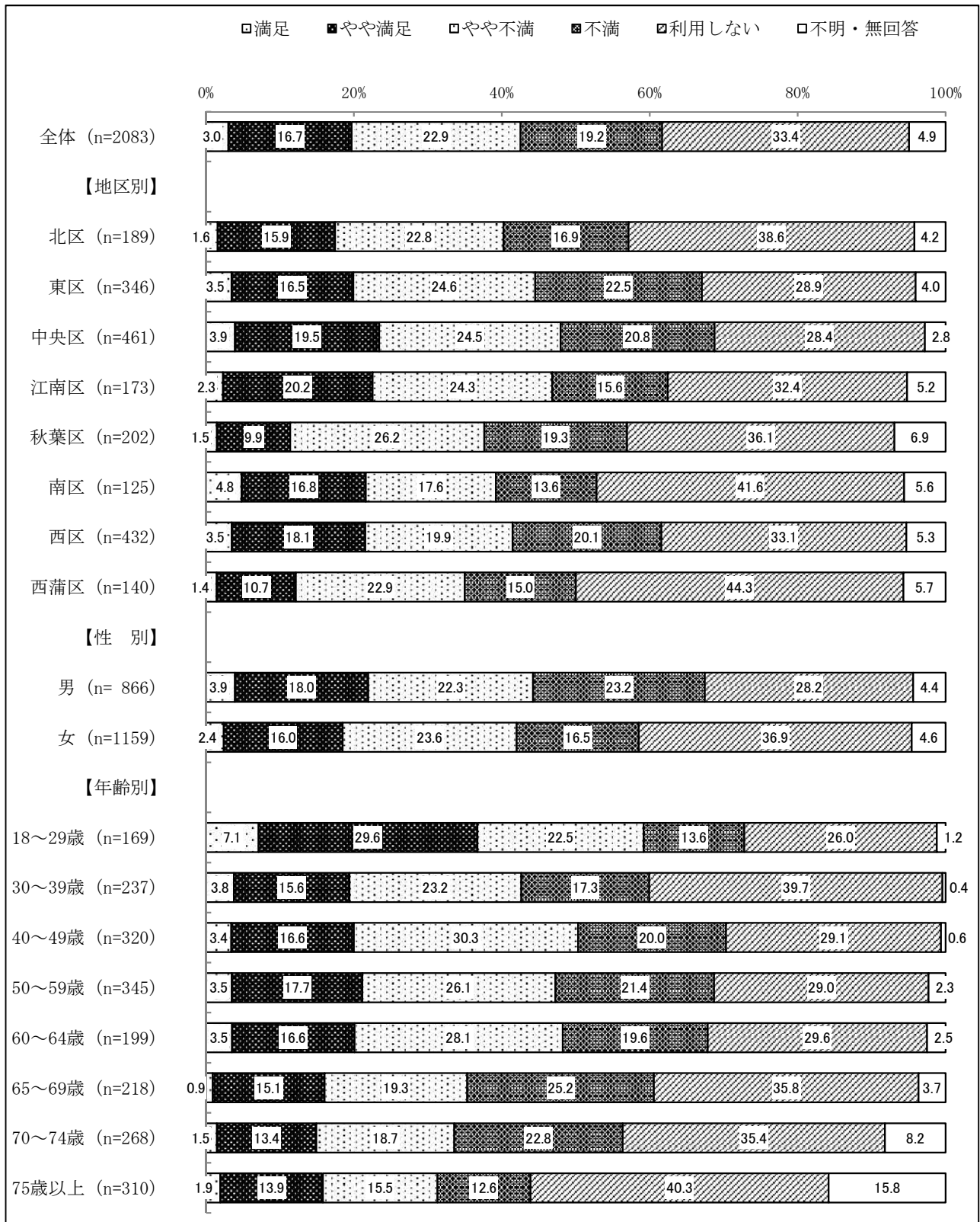
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 自動車（走りやすい道路かなど）



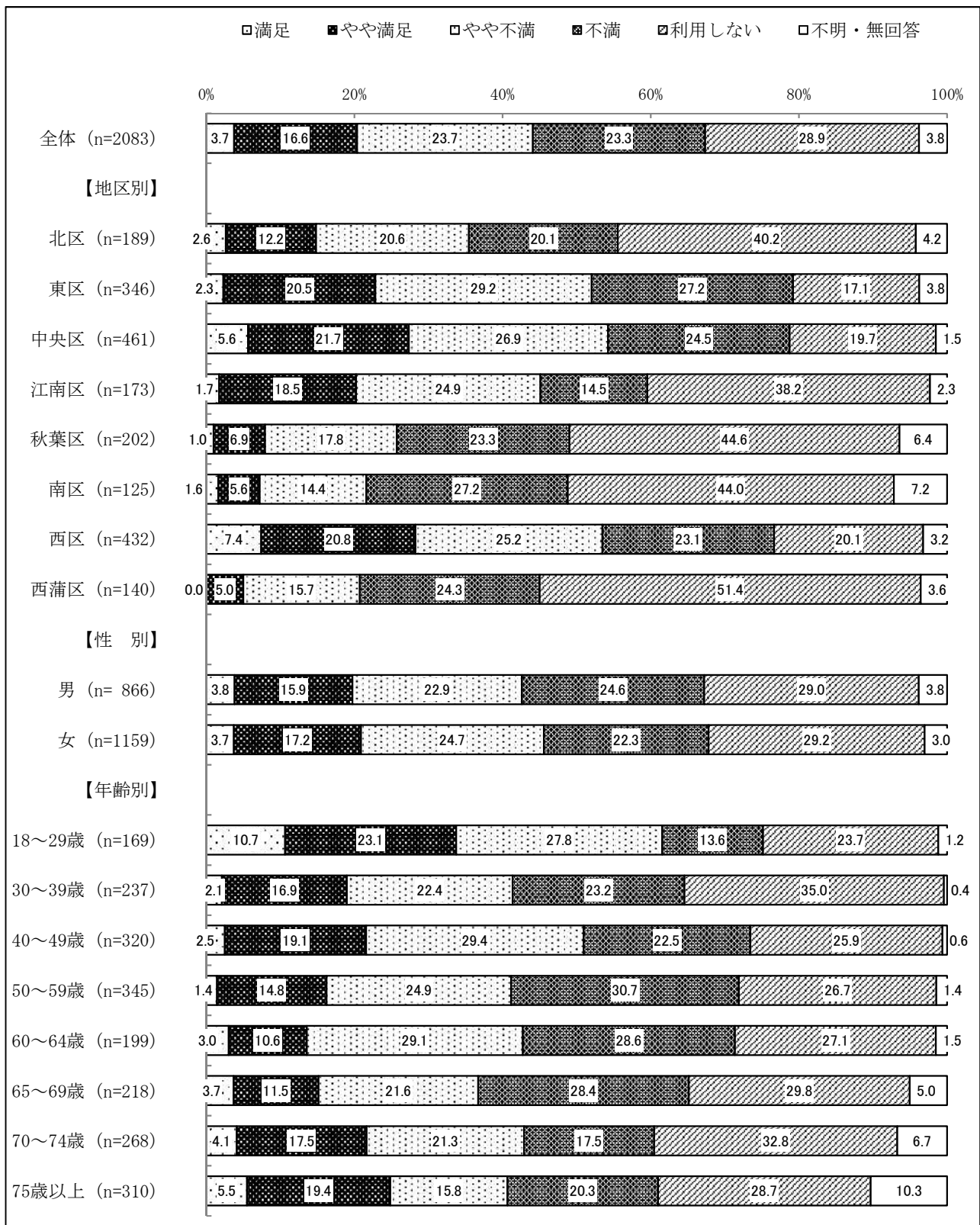
「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、地区別では秋葉区と西蒲区以外で6割を超えた。男性(61.8%)と比べて女性(65.7%)で割合がやや高い。年齢別ではすべての年代で5割を超えたが、年齢が高いほど割合は低くなる傾向にある。

② 自転車（自転車で走りやすい道路かなど）



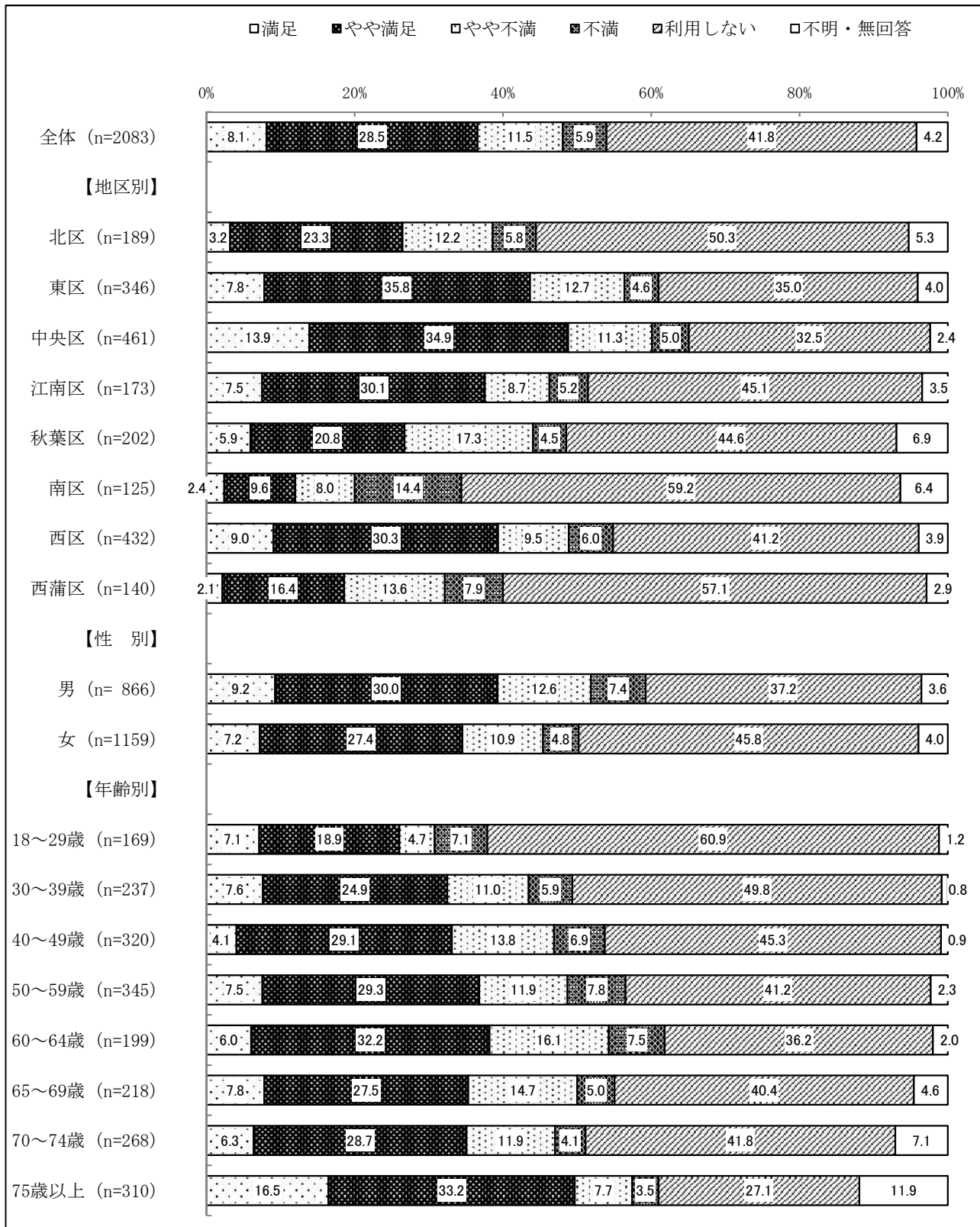
「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、中央区（23.4%）で最も高い。女性（18.5%）と比べて男性（21.9%）で割合がやや高い。年齢別では18～29歳（36.7%）で最も高く3割半ばを超えた。年齢が高いほど割合は低くなる傾向にある。

③ バス（利用しやすいかなど）



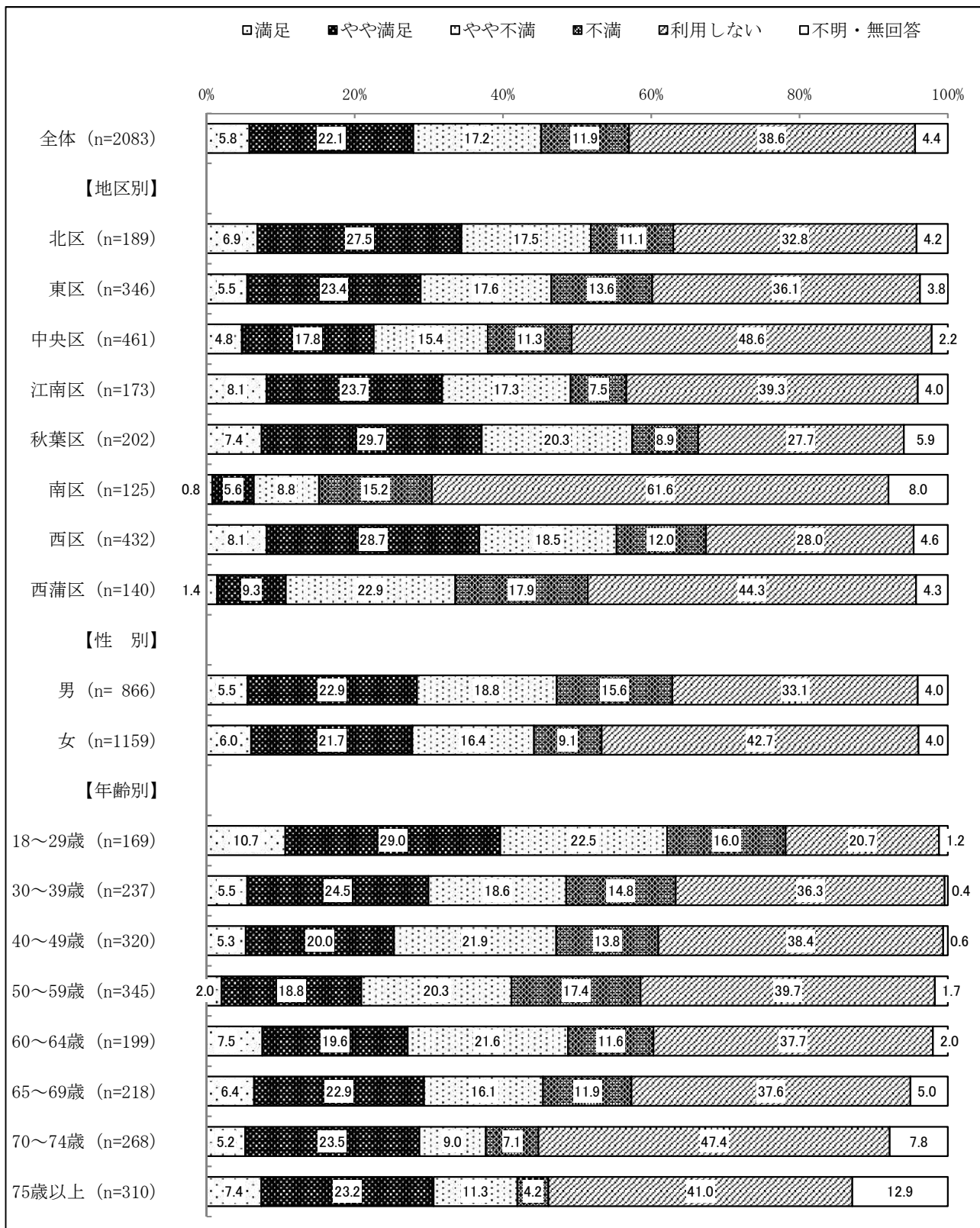
「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、地区別では西区 (28.2%)、中央区 (27.3%)、東区 (22.8%)、江南区 (20.2%) で2割を超えた。秋葉区と南区、西蒲区では1割未満となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳 (33.7%) で最も多い。

④ タクシー（利用しやすいかなど）



「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、地区別では中央区（48.8%）、東区（43.6%）で高く4割を超えたが、西蒲区（18.6%）、南区（12.0%）では1割台となった。女性（34.5%）と比べて男性（39.3%）で割合がやや高い。年齢別では75歳以上（49.7%）で最も高い。

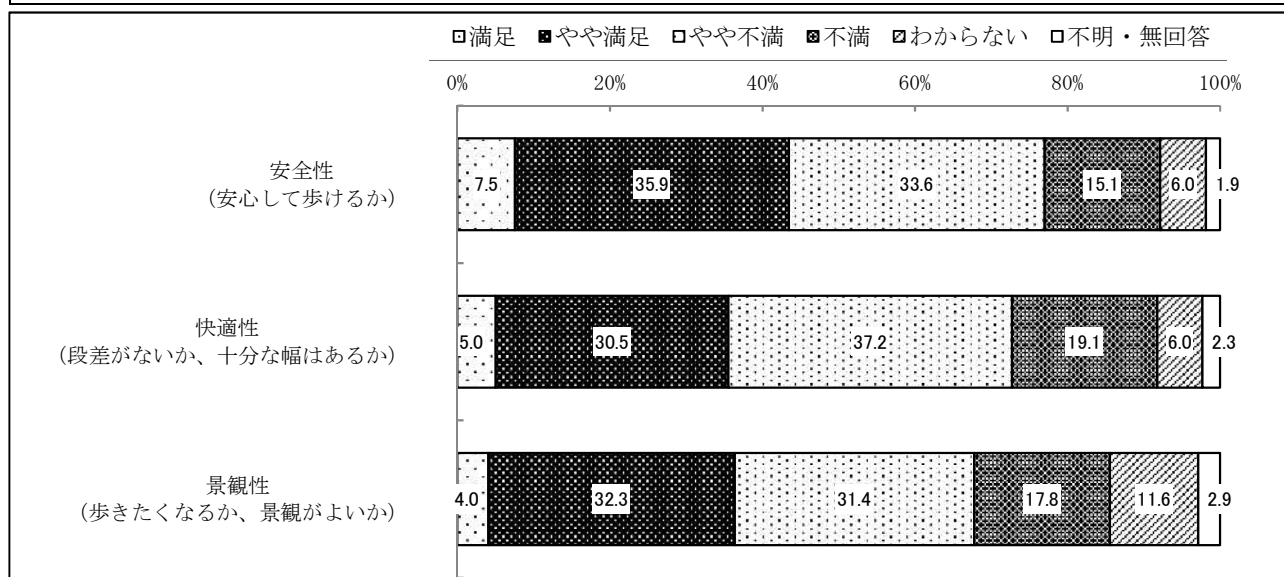
⑤ 電車（利用しやすいかなど）



「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、地区別では秋葉区（37.1%）と西区（36.8%）で高く、3割半ばを超えた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（39.6%）で最も高く、約4割となった。

(3) 歩行空間に対する満足度

問20 あなたの歩行空間（歩道や幅広の路肩）に対する満足度を教えてください。（〇はそれぞれ1つずつ）



— 「安全性（安心して歩けるか）」が4割以上 —

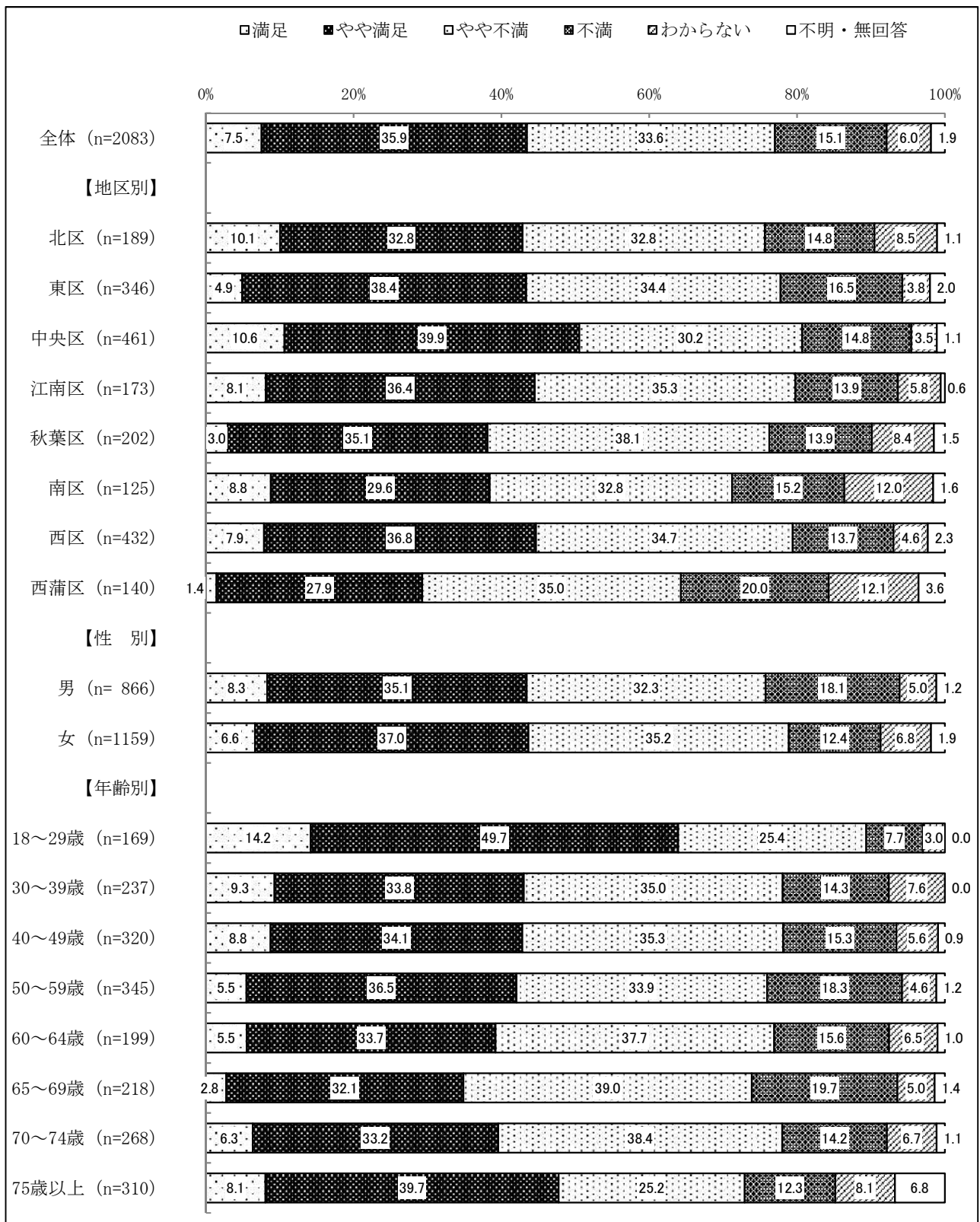
【全体結果】

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「安全性（安心して歩けるか）」（43.4%）で最も高く、4割以上となった。次いで「景観性（歩きたくなるか、景観がよいか）」（36.3%）、「快適性（段差がないか、十分な幅はあるか）」（35.5%）と続き、3割半ばを超えた。

【属性別結果】

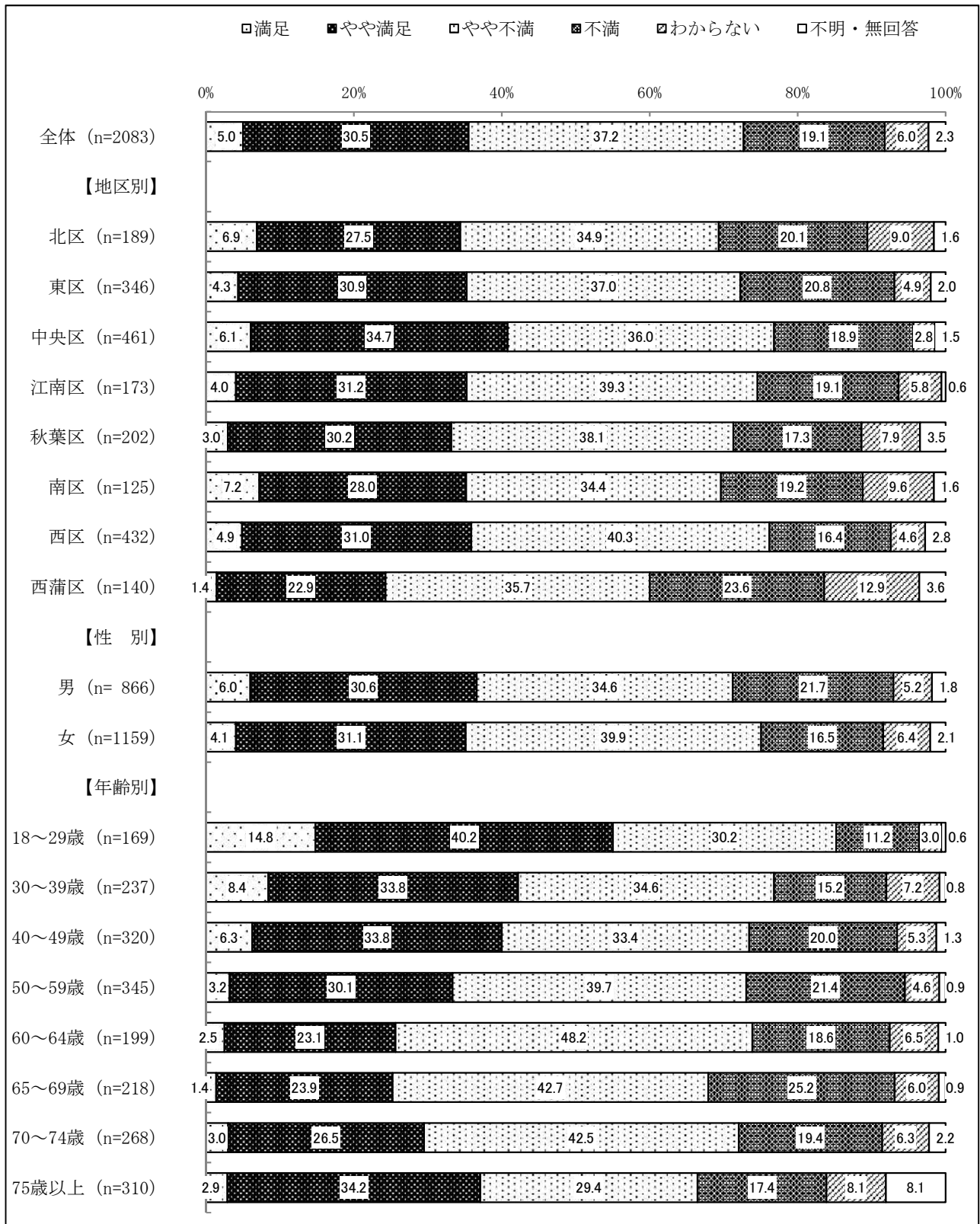
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 安全性（安心して歩けるか）



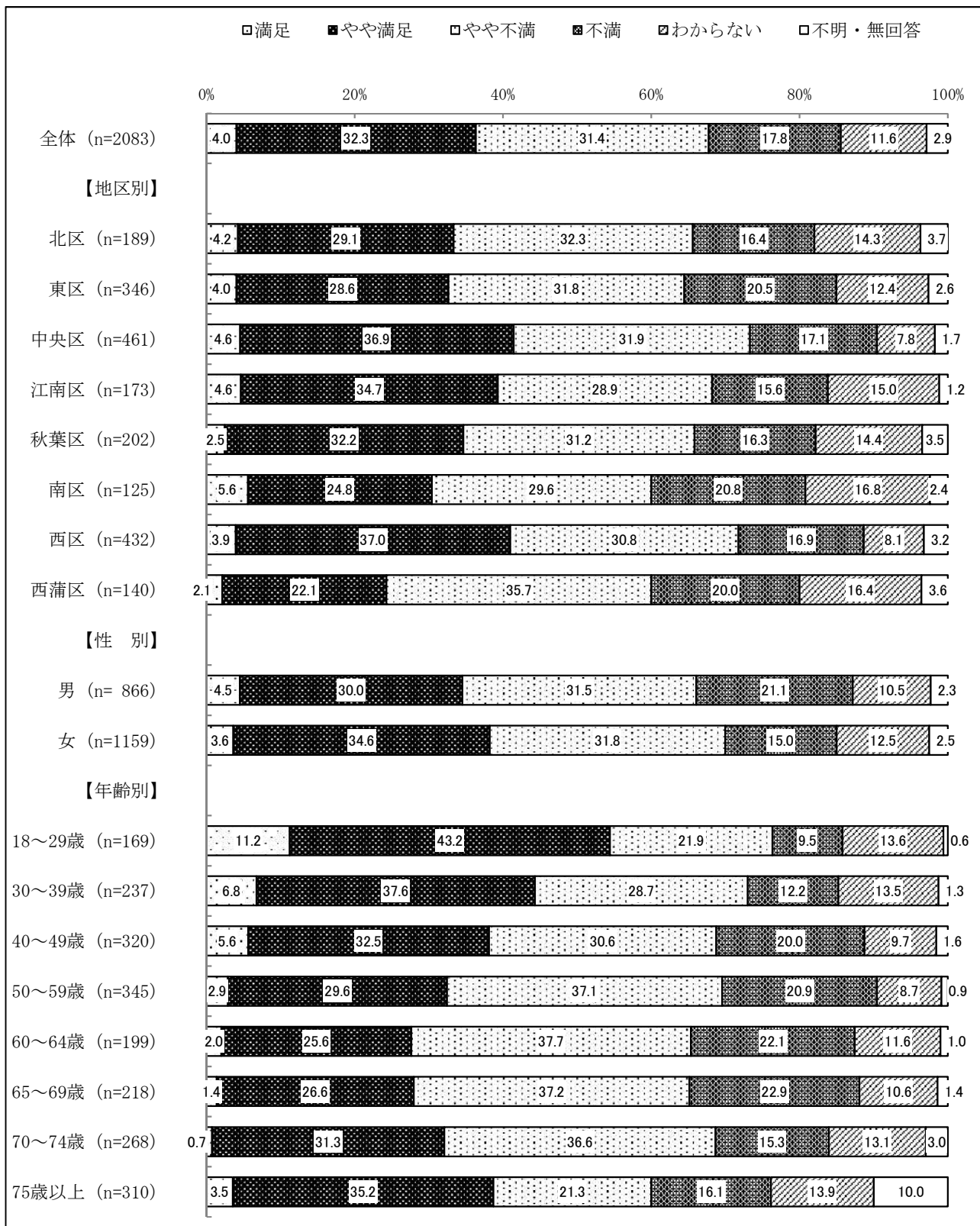
『満足』と回答した割合は中央区（50.5%）で最も高く、5割を超えた。西蒲区（29.3%）を除く、他の地区では4割前後となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（63.9%）で最も高い結果となった。

② 快適性（段差がないか、十分な幅はあるか）



『満足』と回答した割合は中央区（40.8%）で最も高く、4割を超えた。西蒲区（24.3%）を除く、他の地区では3割台となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（55.0%）で最も高い結果となった。

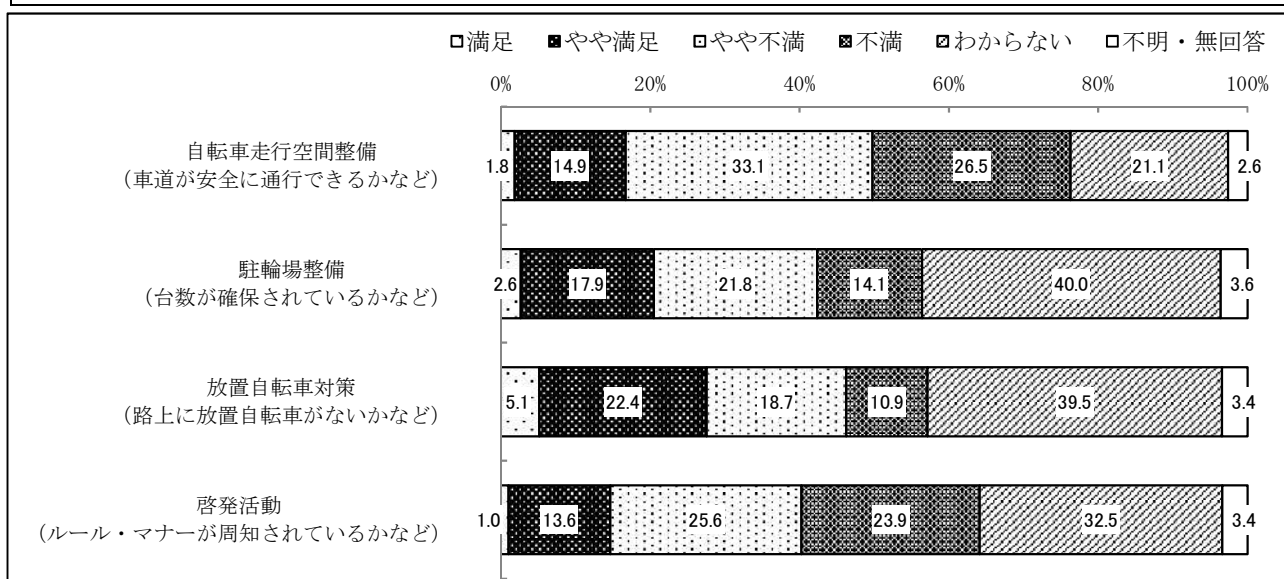
③ 景観性（歩きたくなるか、景観がよいか）



『満足』と回答した割合は中央区 (41.4%)、西区 (41.0%) で4割を超えた。西蒲区 (24.3%) を除く、他の地区では3割台となった。男性 (34.5%) と比べて女性 (38.2%) で割合がやや高い。年齢別では18～29歳 (54.4%) で最も高い結果となった。

(4) 新潟市が行っている取り組みへの満足度

問21 市では「自転車走行空間整備」、「駐輪場整備」、「放置自転車対策」、「啓発活動（自転車の利用促進、ルール・マナー啓発）」を行っています。それぞれの取り組みに対するあなたの満足度を教えてください。（○はそれぞれ1つずつ）



— 満足度が高いのは「放置自転車対策」で3割弱 —

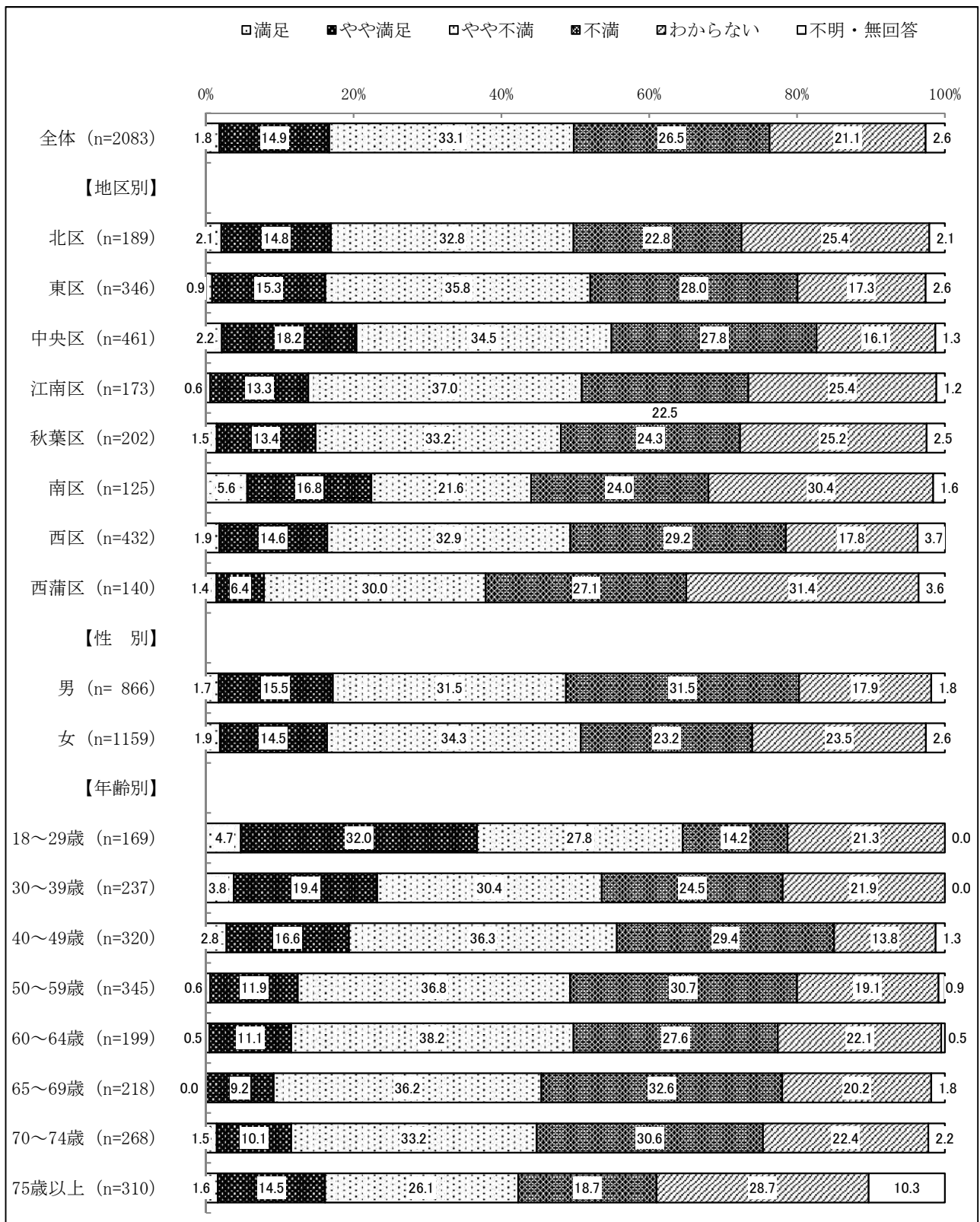
【全体結果】

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は、「放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）」(27.6%)で最も高く、3割弱となった。次いで「駐輪場整備（台数が確保されているかなど）」(20.5%)、「自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）」(16.7%)、「啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）」(14.6%)と続いた。

【属性別結果】

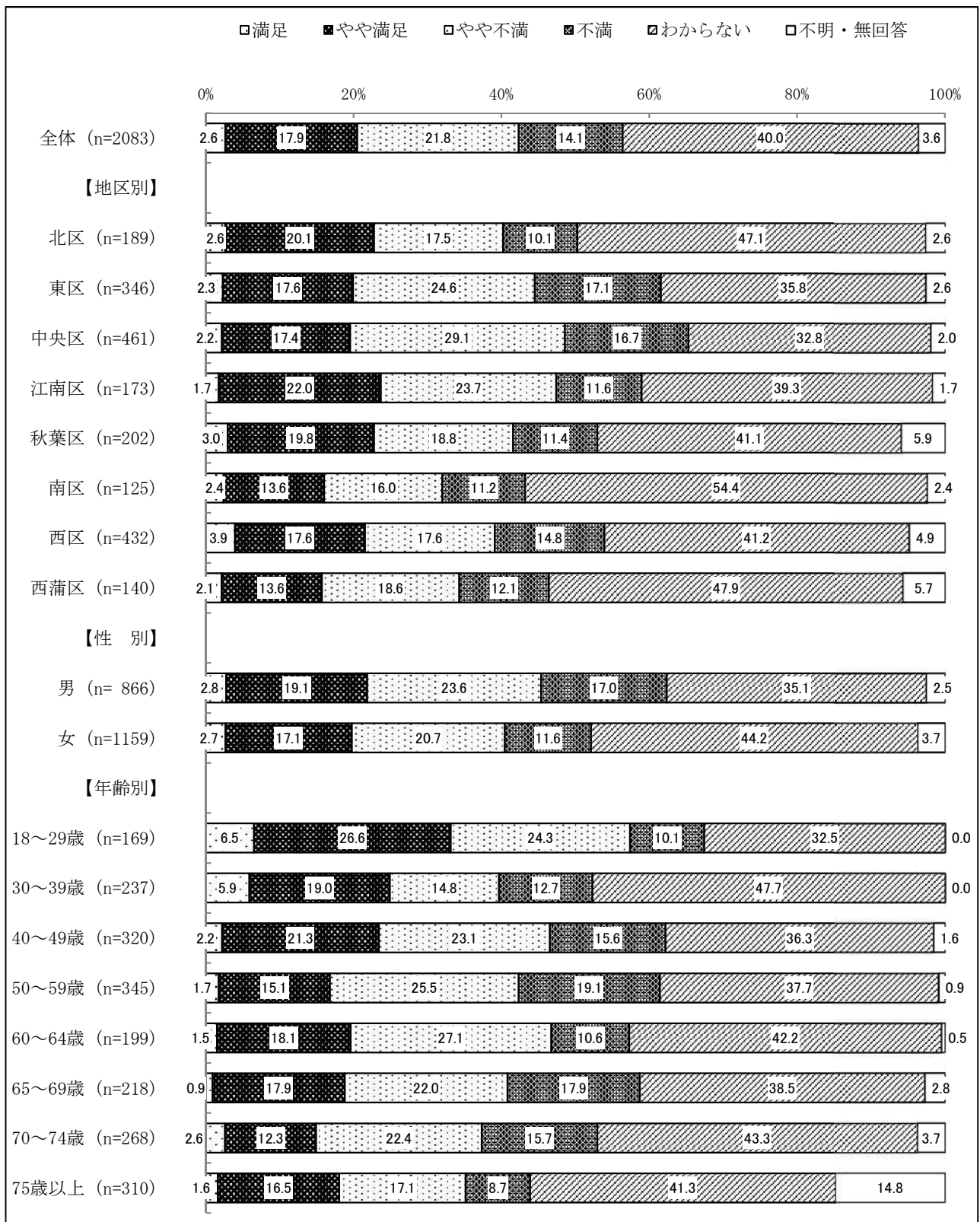
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）



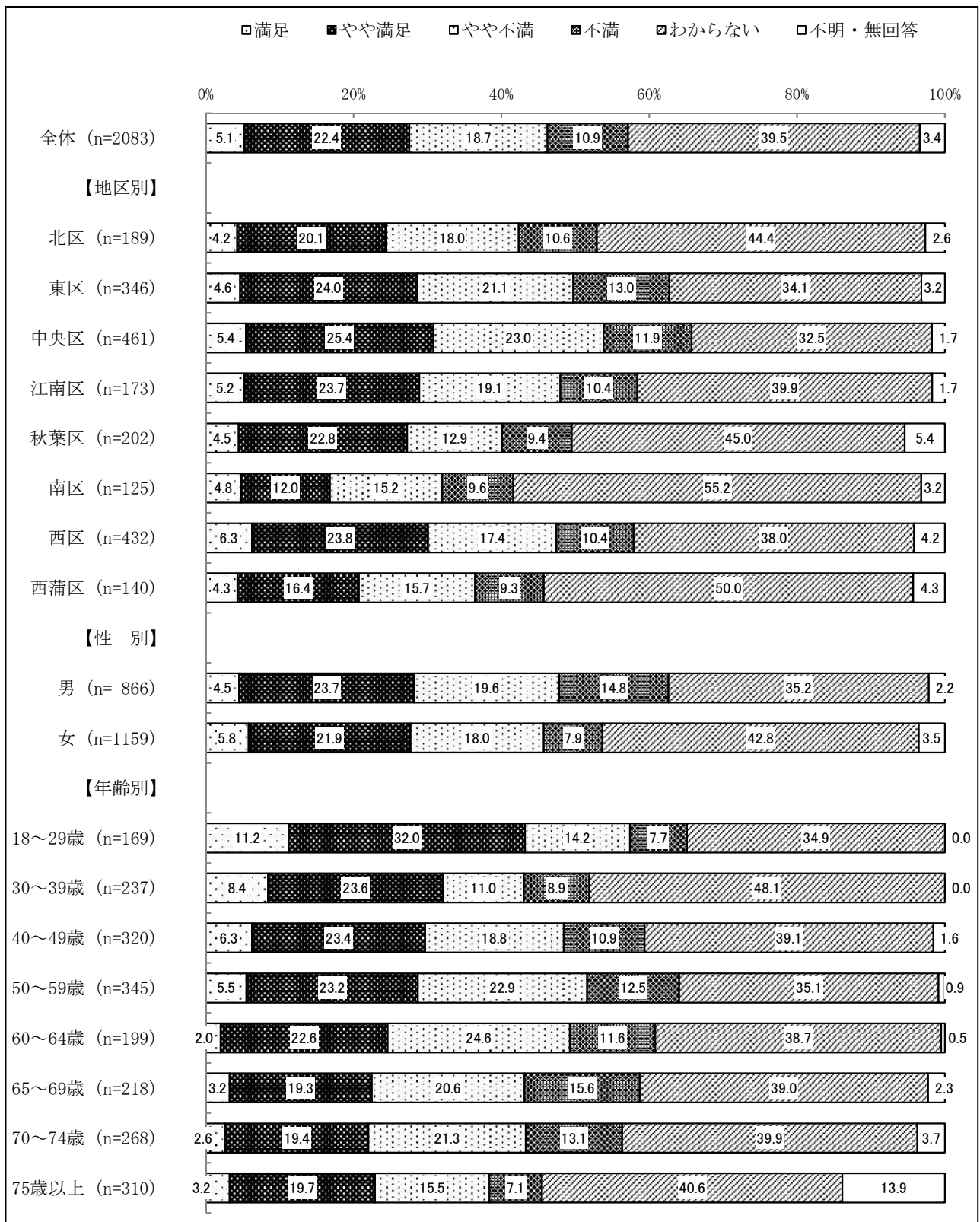
『満足』と回答した割合は南区 (22.4%)、中央区 (20.4%) で2割を超えた。西蒲区 (7.9%) を除く、他の地区では1割台となった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳 (36.7%) で最も高い結果となった。

② 駐輪場整備（台数が確保されているかなど）



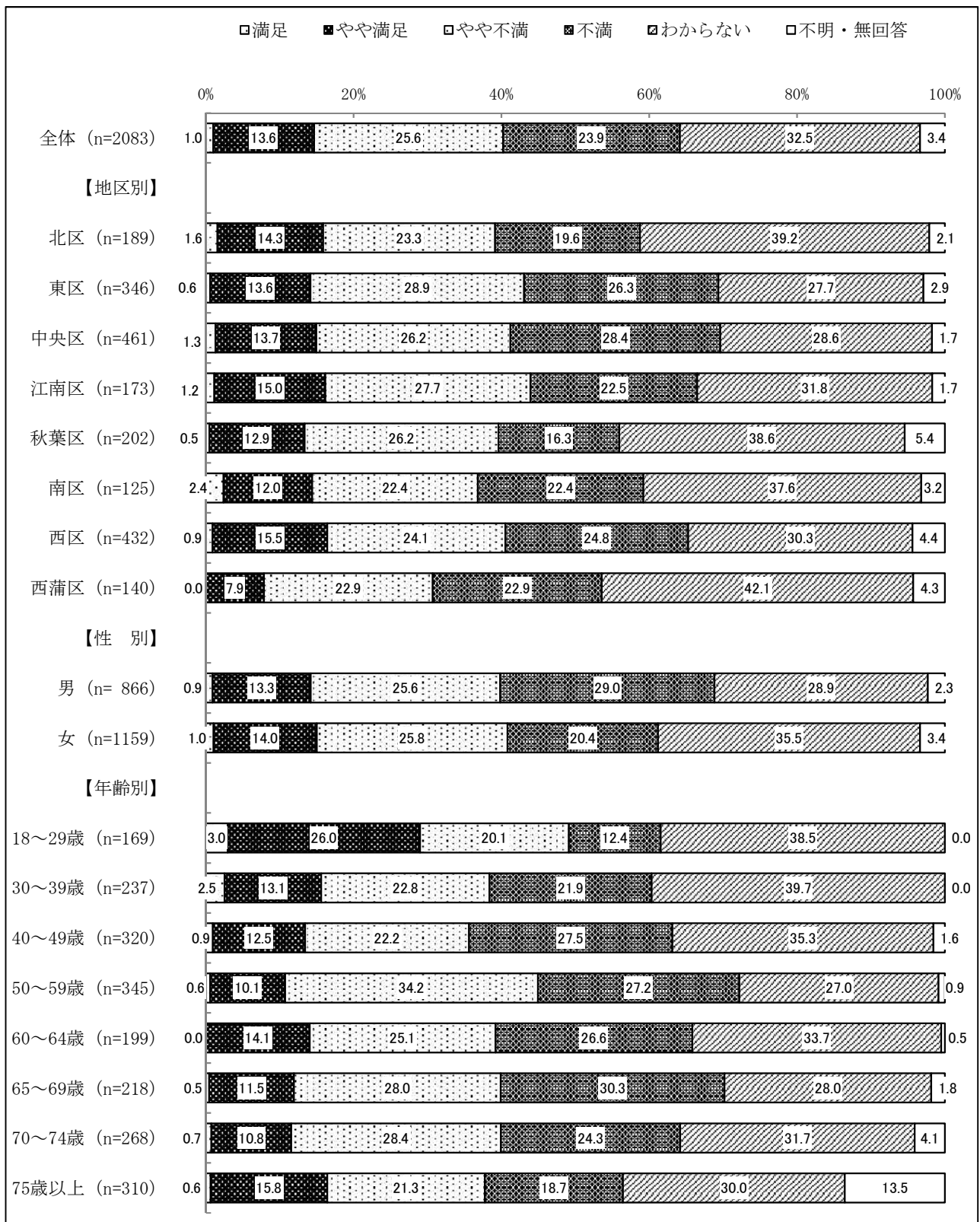
『満足』と回答した割合は江南区 (23.7%)、秋葉区 (22.8%)、北区 (22.8%)、西区 (21.5%) で2割を超えた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳 (33.1%) で最も高い結果となった。

③ 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）



『満足』と回答した割合は中央区（30.8%）、西区（30.1%）で3割を超えた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（43.2%）で最も高い結果となった。

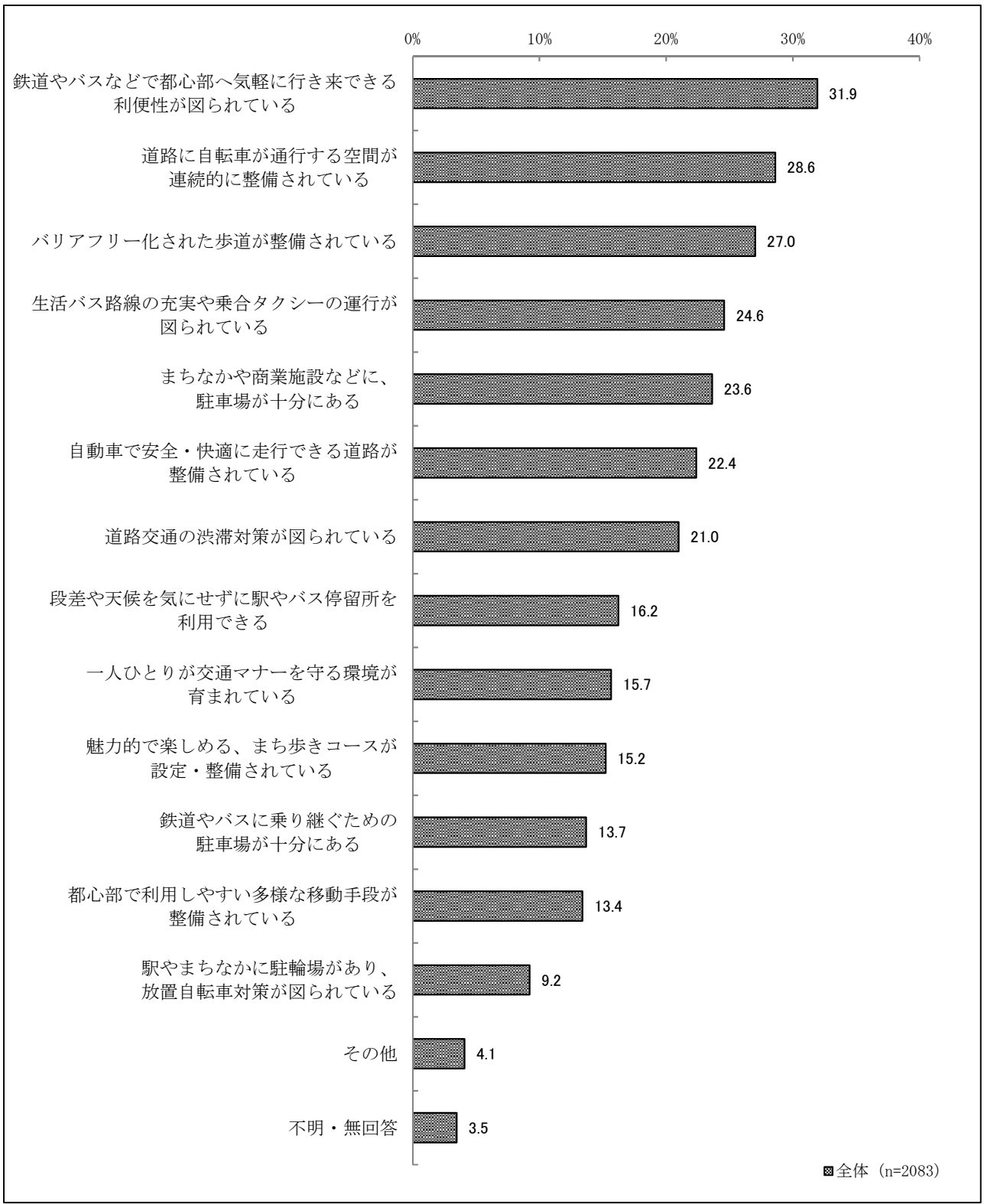
④ 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）



『満足』と回答した割合は西蒲区（7.9%）を除くすべての地区で1割半ば程度だった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（29.0%）で最も高い結果となった。

(5) 「移動しやすいまち」として必要なこと

問22 あなたにとって「移動しやすいまち」であると実感できること、また、「移動しやすいまち」を実感するために必要だと思うことは、次のうちどれですか。(〇は3つまで)



【全体結果】

「鉄道やバスなどで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている」(31.9%)の割合が最も高く、3割強となった。次いで、「道路に自転車が通行する空間が連続的に整備されている」(28.6%)が3割弱となった。次に「バリアフリー化された歩道が整備されている」(27.0%)、「生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている」(24.6%)、「まちなかや商業施設などに、駐車場が十分にある」(23.6%)、「自動車で安全・快適に走行できる道路が整備されている」(22.4%)、「道路交通の渋滞対策が図られている」(21.0%)が2割台で続く。

【属性別結果】(次ページ図4-2参照)

① 地区別

「鉄道やバスなどで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている」については、西蒲区(39.3%)で最も高く、中央区(24.9%)を除くすべての区で3割を超えた。

② 性別

「生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている」については、男性(20.4%)に比べて女性(27.8%)で割合が高い。「道路交通の渋滞対策が図られている」については、女性(18.5%)に比べて男性(24.7%)で割合が高い。

③ 年齢別

「鉄道やバスなどで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている」は、18~29歳(39.1%)で割合が高く約4割となり、年齢が高いほど割合が低くなる傾向にある。

図 4-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別/性別/年齢別） 1/3

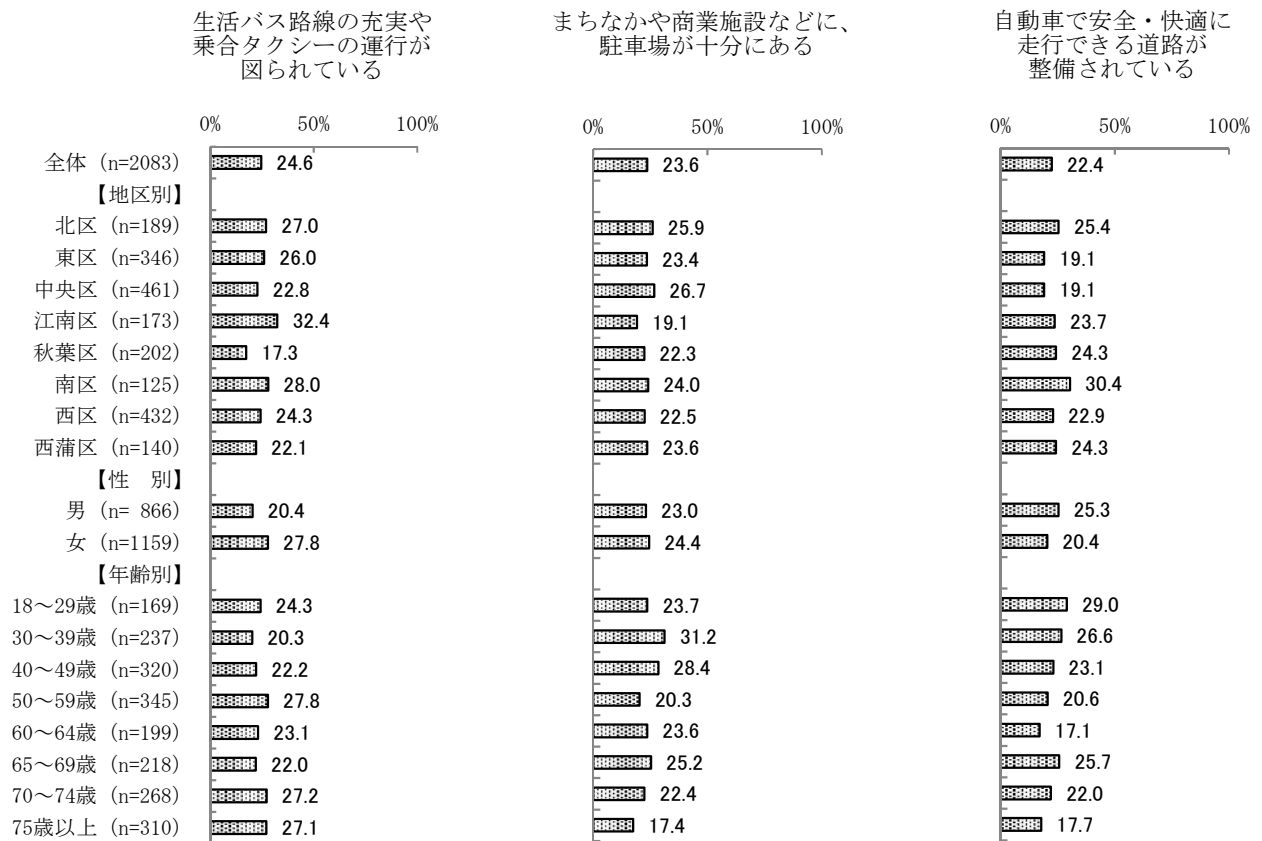
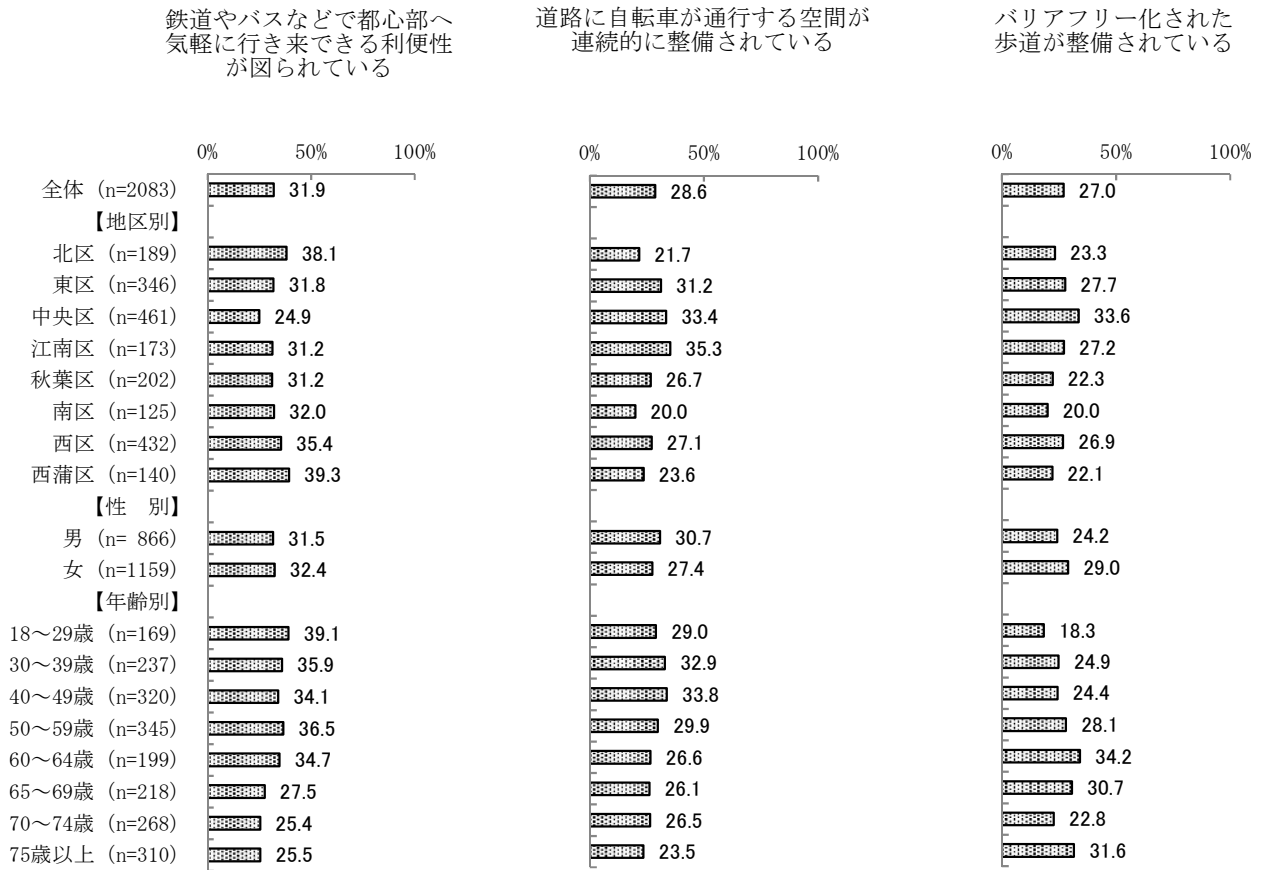


図 4-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別/性別/年齢別） 2/3

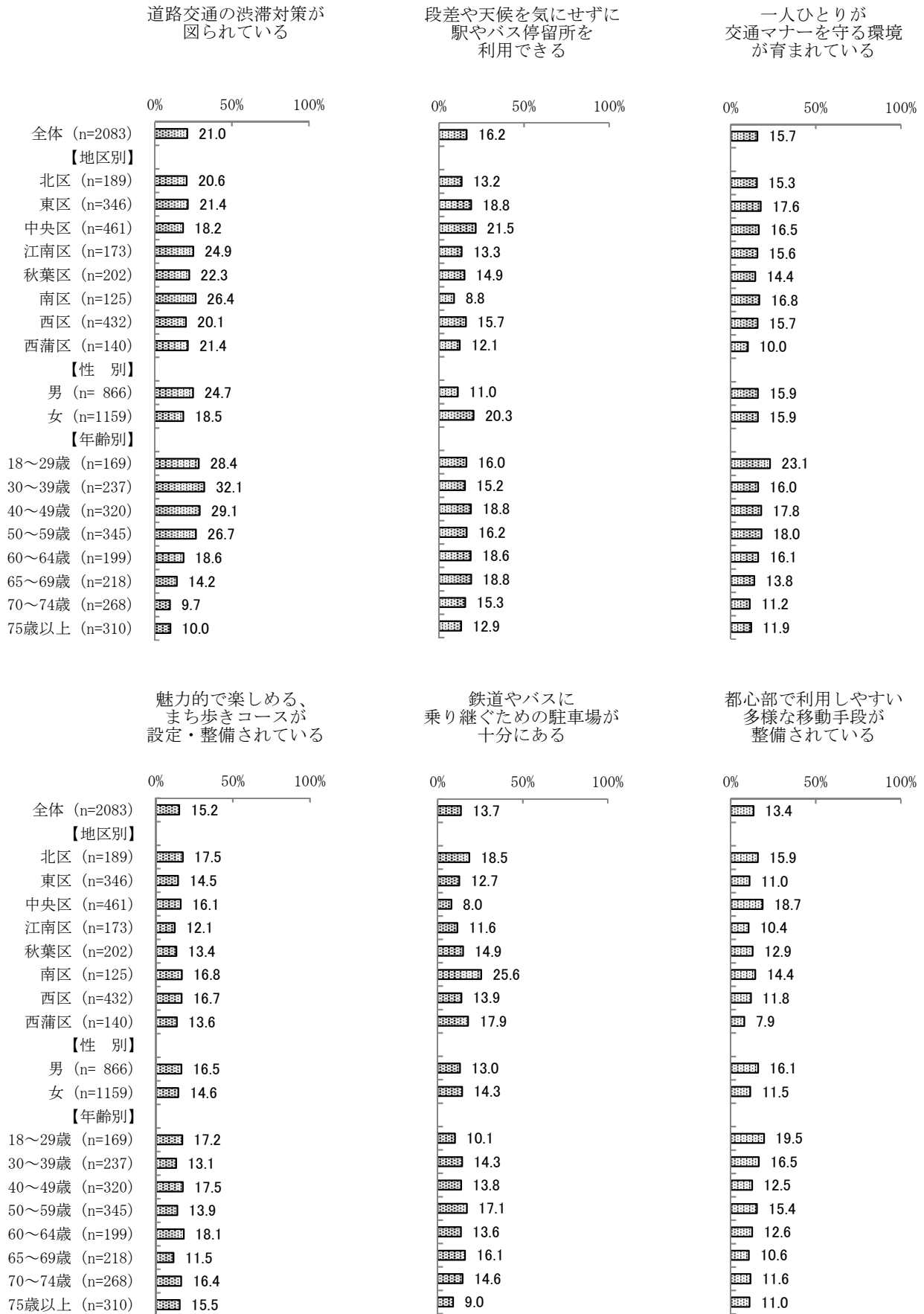
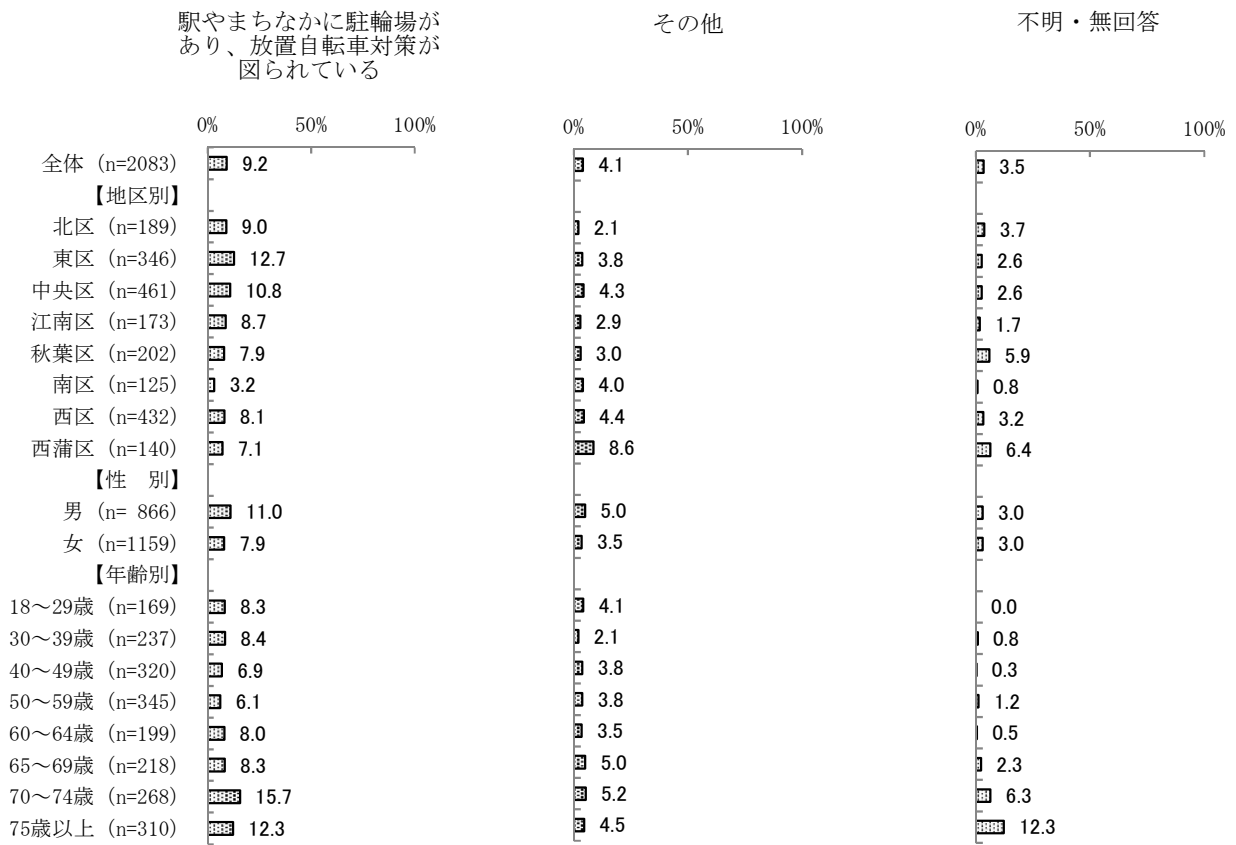
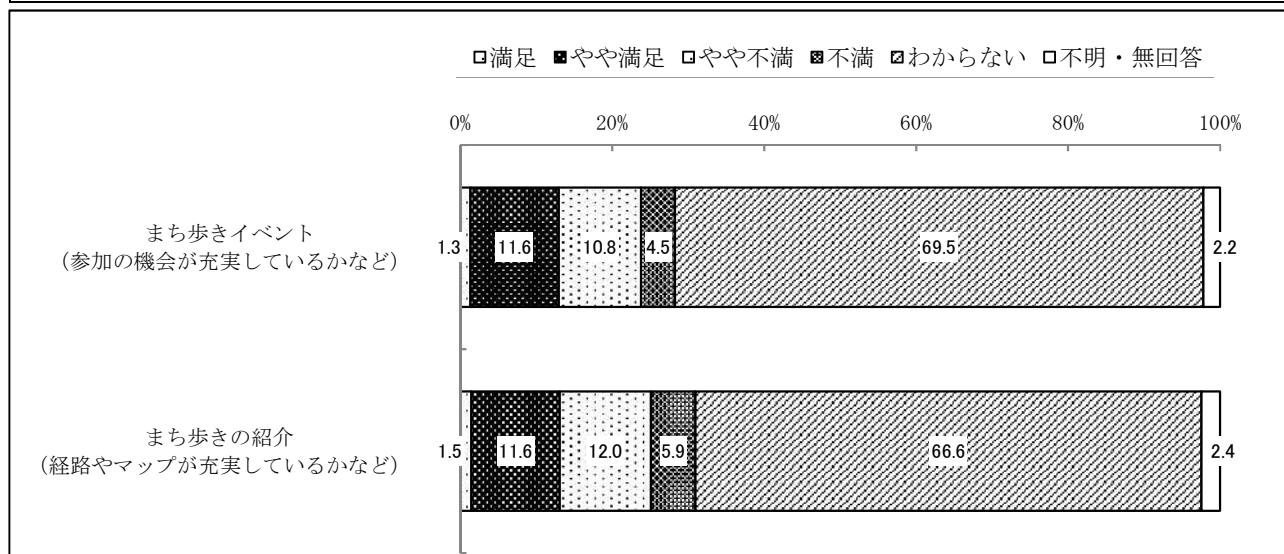


図 4-2 「移動しやすいまち」として必要なこと（地区別/性別/年齢別） 3/3



(6) まち歩きに対する満足度

問23 近年、健康意識の高まりや街の持つ魅力が再認識され、まちなかの散策を楽しむ「まち歩き」が広がりを見せています。そこで、「まち歩き」に関する現状についてお聞かせください。(〇はそれぞれ1つずつ)



— 「まち歩きイベント」、「まち歩きの紹介」ともに1割強が『満足』 —

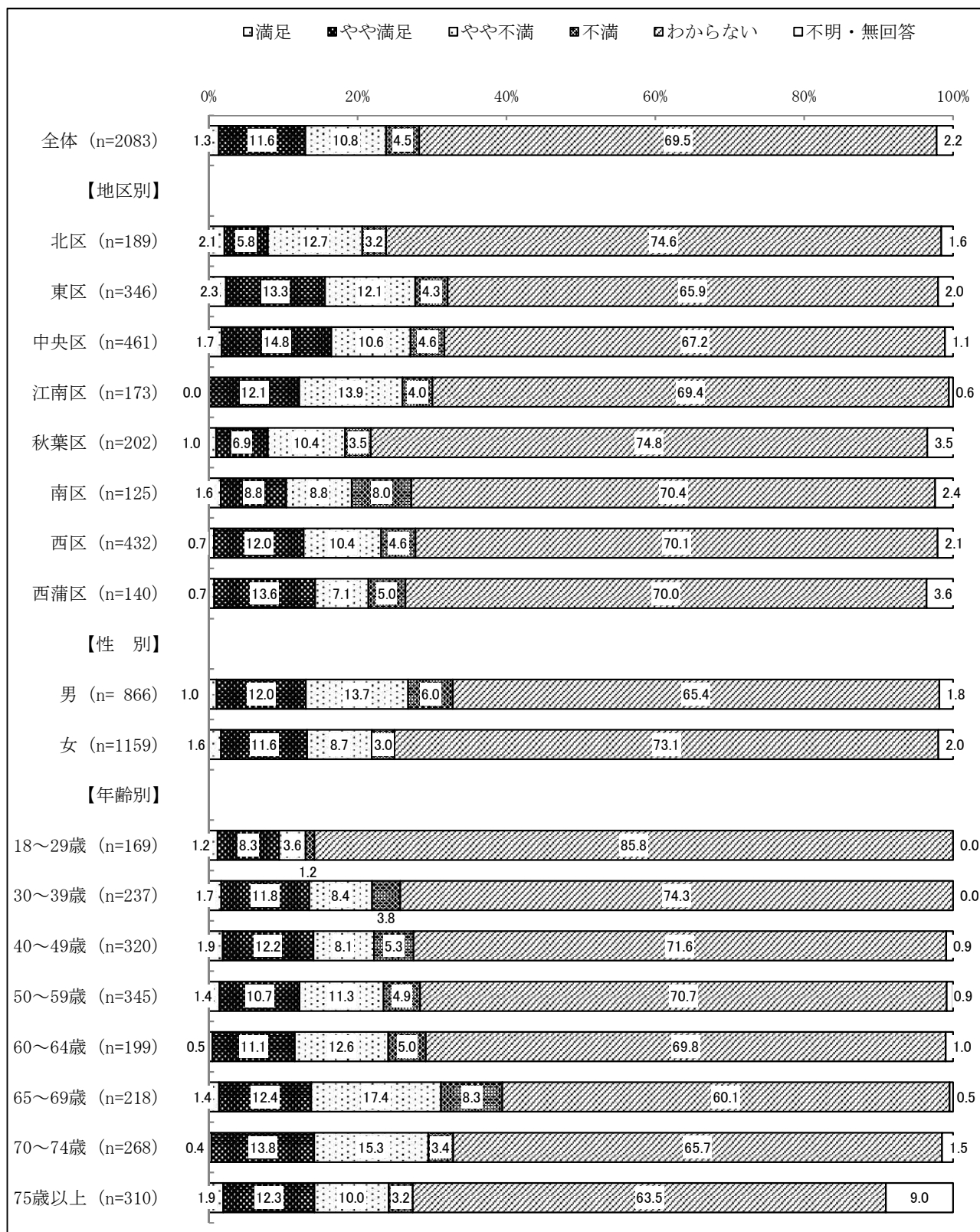
【全体結果】

「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合は、「まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）」(13.0%)、「まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）」(13.1%) とともに、1割強となった。一方、「わからない」の割合はいずれも6割を超えた。

【属性別結果】

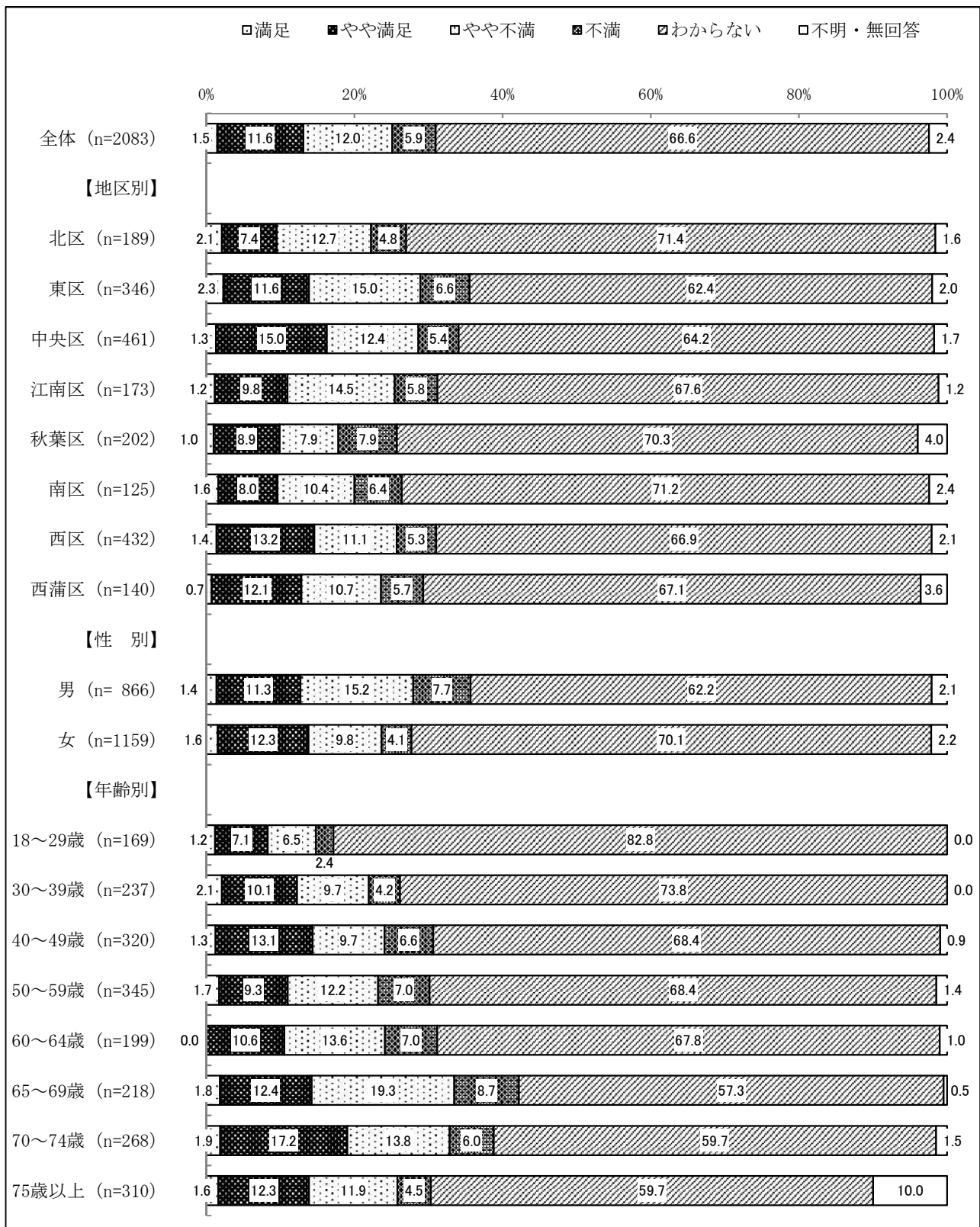
次ページ以降に項目ごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

① まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）



『満足』の割合は、中央区（16.5%）で最も高く、1割半ばとなった。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、70～74歳、75歳以上（各14.2%）が最も高く、1割半ばとなった。

② まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）

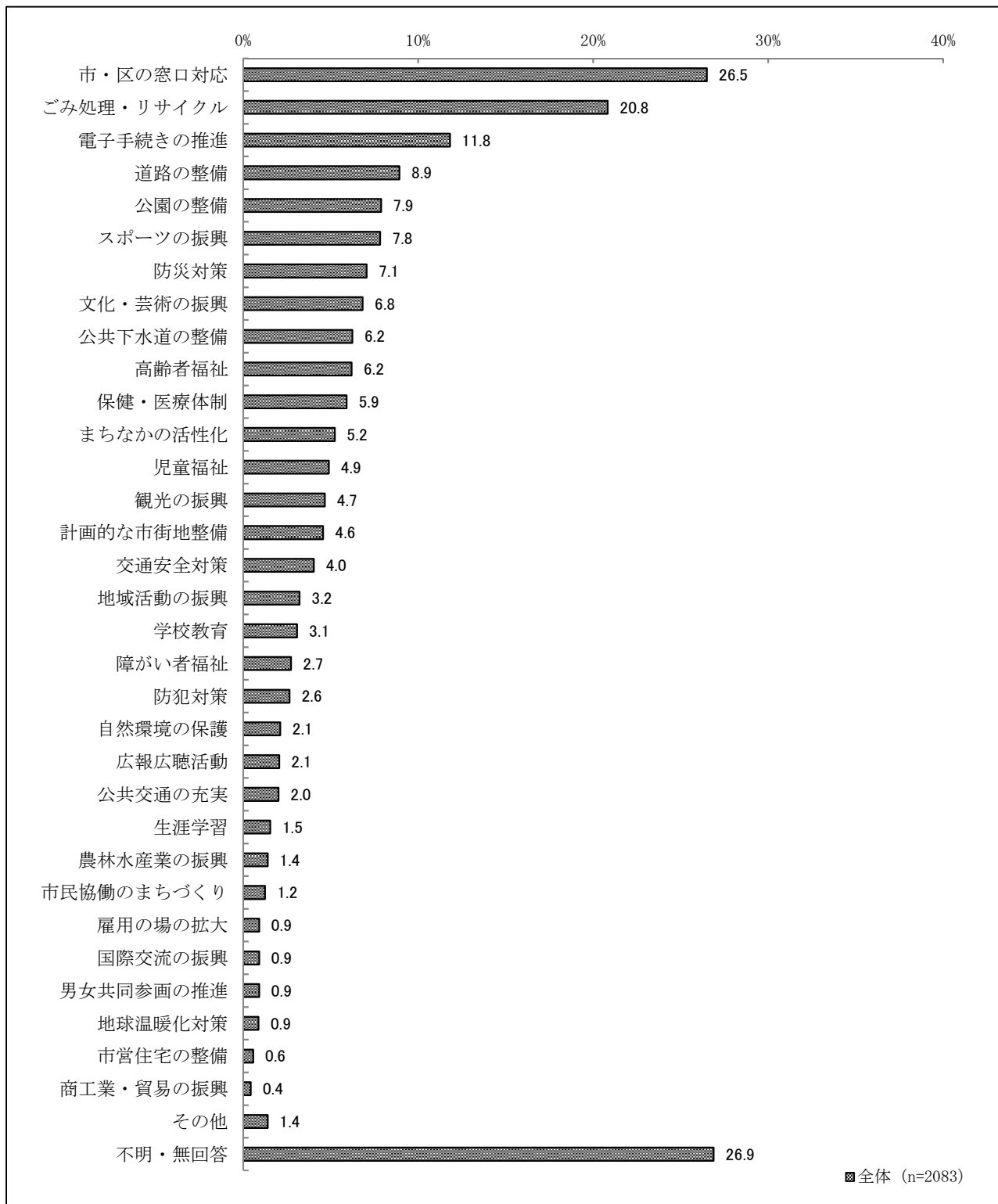


『満足』の割合は、中央区（16.3%）で最も高く、1割半ばを超えた。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、70～74歳（19.0%）が最も高く、約2割となった。

5. 市政全般と区政について

(1) 新潟市として良くなっているもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ①「新潟市として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号（1～33）をご記入ください。



【全体結果】

新潟市として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(26.5%)の割合が最も高く、2割半ばを超えた。次いで、「ごみ処理・リサイクル」(20.8%)が約2割となった。次に「電子手続きの推進」(11.8%)が続くが、他は1割未満となった。

【属性別結果】(次ページ図5-1参照)

① 地区別

「市・区の窓口対応」については、西区(32.4%)で割合が最も高く、次いで、東区(31.5%)で3割を超えている。割合が最も低いのは西蒲区(12.9%)となった。

② 性別

「市・区の窓口対応」については、女性(24.2%)と比べて男性(30.4%)で割合が高い。

③ 年齢別

「市・区の窓口対応」は、65歳以上で割合が高く3割を超え、18～29歳(11.2%)で割合が最も低い。

50歳以上では、「ごみ処理・リサイクル」の割合が高く、2割を超えた。30～39歳では、「電子手続きの推進」(24.5%)の割合が高く、他の年代と差がみられた。

図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

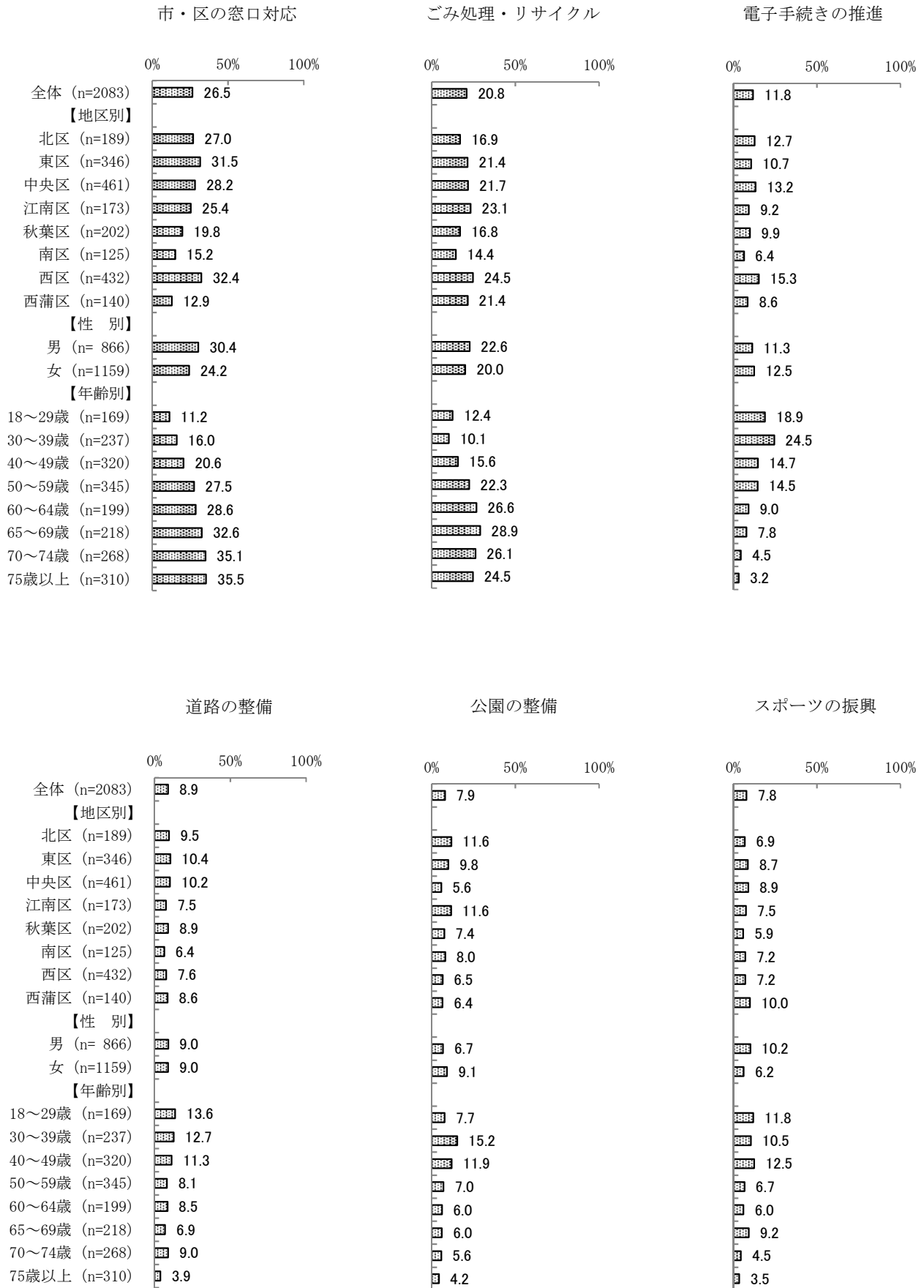


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

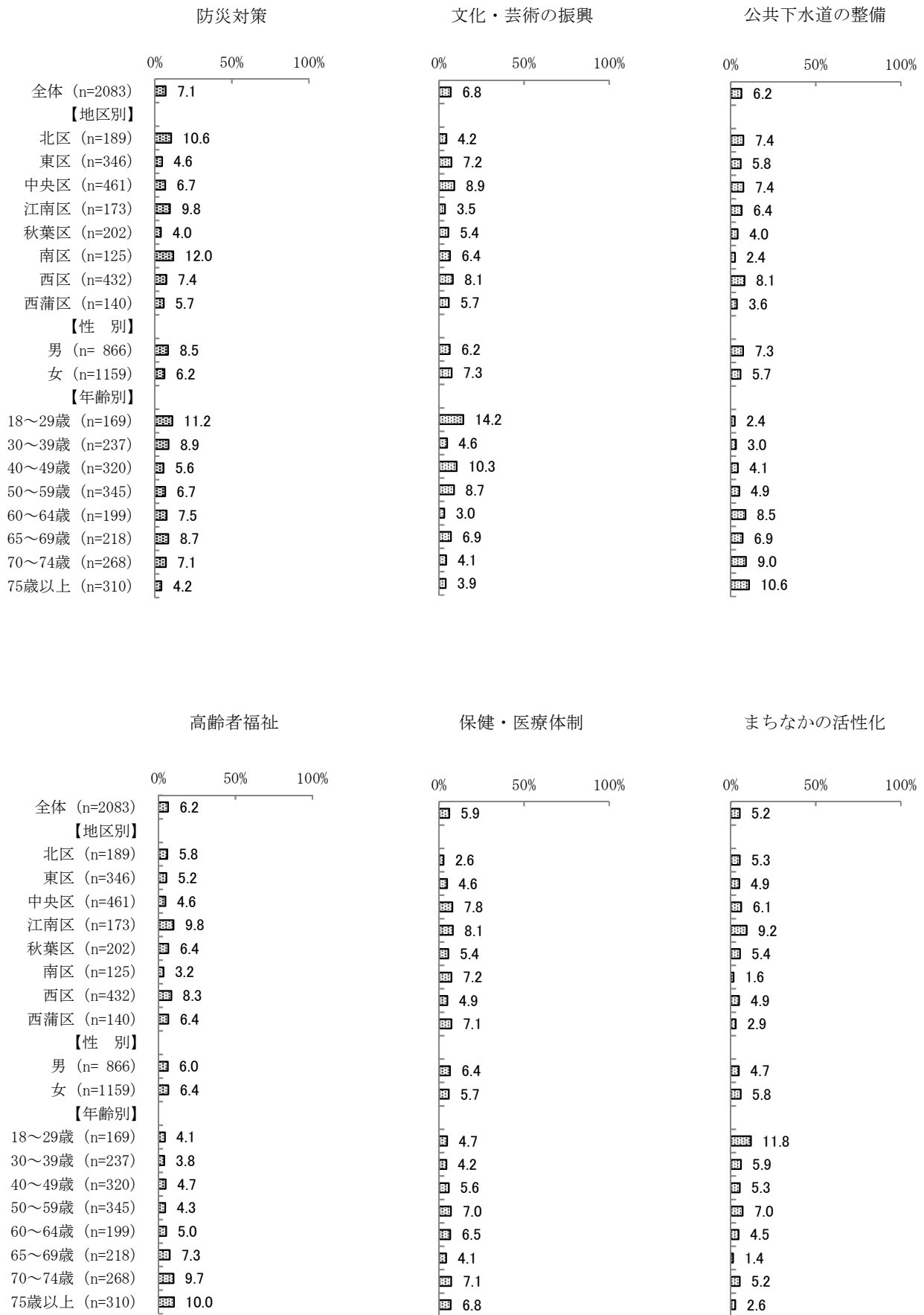


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

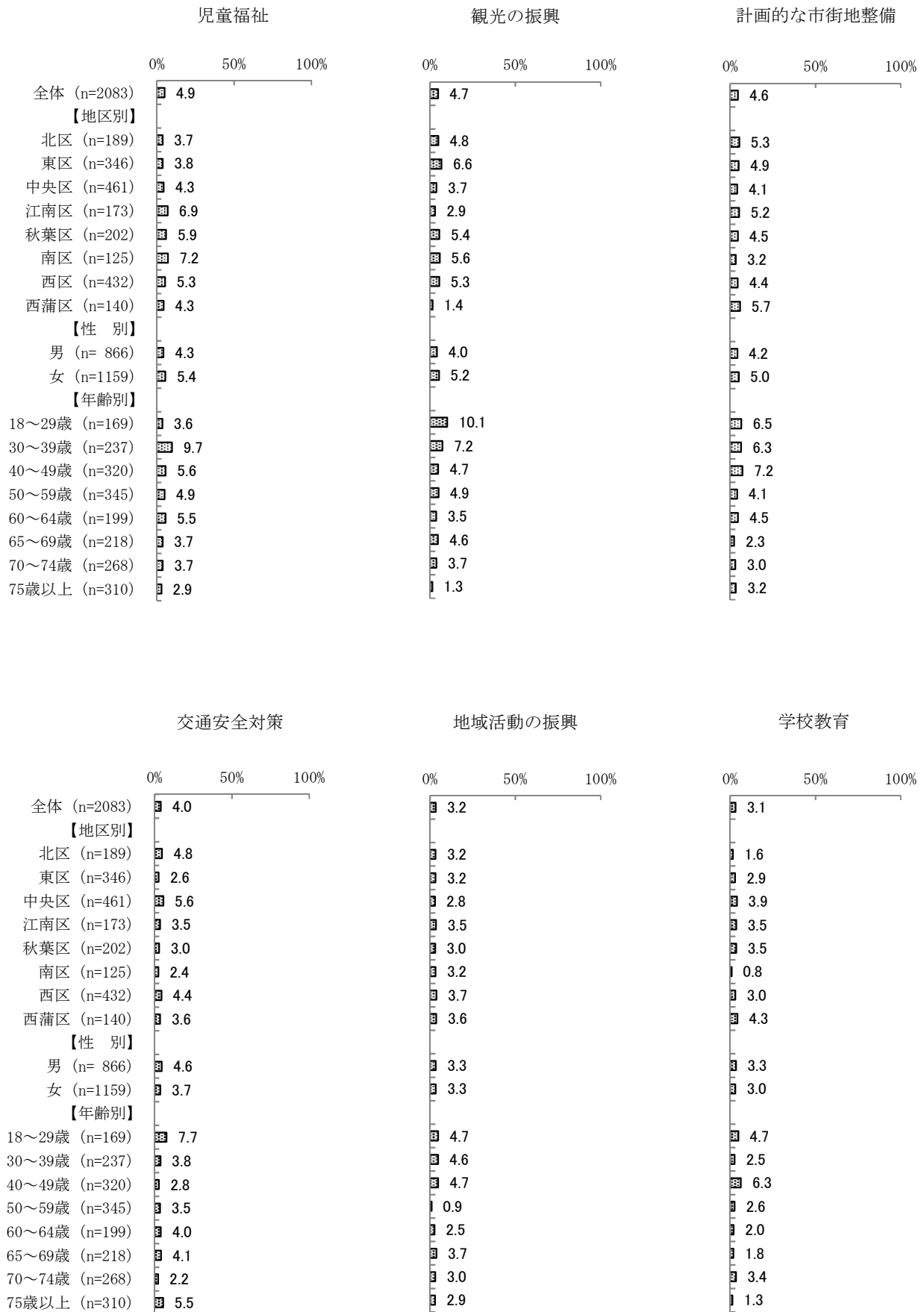


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

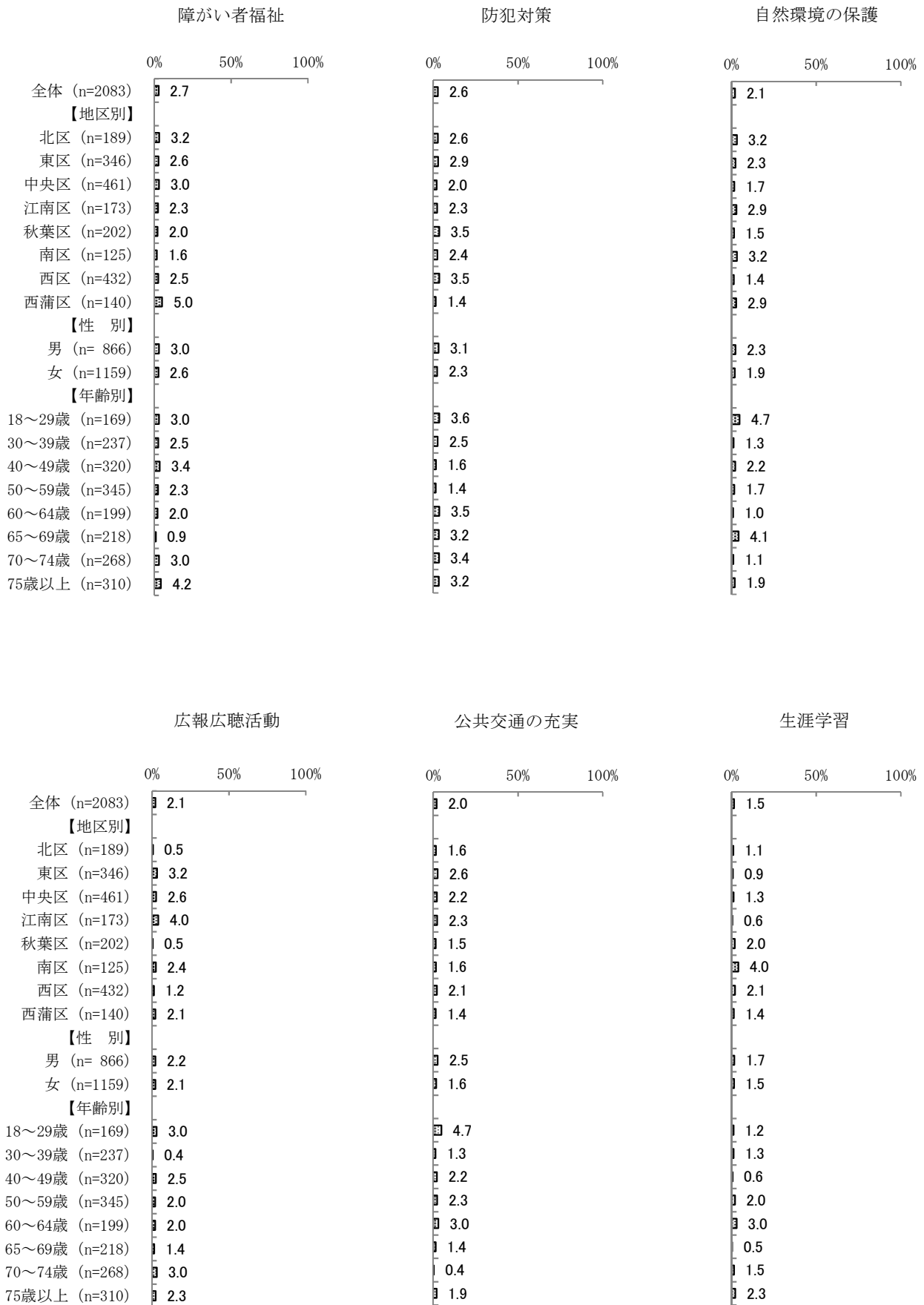


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

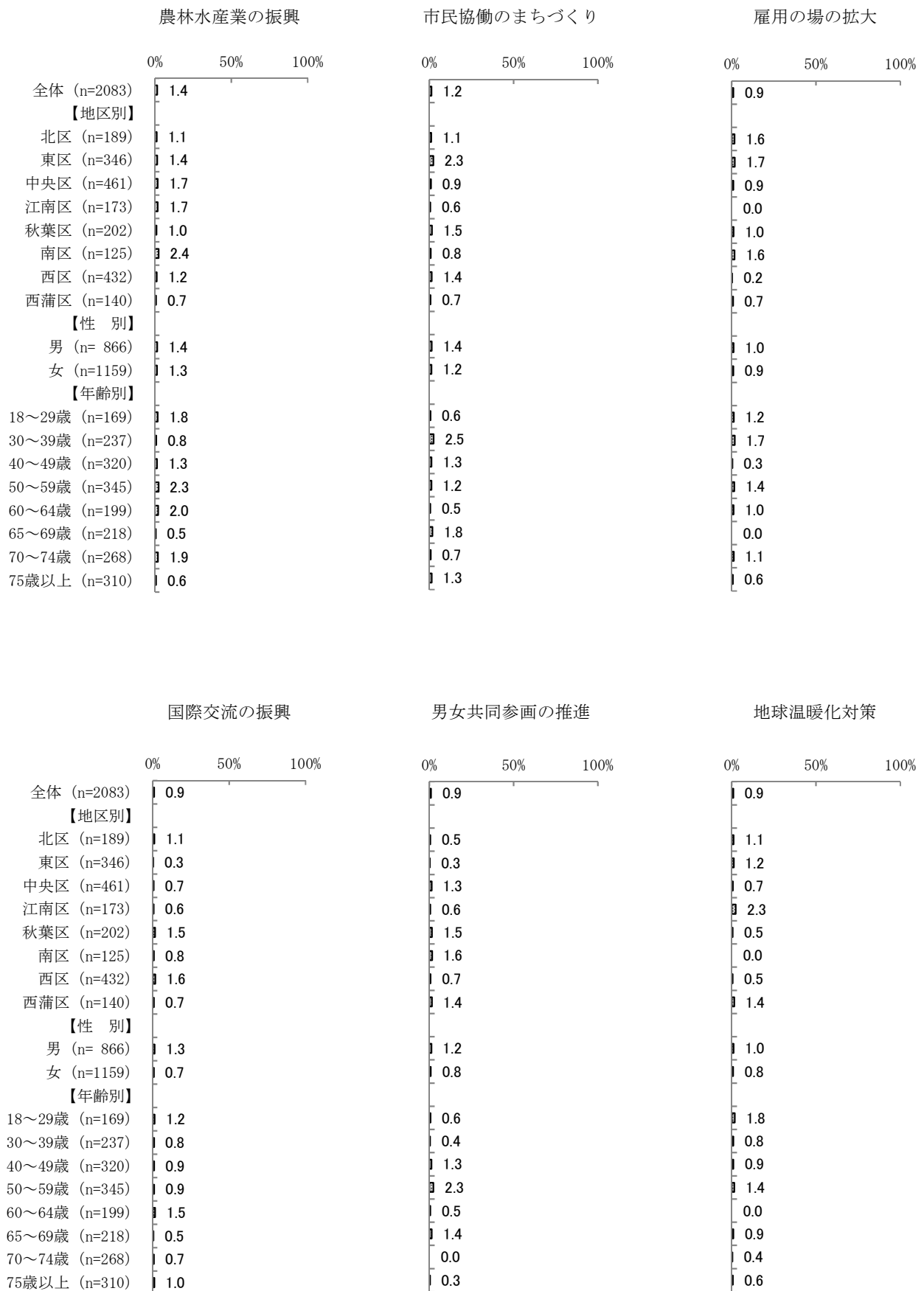
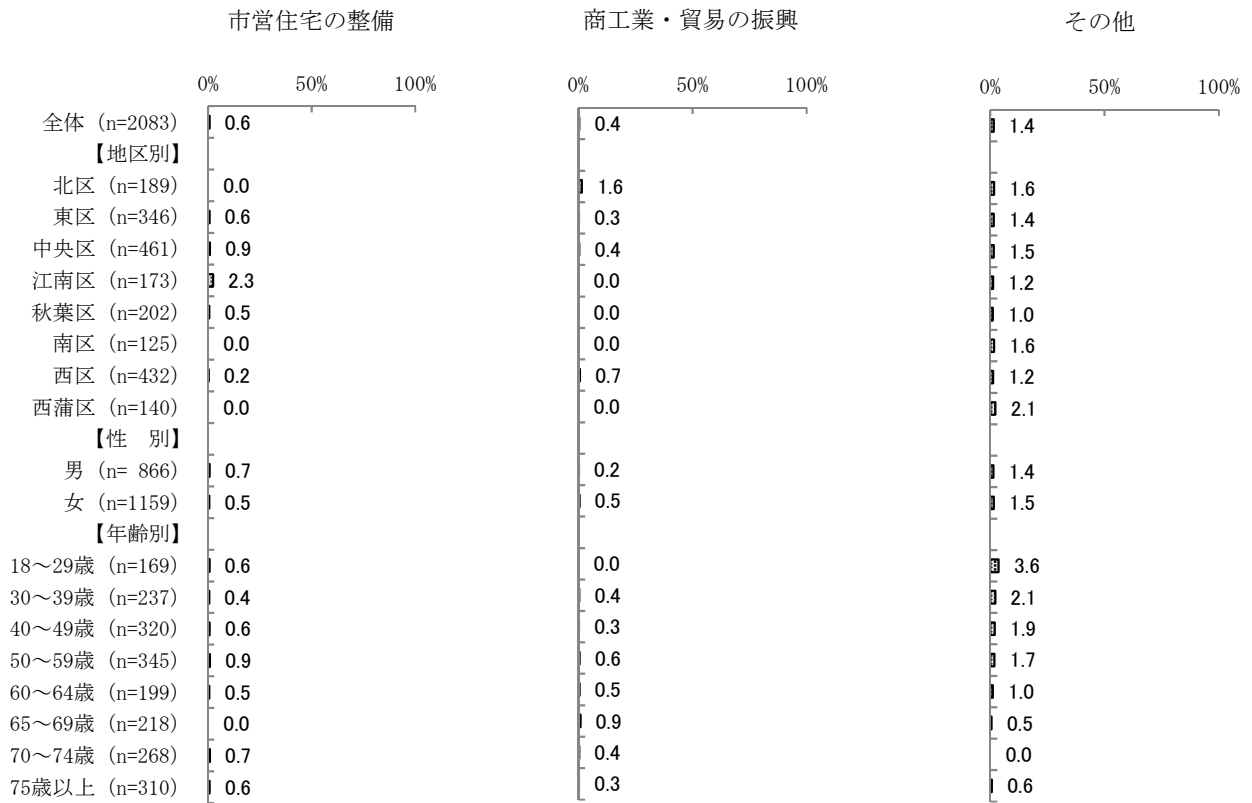
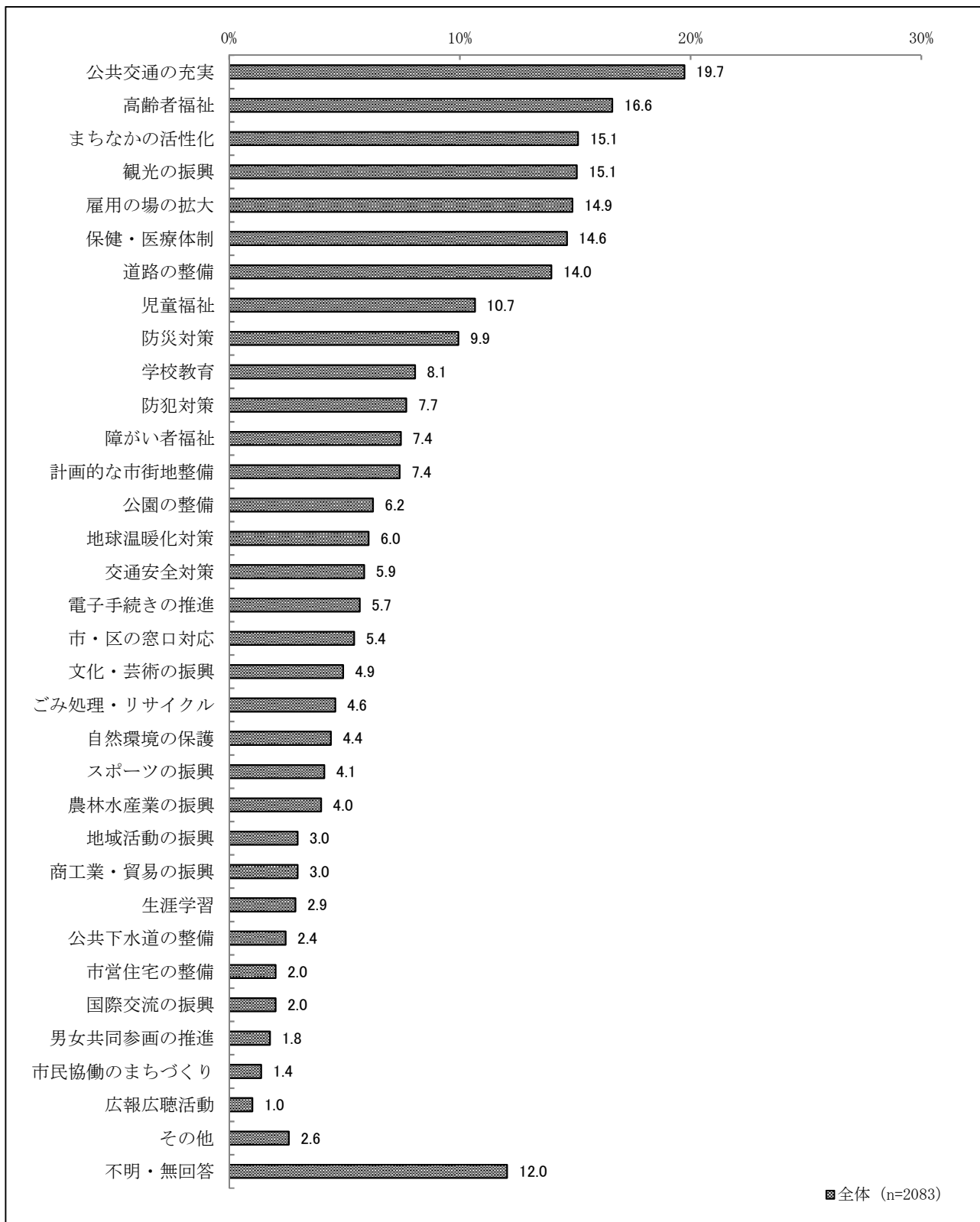


図 5-1 新潟市として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(2) 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



— 約2割が「公共交通の充実」を要望 —

【全体結果】

新潟市として今後もっと力を入れてほしいものは、「公共交通の充実」(19.7%)が最も高く、約2割となった。次いで「高齢者福祉」(16.6%)、「まちなかの活性化」(15.1%)、「観光の振興」(15.1%)、「雇用の場の拡大」(14.9%)の順に続く。

【属性別結果】(次ページ図5-2参照)

① 地区別

「まちなかの活性化」は、中央区(20.4%)で割合が最も高く、南区(9.6%)で割合が最も低くなった。

江南区では、「防災対策」(15.0%)が1割半ばと高く、他の区と比べて差がみられた。

② 性別

「道路の整備」は、女性(11.6%)と比べて男性(17.6%)で割合が高い。

③ 年齢別

「学校教育」は、30～39歳(18.6%)、40～49歳(15.0%)で割合が高い。「公共交通の充実」は、50～59歳(24.1%)で割合が最も高く、2割を超えた。

「児童福祉」は、30～39歳(27.8%)で割合が高く3割近くとなった。「高齢者福祉」は、60歳以上では2割を超えているが、39歳以下では1割に満たない。

図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

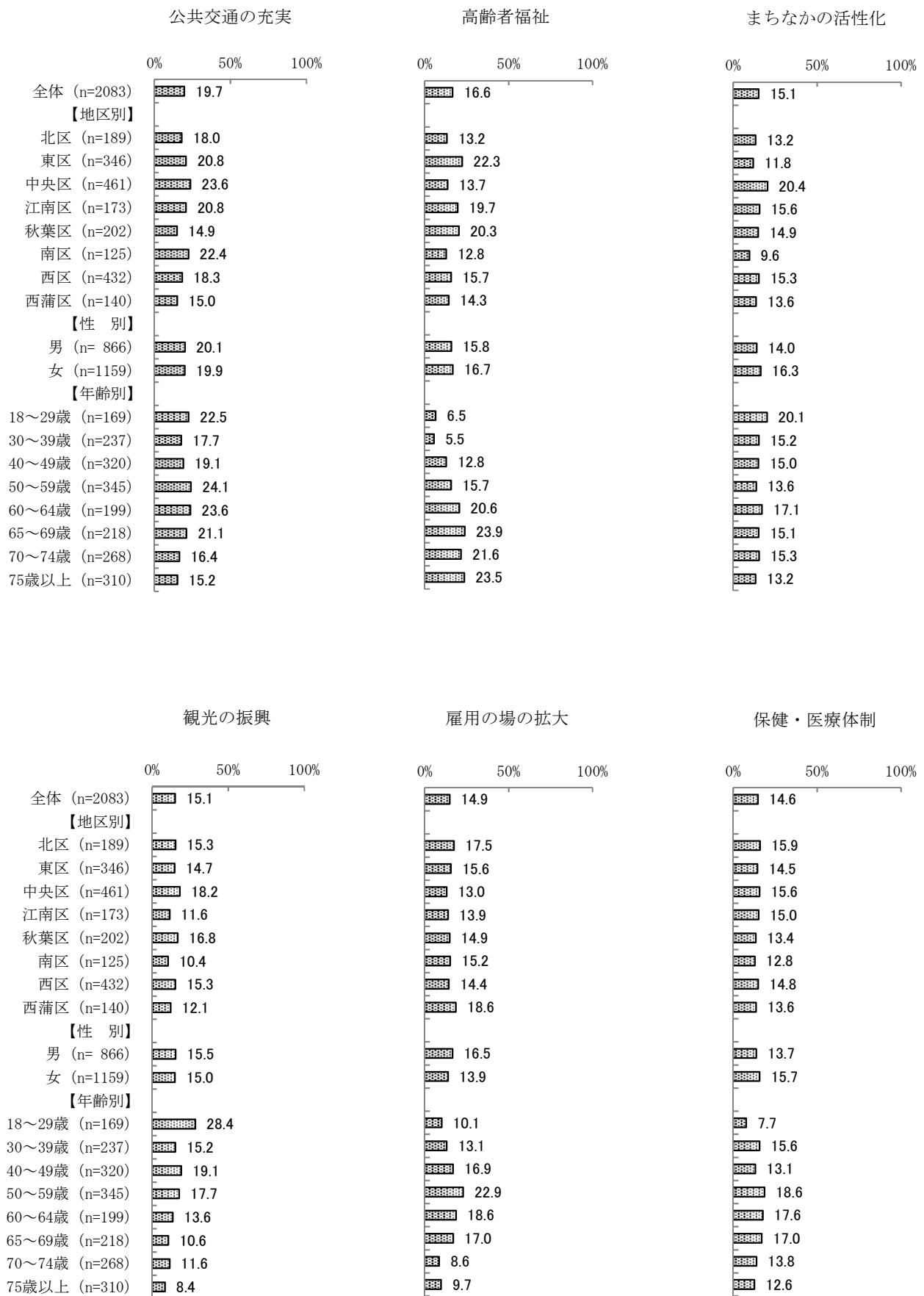


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

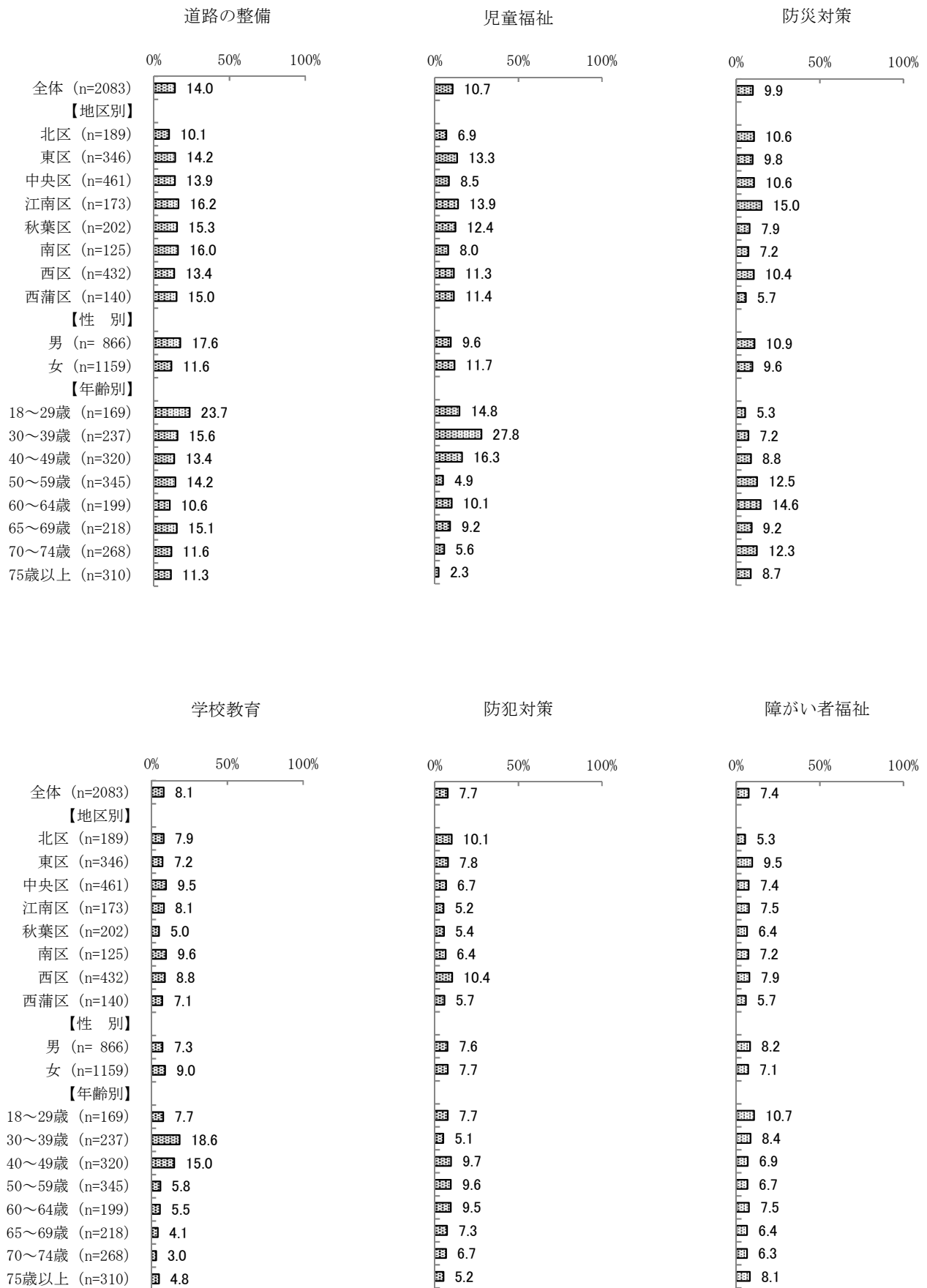


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

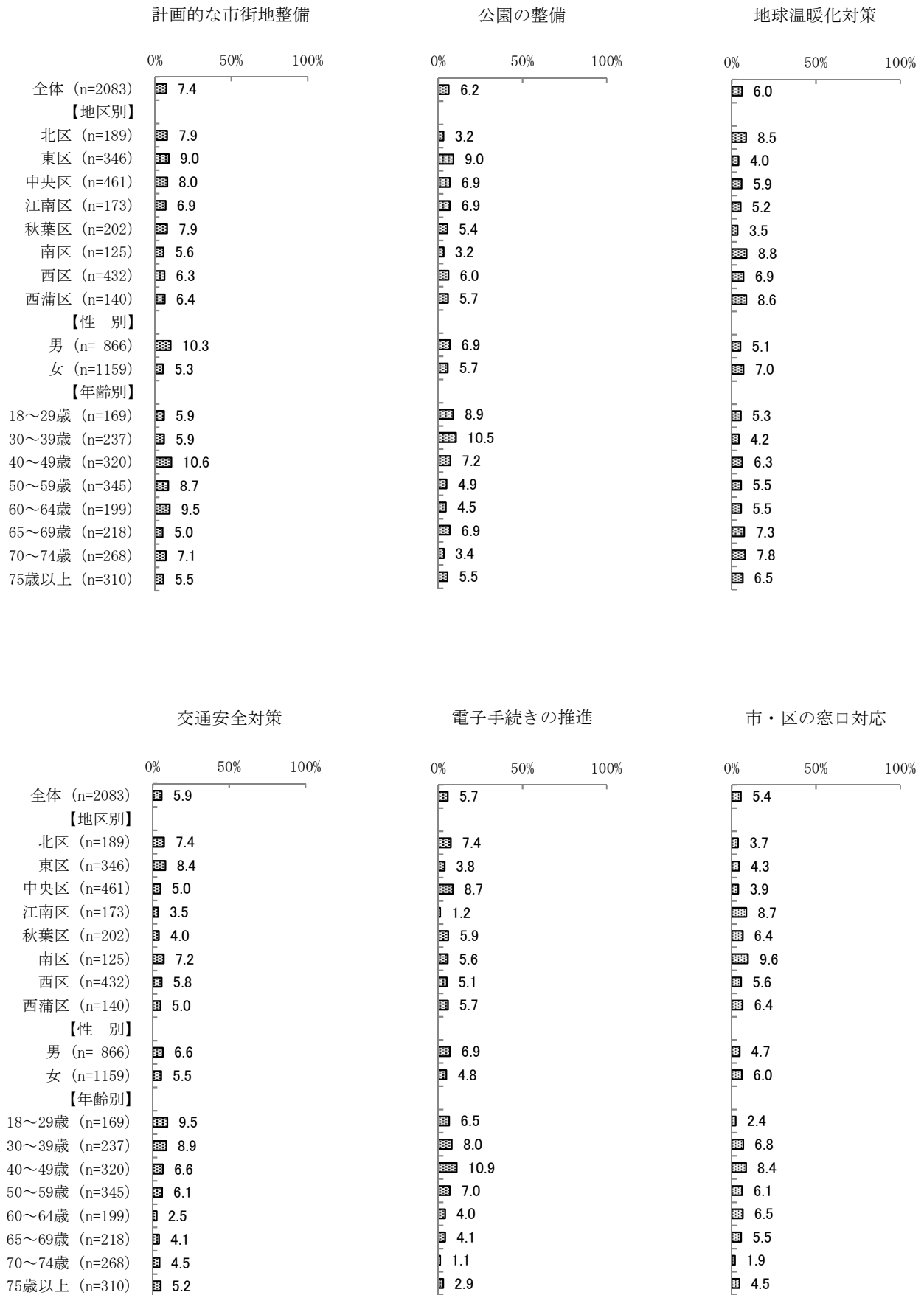


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

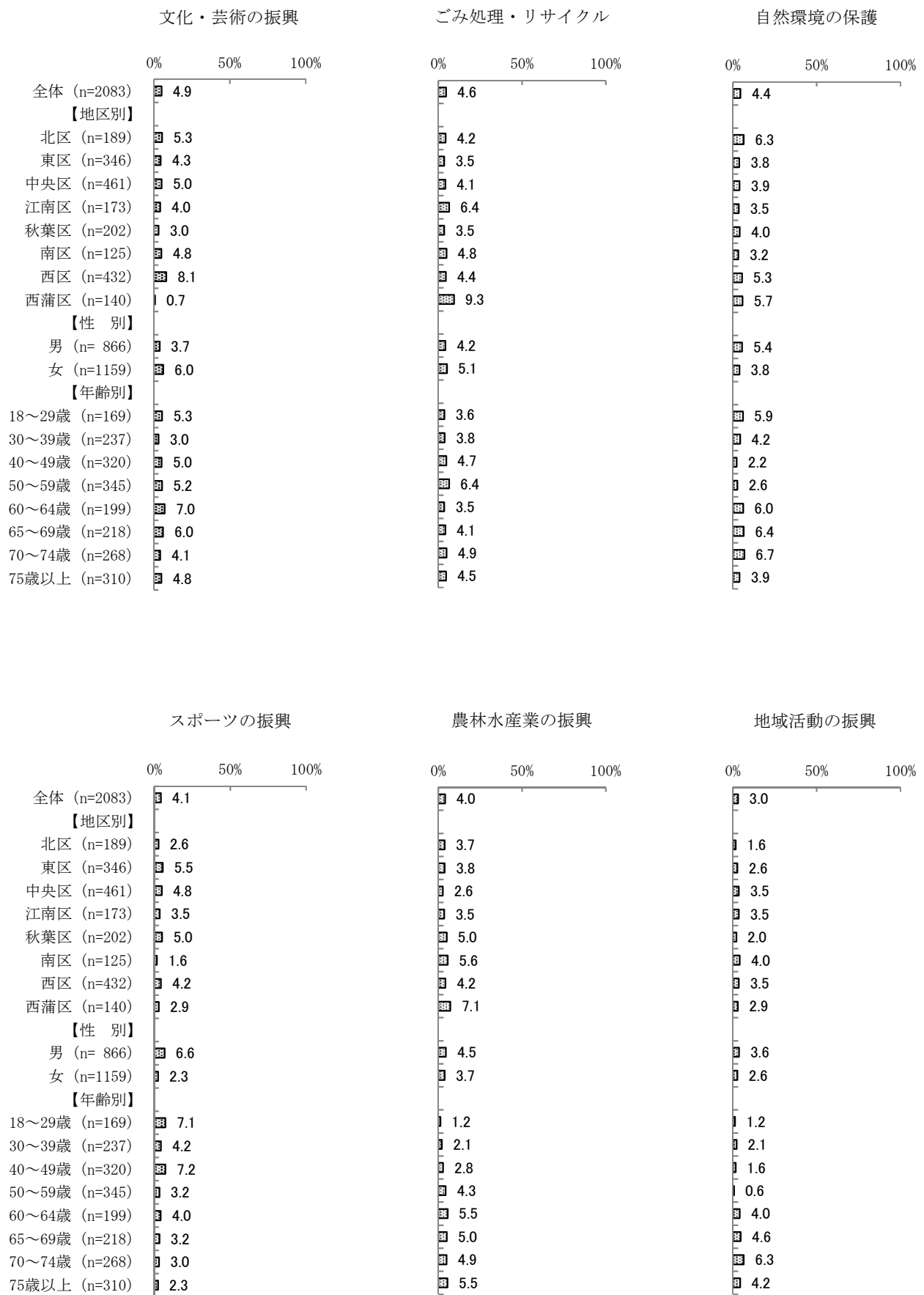


図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

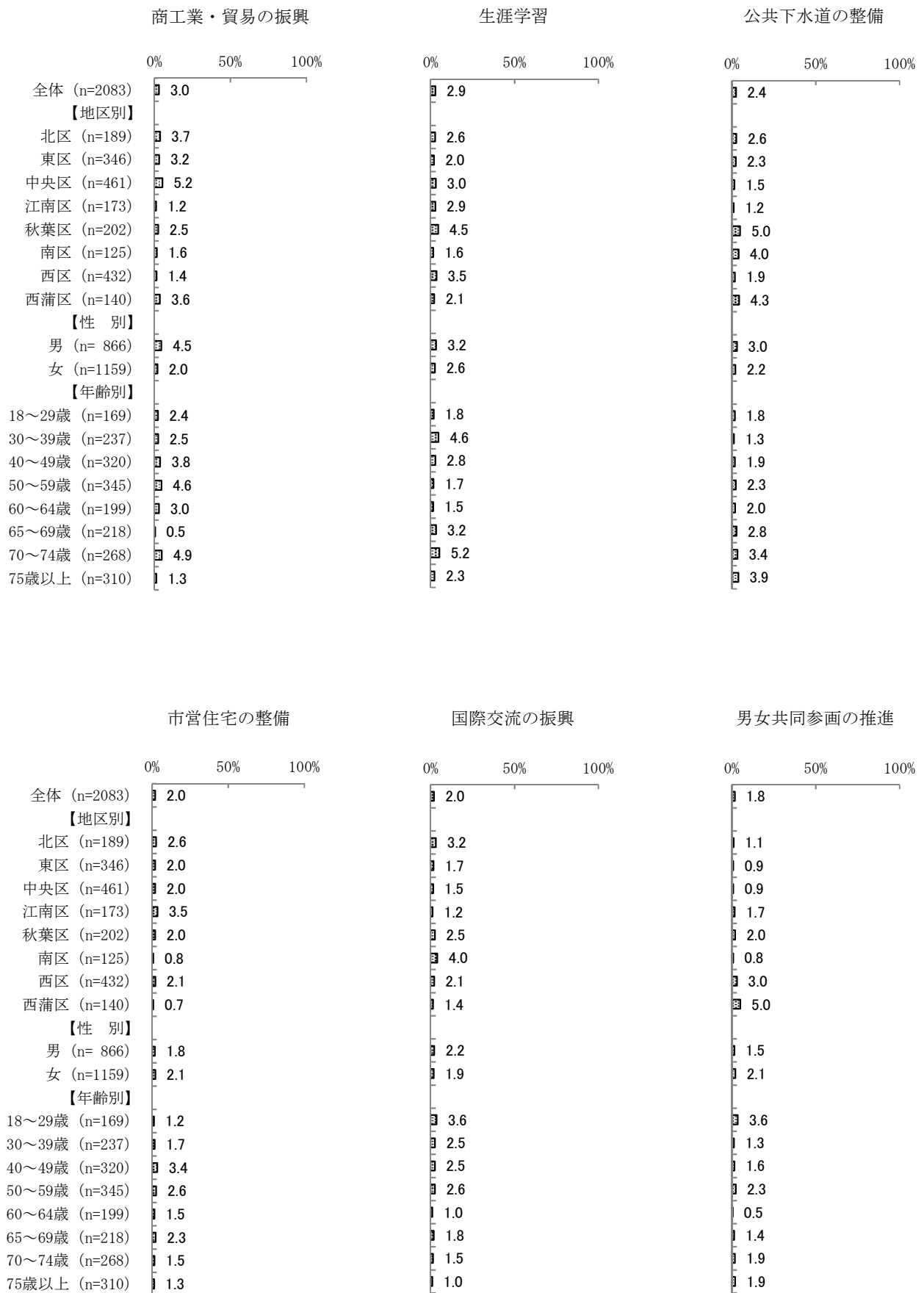
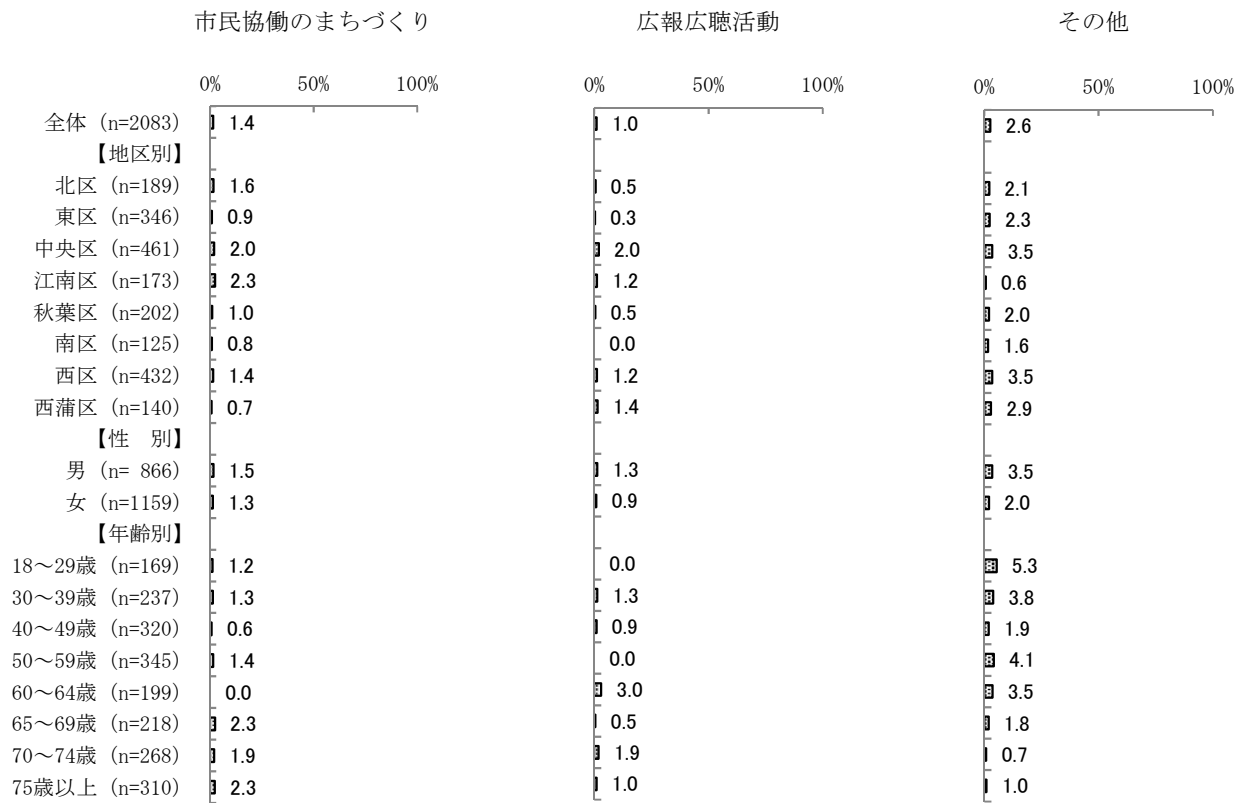


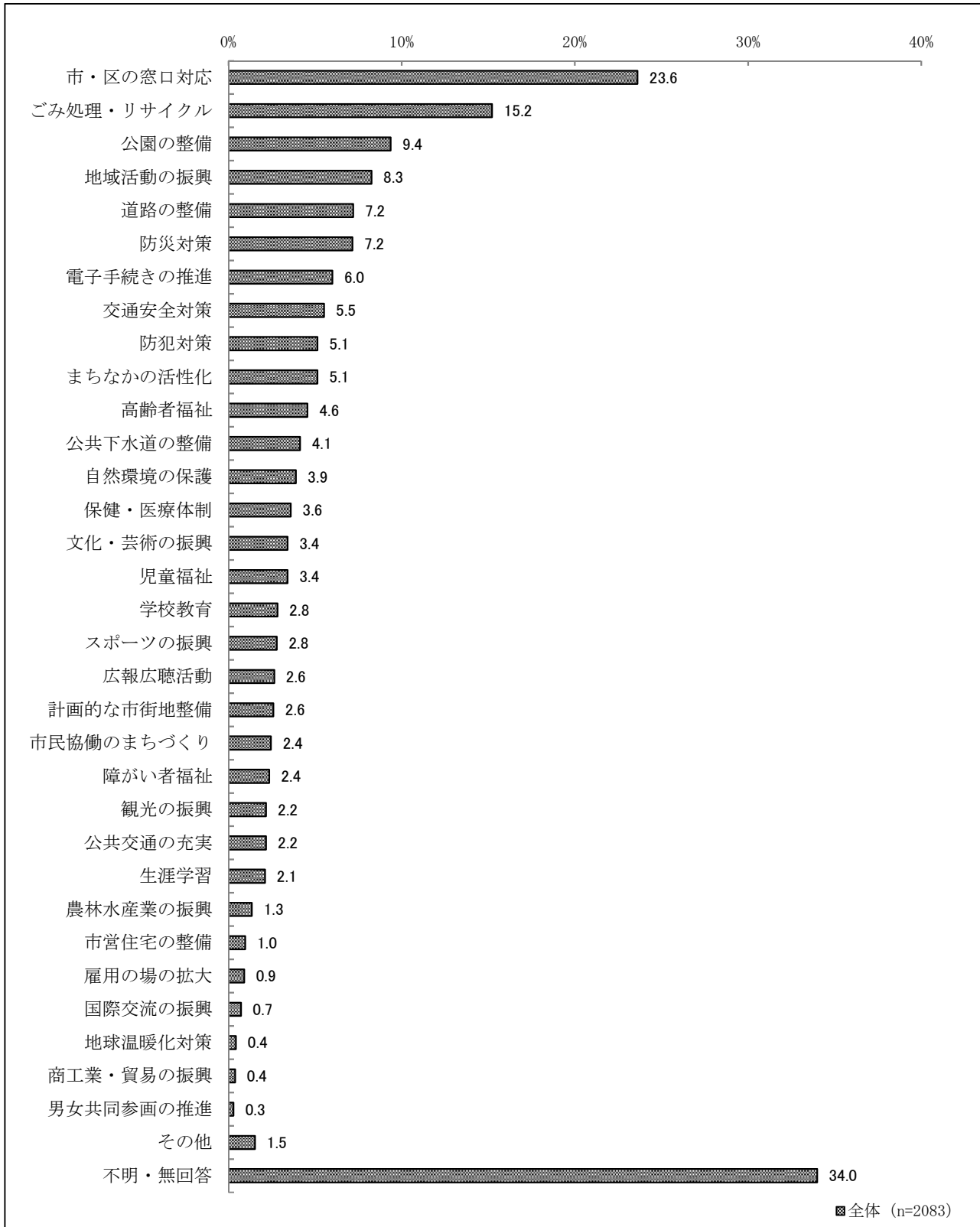
図 5-2 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(3) 区として良くなっているもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

③「区として良くなっているもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



【全体結果】

区として良くなっているものは、「市・区の窓口対応」(23.6%)の割合が最も高く、「ごみ処理・リサイクル」(15.2%)、「公園の整備」(9.4%)の順に1割未満が続く。

【属性別結果】(次ページ図5-3参照)

① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「市・区の窓口対応」は、西区(29.2%)の割合が最も高い。

「ごみ処理・リサイクル」は西区(17.8%)で割合が高く、「公園の整備」は東区(14.2%)で割合が高い。「自然環境の保護」は北区(11.1%)で割合が高く他の区と比べ差がみられた。

② 性別

「市・区の窓口対応」は、女性(22.4%)と比べて男性(26.0%)で割合がやや高い。

③ 年齢別

「市・区の窓口対応」は、60～64歳(29.6%)で最も割合が高く、約3割となった。

18～29歳では、「文化・芸術の振興」(9.5%)、「交通安全対策」(10.7%)で割合が高く、他の年代と差がみられた。

図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

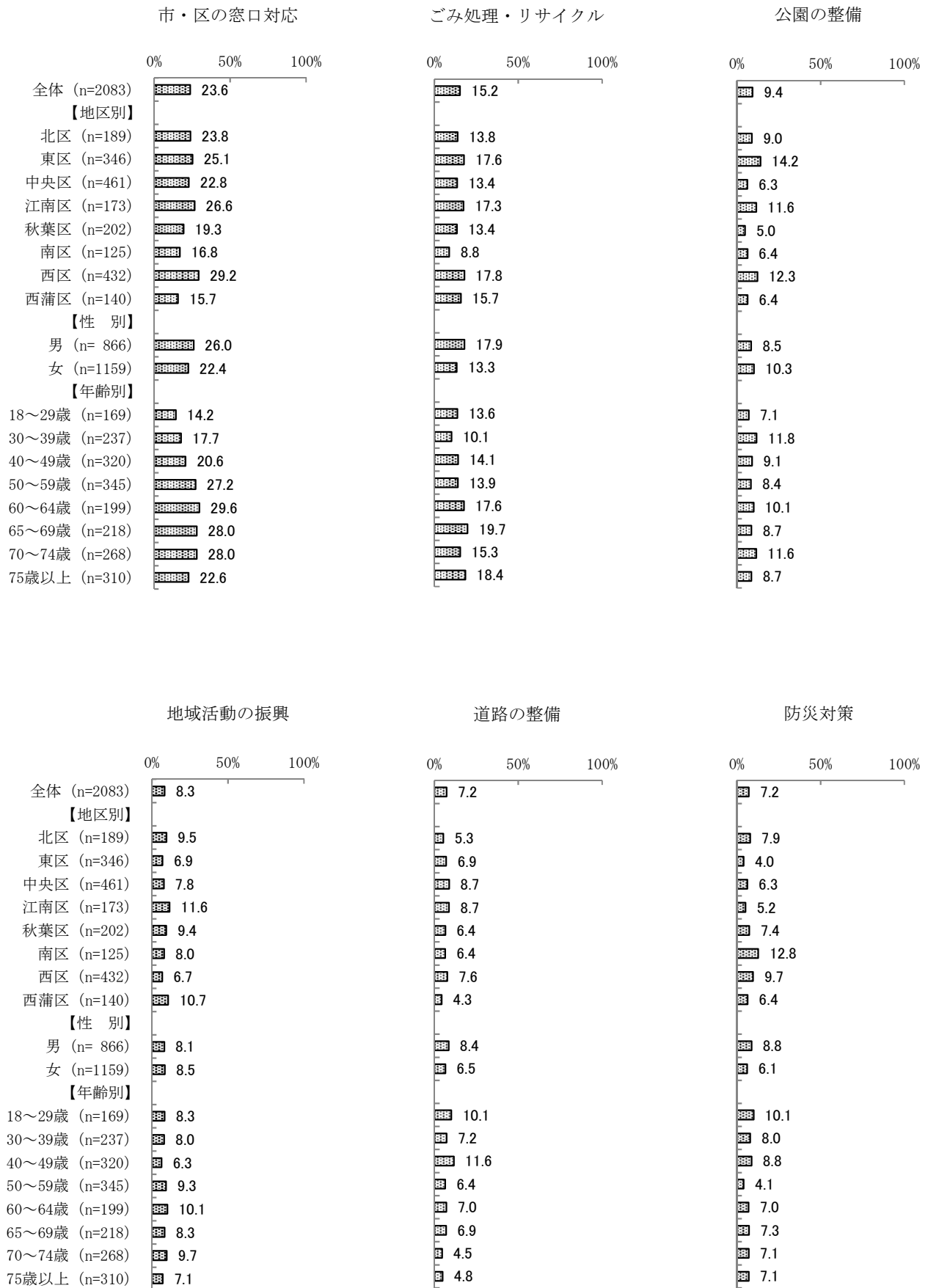


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

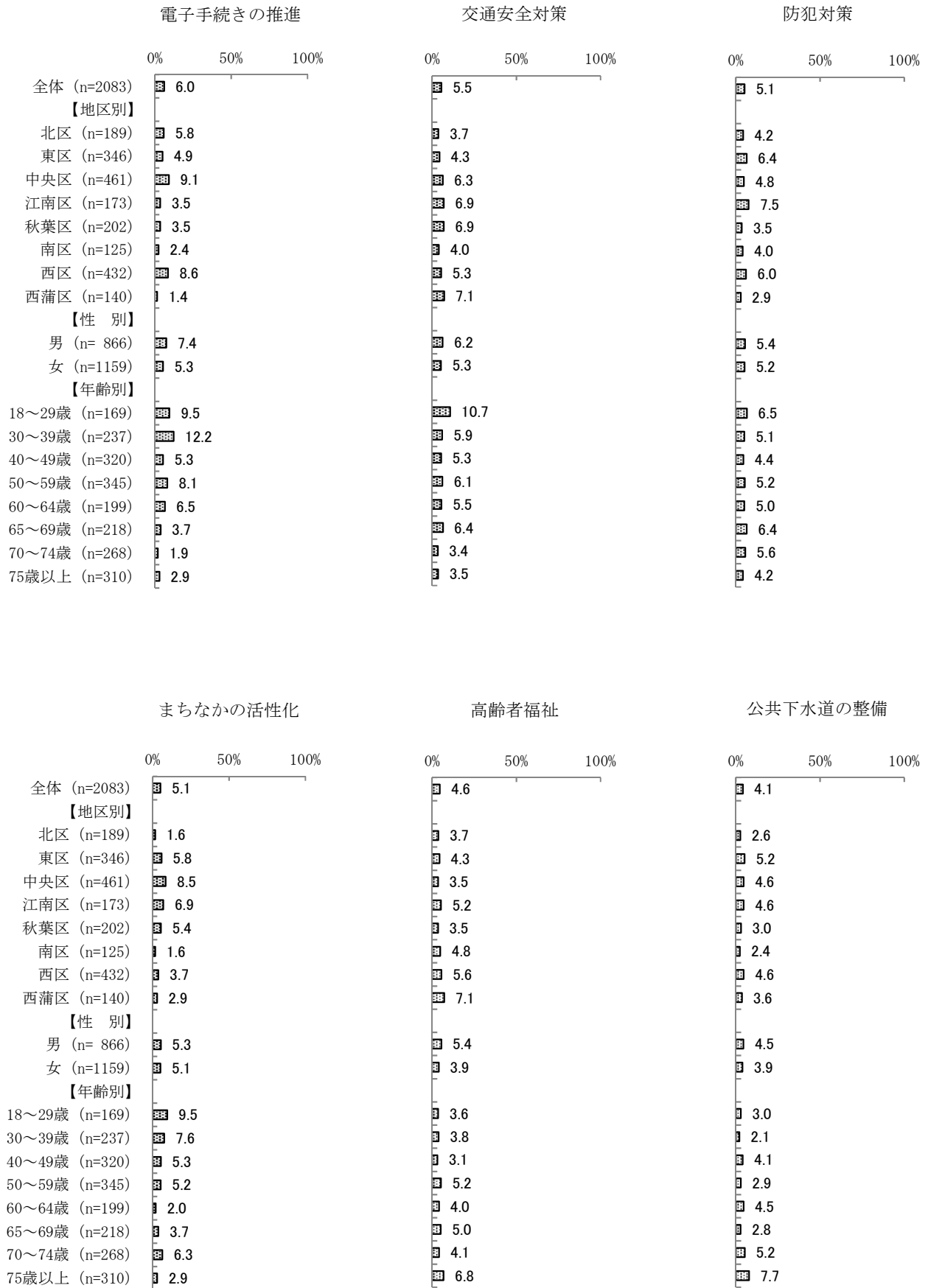


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

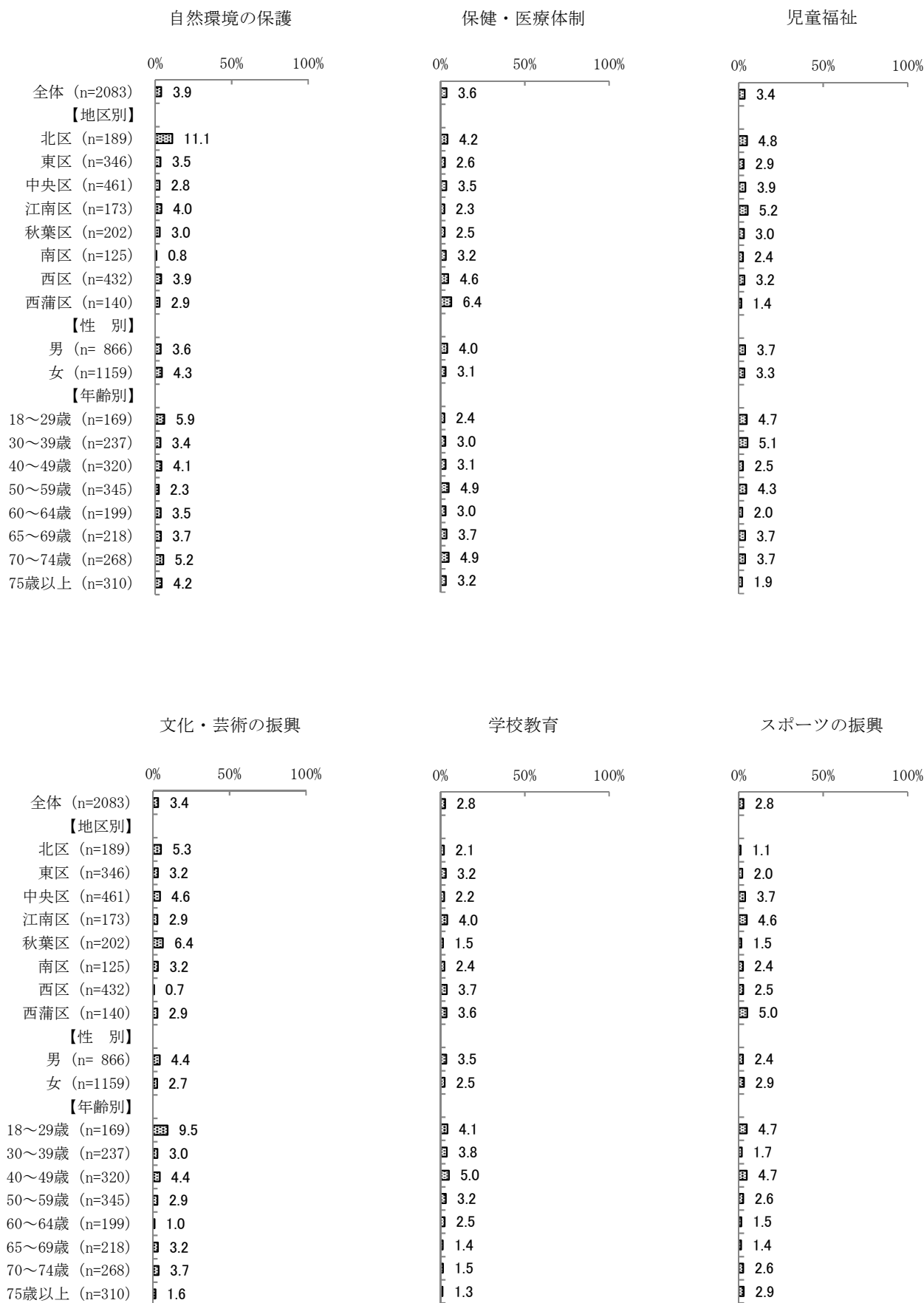


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

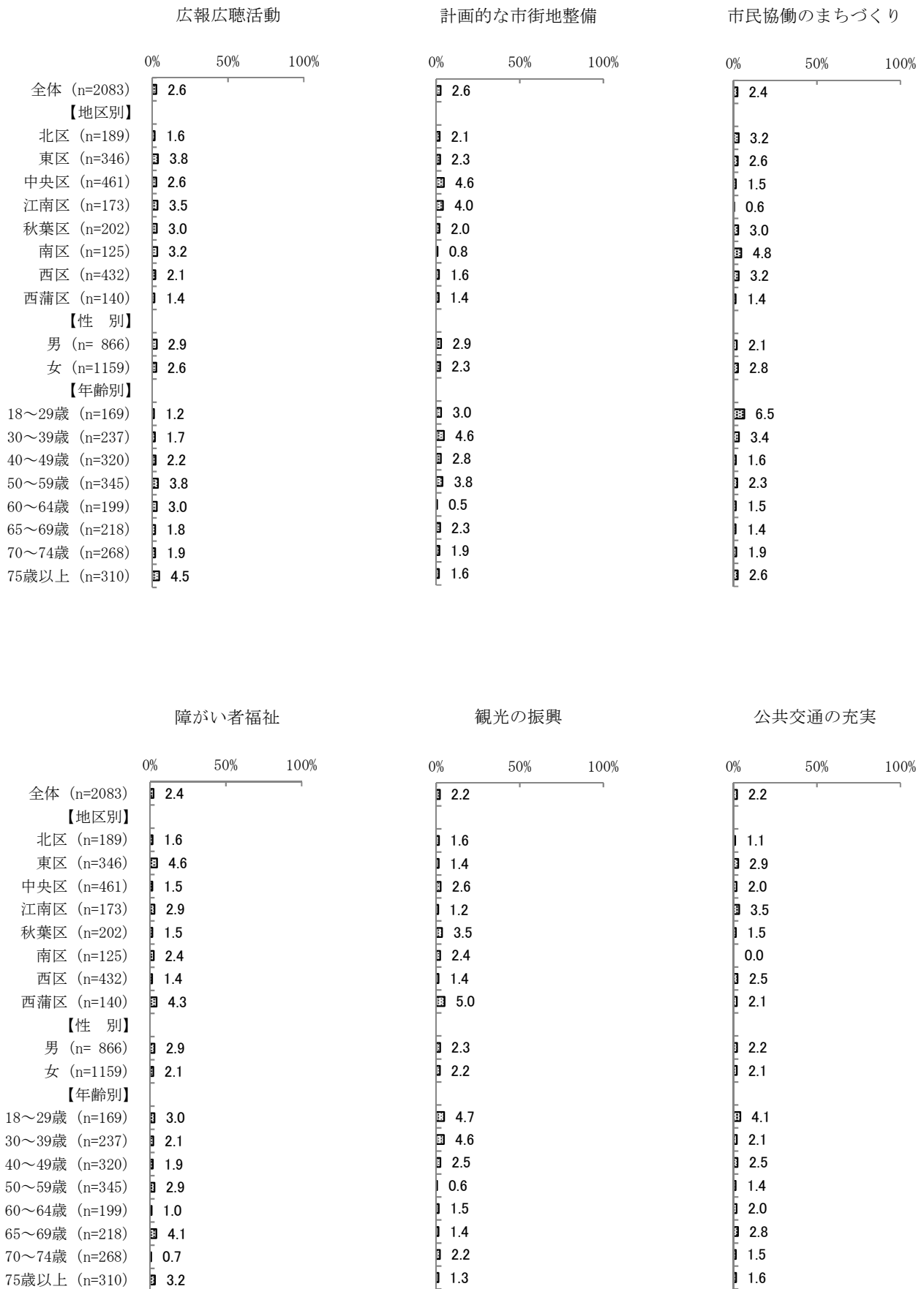


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

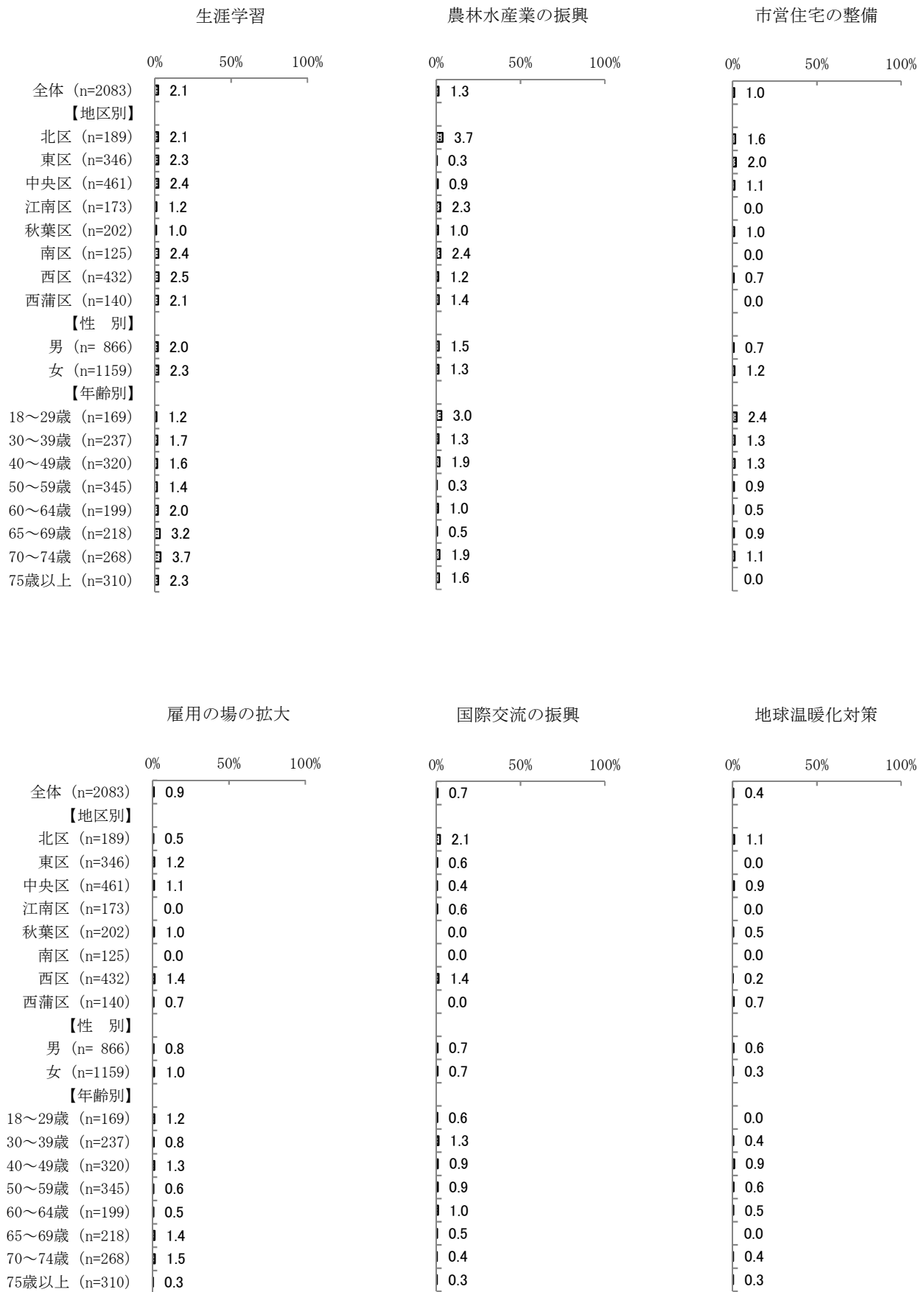
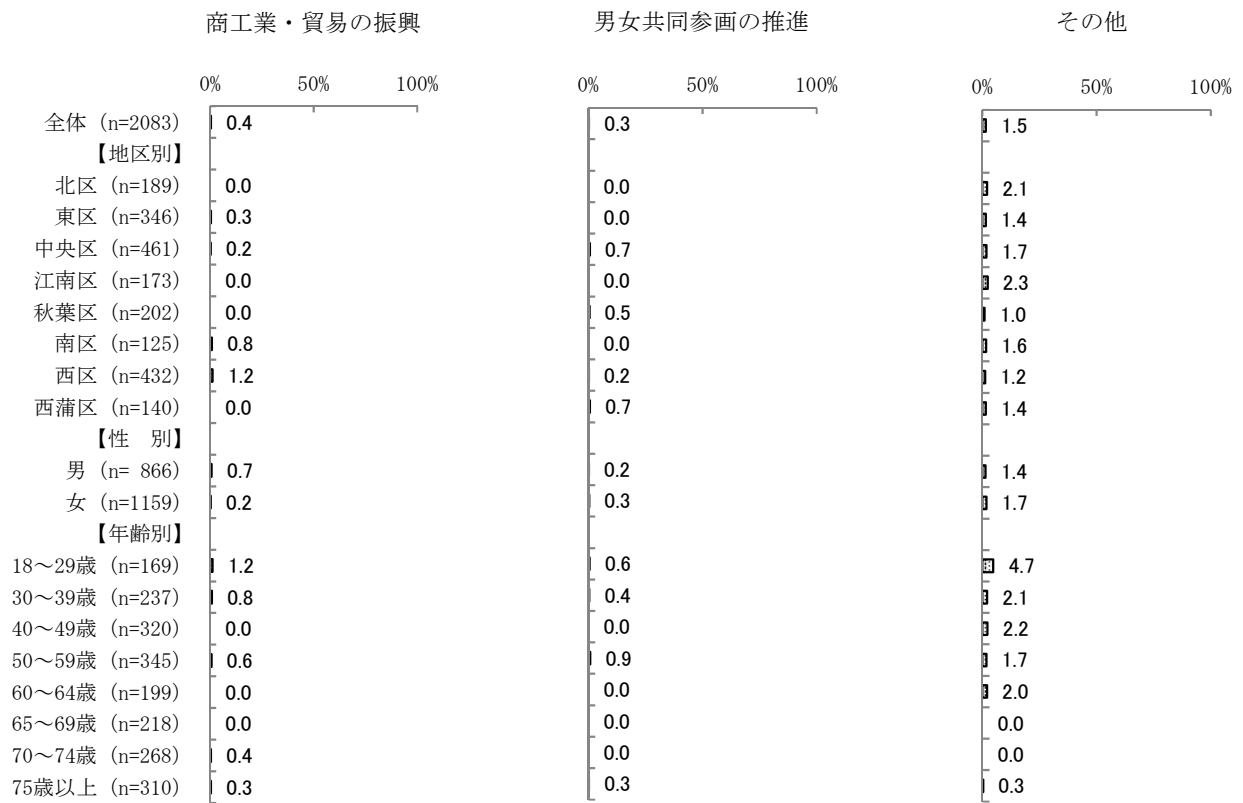
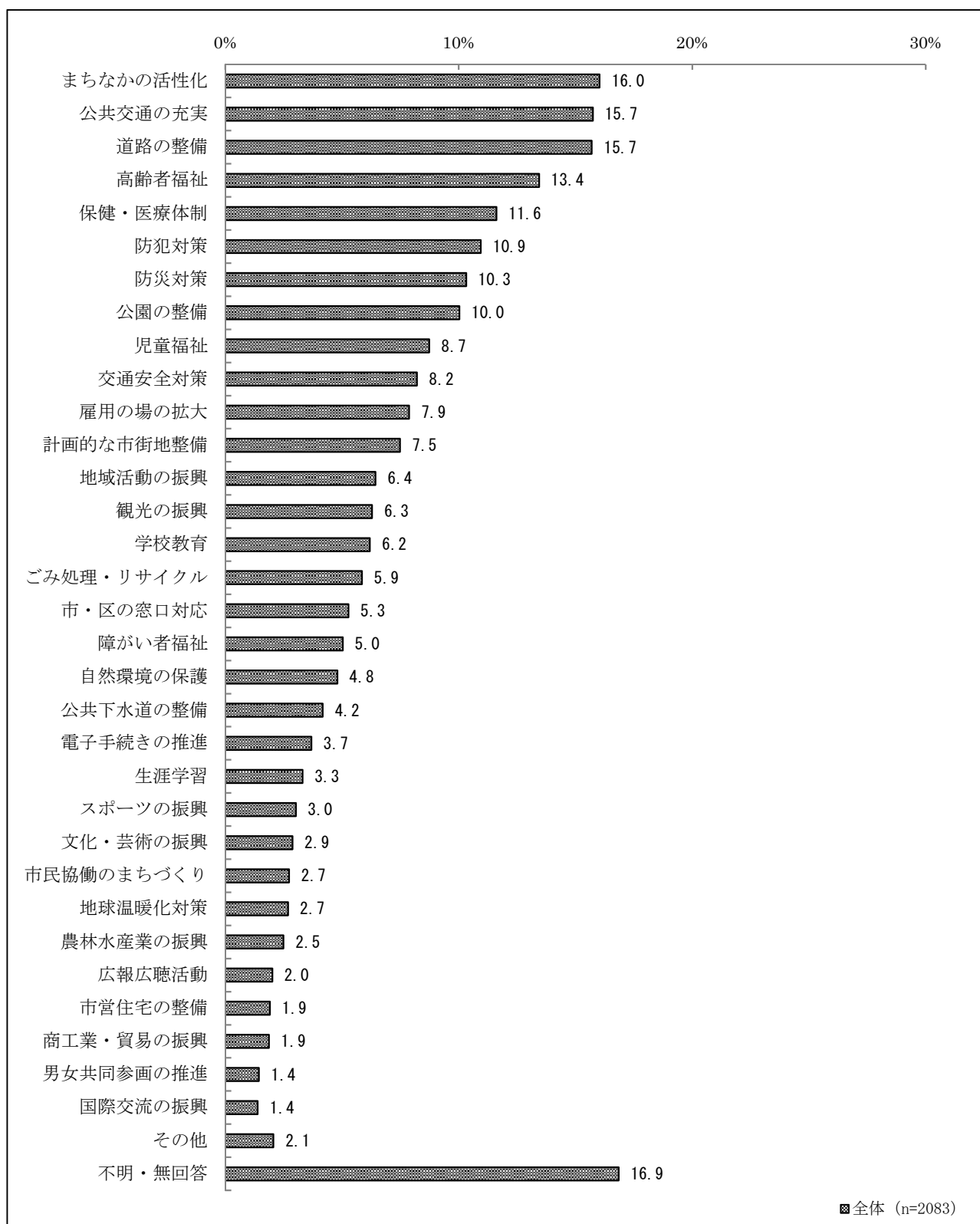


図 5-3 区として良くなっているもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



(4) 区として今後もっと力を入れてほしいもの

問24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて
 ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1~33)をご記入ください。



— 「まちなかの活性化」が1割半ばでトップ —

【全体結果】

区として今後もっと力を入れてほしいものは、「まちなかの活性化」(16.0%)の割合が最も高い。以下、「公共交通の充実」(15.7%)、「道路の整備」(15.7%)、「高齢者福祉」(13.4%)、「保健・医療体制」(11.6%)、「防犯対策」(10.9%)、「防災対策」(10.3%)、「公園の整備」(10.0%)の順で続く。

【属性別結果】(次ページ図5-4参照)

① 地区別

全体結果で割合が最も高かった「まちなかの活性化」は、秋葉区(22.3%)で割合が高く、2割を超えた。

南区では「公共交通の充実」(28.0%)が、約3割となり、割合が最も高い項目となっている。

西蒲区では「道路の整備」(21.4%)が、割合が最も高い項目となっている。

② 性別

「計画的な市街地整備」は、女性(5.3%)と比べて男性(10.7%)で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

「まちなかの活性化」は、18~29歳(18.9%)で割合が最も高く、約2割となっている。

「児童福祉」は、30~39歳(21.1%)で割合が最も高く、2割を超えた。

30~39歳、40~49歳では「学校教育」(各15.2%、13.1%)が他の年齢層と比べて割合が高く、差がみられた。

図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 1/6

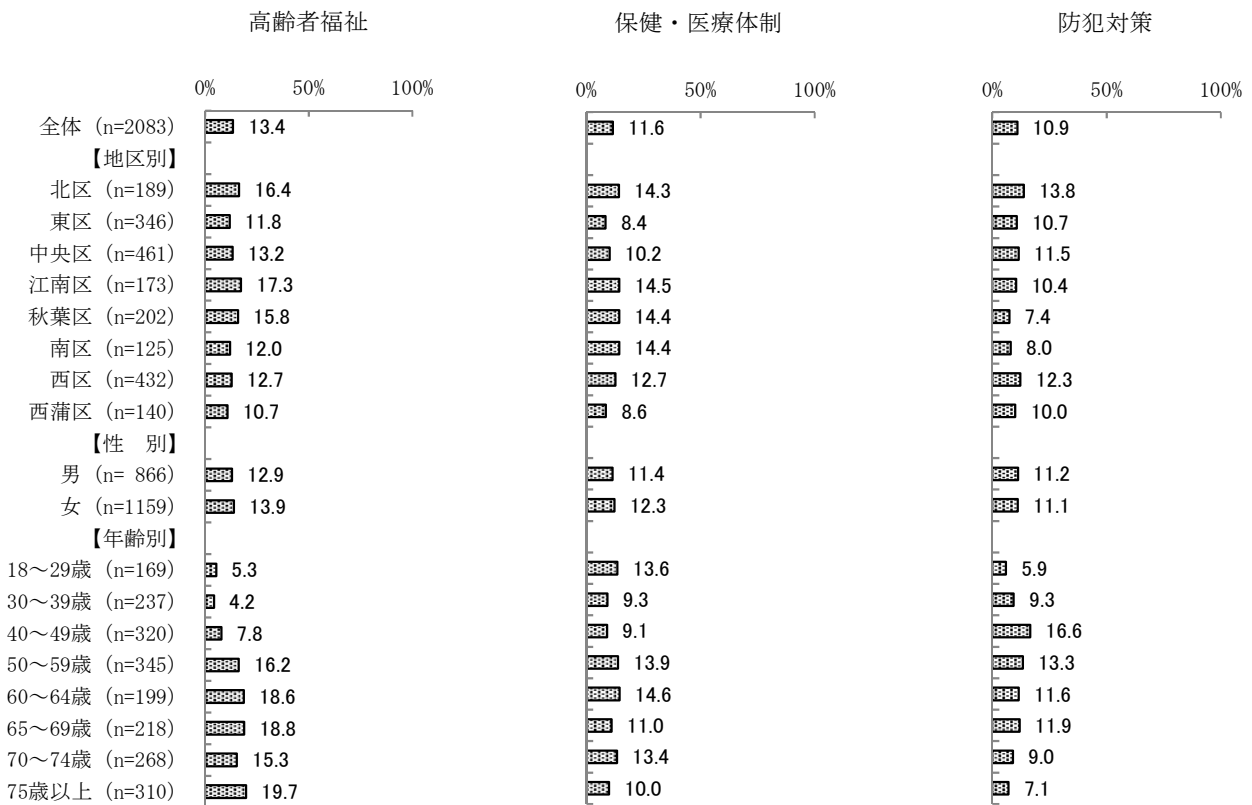
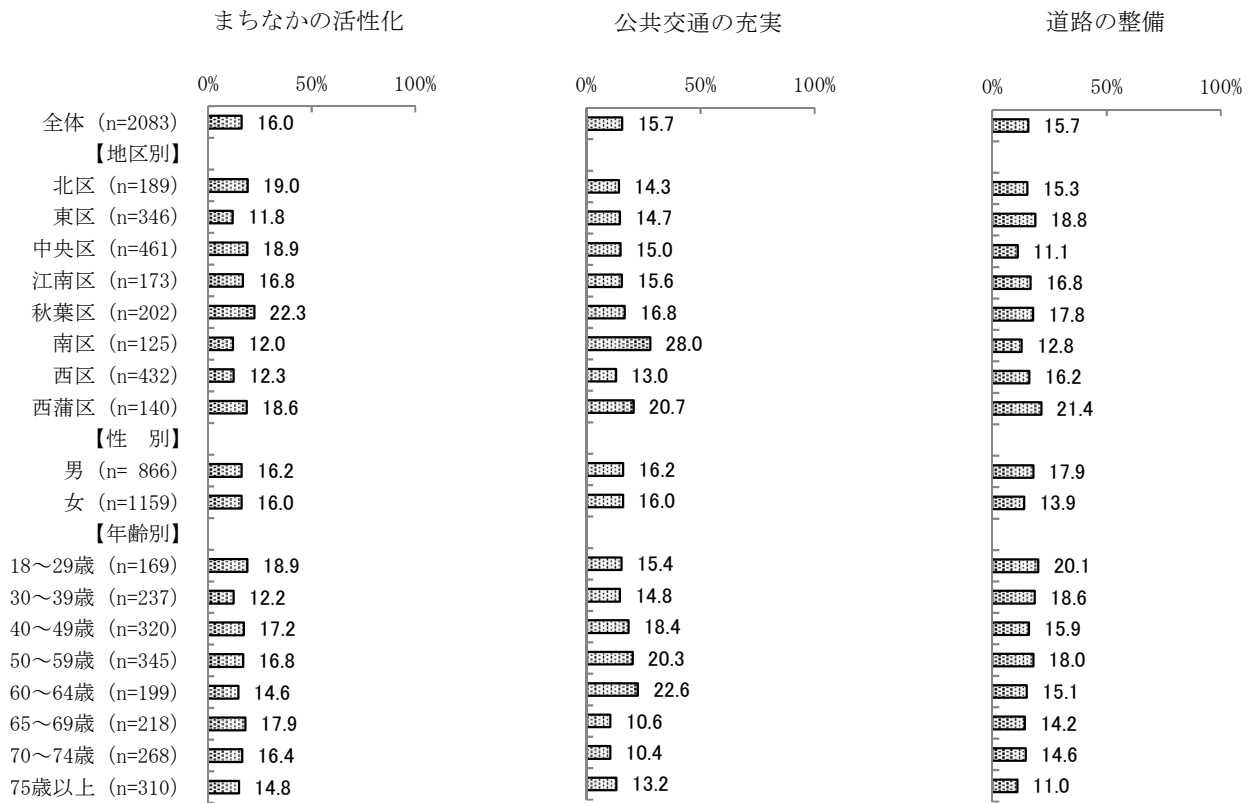


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 2/6

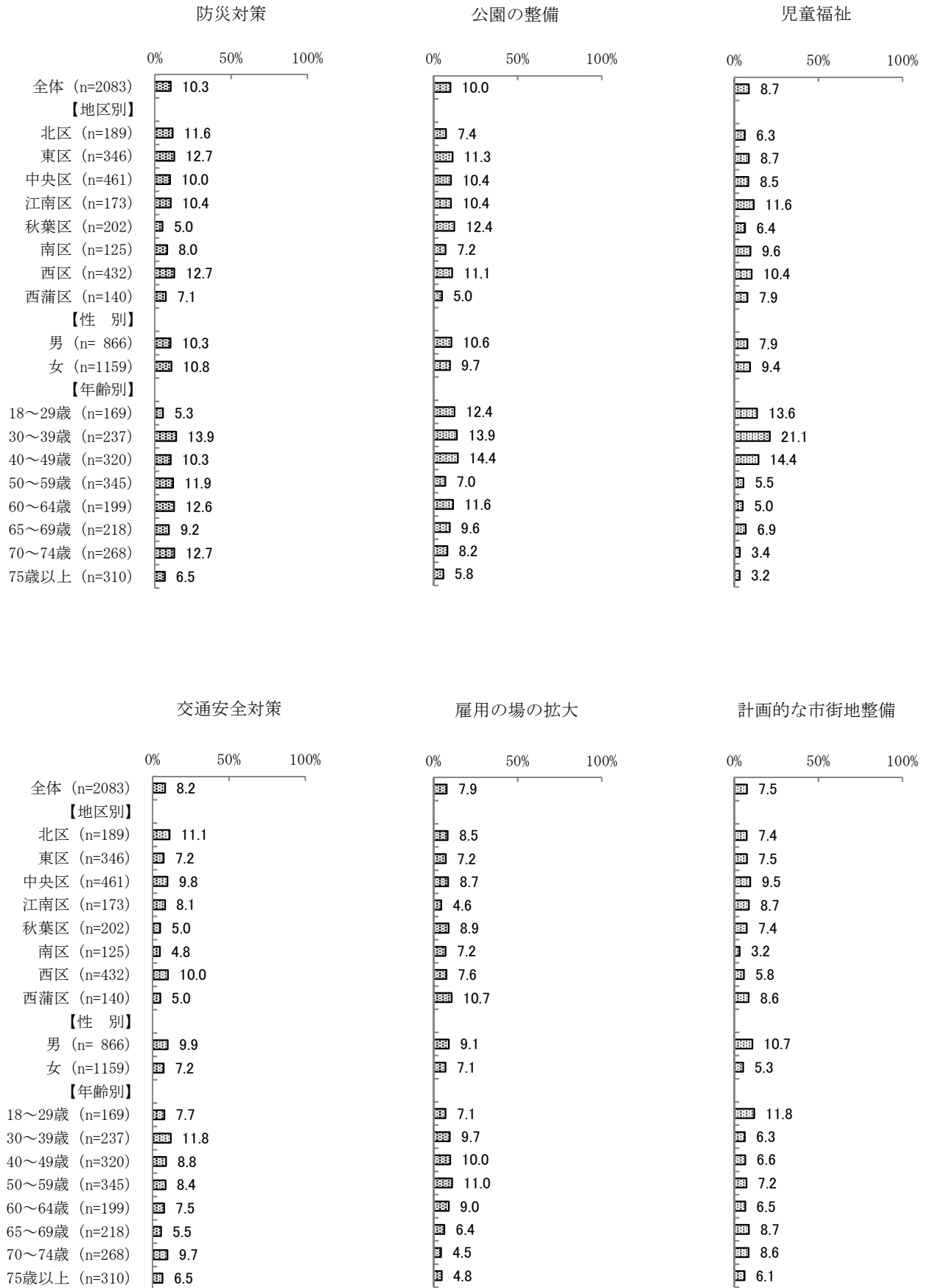


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 3/6

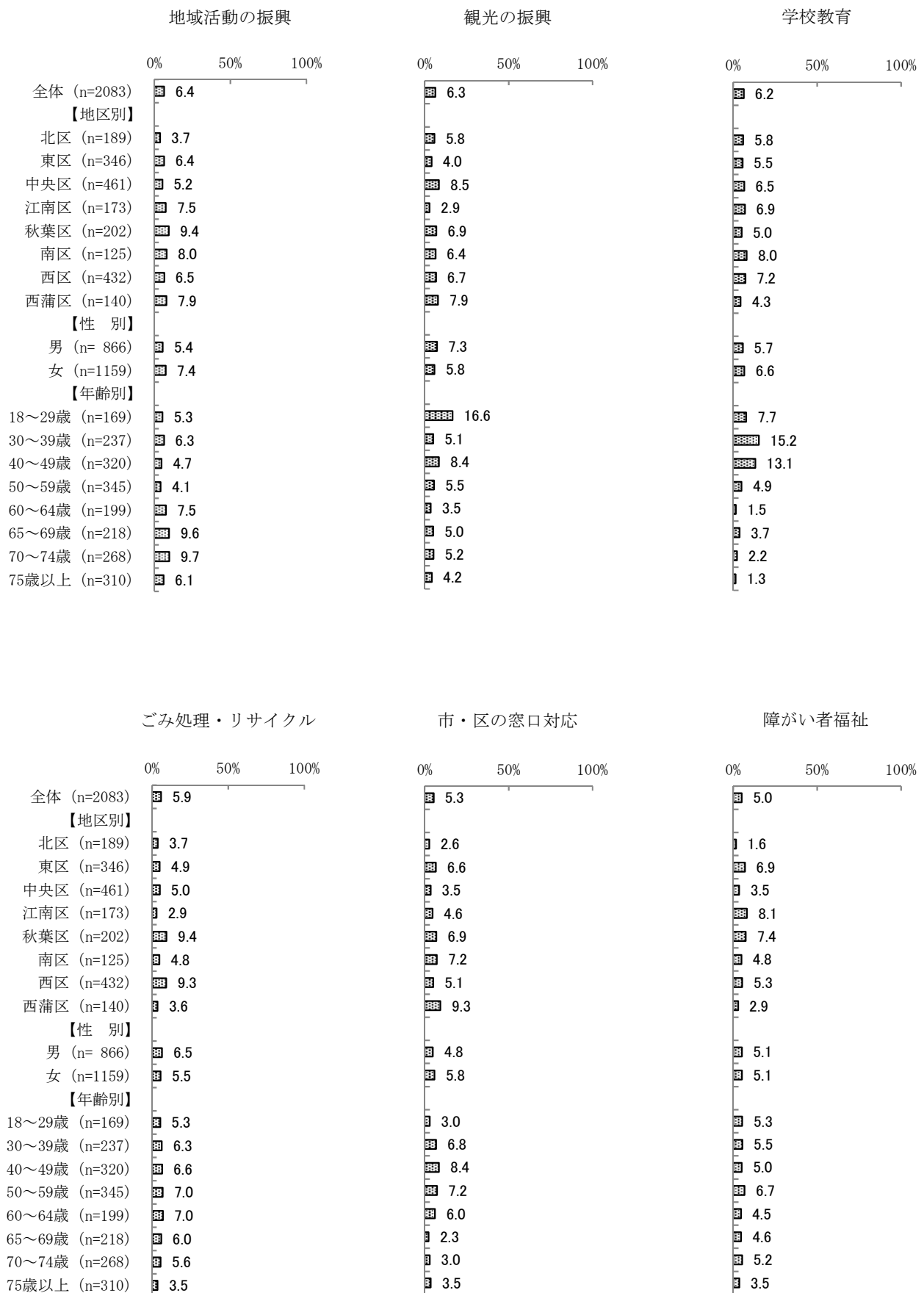


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 4/6

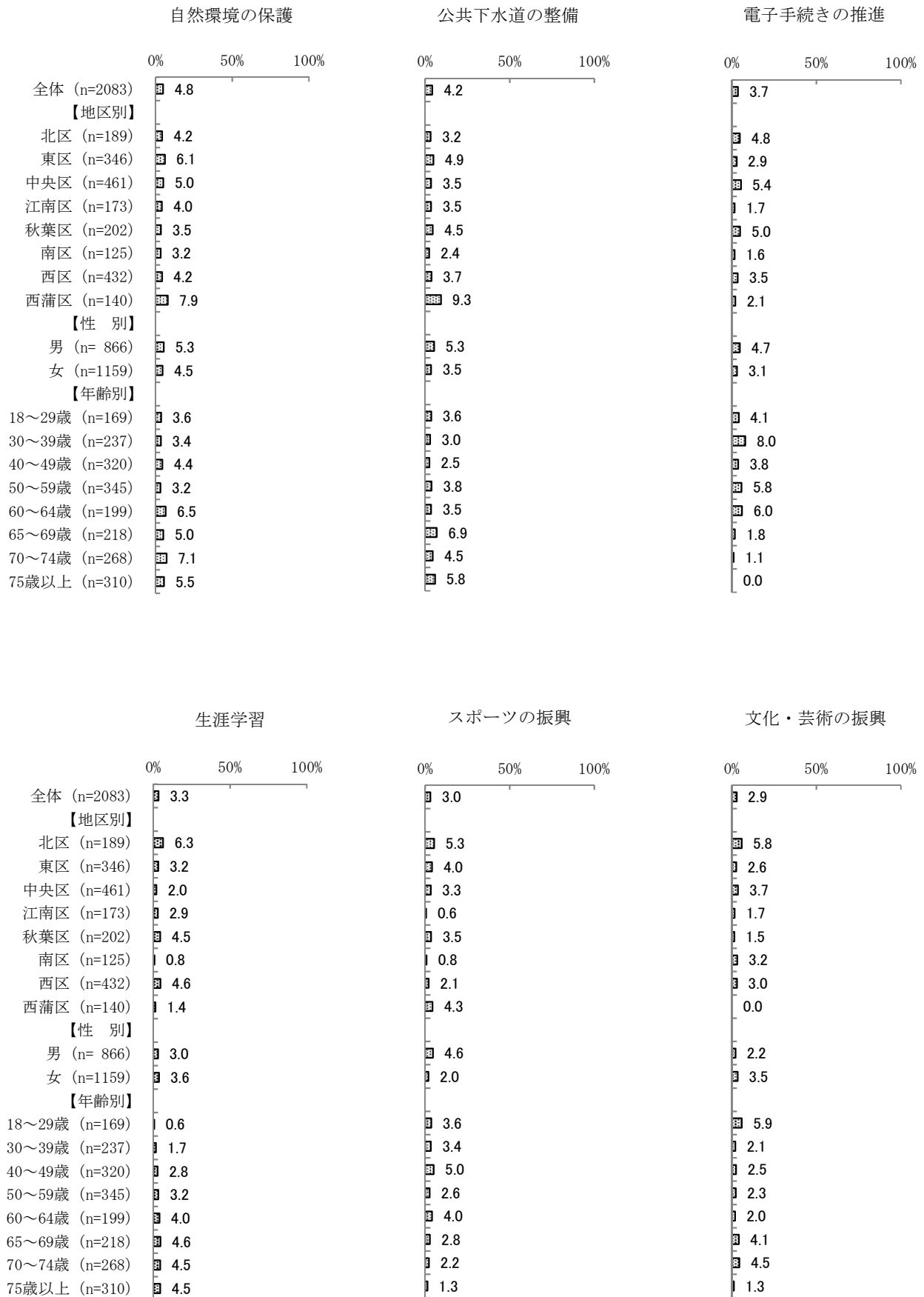


図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 5/6

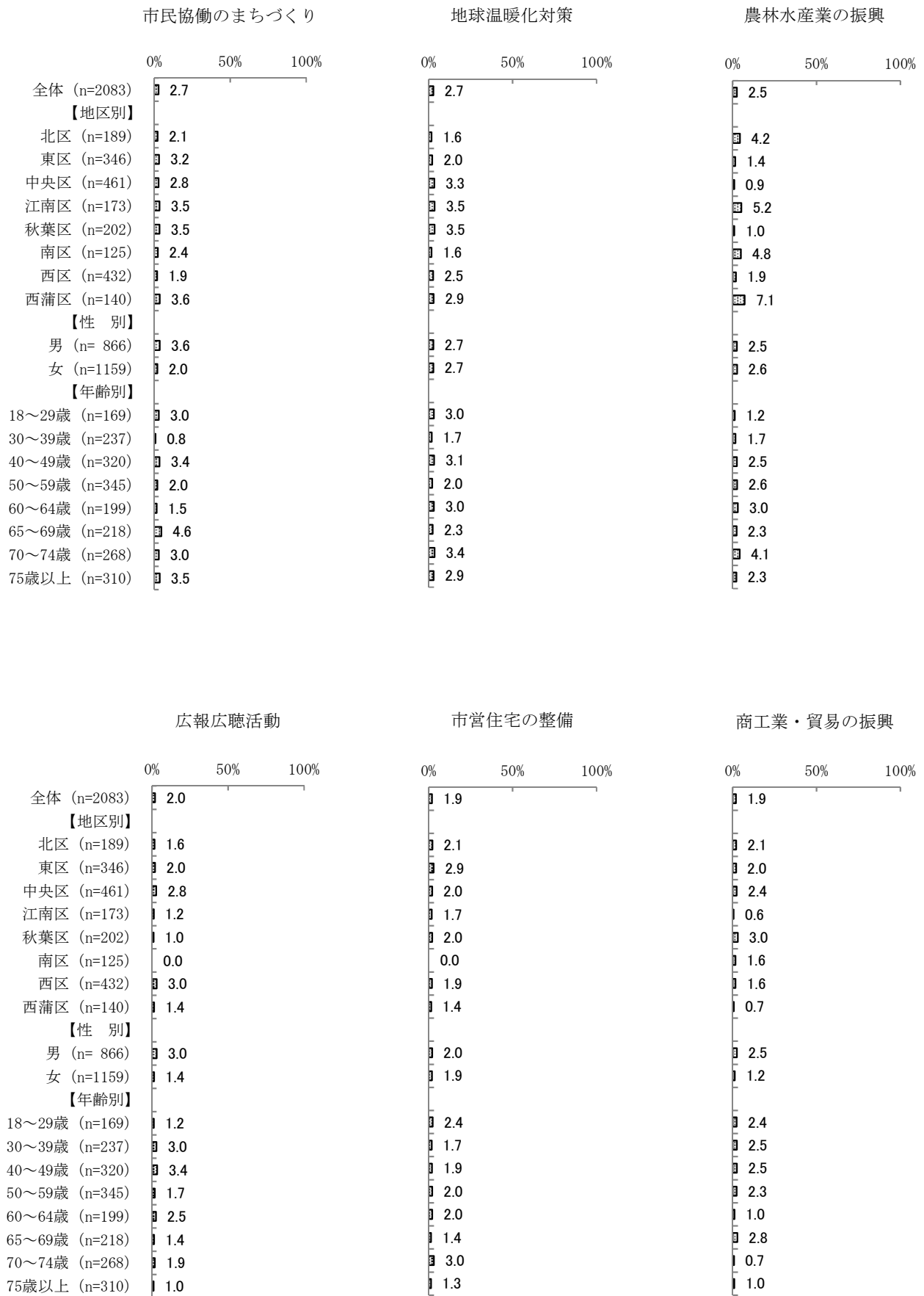
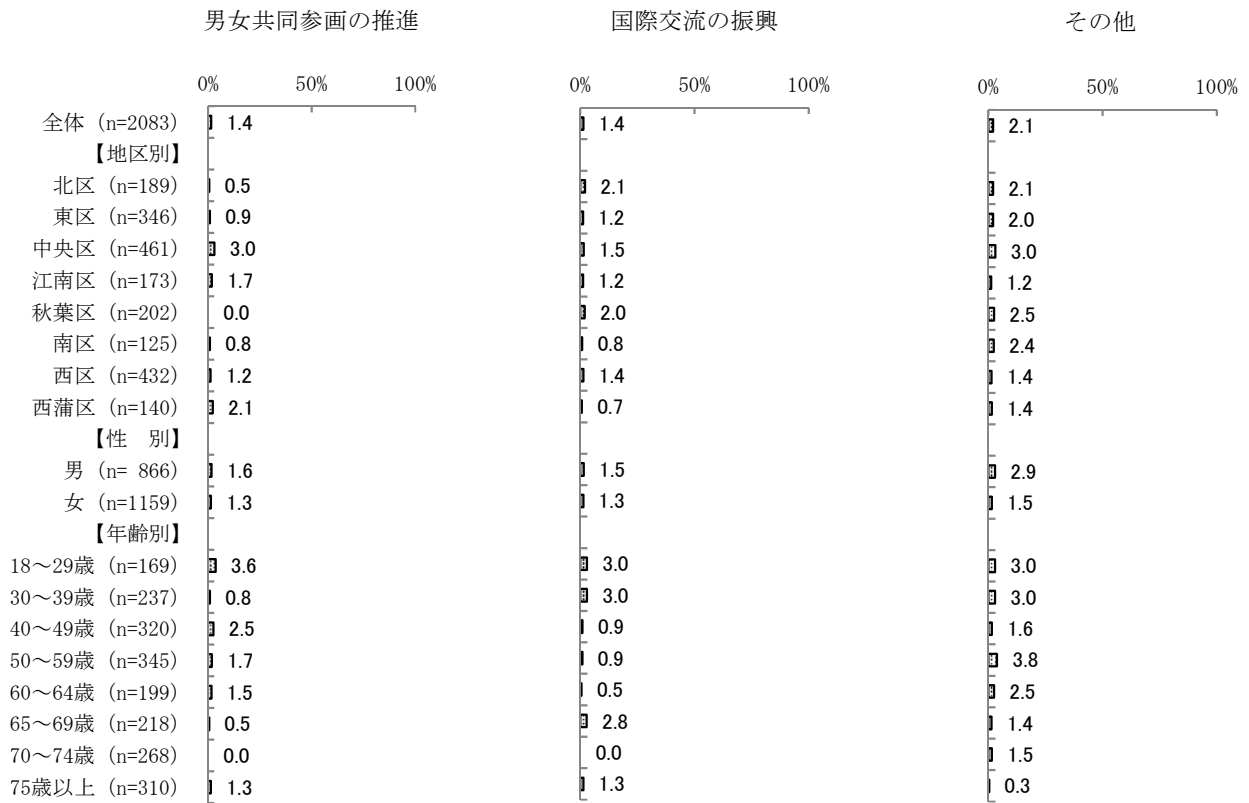


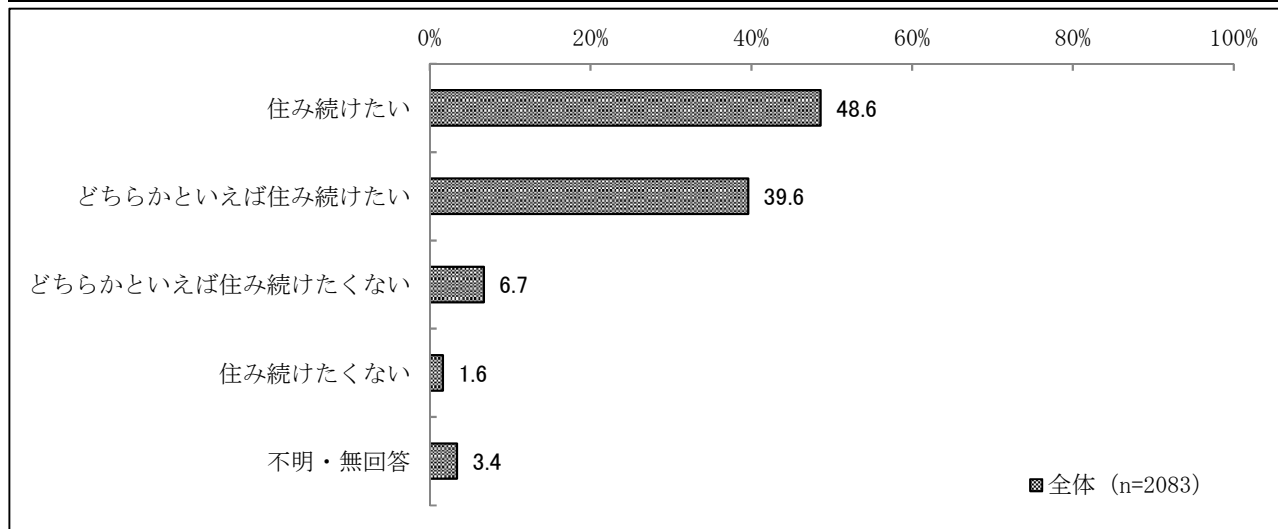
図 5-4 区として今後もっと力を入れてほしいもの（地区別/性別/年齢別） 6/6



6. 市の取り組みについて

(1) 新潟市に住み続けたいか

問25 新潟市は、総合計画「にいがた未来ビジョン」に基づき、人口減少、少子・超高齢化の進行に対応し、「将来にわたって活力ある、住みよいまち、暮らしたいまち」を目指した取り組みを進めています。そこで、あなたの感想をお聞かせください。あなたは「新潟市」に住み続けたいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選び、○を付けてください。



— 『住み続けたい』が9割弱 —

【全体結果】

「住み続けたい」(48.6%)の割合が最も高く、約5割となった。「どちらかといえば住み続けたい」(39.6%)を合わせた『住み続けたい』(88.2%)は9割弱となった。

「どちらかといえば住み続けたくない」(6.7%)、「住み続けたくない」(1.6%)を合わせた『住み続けたくない』(8.4%)は1割に満たなかった。

【属性別結果】(次ページ図6-1参照)

① 地区別

『住み続けたい』の割合は、江南区(91.9%)で最も高く、いずれの地区でも9割前後となった。『住み続けたくない』の割合は、西蒲区(12.1%)、南区(10.4%)、中央区(10.0%)以外の地区では1割に満たなかった。

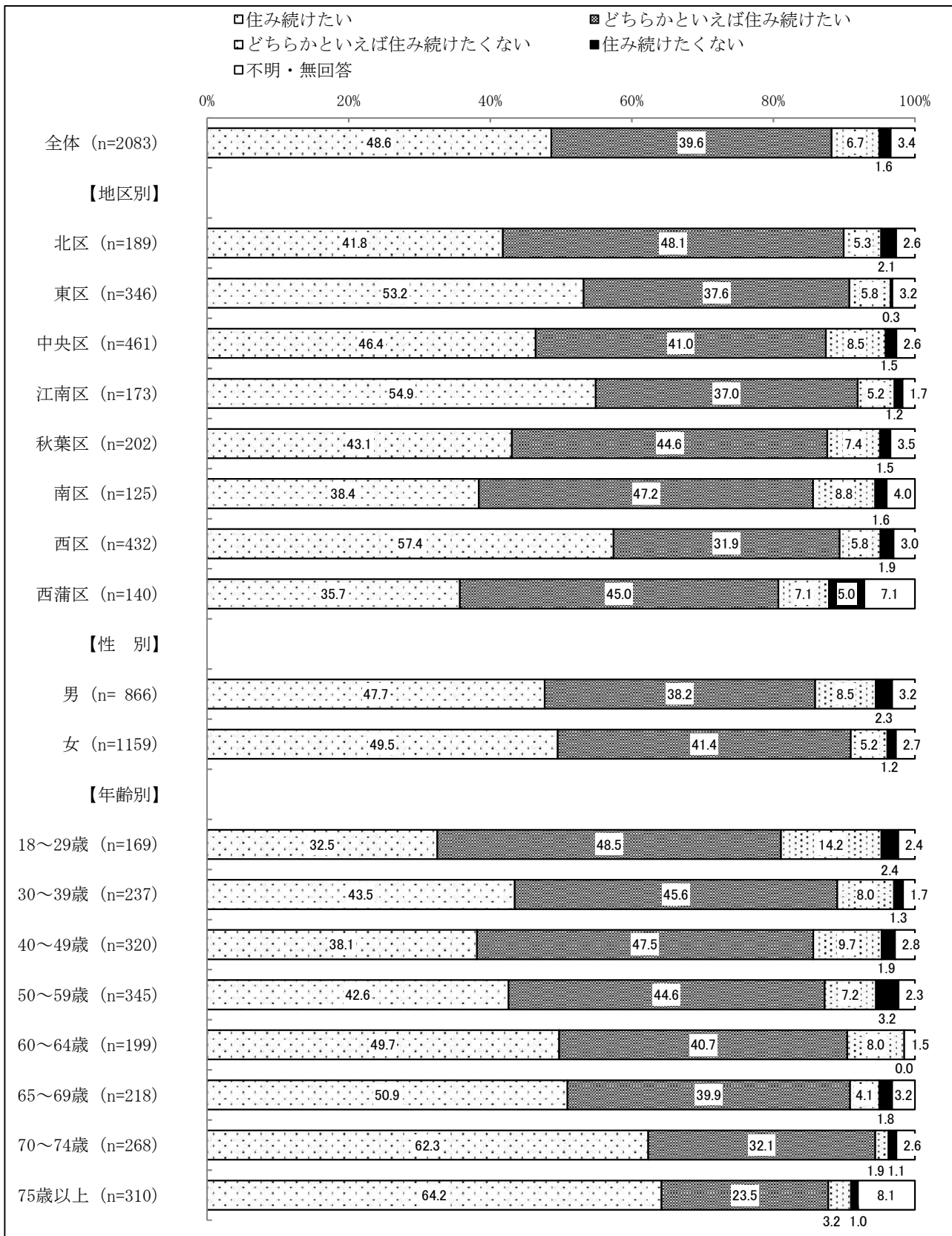
② 性別

『住み続けたい』の割合は、男性(85.9%)と比べて女性(90.9%)で割合が高い。

③ 年齢別

『住み続けたい』の割合は、すべての年代で8割以上となったが、18～29歳(81.1%)で最も低い。

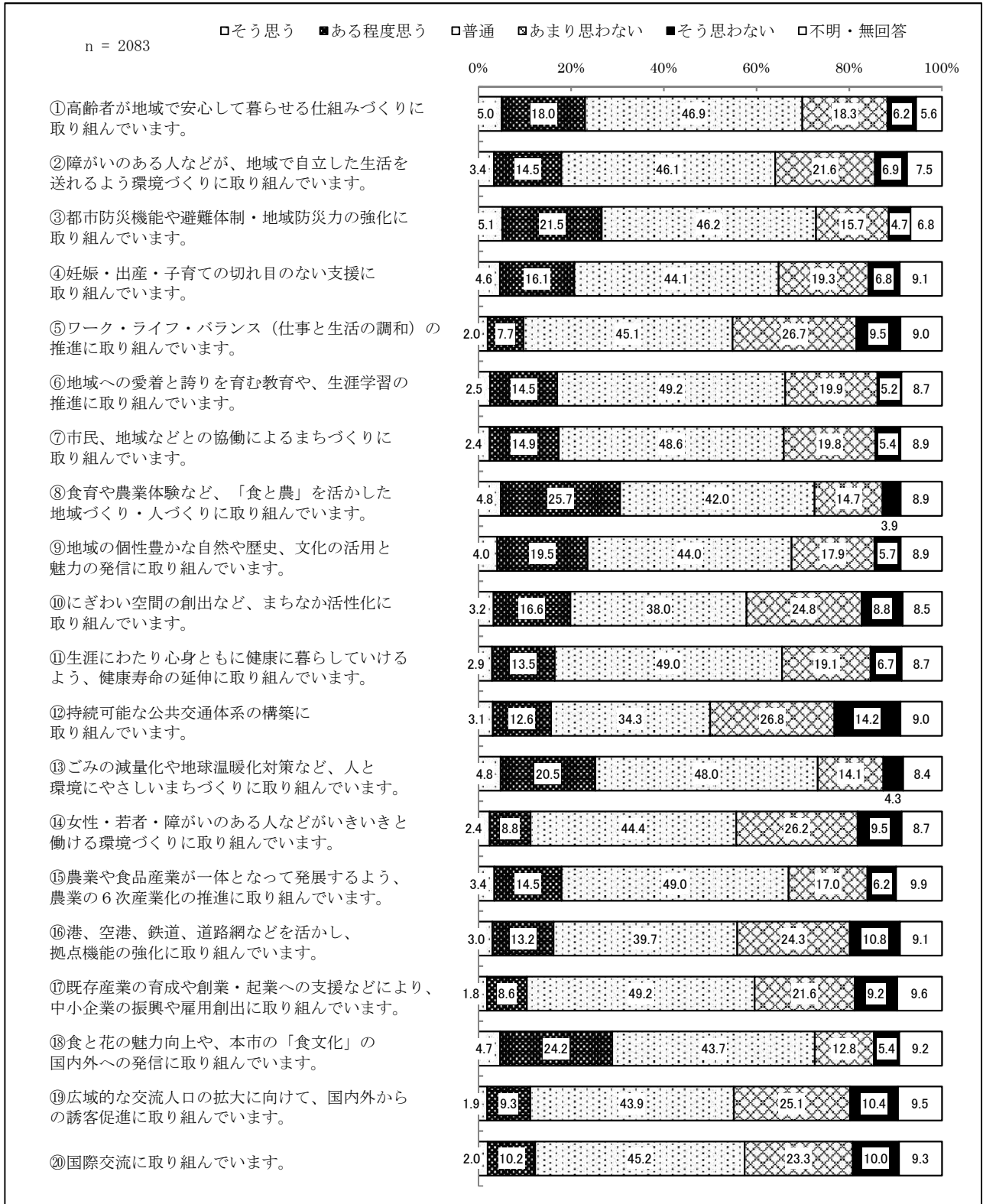
図 6-1 新潟市に住み続けたいか（地区別/性別/年齢別）



(2) 取り組みへの感想

問26 新潟市が進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。また、これらの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで○をつけてください。

【取り組みへの感想】



【全体結果】

市の取り組み状況への感想について、「そう思う」の割合は、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」(5.1%)で最も高い。以下、「そう思う」の割合は、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」(5.0%)、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(4.8%)、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(4.8%)の順に続く。

一方、「そう思わない」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(14.2%)が最も高い。以下、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(10.8%)、「⑰広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。」(10.4%)、「⑳国際交流に取り組んでいます。」(10.0%)、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(9.5%)の順に続く。

感想について、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合、及び、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

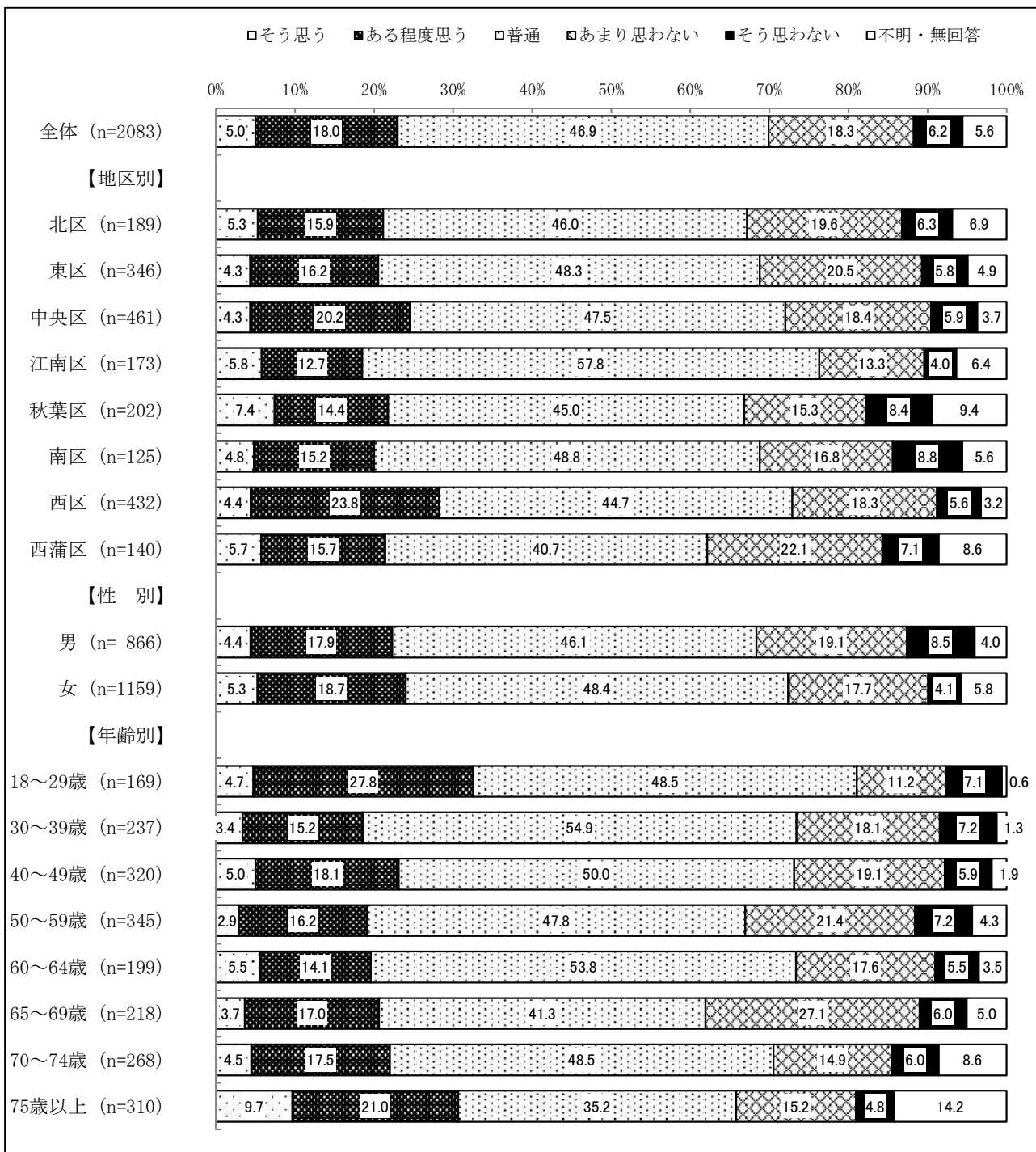
「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合についてみると、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(30.5%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(28.9%)、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」(26.6%)、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(25.2%)、「⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。」(23.5%)、「①高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。」(23.0%)、「④妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。」(20.7%)が2割台で続いている。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(41.0%)が最も高い。以下、「⑤ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。」(36.2%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(35.7%)、「⑰広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。」(35.5%)、「⑯港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(35.1%)、「⑩にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。」(33.7%)の順に続く。

【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

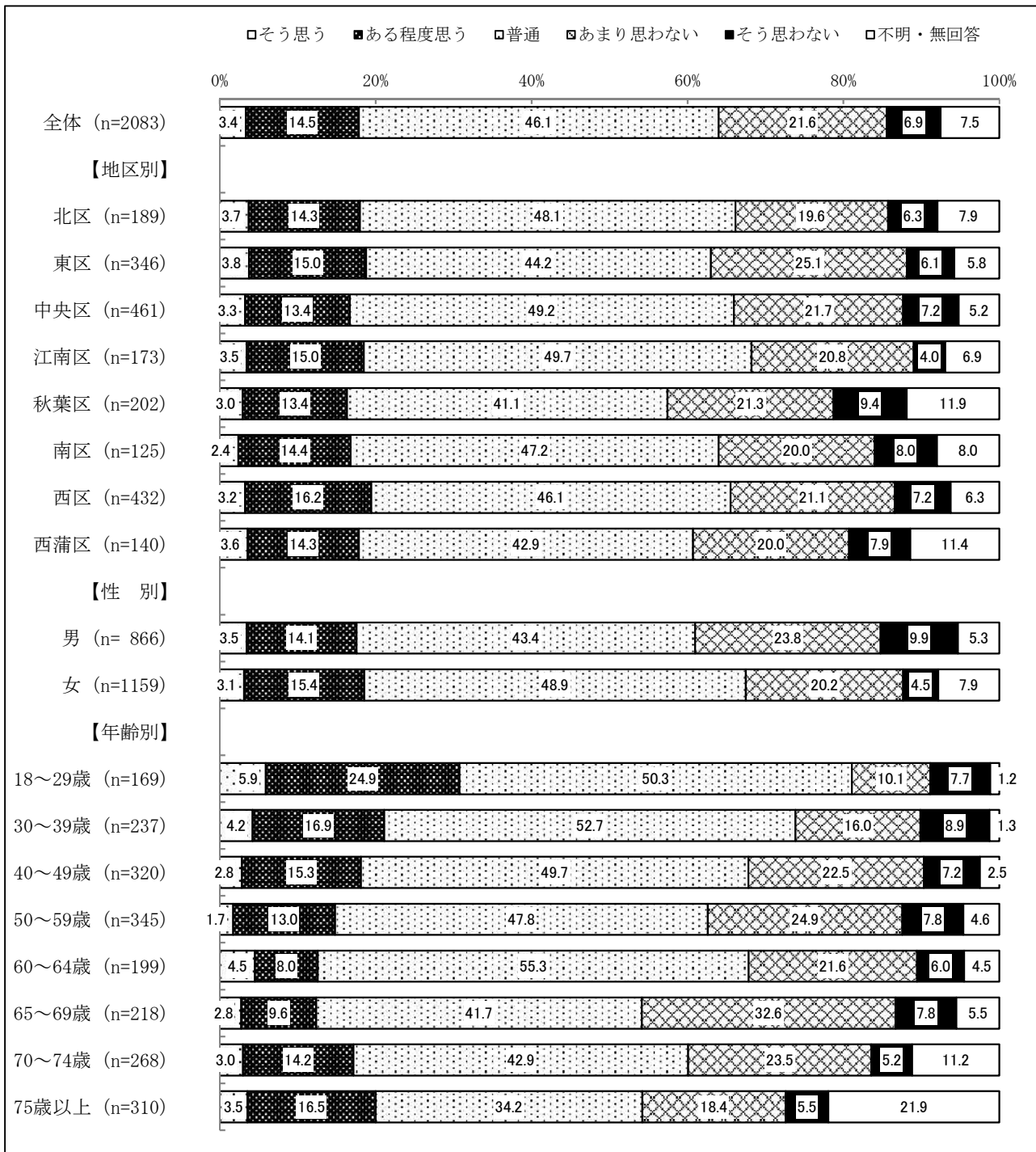
① 高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（28.2%）が最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（32.5%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（29.3%）が最も高い。性別では、女性（21.8%）と比べて男性（27.6%）で割合が高い。年齢別では、65～69歳（33.0%）で最も高い。

② 障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。

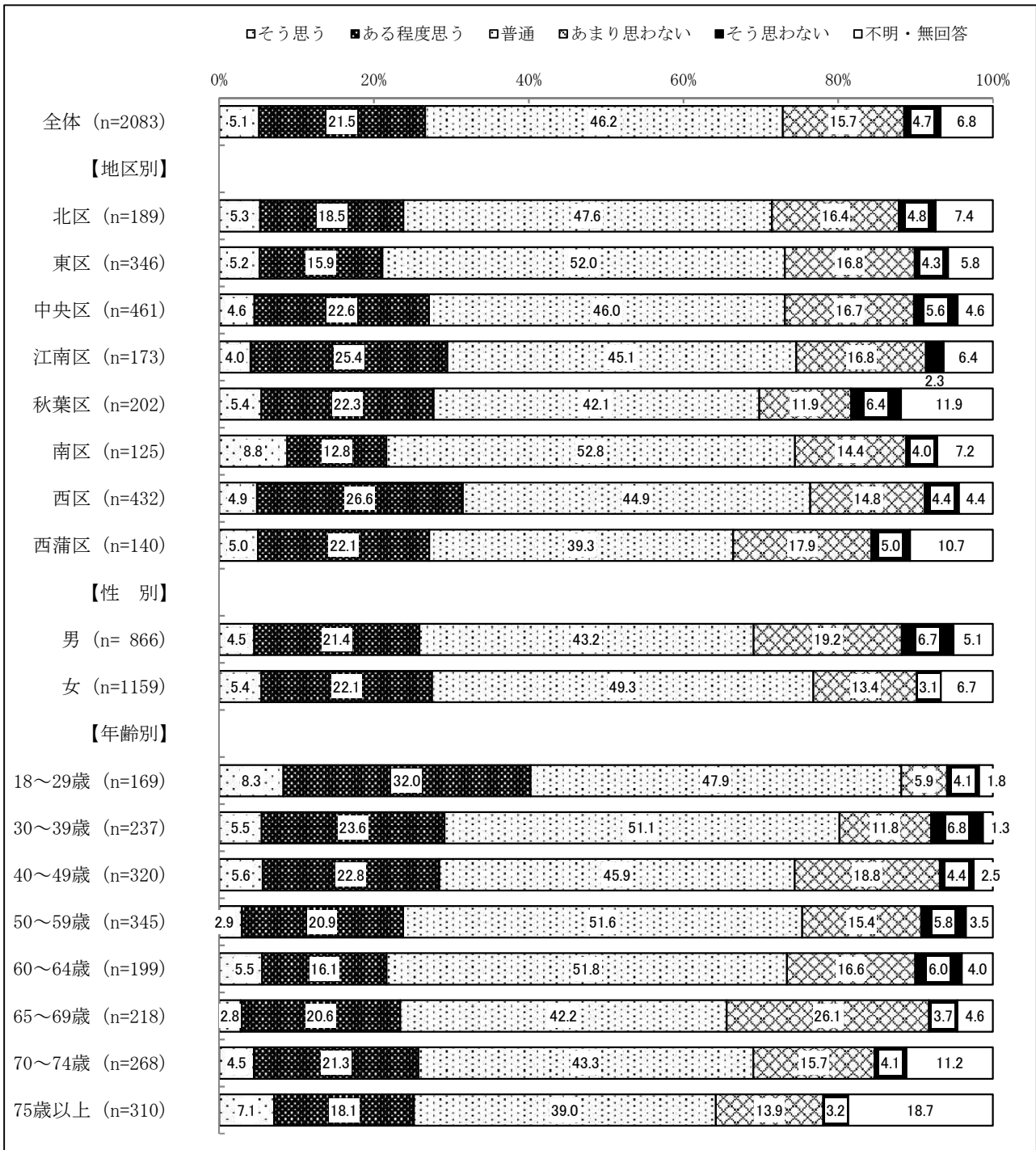


18～29歳を除く、地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（19.4%）で最も高い。性別による差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（30.8%）で最も高い。

「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、東区（31.2%）が最も高い。性別による大きな差はない。年齢別では、65～69歳（40.4%）で最も高い。

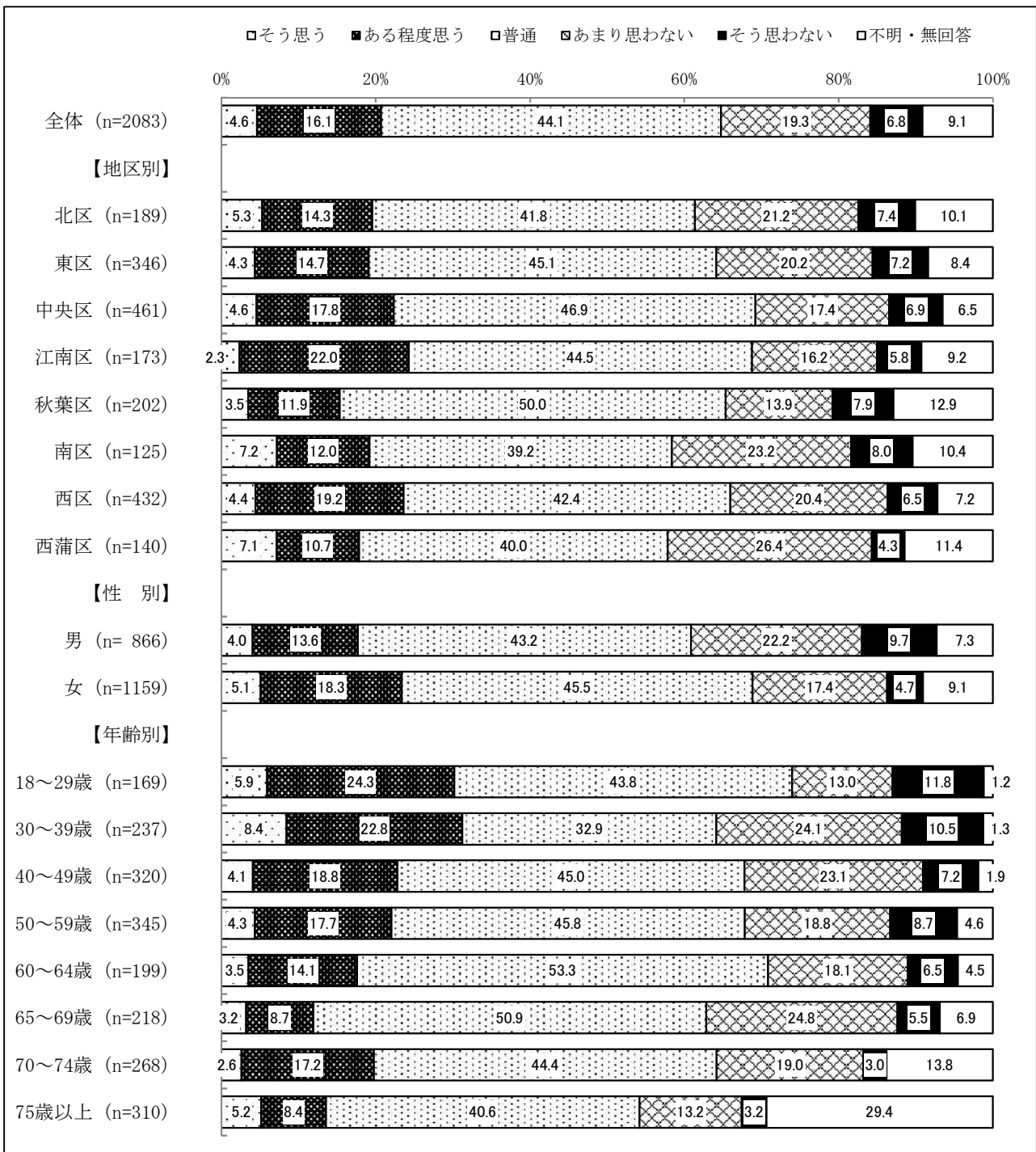
③ 都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（31.5%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、18～29歳（40.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（22.9%）で最も高い。性別では、女性（16.5%）より男性（25.9%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（29.8%）で最も高い。

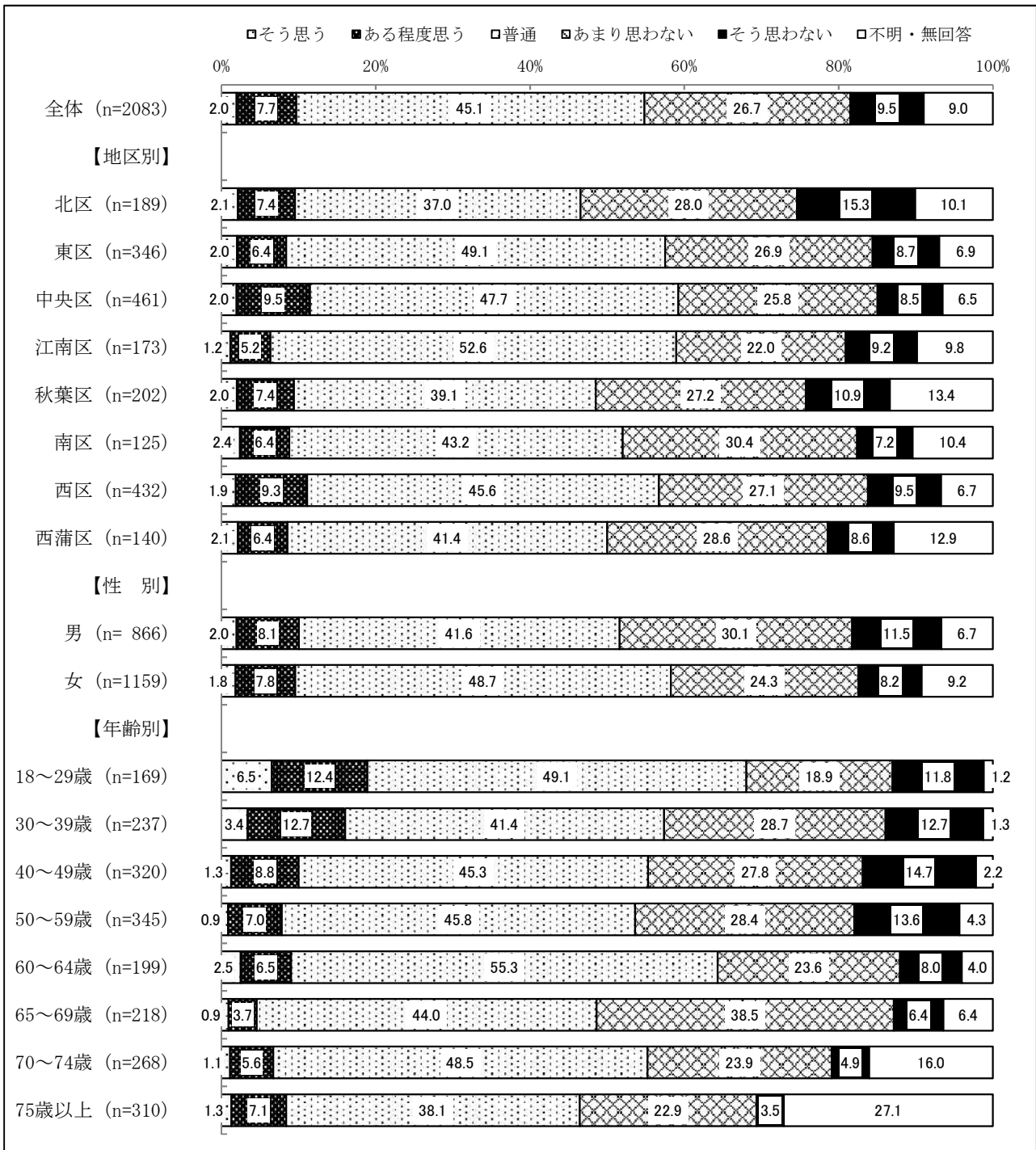
④ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、江南区（24.3%）で最も高い。性別では、男性（17.7%）より女性（23.4%）で割合が高く、年齢別では、30～39歳（31.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（31.2%）で最も高い。性別では、女性（22.1%）より男性（31.9%）で割合が高く、年齢別では、30～39歳（34.6%）で最も高い。

⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

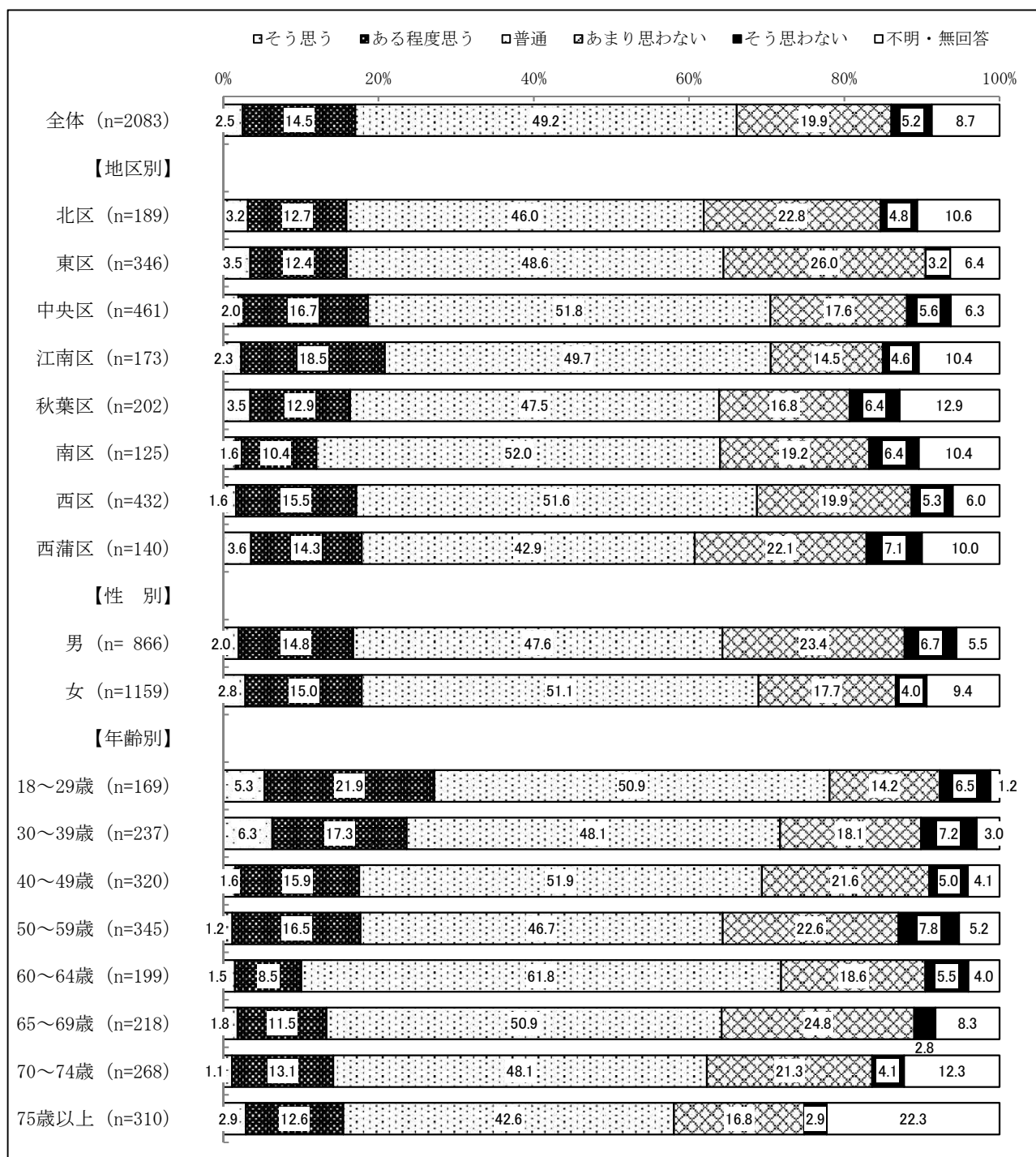


すべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（11.5%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（18.9%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、北区（43.4%）で最も高い。性別では、女性（32.5%）より男性（41.7%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（45.0%）で最も高い。

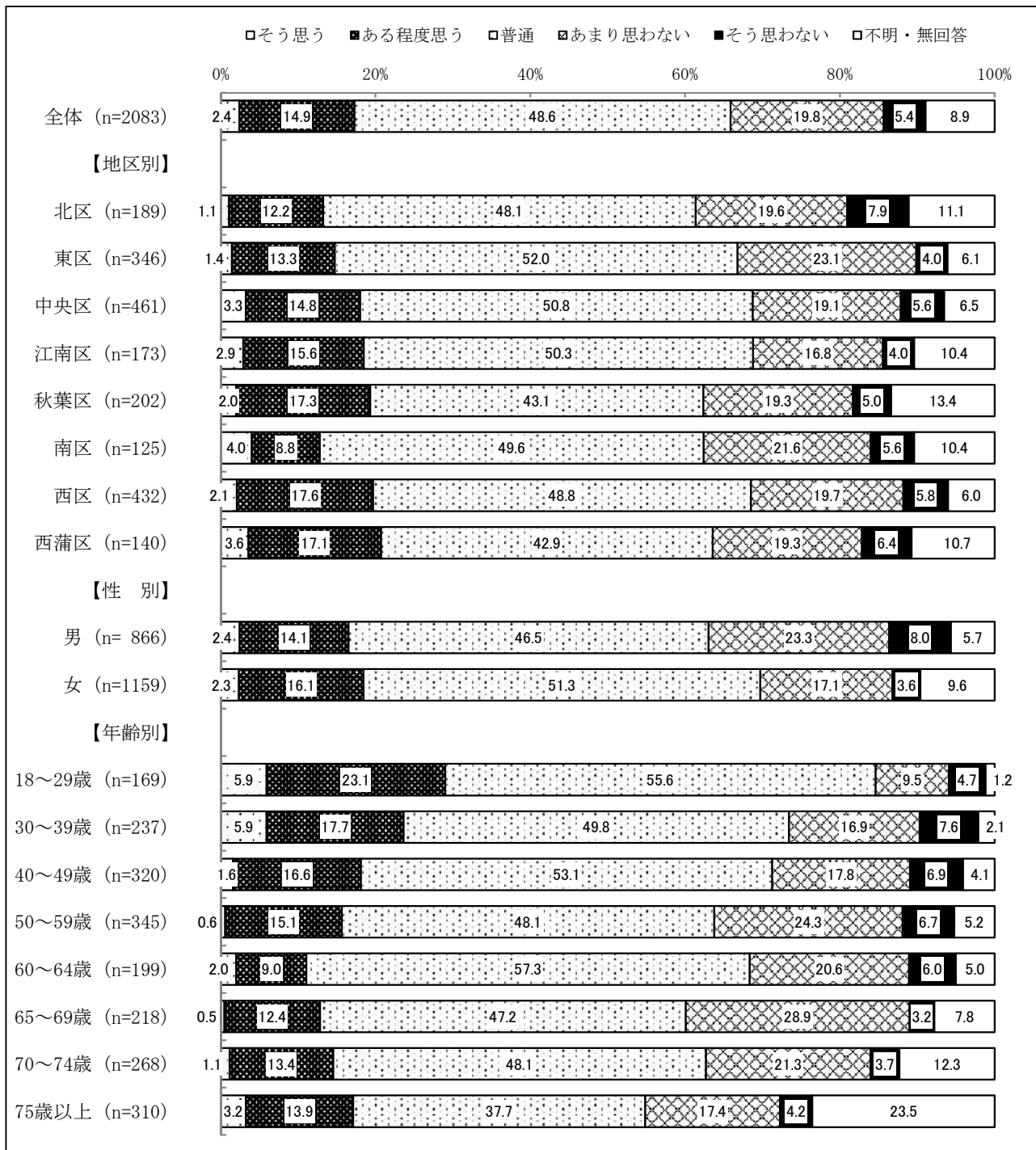
⑥ 地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、江南区（20.8%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、18～29歳（27.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（29.3%）で最も高い。性別では、女性（21.7%）より男性（30.1%）で割合が高く、年齢別では、50～59歳（30.4%）で最も高い。

⑦ 市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。

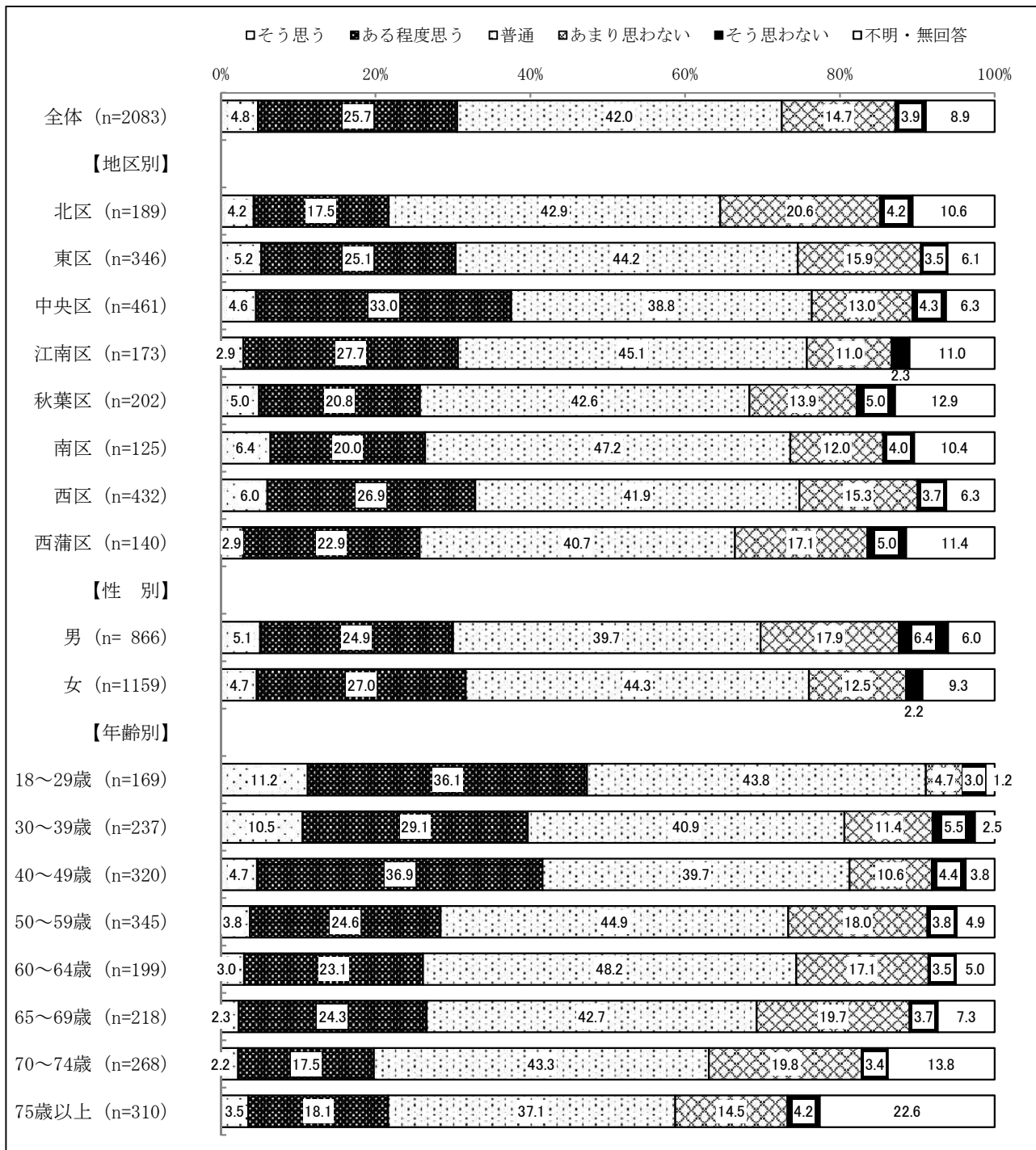


18～29歳を除くすべての地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（20.7%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、18～29歳（29.0%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、北区（27.5%）で最も高い。性別では、女性（20.7%）より男性（31.3%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（32.1%）で最も高い。

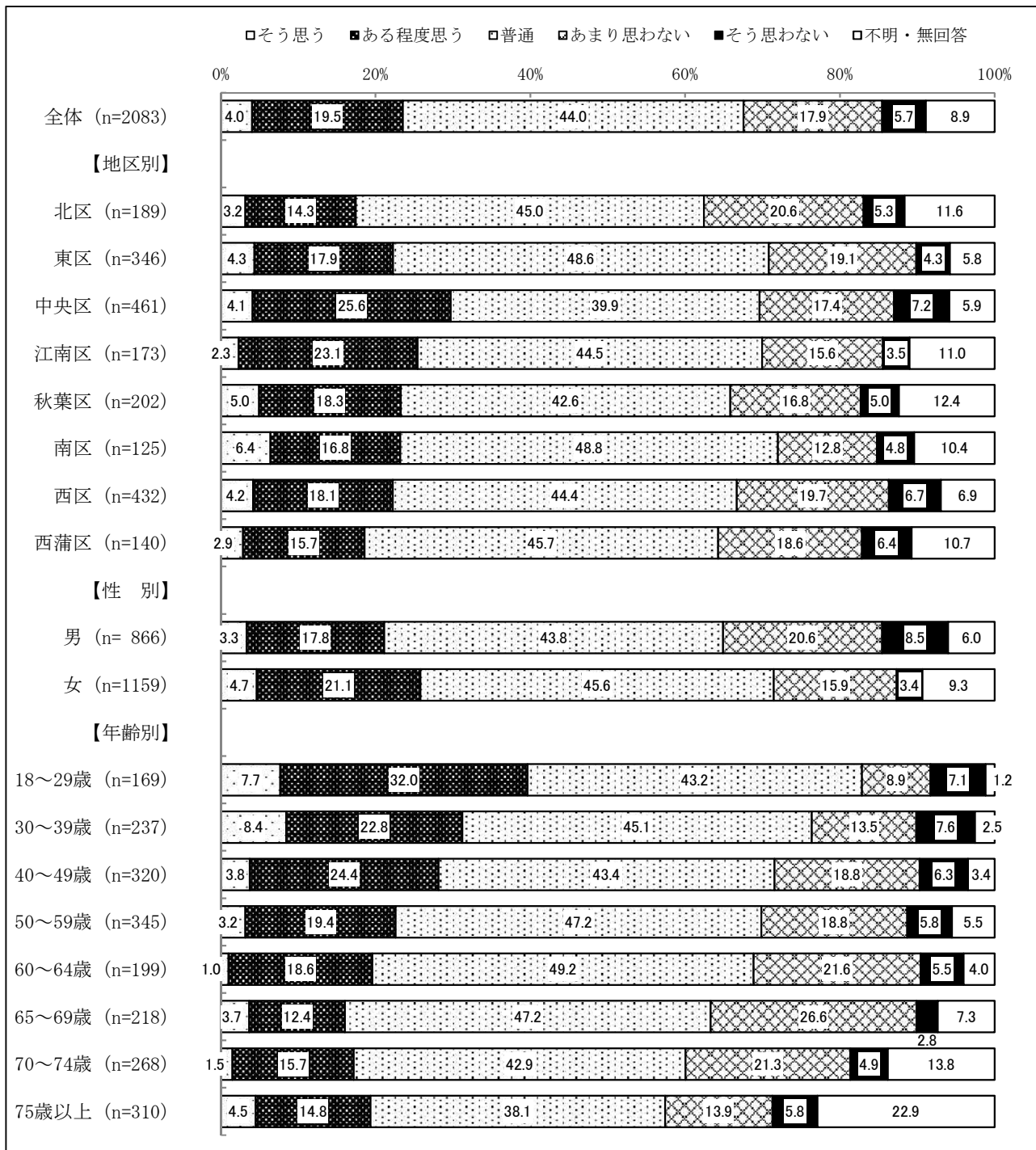
⑧ 食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（37.5%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、18～29歳（47.3%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、北区（24.9%）で最も高い。性別では、女性（14.7%）より男性（24.2%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（23.4%）で最も高い。

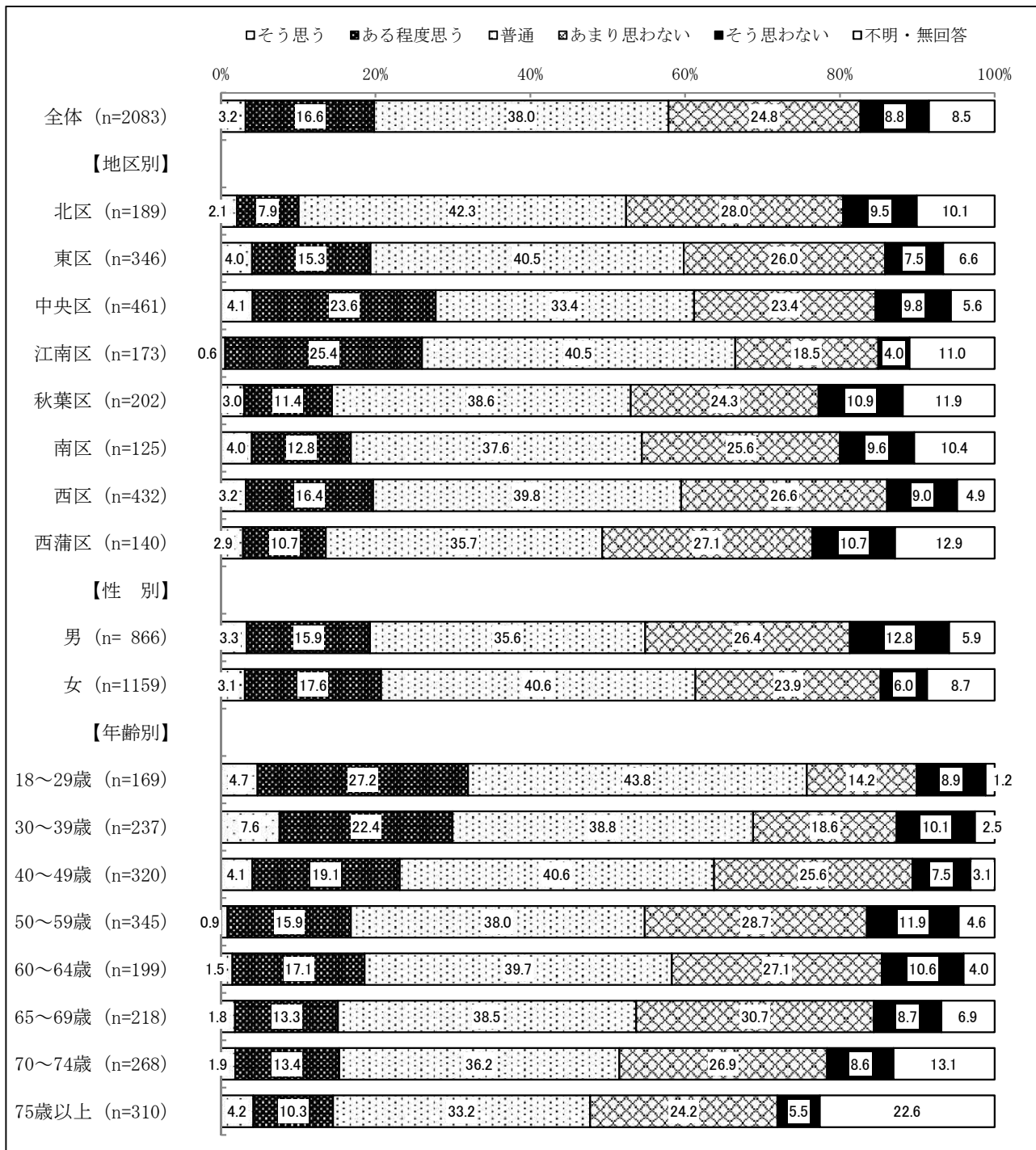
⑨ 地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（29.7%）で最も高い。性別では、男性（21.1%）より女性（25.8%）で割合がやや高く、年齢別では、18～29歳（39.6%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、西区（26.4%）で最も高い。性別では、女性（19.2%）より男性（29.1%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（29.4%）で最も高い。

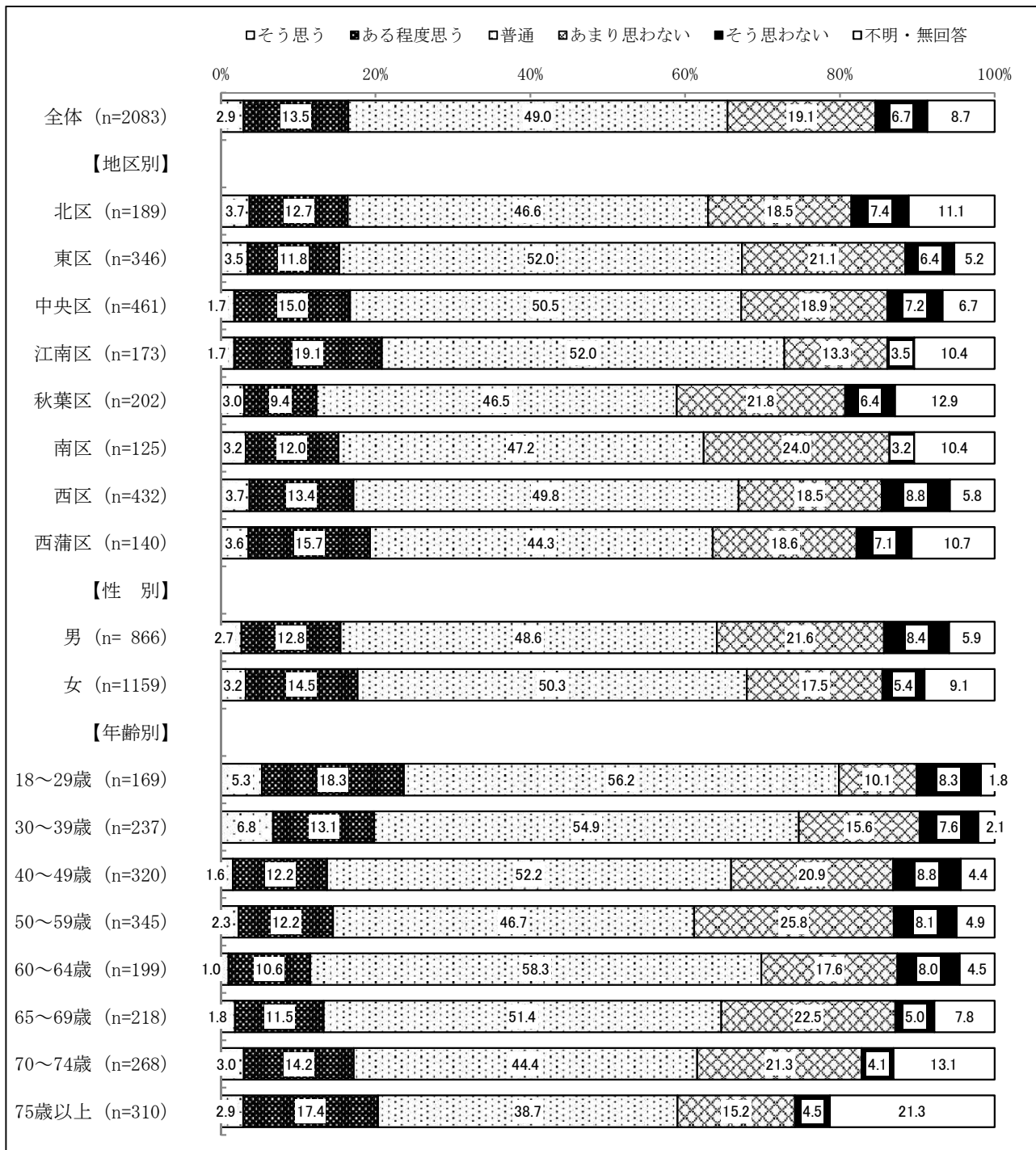
⑩ にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（27.8%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（32.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（37.9%）で最も高い。性別では、女性（29.9%）より男性（39.3%）で割合が高く、年齢別では、50～59歳（40.6%）で最も高い。

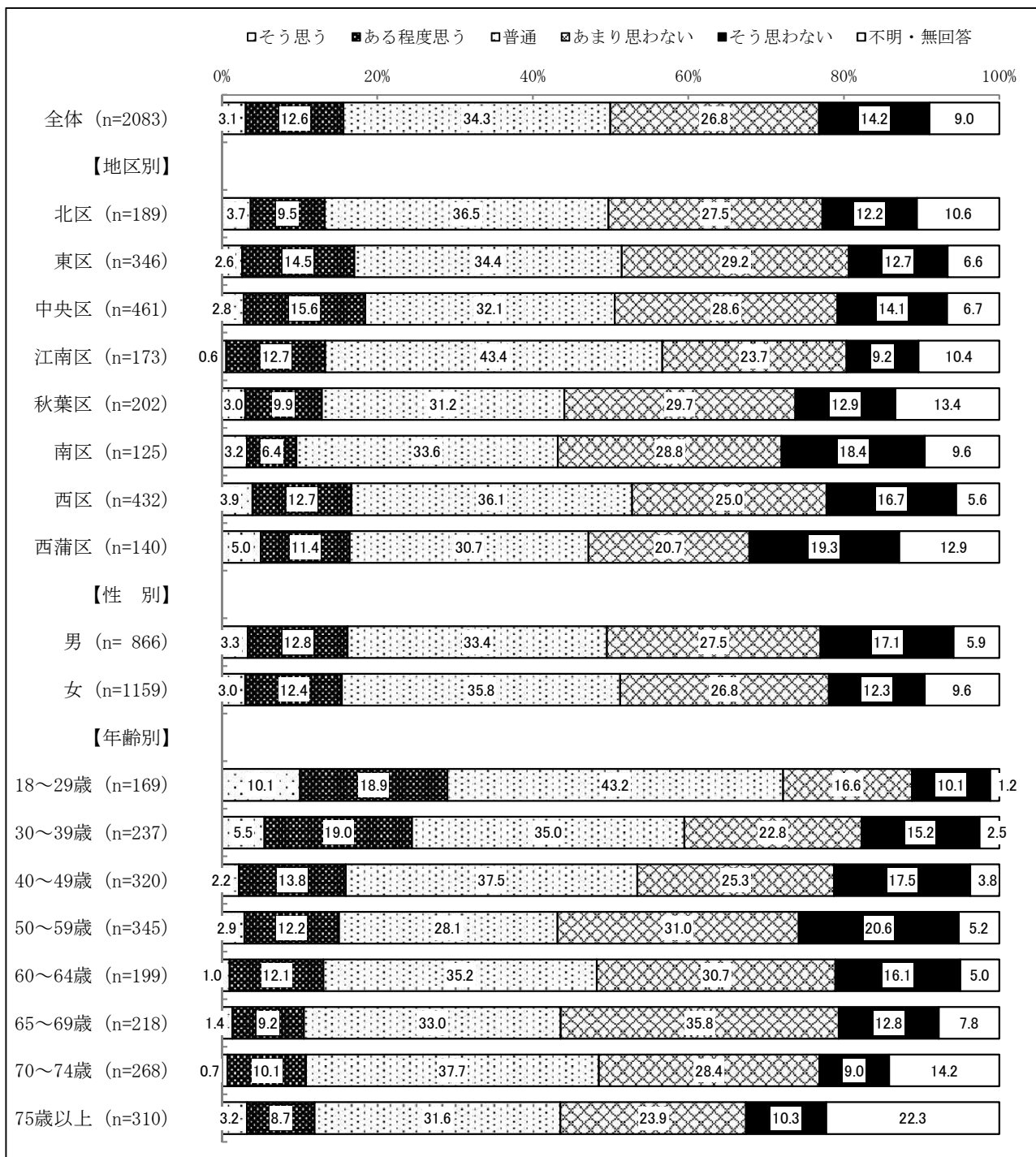
⑪ 生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、江南区（20.8%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、18～29歳（23.7%）で最も高い。

一方、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（28.2%）で最も高い。性別では、女性（23.0%）より男性（30.0%）で割合が高く、年齢別では、50～59歳（33.9%）で最も高い。

⑫ 持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

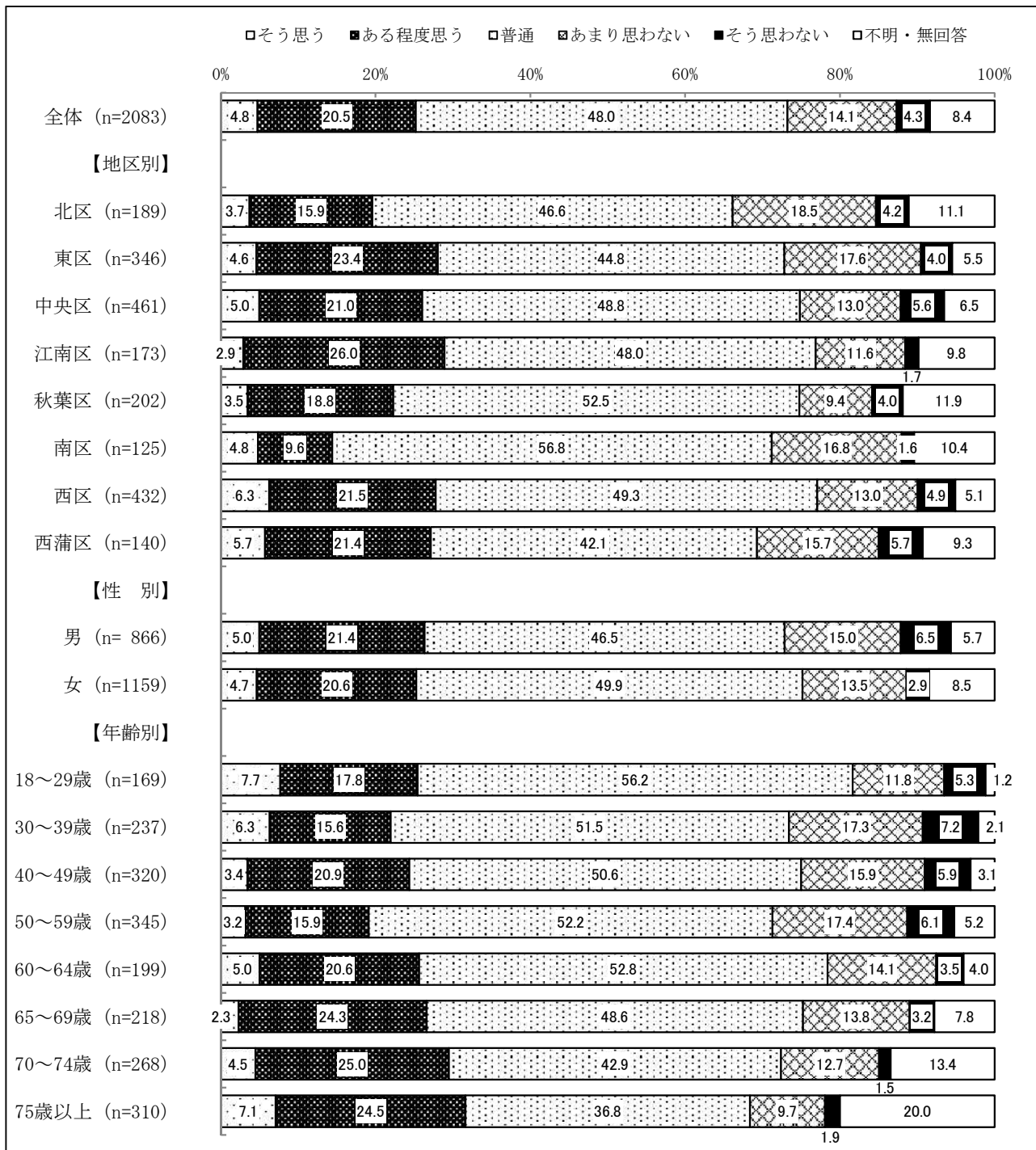


18～29歳の属性を除く地区別・性別・年齢別の属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回っており、差が大きい。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（18.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（29.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（47.2%）で最も高い。性別では、女性（39.2%）より男性（44.6%）で割合が高く、年齢別では、50～59歳（51.6%）で最も高い。

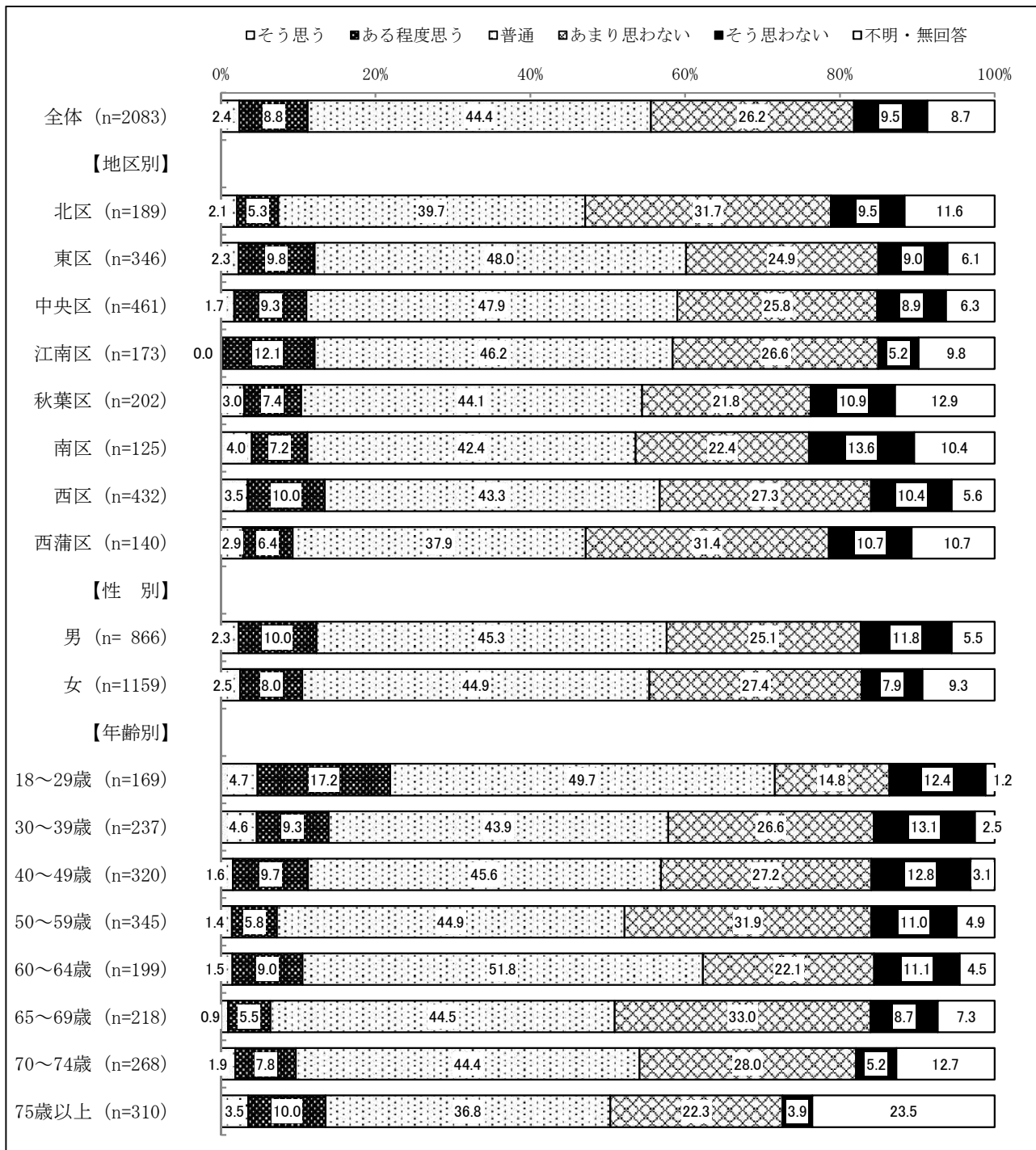
⑬ ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、江南区（28.9%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、75歳以上（31.6%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、北区（22.8%）で最も高い。性別では、女性（16.4%）より男性（21.5%）で割合が高く、年齢別では、30～39歳（24.5%）で最も高い。

⑭ 女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

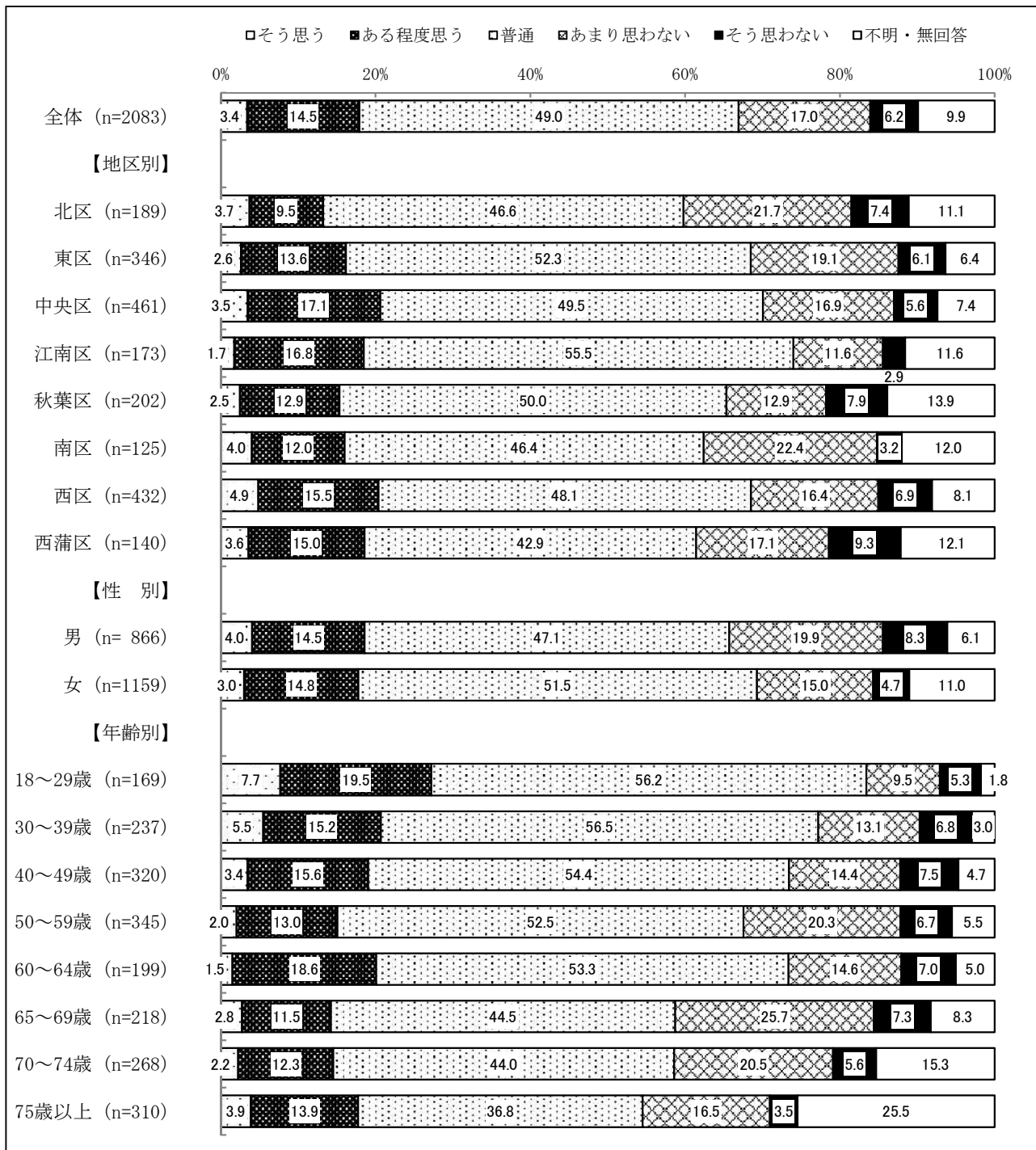


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（13.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（21.9%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（42.1%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、50～59歳（42.9%）で最も高い。

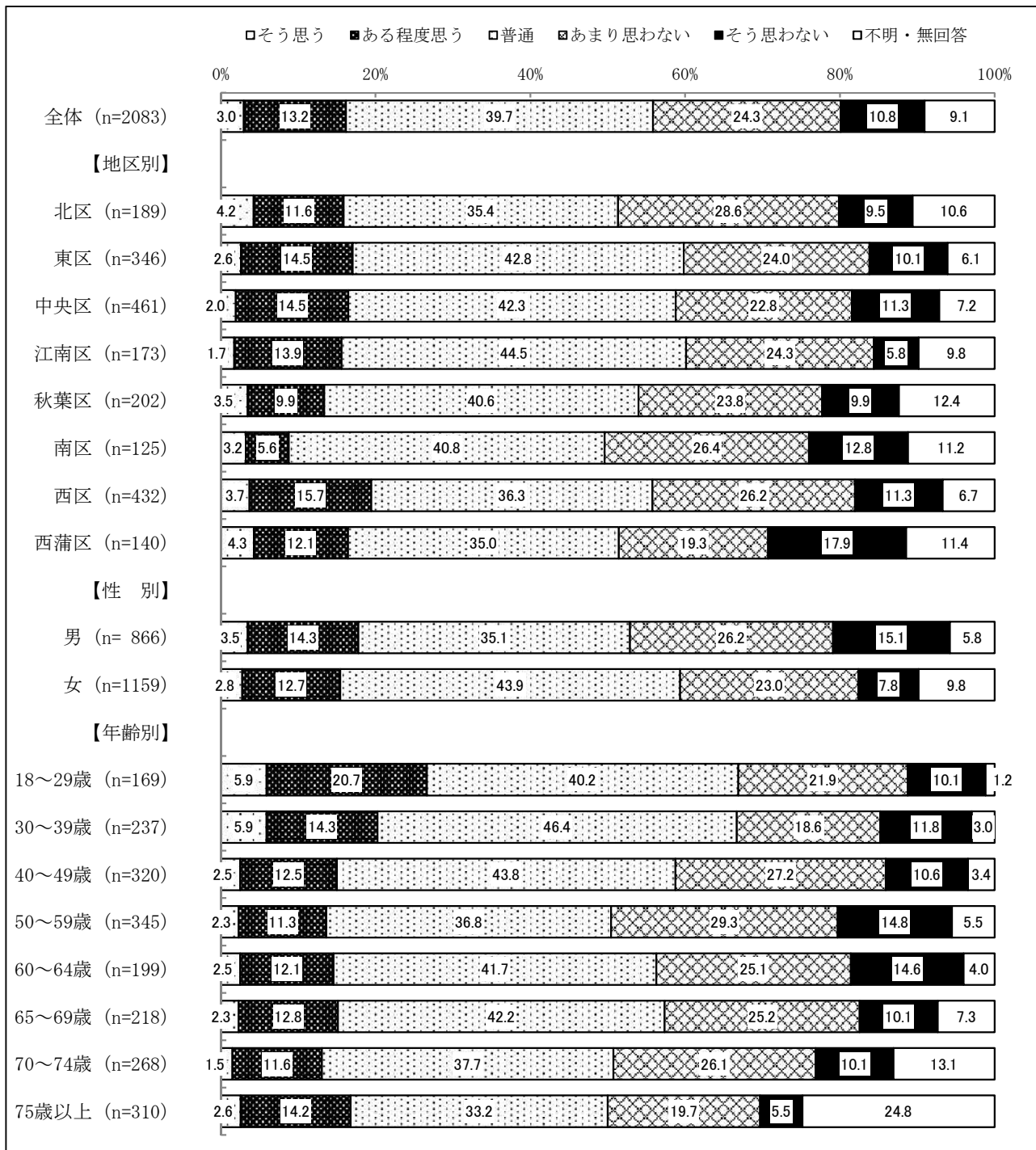
⑮ 農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（20.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（27.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、北区（29.1%）で最も高い。性別では、女性（19.7%）より男性（28.2%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（33.0%）で最も高い。

⑩ 港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。

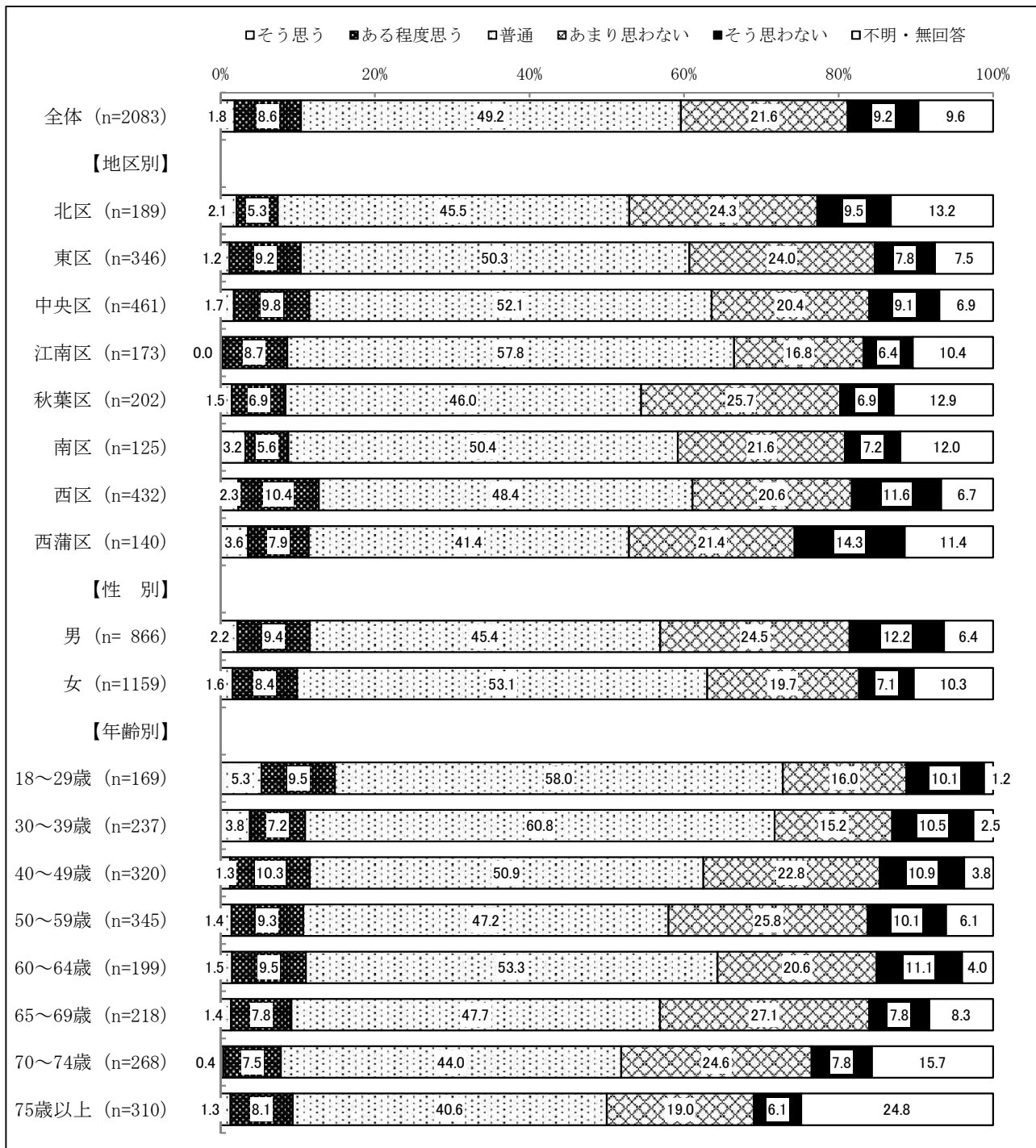


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（19.4%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では、18～29歳（26.6%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（39.2%）で最も高い。性別では、女性（30.8%）より男性（41.3%）で割合が高く、年齢別では、50～59歳（44.1%）で最も高い。

⑰ 既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

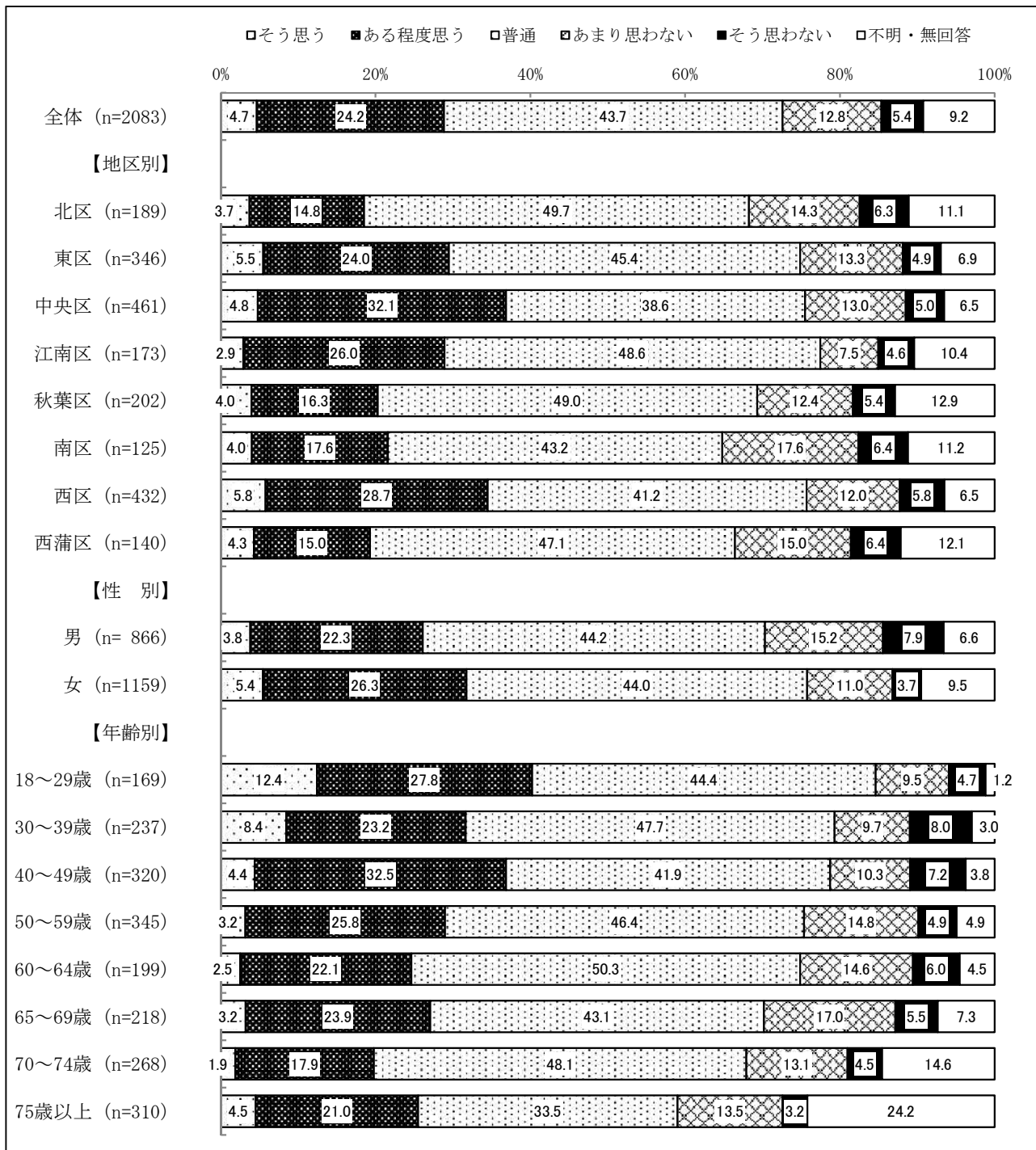


地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（12.7%）で最も高い。性別では、性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（14.8%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（35.7%）で最も高い。女性（26.7%）より男性（36.7%）で割合がやや高く、年齢別では、50～59歳（35.9%）で最も高い。

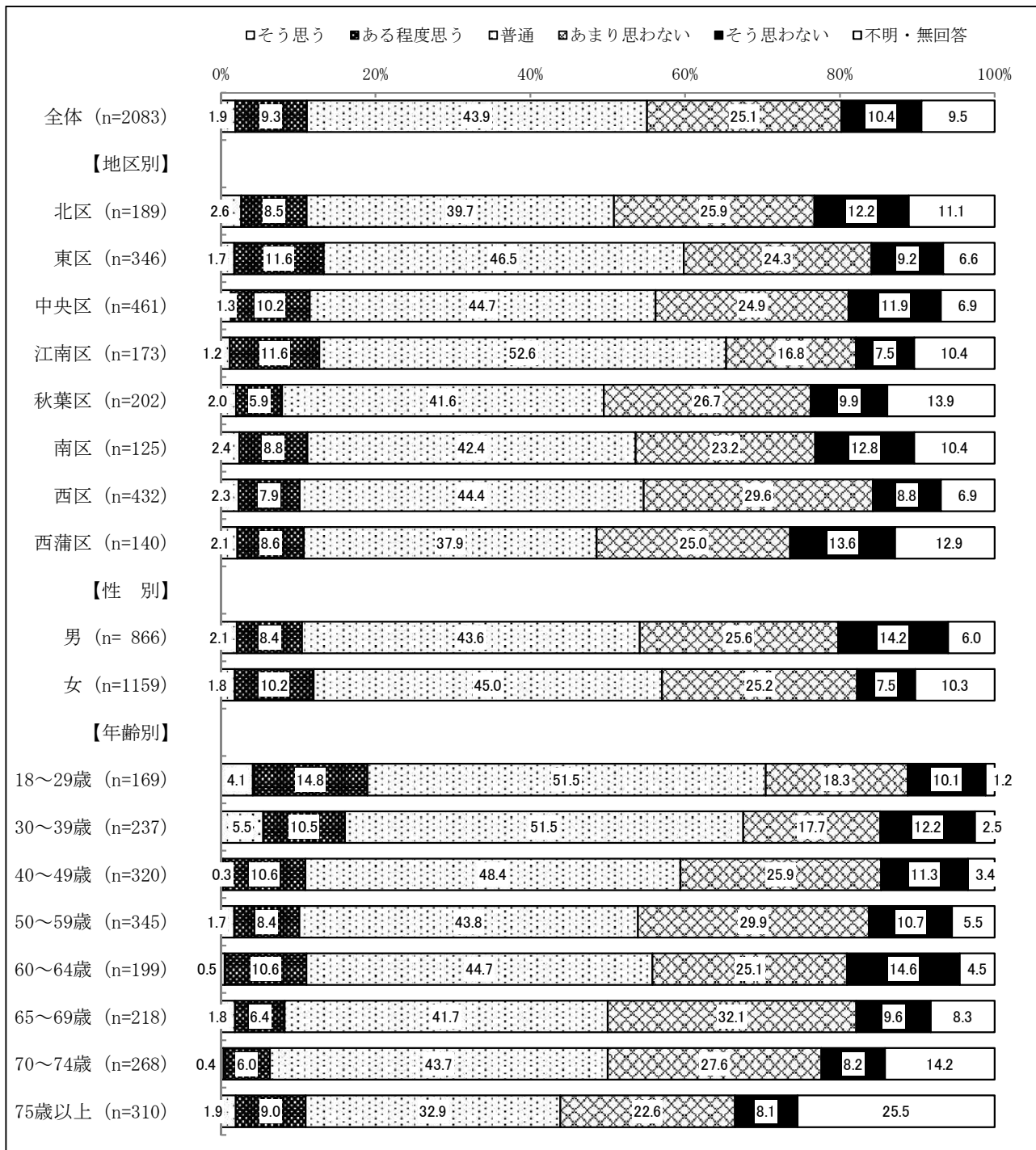
⑱ 食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。



「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、中央区（36.9%）で最も高い。性別では、男性（26.1%）より女性（31.8%）で割合が高く、年齢別では、18～29歳（40.2%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、南区（24.0%）で最も高い。性別では、女性（14.8%）より男性（23.1%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（22.5%）で最も高い。

⑱ 広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。

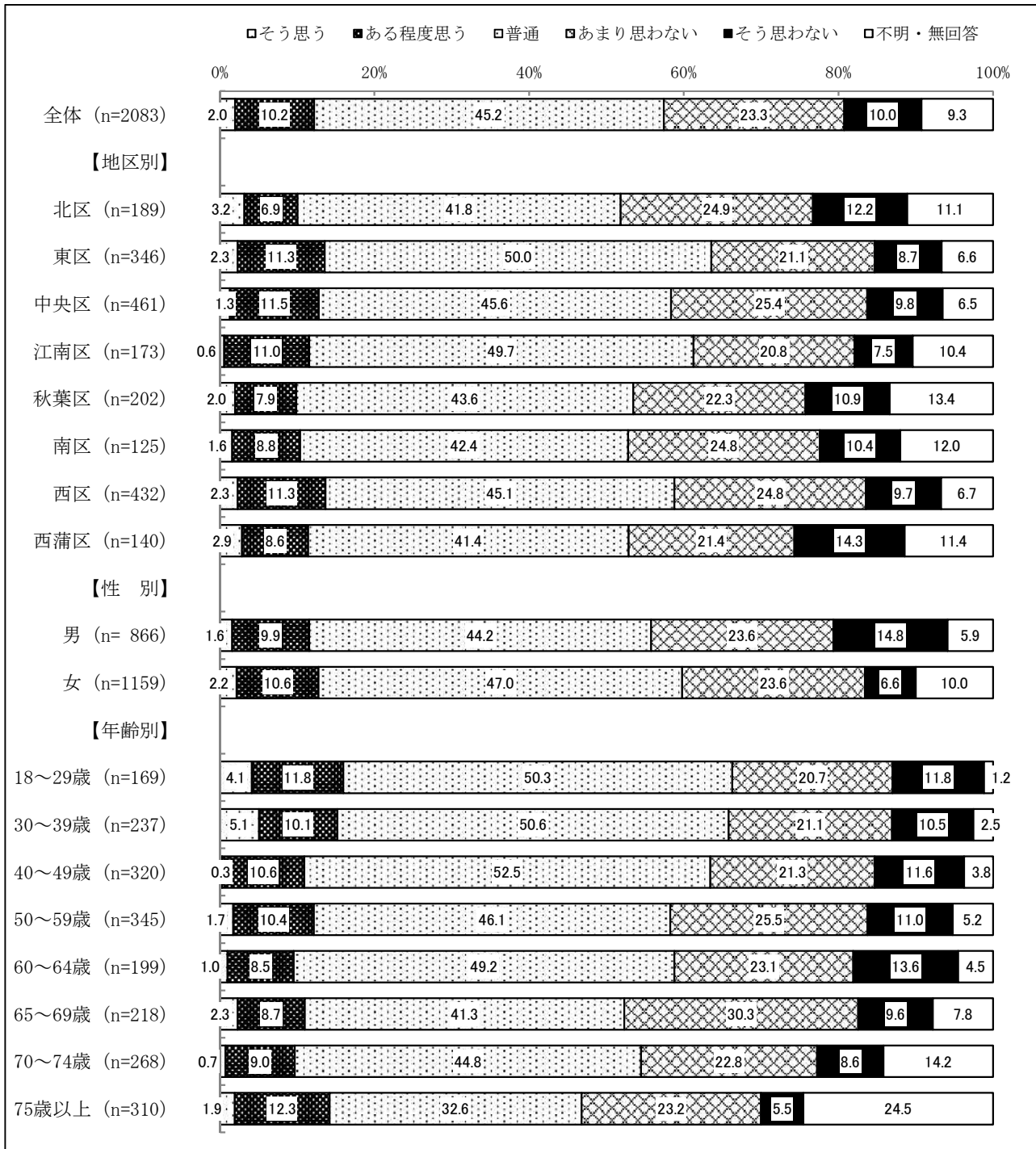


地区別・性別・年齢別すべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、東区（13.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（18.9%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（38.6%）で最も高い。性別では、女性（32.7%）より男性（39.8%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（41.7%）で最も高い。

⑳ 国際交流に取り組んでいます。



地区別・性別・年齢別のすべての属性において、「そう思わない」と「あまり思わない」を合わせた割合が、「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合を上回った。

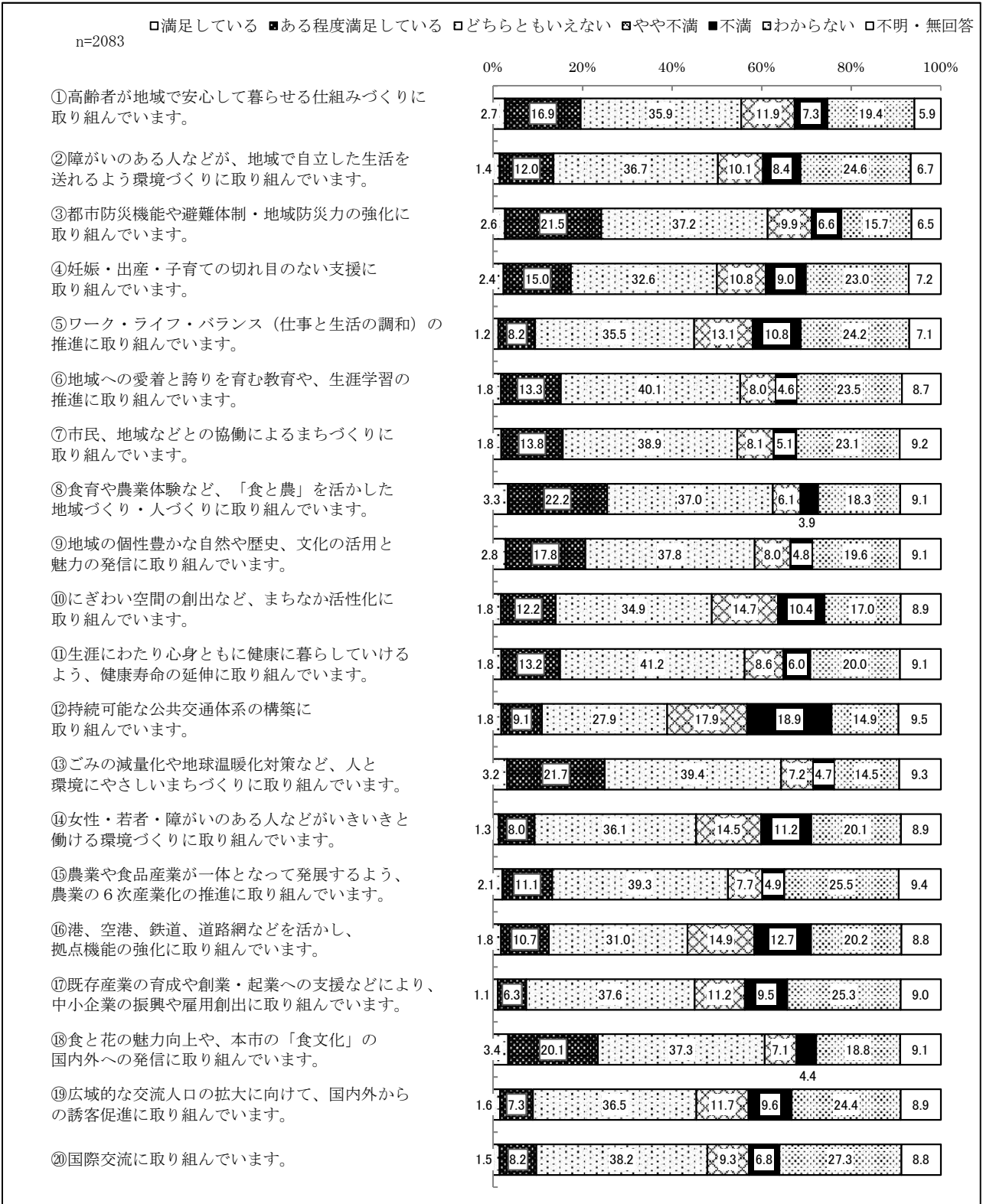
「そう思う」と「ある程度思う」を合わせた割合は、地区別では、西区（13.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（16.0%）で最も高い。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせた割合は、地区別では、北区（37.0%）で最も高い。性別では、女性（30.2%）より男性（38.3%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（39.9%）で最も高い。

(3) 取り組みへの満足度

問26 新潟市が進めている主な取り組みについて、あなたの感想をお聞かせください。また、これらの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで○をつけてください。

【取り組みへの満足度】



— 「食と農」を活かした地域づくり・人づくりへの取り組みに約3割が満足 —

【全体結果】

市の取り組み状況への満足度について、「満足している」の割合は、「⑱食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。」(3.4%)で最も高い。以下、「満足している」の割合は、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(3.3%)、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(3.2%)、「⑨地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。」(2.8%)の順で高くなっている。

一方、「不満」の割合は、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(18.9%)が最も高い。以下、「⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(12.7%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(11.2%)の順で高くなっている。

満足度について、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合、及び、「やや不満」と「不満」を合わせた割合の結果は次のとおりである。

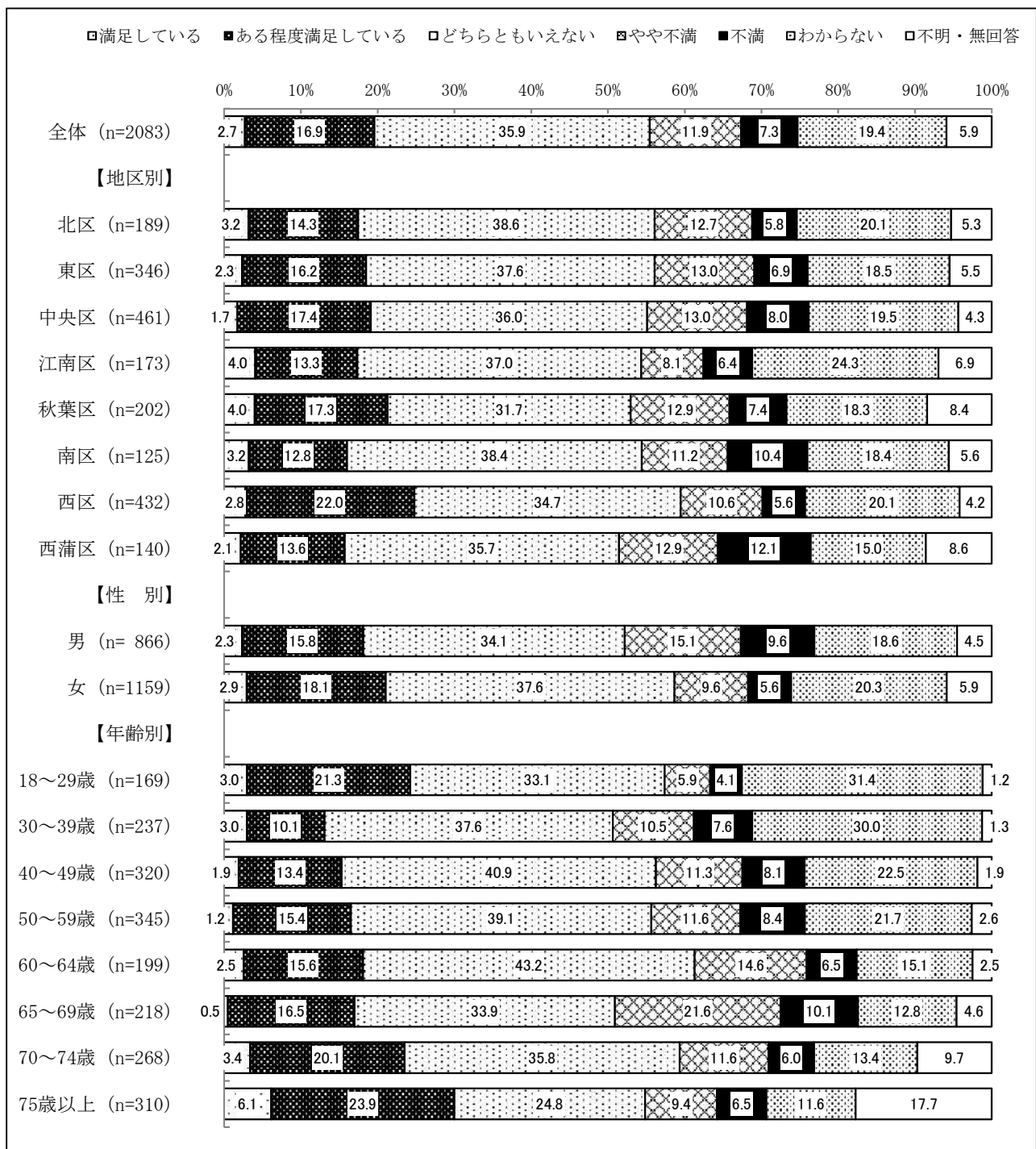
「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合についてみると、「⑧食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。」(25.5%)の割合が最も高くなっている。以下、「⑬ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。」(24.9%)、「③都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。」(24.1%)と続いている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合についてみると、「⑫持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。」(36.7%)が最も高い。以下、「⑩港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。」(27.6%)、「⑭女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。」(25.7%)と続いている。

【属性別結果】

次ページ以降に取り組みごとの地区別・性別・年齢別の集計結果をまとめた。

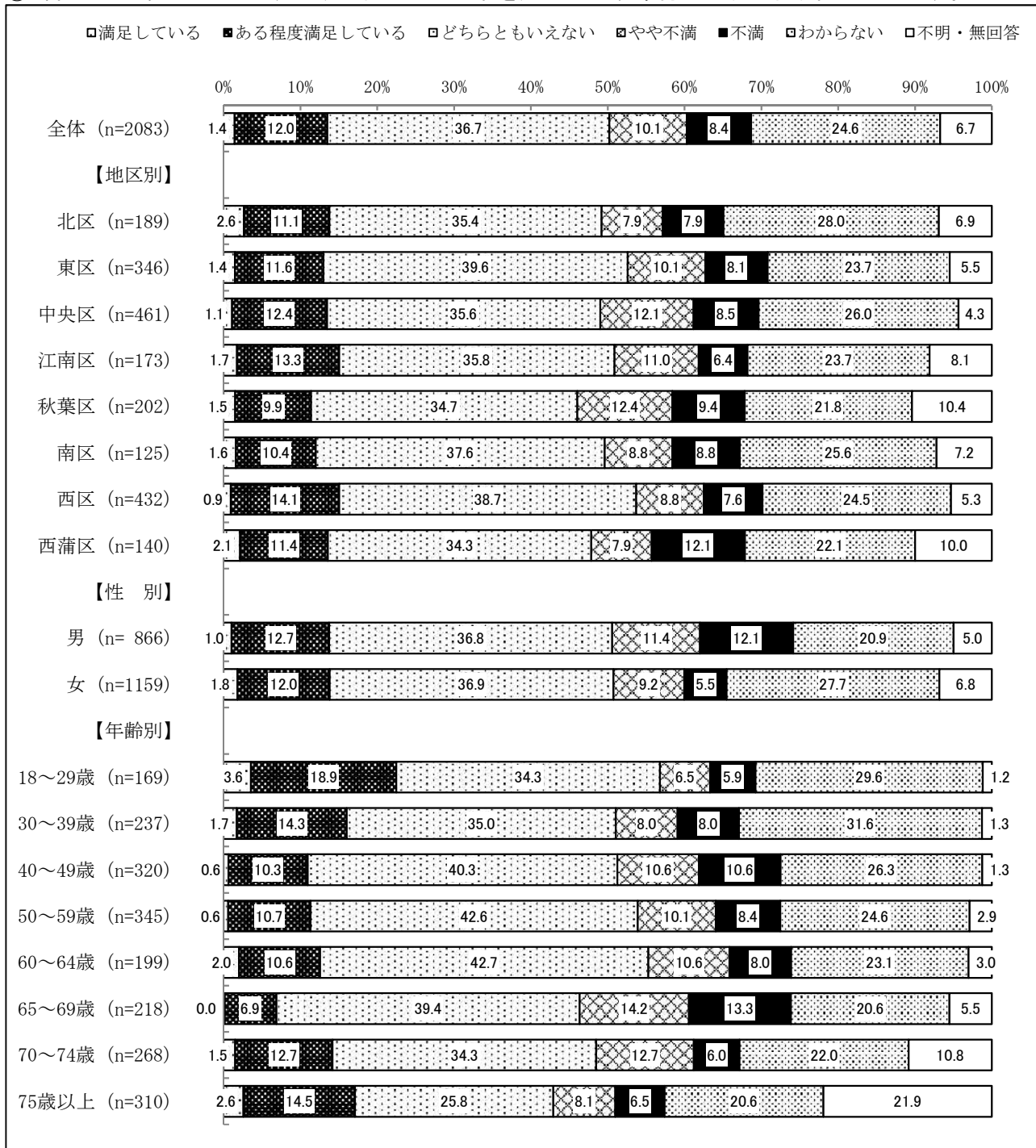
① 高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（24.8%）で最も高い。性別では、男性（18.1%）より女性（21.1%）で割合がやや高く、年齢別では、75歳以上（30.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（25.0%）で最も高い。性別では、女性（15.2%）より男性（24.7%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（31.7%）で割合が高い。

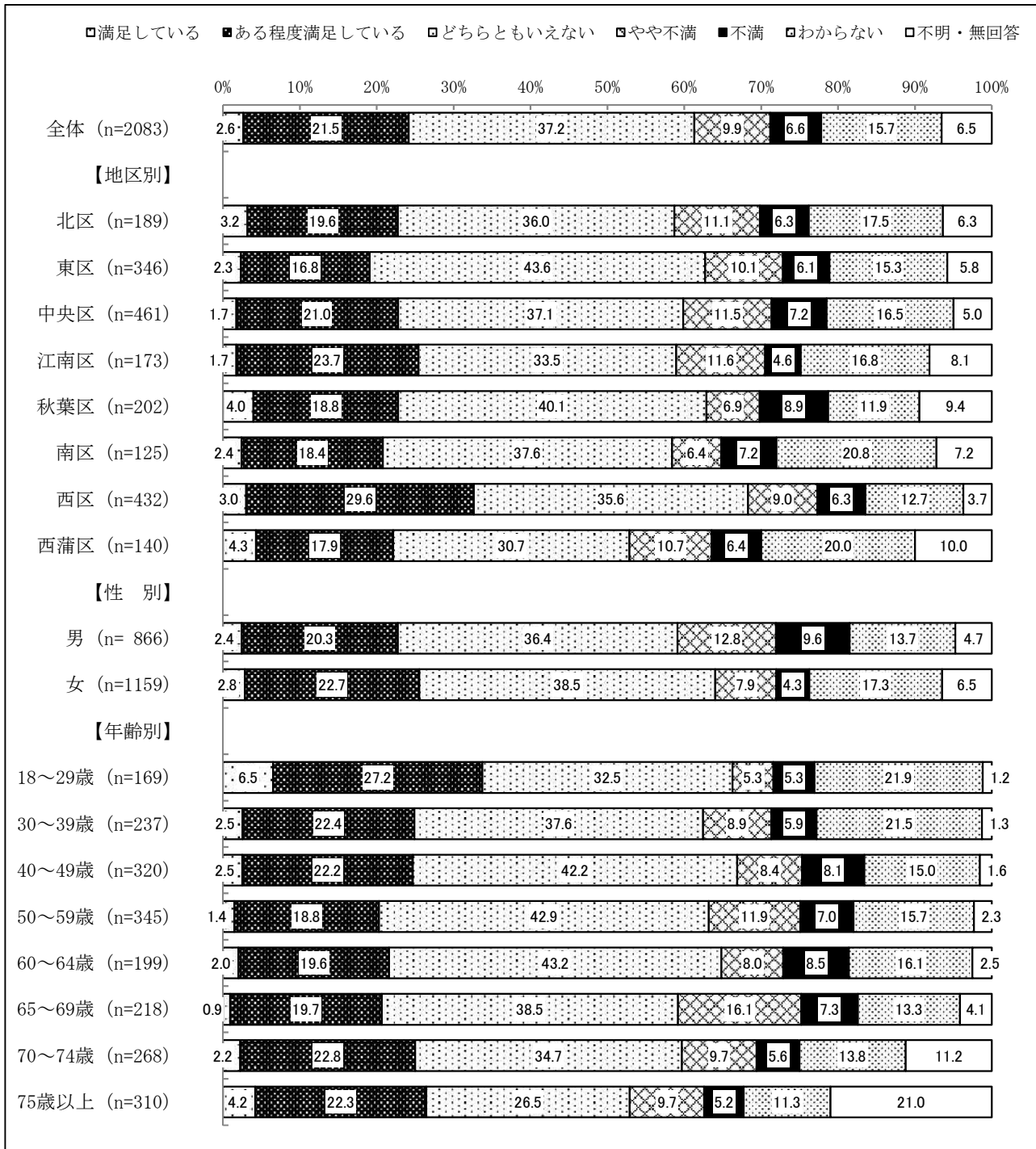
② 障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（15.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では、18～29歳（22.5%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（21.8%）で最も高い。性別では、女性（14.8%）より男性（23.6%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（27.5%）で割合が高い。

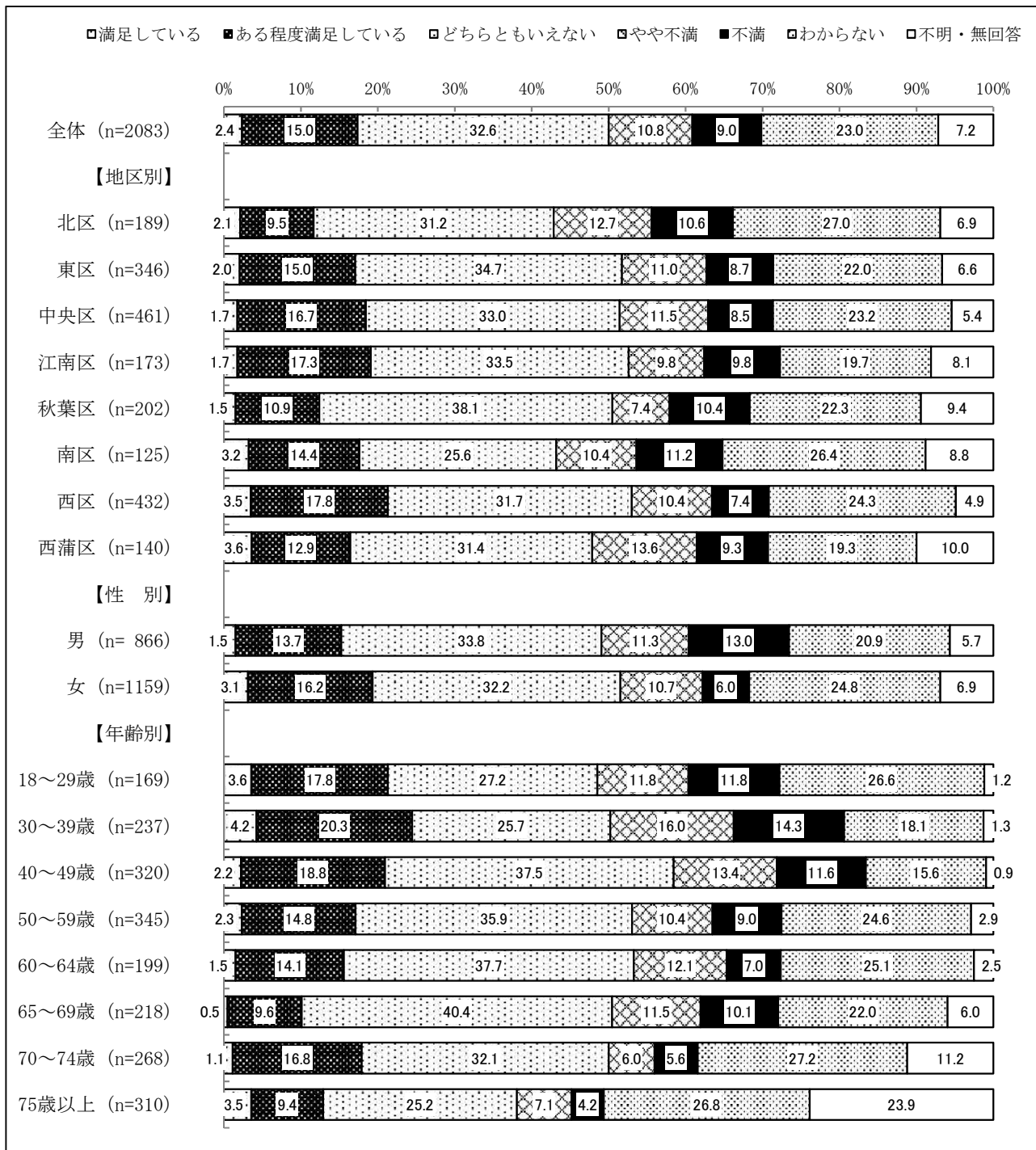
③ 都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（32.6%）で最も高い。性別では、男性（22.7%）より女性（25.5%）で割合がやや高い。年齢別では、18～29歳（33.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、中央区（18.7%）で最も高い。性別では、女性（12.3%）より男性（22.4%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（23.4%）で割合が高い。

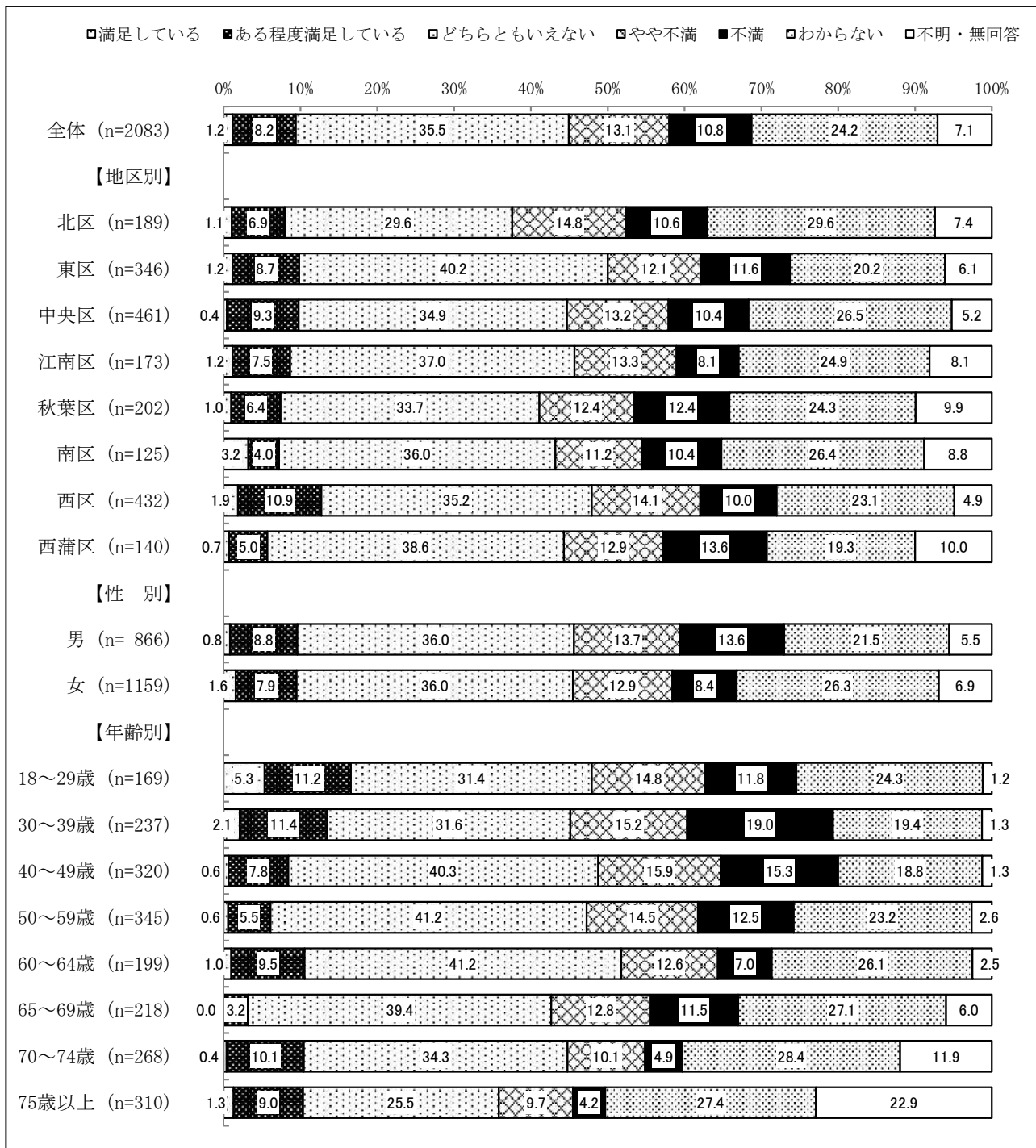
④ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（21.3%）で最も高い。性別では、男性（15.2%）より女性（19.3%）で割合がやや高く、年齢別では30～39歳（24.5%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、北区（23.3%）で最も高い。性別では、女性（16.7%）より男性（24.4%）で割合が高く、年齢別では、30～39歳（30.4%）で割合が高い。

⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。

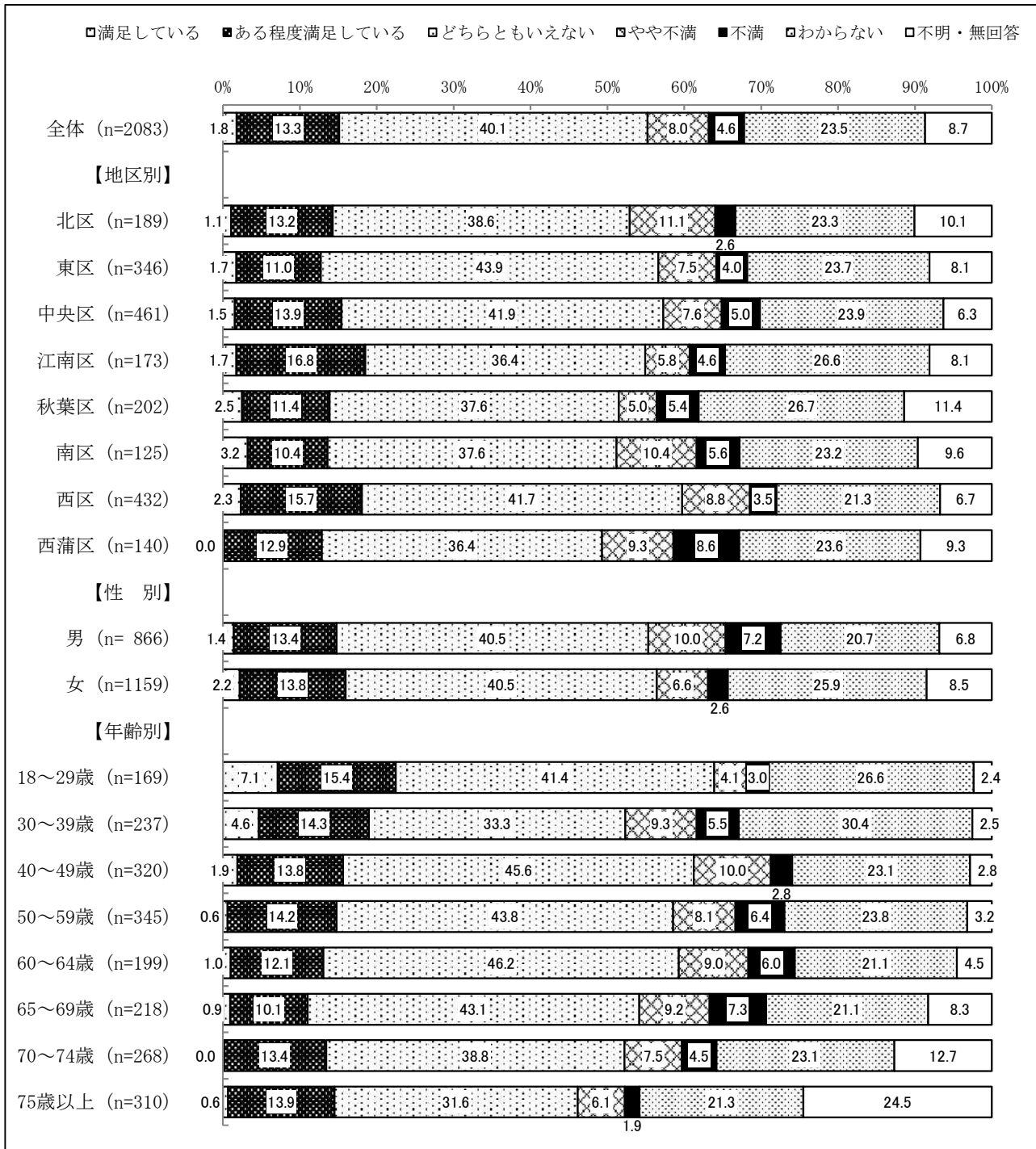


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（12.7%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（16.6%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（26.4%）で最も高い。性別では、女性（21.3%）より男性（27.4%）で割合が高く、年齢別では、30～39歳（34.2%）で割合が高い。

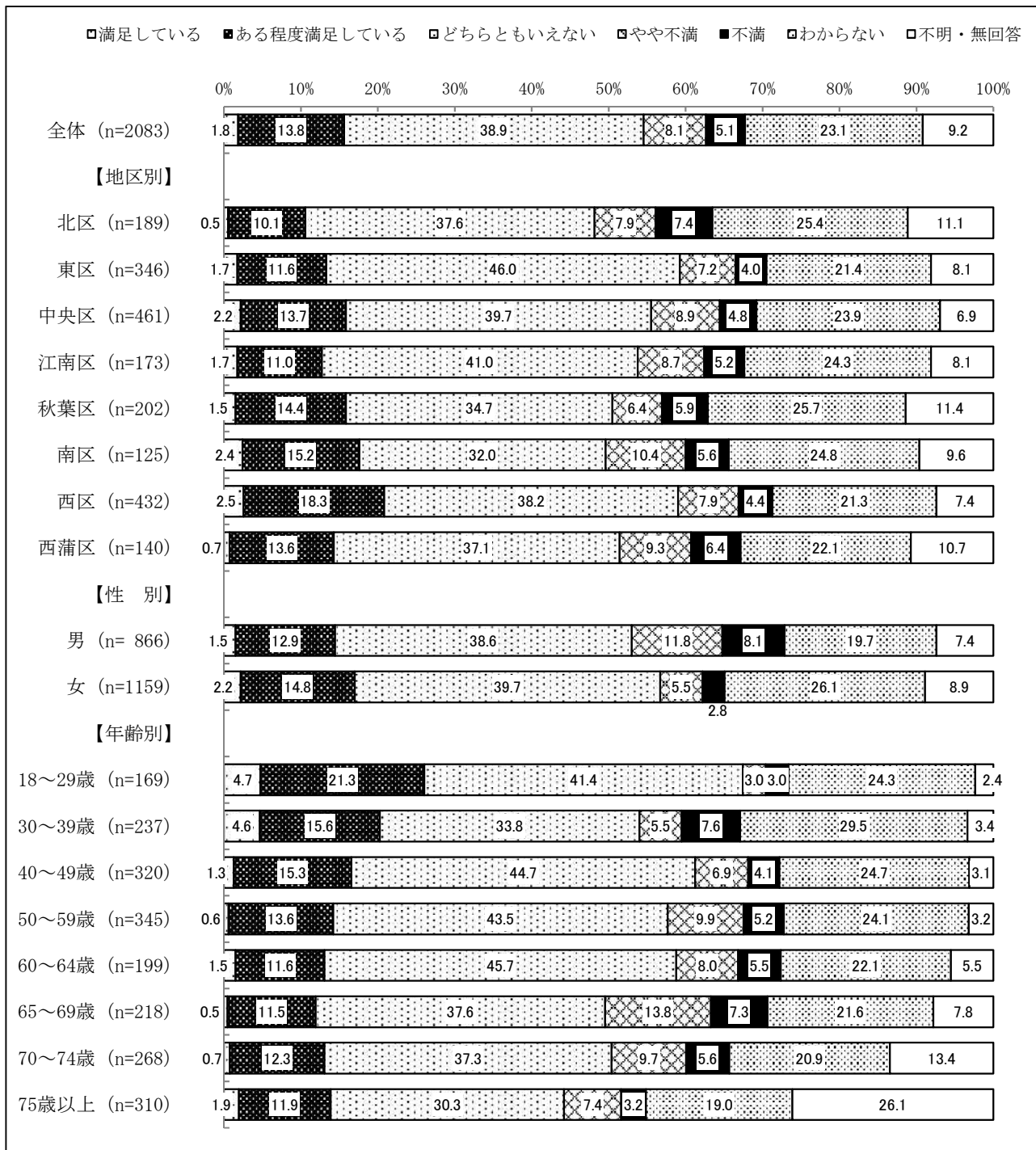
⑥ 地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（18.5%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（22.5%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（17.9%）で最も高い。性別では、女性（9.2%）より男性（17.2%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（16.5%）で割合が高い。

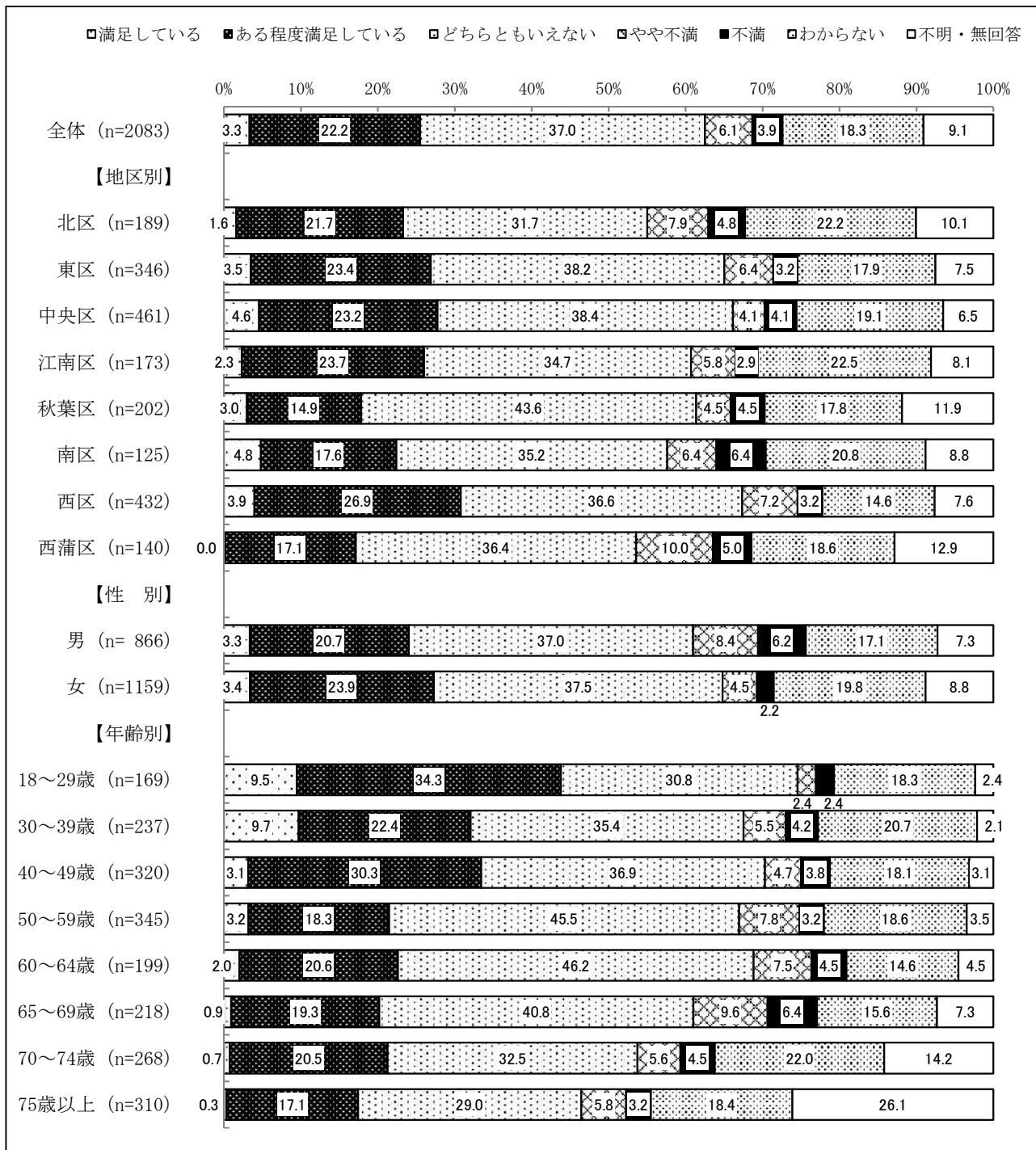
⑦ 市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（20.8%）で最も高い。性別では、男性（14.4%）より女性（17.0%）の割合がやや高く、年齢別では18～29歳（26.0%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（16.0%）で最も高い。性別では、女性（8.4%）より男性（19.9%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（21.1%）で割合が高い。

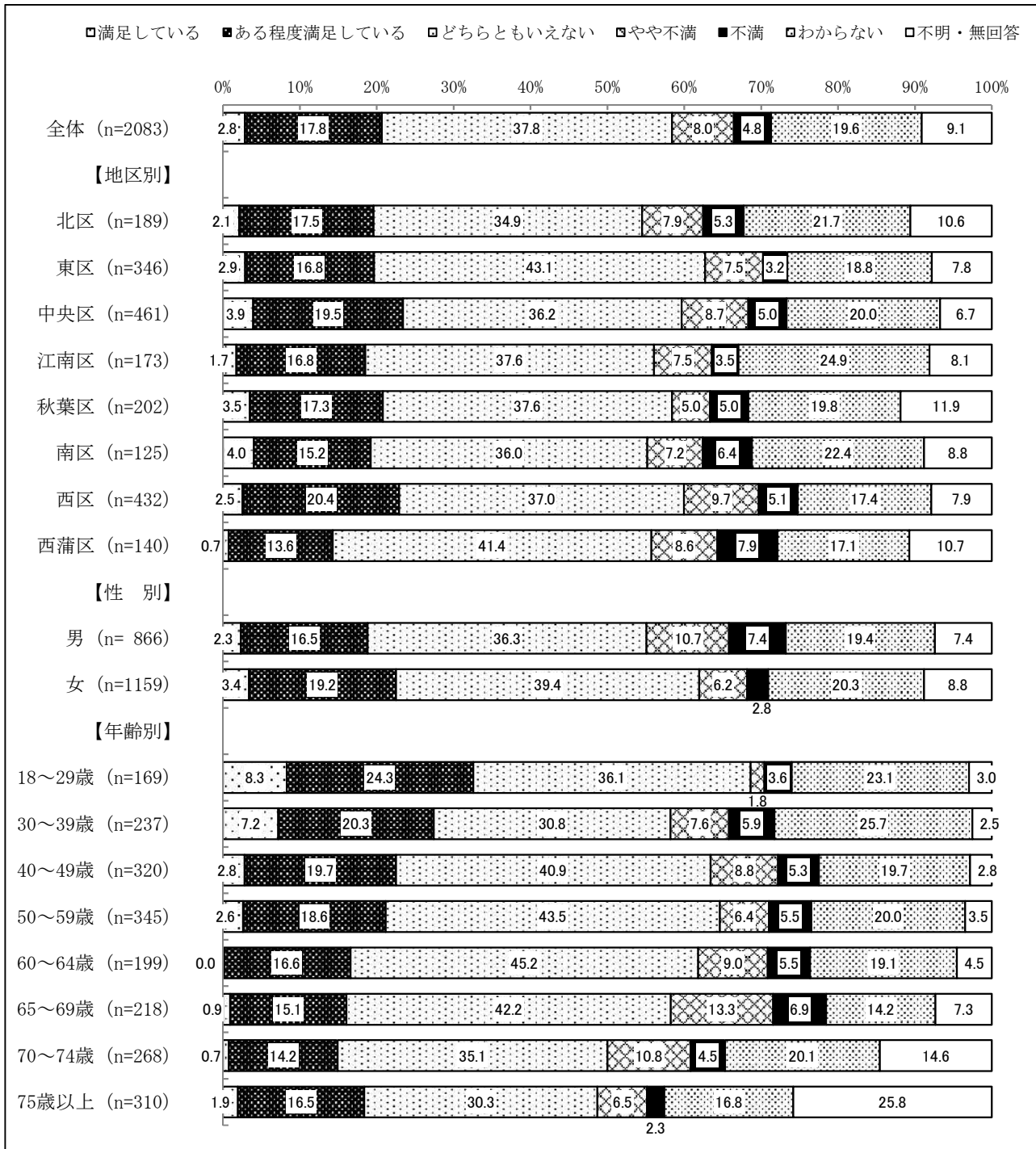
⑧ 食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（30.8%）で最も高い。性別では、男性（24.0%）より女性（27.3%）で割合がやや高く、年齢別では18～29歳（43.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（15.0%）で最も高い。性別では、女性（6.6%）より男性（14.7%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（16.1%）で割合が高い。

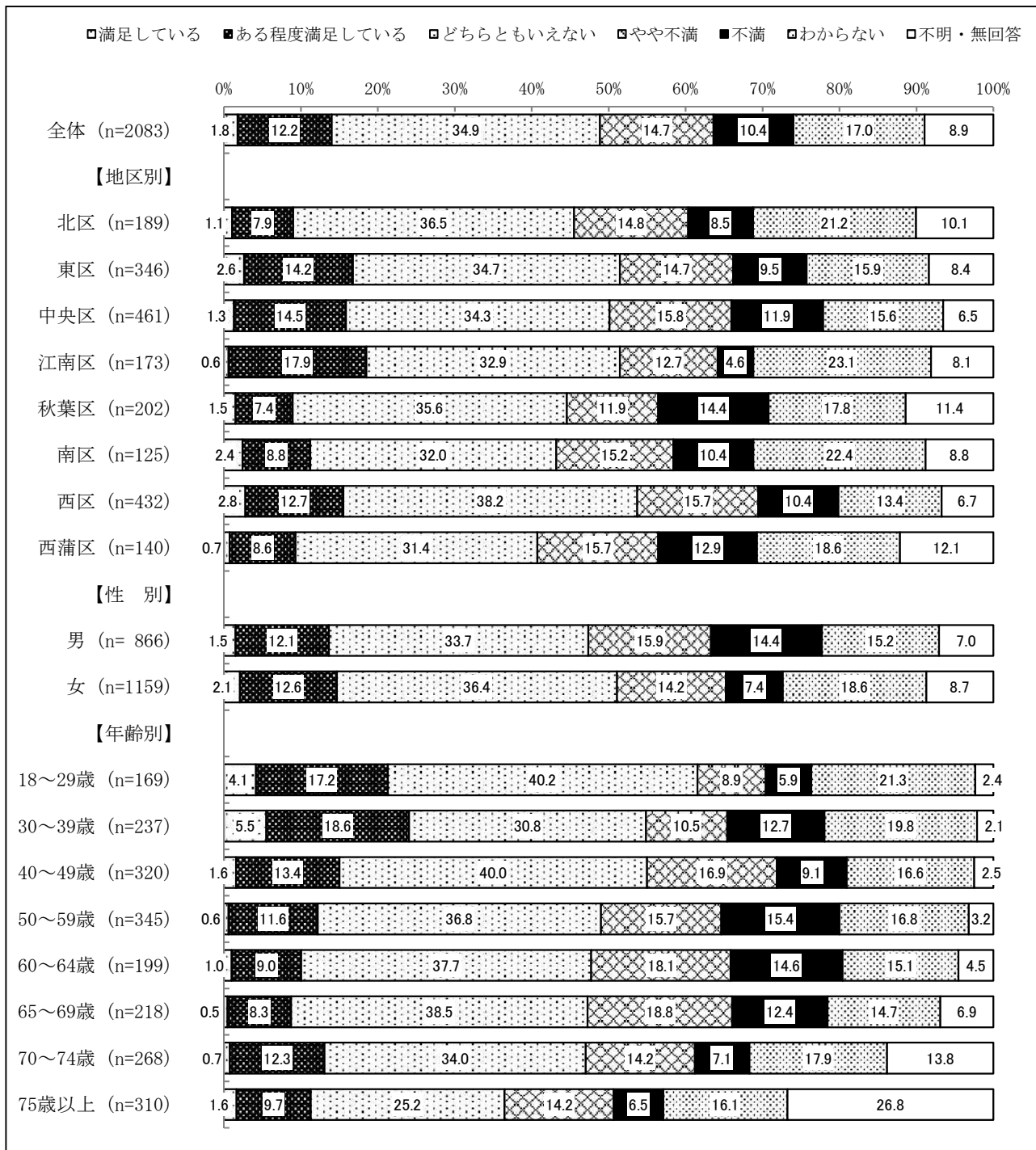
⑨ 地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、中央区（23.4%）で最も高い。性別では、男性（18.8%）より女性（22.5%）で割合がやや高く、年齢別では18～29歳（32.5%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（16.4%）で最も高い。性別では、女性（9.0%）より男性（18.1%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（20.2%）で割合が高い。

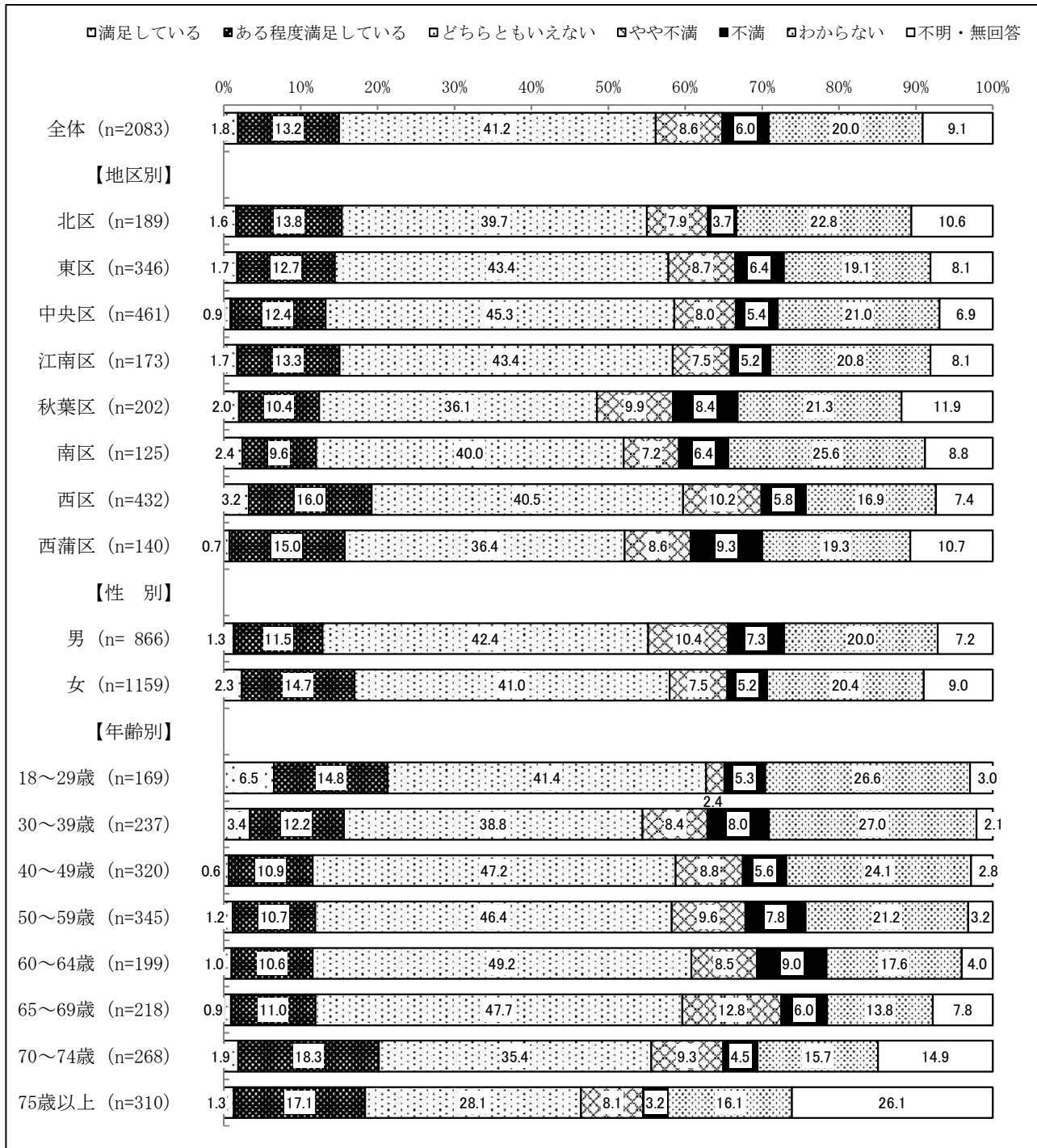
⑩ にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、江南区（18.5%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では30～39歳（24.1%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（28.6%）で最も高い。性別では、女性（21.6%）より男性（30.4%）で割合が高く、年齢別では、60～64歳（32.7%）で割合が高い。

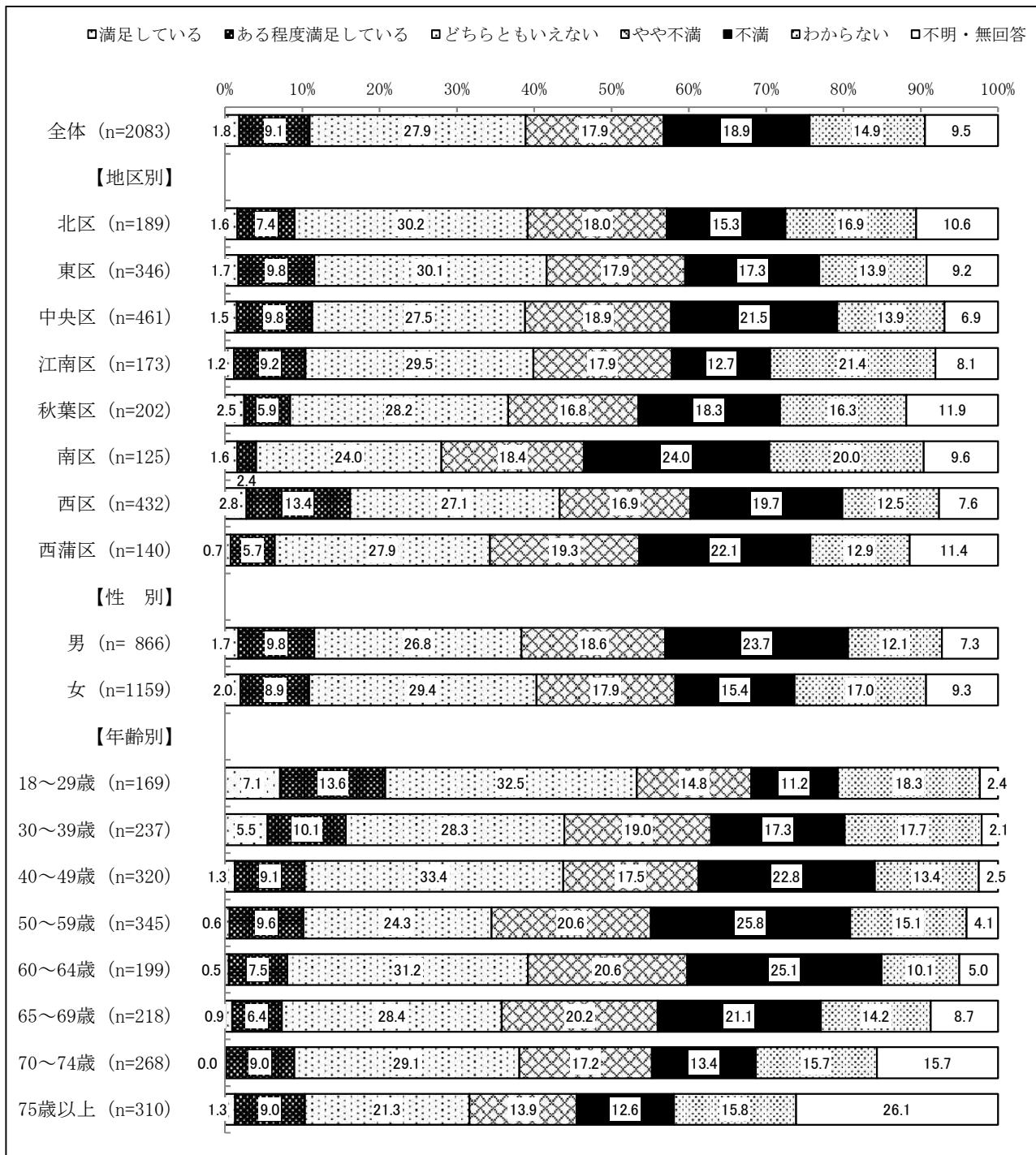
⑪ 生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（19.2%）で最も高い。性別では、男性（12.8%）より女性（17.0%）で割合がやや高く、年齢別では18～29歳（21.3%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、秋葉区（18.3%）で最も高い。性別では、女性（12.7%）より男性（17.7%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（18.8%）で割合が高い。

⑫ 持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

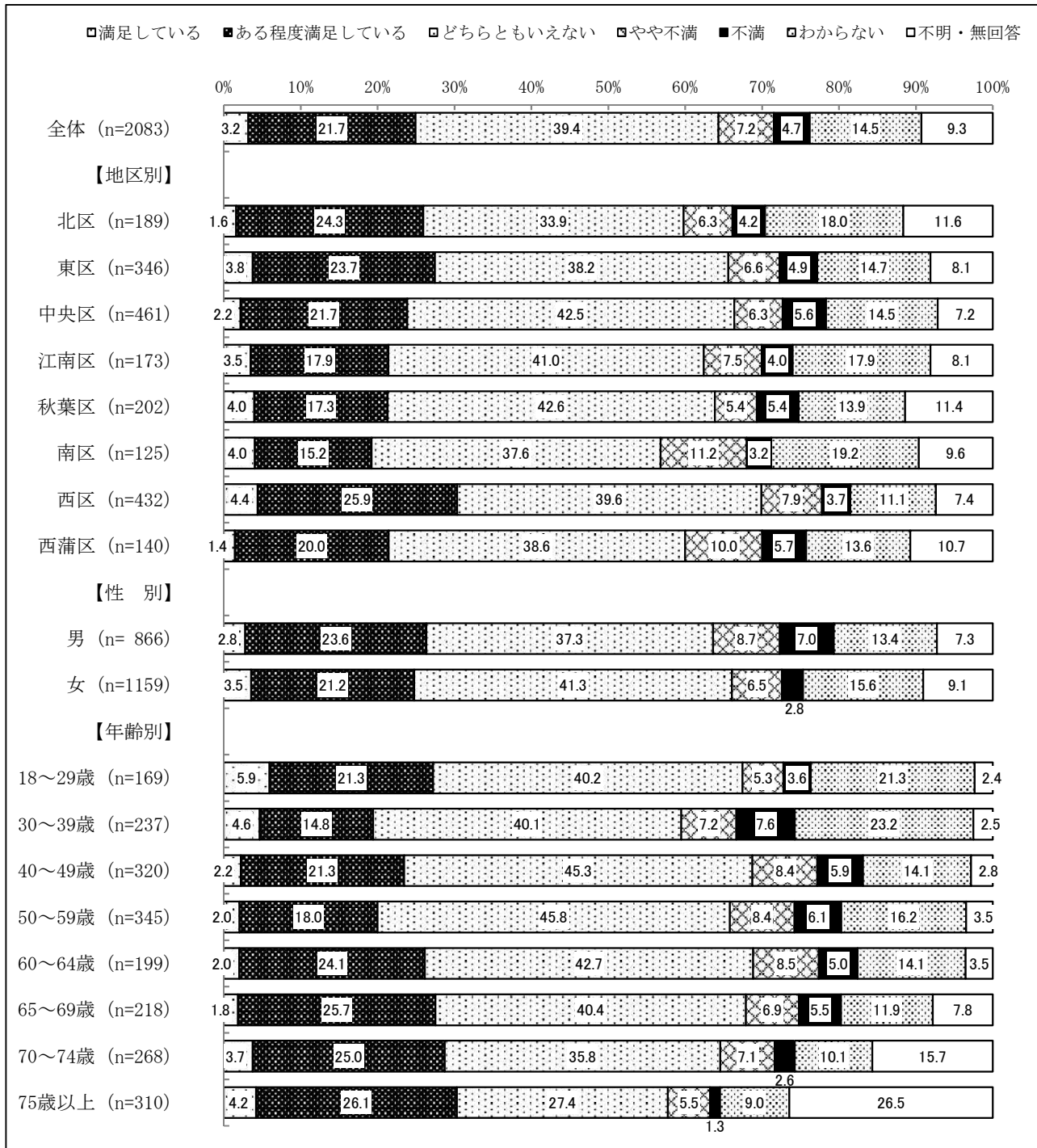


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（16.2%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（20.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（42.4%）で最も高い。性別では、女性（33.4%）より男性（42.3%）で割合が高く、年齢別では、50～59歳（46.4%）で割合が高い。

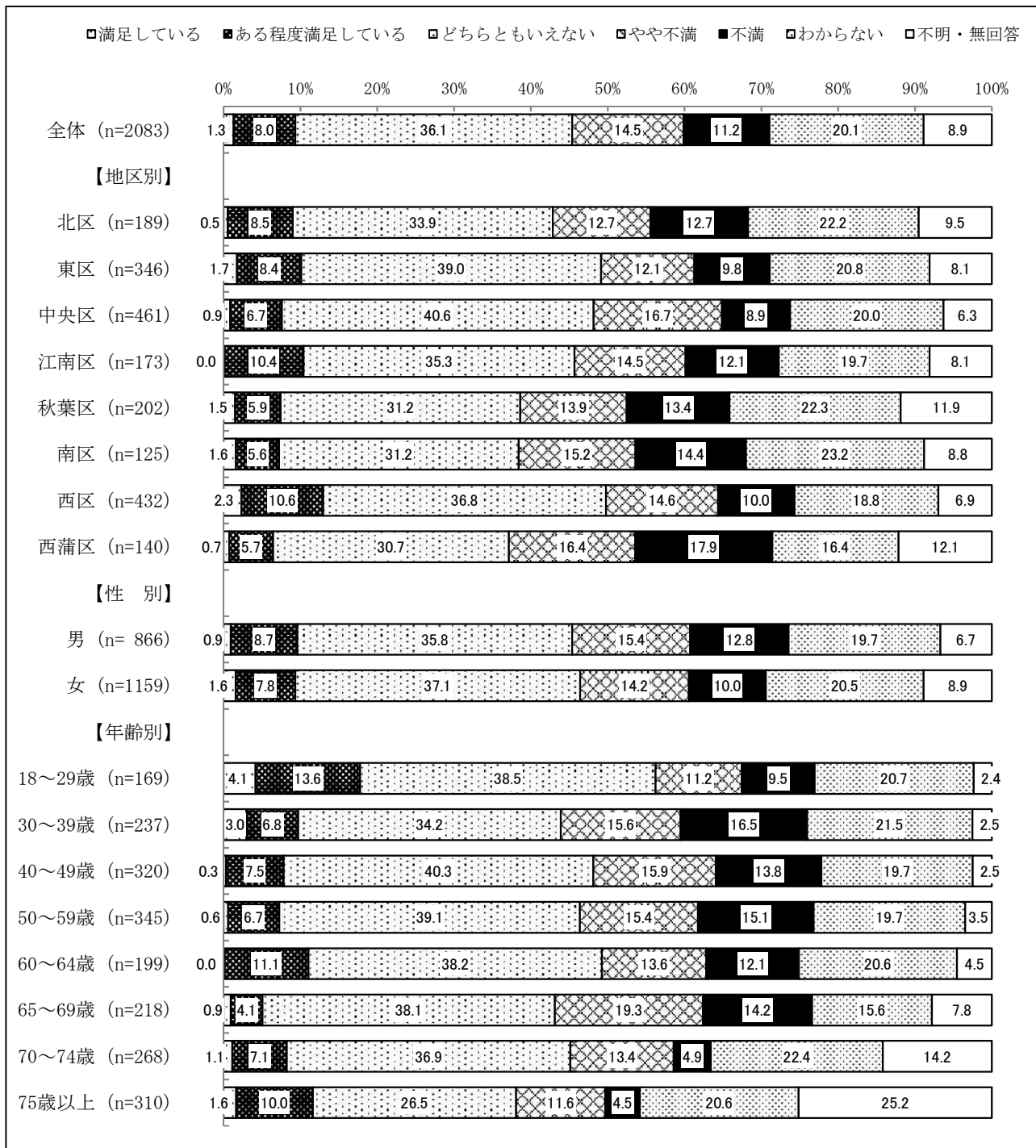
⑬ ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（30.3%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では75歳以上（30.3%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（15.7%）で最も高い。性別では、女性（9.2%）より男性（15.7%）で割合が高く、年齢別では、30～39歳（14.8%）で割合が高い。

⑭ 女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。

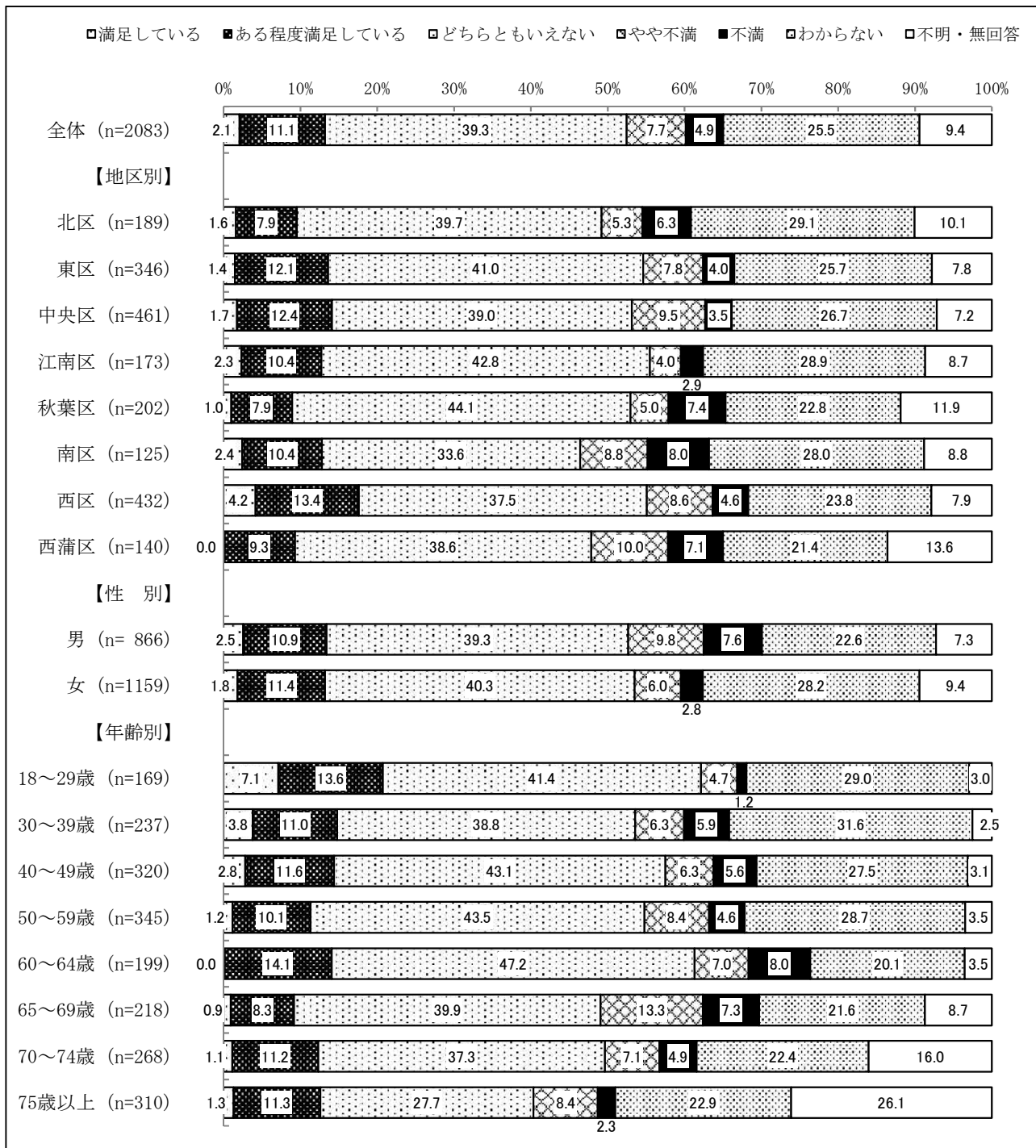


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（13.0%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（17.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（34.3%）で最も高い。性別では、女性（24.2%）より男性（28.2%）で割合がやや高く、年齢別では、65～69歳（33.5%）で割合が高い。

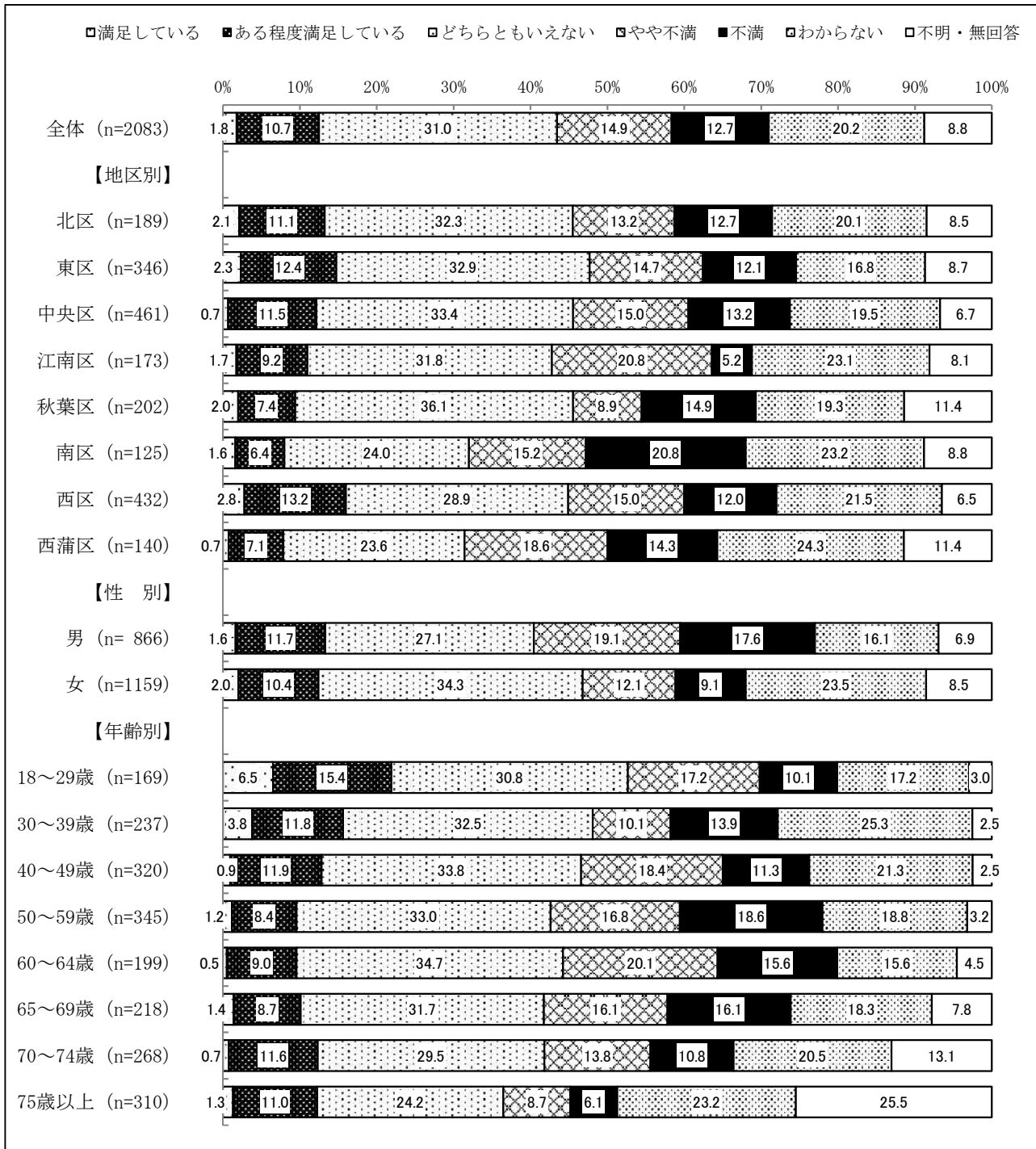
⑮ 農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（17.6%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（20.7%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（16.8%）で最も高い。性別では、女性（8.9%）より男性（17.4%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（20.6%）で割合が高い。

⑩ 港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。

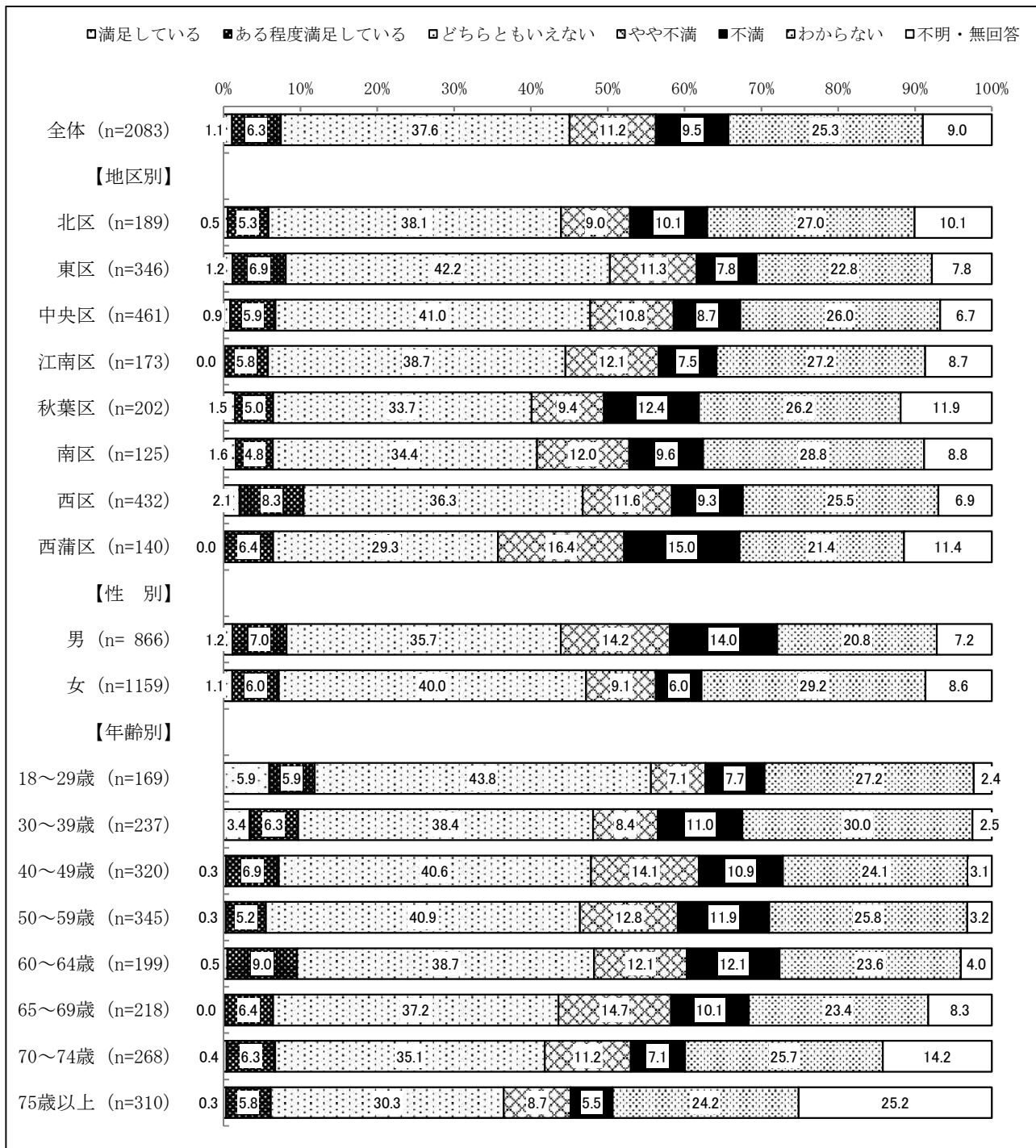


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（16.0%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（21.9%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（36.0%）で最も高い。性別では、女性（21.2%）より男性（36.6%）で割合が高く、年齢別では、60～64歳（35.7%）で割合が高い。

⑰ 既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。

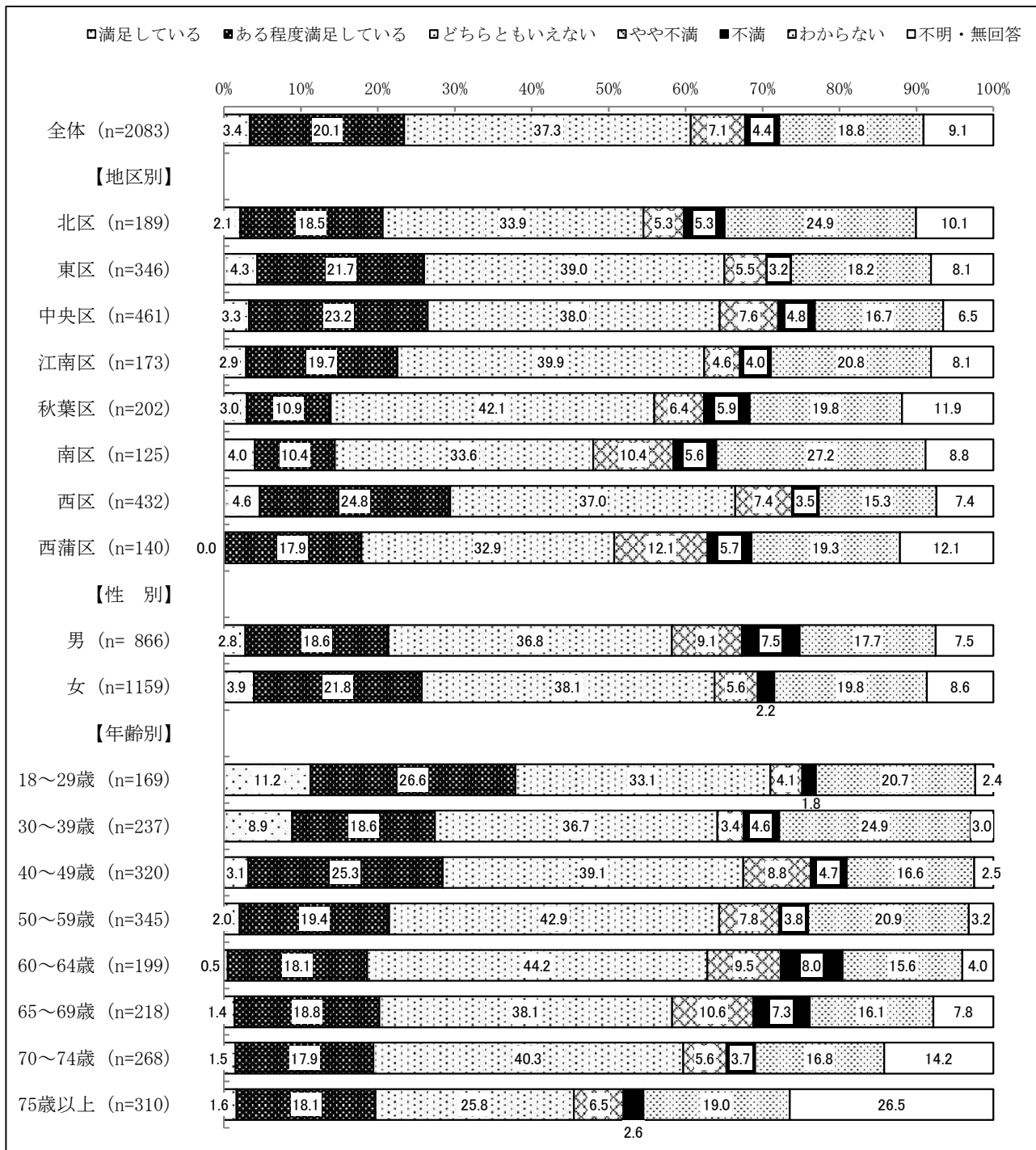


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（10.4%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（11.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（31.4%）で最も高い。性別では、女性（15.0%）より男性（28.2%）で割合が高く、年齢別では、40～49歳（25.0%）で割合が高い。

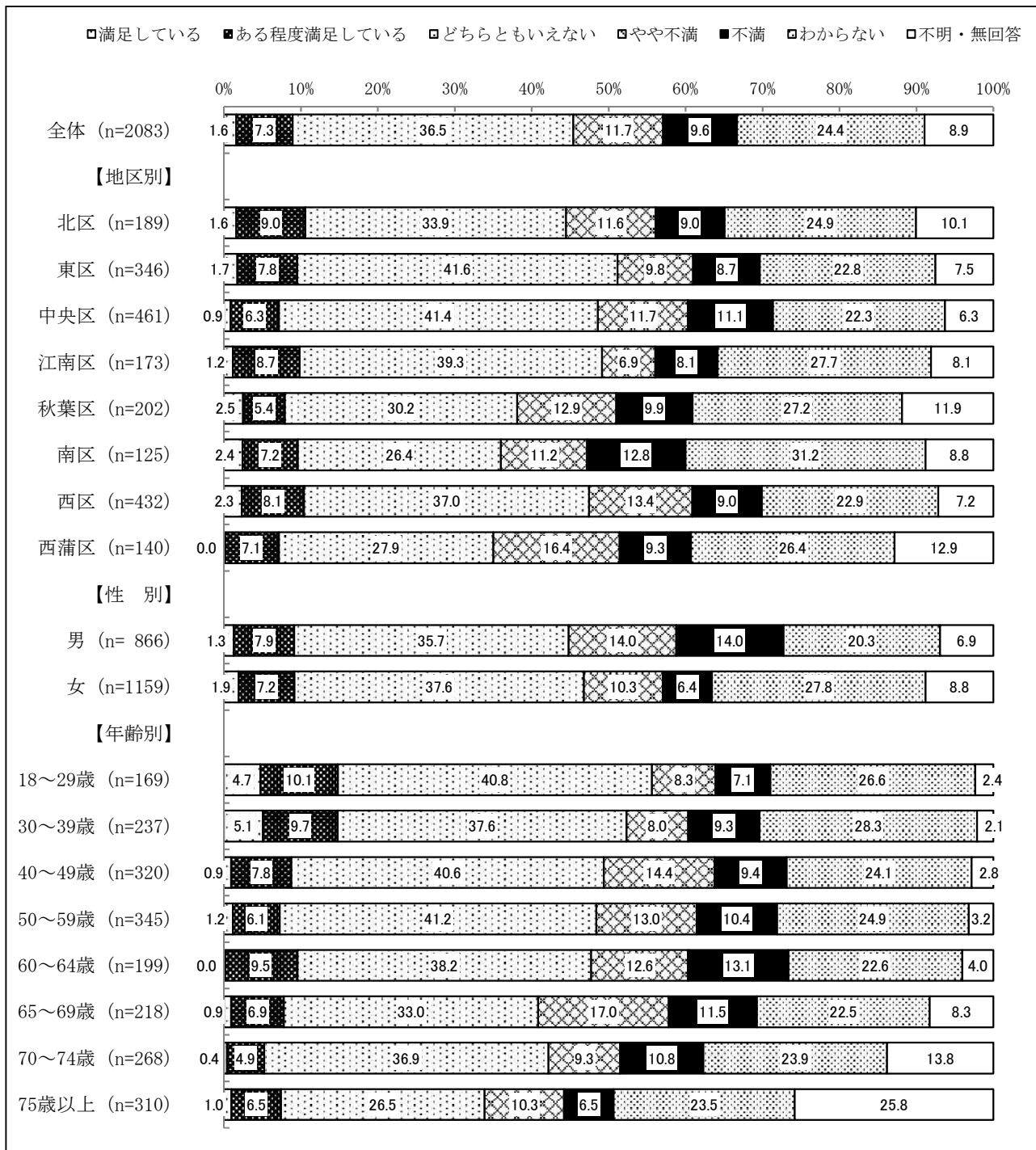
⑱ 食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。



「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（29.4%）で最も高い。性別では、男性（21.4%）より女性（25.7%）で割合がやや高く、年齢別では18～29歳（37.9%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（17.9%）で最も高い。性別では、女性（7.8%）より男性（16.6%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（17.9%）で割合が高い。

⑨ 広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。

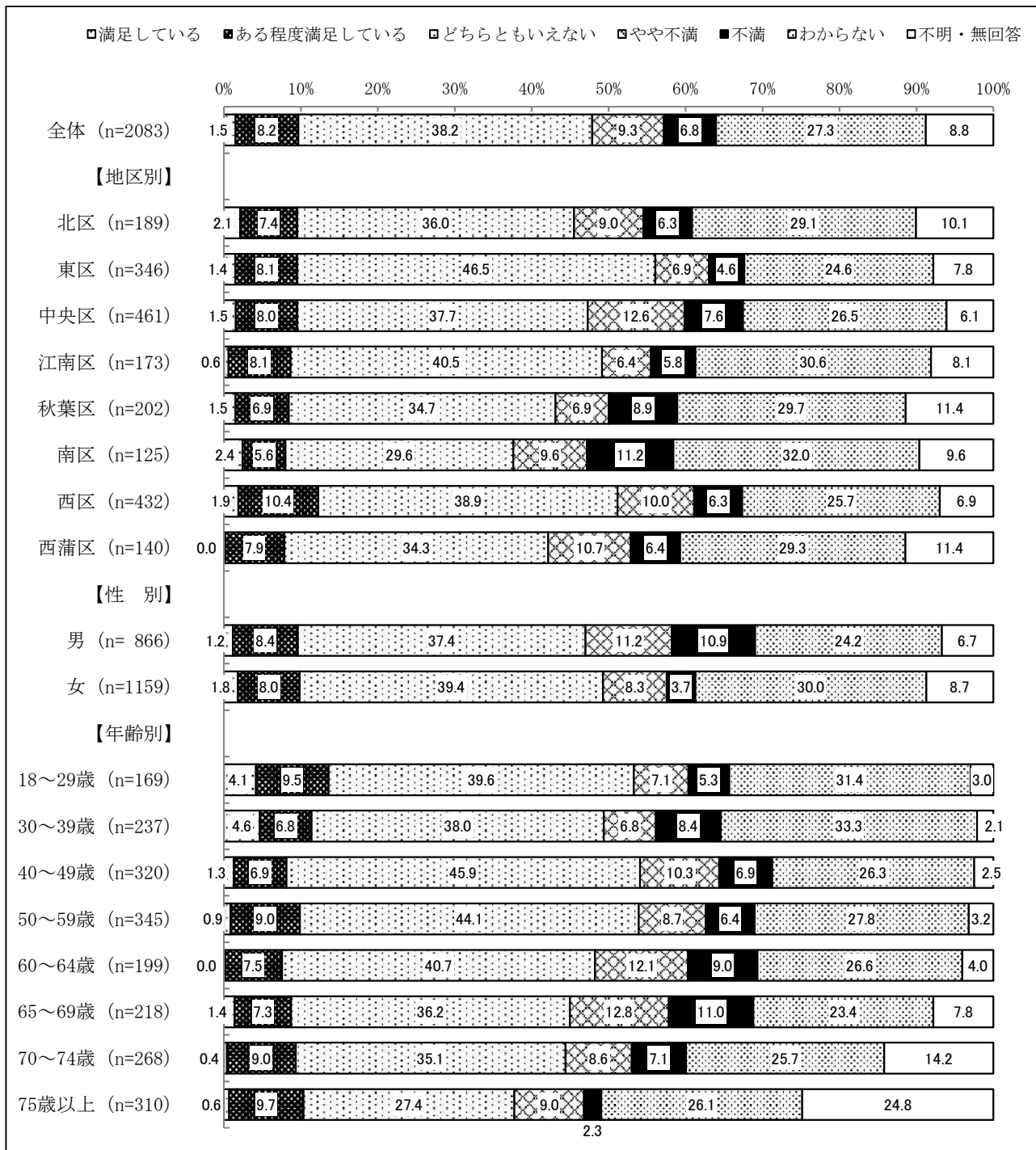


地区別、性別、年齢別のすべての属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、北区（10.6%）で最も高い。性別による差はほとんどみられない。年齢別では18～29歳（14.8%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、西蒲区（25.7%）で最も高い。性別では、女性（16.7%）より男性（27.9%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（28.4%）で割合が高い。

⑳ 国際交流に取り組んでいます。



18～29歳を除く、地区別、性別、年齢別の属性で、「やや不満」と「不満」を合わせた割合が、「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合を上回った。

「満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合は、地区別では、西区（12.3%）で最も高い。性別での差はほとんどない。年齢別では18～29歳（13.6%）で最も高い。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた割合は、地区別では、南区（20.8%）で最も高い。性別では、女性（12.0%）より男性（22.1%）で割合が高く、年齢別では、65～69歳（23.9%）で割合が高い。

Ⅲ 調査票様式

令和4年度 第49回市政世論調査

「新潟市政に関する世論調査」ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対してのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。新潟市では、市民の皆さまが日常生活の中で市政に対しどのようなお考えやご要望をお持ちになっているかを伺い、市政の参考としていくために「市政世論調査」を実施しております。

この調査は、新潟市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為に4,000人の方をお選びし、実施するもので、このたびあなた様をお願いすることになりました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人のお名前、ご住所などが公表されることはありません。

市民の皆様からご回答いただきました内容については、統計処理を行った後、市HP等での公開を予定しております。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、この調査票にご記入のうえ、返信用封筒にてご投函いただきますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和4年7月22日

新潟市長 中原 八一

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あて名のご本人**がご記入ください。
(無記名式ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. 特にことわりのない限り、全ての質問にお答えください。
該当者にだけお答えいただく質問もあります。その場合は、案内が示してありますので、それに従ってお答えください。
3. 回答は、あてはまる項目の**番号に○**をつけてください。
「その他」を選んだ場合には具体的な内容をご記入ください。
4. 質問文の後に**(○は1つだけ)** **(○は3つまで)** などのことわり書きがあります。これはお答えいただく数を意味します。
5. この調査は、回答者を無作為で抽出しているため、あて名のご本人の様子がわかりません。万一、ご病気などでお答えいただけない場合は、回答の必要はございません。
6. 同時期に「次期総合計画成果指標に関するアンケート調査」を実施しており、調査のお願いが重複する場合がございます。もし、お手元に届きましたらお手数ではございますが本アンケートと合わせ、調査へのご協力をお願いいたします。
7. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

新潟市 市民生活部 広聴相談課 電話025-226-2094(直通)

ご記入がおわりましたら…



◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて**令和4年8月8日(月)**までにご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。

【1 市政情報の入手方法についてお聞きします。】

問1 あなたは、新潟市の市政や暮らし、イベントなどに関する市政情報を十分に得ていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 十分に得ている | 3. あまり得ていない |
| 2. 得ている | 4. まったく得ていない |

〔「1」「2」「3」(十分に得ている、得ている、あまり得ていない)と答えた方は問2へ
「4」(まったく得ていない)と答えた方は問3へ〕

《問1で「1」「2」「3」(十分に得ている、得ている、あまり得ていない)と答えた方》

問2 あなたは、新潟市が発信する市政情報を何から入手していますか。それぞれの項目ごとに番号を1つ選んで、その番号に〇をつけてください。

		1 利用 する	2 利用 する	3 た た り は な い	4 知 ら な い
紙 媒 体	① 市報にいがた	1	2	3	4
	② 区役所だより	1	2	3	4
	③ 市役所・区役所・公共施設などに 置いてあるチラシやパンフレット	1	2	3	4
	④ 自治会・コミュニティ協議会などの 掲示板・回覧板・チラシ	1	2	3	4
番 組 放 送	⑤ テレビ (市が提供する広報番組)	1	2	3	4
	⑥ ラジオ (市が提供する広報番組)	1	2	3	4
マ ル メ デ ィ ア	⑦ 市ホームページ	1	2	3	4
	⑧ 市LINE公式アカウント	1	2	3	4
	⑨ 市が運用する各公式アカウント※⑧を除く	1	2	3	4
電 話 ・ 対 面 な ど	⑩ コールセンター	1	2	3	4
	⑪ 市政情報室	1	2	3	4
	⑫ 説明会など地域での集会	1	2	3	4

		1	2	3	4
		利用よく見たり・聞いたりする	利用時々見たり・聞いたりする	たたり見たり・利・用・は・ない	知らない
市以外 (民間) の発信手段	⑬ 新聞	1	2	3	4
	⑭ タウン誌・雑誌など	1	2	3	4
	⑮ テレビ(各局の番組)	1	2	3	4
	⑯ ラジオ(各局の番組)	1	2	3	4
	⑰ WEB・ソーシャルメディア	1	2	3	4
	⑱ その他 ()	1	2		

《ここからはすべての方へ》

問3 現在、月に2回、「市報にいがた・区役所だより」を発行しています。市報・区役所だよりを読む頻度はどのくらいですか。(〇は1つだけ)

1. ほぼ毎号	4. 気になる記事があったとき(不定期)
2. 月に1回程度	5. ほとんど読んでいない
3. 2~3ヶ月に1回程度	6. その他()

問4 「市報にいがた・区役所だより」を現在の紙面に加えて電子化する場合、どのような見た目、デザイン、形式を希望しますか。(〇は1つだけ)

1. 電子書籍	4. PDF
2. WEBマガジン	5. その他()
3. ニューストピックス (例: LINE NEWS、SmartNews、Yahoo!ニュース など)	

【2 国産有機食品への関心についてお聞きします。】

農林水産省は、SDGs や環境への対応を強化するため、2050 年までに有機農業（化学肥料、化学農薬、遺伝子組み換え技術を使わない農業）を全耕地面積の 25%、100 万ヘクタールにするなどの目標を掲げ、国内において有機農業で生産された食品（以下、「国産有機食品」という。）の増産に取り組んでいます。

問6 あなたは、国産有機食品に関心がありますか。（〇は1つだけ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 3. どちらかといえば関心がない |
| 2. どちらかといえば関心がある | 4. 関心がない |
| | 5. わからない |

問7 上記問6で、「1. 関心がある」または「2. どちらかといえば関心がある」と回答した方へ質問です。

あなたが、国産有機食品の中で購入したい品目は次のうちどれですか。（〇はいくつでも）

- | | | | |
|------------|-------------|---------|---------|
| 1. 米 | 6. 葉茎菜類(※2) | 11. 香辛料 | 16. 豚肉 |
| 2. パン | 7. 果菜類(※3) | 12. 調味料 | 17. 牛肉 |
| 3. 麺類 | 8. きのこと | 13. 酒類 | 18. 牛乳 |
| 4. 豆類 | 9. 果物 | 14. 卵 | 19. その他 |
| 5. 根菜類(※1) | 10. お菓子 | 15. 鶏肉 | () |

(※1)大根,人参,ゴボウ等 (※2)ネギ,白菜,キャベツ,等 (※3)ナス,トマト,南瓜,等

問8 上記問6で、「1. 関心がある」または「2. どちらかといえば関心がある」と回答した方へ質問です。

あなたが、国産有機食品を主に購入したい場所は次のうちどれですか。（〇は2つまで）

- | | |
|---------|------------------|
| 1. スーパー | 5. 専門店（米屋,八百屋,等） |
| 2. 百貨店 | 6. インターネット通信販売 |
| 3. 直売所 | 7. その他（) |
| 4. コンビニ | |

【3 新潟市の「花」や「花育」についてお聞きします。】

問9 あなたが、日常生活で花や植物に触れる機会※は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

※観賞用の花や植物に触れる機会とします（観賞用でない野菜は含みません）。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1. 観賞する | 6. 講座、体験への参加 |
| 2. 飾る | 7. 地域の花壇づくりへの参加 |
| 3. 購入する | 8. なし |
| 4. 贈る | 9. その他 |
| 5. 育てる | () |

問10 上記問9で「8. なし」と回答した方へ質問です。

あなたが、花や植物に触れる機会がない理由としてあてはまるものは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 興味がない | 6. 育て方がわからない |
| 2. 手間がかかる | 7. お店がわからない |
| 3. お金がかかる | 8. きっかけがない |
| 4. 時間がない | 9. 身近な場所に花や植物がない |
| 5. 育てる場所がない | 10. その他 () |

問11 あなたが、花や植物に関して、欲しい情報は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. お店などの紹介 | 5. 旬の花の情報 |
| 2. 育て方の紹介 | 6. 講座の情報 |
| 3. 楽しみ方の紹介 | 7. その他 |
| 4. 花のイベント情報 | () |

問 12 あなたは、新型コロナウイルス感染拡大による日常生活の変化により、花や植物への関心が高まりましたか。(〇は1つだけ)

1. 高まった
2. どちらかといえば高まった
3. 変わらない
4. どちらかといえば低くなった
5. 低くなった



問 13 上記問 12 で「1. 高まった」または「2. どちらかといえば高まった」と回答した方へ質問です。

あなたの、花や植物とのかかわりで、あてはまるものは次のうちどれですか。

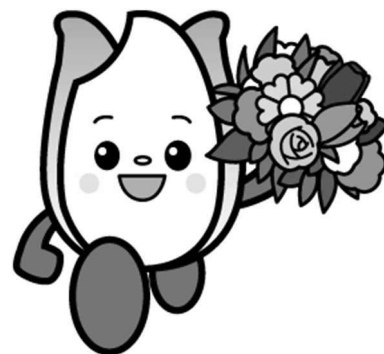
(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 初めて花や植物を買った | 5. 家族で花や植物に触れた |
| 2. 初めて花や植物を育てた | 6. 新しいことに挑戦した |
| 3. 花や植物に触れる時間が増えた | 7. その他 |
| 4. 花や植物にかける金額が増えた | () |

問 14 あなたは、新潟市が花の生産が盛んであることを知っていましたか。

(〇は1つだけ)

1. 知っていた
- 2.なんとなく知っていた
3. 知らなかった



新潟市食育・花育推進キャラクター
まいかちゃん

問 15 あなたは、「いくとびあ食花」のガーデンや「食育・花育センター」に行ったことがありますか。(○は1つだけ)

1. よく行く
2. 行ったことがある
3. 知っているが行ったことはない
4. 知らない

問 16 花や植物に触れることで、あなたや周りの人にどのような効果が期待できると思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. リラックス効果 | 6. 周りとのコミュニケーション |
| 2. ストレス軽減 | 7. 地域の人との交流 |
| 3. 元気になる | 8. 脳の認知機能の改善 |
| 4. 季節を感じる | 9. その他 |
| 5. 命の大切さを学ぶ | () |

問 17 あなたは、新潟市らしい「花育」※として市や「いくとびあ食花」にどのような取り組みを期待しますか。(○はいくつでも)

※花や植物を教育、地域活動や日常生活に取り入れて、花を通じて心をはぐくむ取り組みのことです。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 講座、ワークショップの充実 | 7. 花などを買えるマルシェ開催 |
| 2. 地域コミュニティでの寄せ植え | 8. 芸術とコラボした企画 |
| 3. まちを花や緑で彩る | 9. 食とコラボした企画 |
| 4. 花や植物に関するイベントの開催 | 10. 花にかかわる人材育成・支援 |
| 5. 花に関する情報発信 | 11. 学校教育に取り入れる |
| 6. 花を観賞できる場の整備 | 12. その他 () |

【4 移動しやすいまちづくりについてお聞きします。】

新潟市では、過度な自動車利用から転換し、公共交通や自転車で移動しやすく快適に歩ける社会を実現するため、「にいがた都市交通戦略プラン」などの計画に基づいて交通施策に取り組んでいます。交通手段や歩行空間についての満足度を把握するため、以下についてお聞きします。

問 18 あなたにとって、新潟市は自動車に頼らなくても移動しやすいまちだと思いますか。（○は1つだけ）

1. 移動しやすいまちだと思う
2. 少しは移動しやすいまちだと思う
3. あまり移動しやすいまちだと思わない
4. 移動しやすいまちだとは思わない
5. わからない

問 19 あなたが次の交通手段で市内を移動する際の満足度を教えてください。（○はそれぞれ1つずつ）

- | | | | | | |
|------------------------|----|------|------|----|-------|
| 1. 自動車（走りやすい道路かなど） | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 利用しない |
| 2. 自転車（自転車で走りやすい道路かなど） | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 利用しない |
| 3. バス（利用しやすいかなど） | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 利用しない |
| 4. タクシー（利用しやすいかなど） | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 利用しない |
| 5. 電車（利用しやすいかなど） | 満足 | やや満足 | やや不満 | 不満 | 利用しない |

問 20 あなたの歩行空間（歩道や幅広の路肩）に対する満足度を教えてください。
(〇はそれぞれ1つずつ)

1. 安全性（安心して歩けるか）	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
2. 快適性（段差がないか、十分な幅はあるか）	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
3. 景観性（歩きたくなるか、景観がよいか）	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない

問 21 市では「自転車走行空間整備」、「駐輪場整備」、「放置自転車対策」、「啓発活動（自転車の利用促進、ルール・マナー啓発）」を行っています。
それぞれの取り組みに対するあなたの満足度を教えてください。
(〇はそれぞれ1つずつ)

1. 自転車走行空間整備（車道が安全に通行できるかなど）	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
2. 駐輪場整備（台数が確保されているかなど）	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
3. 放置自転車対策（路上に放置自転車がないかなど）	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
4. 啓発活動（ルール・マナーが周知されているかなど）	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない

問 22 あなたにとって「移動しやすいまち」であると実感できること、また、「移動しやすいまち」を実感するために必要だと思うことは、次のうちどれですか。
(○は3つまで)

1. バリアフリー化された歩道が整備されている
2. 魅力的で楽しめる、まち歩きコースが設定・整備されている
3. 道路に自転車が通行する空間が連続的に整備されている
4. 駅やまちなかに駐輪場があり、放置自転車対策が図られている
5. 生活バス路線の充実や乗合タクシーの運行が図られている
6. 鉄道やバスなどで都心部へ気軽に行き来できる利便性が図られている
7. 都心部で利用しやすい多様な移動手段が整備されている
8. 段差や天候を気にせずに駅やバス停留所を利用できる
9. 自動車で安全・快適に走行できる道路が整備されている
10. 道路交通の渋滞対策が図られている
11. まちなかや商業施設などに、駐車場が十分にある
12. 鉄道やバスに乗り継ぐための駐車場が十分にある
13. 一人ひとりが交通マナーを守る環境が育まれている
14. その他 ()

問 23 近年、健康意識の高まりや街の持つ魅力が再認識され、まちなかの散策を楽しむ「まち歩き」が広がりをみせています。
そこで、「まち歩き」に関する現状についてお聞かせください。
(○はそれぞれ1つずつ)

1. まち歩きイベント（参加の機会が充実しているかなど）
満足 やや満足 やや不満 不満 わからない
2. まち歩きの紹介（経路やマップが充実しているかなど）
満足 やや満足 やや不満 不満 わからない

【5 市政全般と区政についてお聞きします。】

問 24 市役所とあなたがお住まいの区の区役所が行っている施策や事業で、以前に比べて

- ①「新潟市として良くなっているもの」
- ②「新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの」
- ③「区として良くなっているもの」
- ④「区として今後もっと力を入れてほしいもの」

を次の中からそれぞれ3つまでを選んで、下の回答欄に番号(1～33)をご記入ください。

1 市・区の窓口対応	13 スポーツの振興	25 交通安全対策
2 電子手続きの推進	14 文化・芸術の振興	26 学校教育
3 地域活動の振興	15 農林水産業の振興	27 生涯学習
4 防災対策	16 商工業・貿易の振興	28 市営住宅の整備
5 防犯対策	17 雇用の場の拡大	29 広報広聴活動
6 児童福祉	18 観光の振興	30 国際交流の振興
7 高齢者福祉	19 まちなかの活性化	31 市民協働のまちづくり
8 障がい者福祉	20 公共交通の充実	32 男女共同参画の推進
9 保健・医療体制	21 計画的な市街地整備	33 その他
10 ごみ処理・リサイクル	22 公園の整備	()
11 地球温暖化対策	23 道路の整備	
12 自然環境の保護	24 公共下水道の整備	

回答欄 (1～33までの番号を記入してください)

① 新潟市として良くなっているもの			
② 新潟市として今後もっと力を入れてほしいもの			
③ 区として良くなっているもの			
④ 区として今後もっと力を入れてほしいもの			

【6 市の取組についてお聞きします。】

問 25 新潟市は、総合計画「にいがた未来ビジョン」に基づき、人口減少、少子・超高齢化の進行に対応し、「将来にわたって活力ある、住みよいまち、暮らしたいまち」を目指した取組を進めています。そこで、あなたの感想をお聞かせください。

あなたは「新潟市」に住み続けたいと思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つ選び、○を付けてください。

- | |
|--|
| 1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらかといえば住み続けたくない
4. 住み続けたくない |
|--|



問 26 新潟市が進めている主な取組について、あなたの感想をお聞かせください。また、これらの満足度をお聞かせください。それぞれの項目ごとに番号と記号を1つずつ選んで○をつけてください。

(○は①～⑤の市の取組への感想1～5と満足度A～Fにそれぞれひとつずつ)

	取組への感想					取組への満足度					
	1 そう思う	2 ある程度思う	3 普通	4 あまり思わない	5 そう思わない	A 満足している	B ある程度満足している	C どちらともいえない	D やや不満	E 不満	F わからない
① 高齢者が地域で安心して暮らせる仕組みづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
② 障がいのある人などが、地域で自立した生活を送れるよう環境づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
③ 都市防災機能や避難体制・地域防災力の強化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
④ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F

(〇は①～⑳の市の取組への
感想1～5と満足度A～F
にそれぞれひとつずつ)

	取組への感想					取組への満足度					
	1 そう思う	2 ある程度思う	3 普通	4 あまり思わない	5 そう思わない	A 満足している	B ある程度満足している	C どちらともいえない	D やや不満	E 不満	F わからない
⑥ 地域への愛着と誇りを育む教育や、生涯学習の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑦ 市民、地域などとの協働によるまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑧ 食育や農業体験など、「食と農」を活かした地域づくり・人づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑨ 地域の個性豊かな自然や歴史、文化の活用と魅力の発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑩ にぎわい空間の創出など、まちなか活性化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑪ 生涯にわたり心身ともに健康に暮らしていけるよう、健康寿命の延伸に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑫ 持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑬ ごみの減量化や地球温暖化対策など、人と環境にやさしいまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑭ 女性・若者・障がいのある人などがいきいきと働ける環境づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑮ 農業や食品産業が一体となって発展するよう、農業の6次産業化の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑯ 港、空港、鉄道、道路網などを活かし、拠点機能の強化に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑰ 既存産業の育成や創業・起業への支援などにより、中小企業の振興や雇用創出に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑱ 食と花の魅力向上や、本市の「食文化」の国内外への発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑲ 広域的な交流人口の拡大に向けて、国内外からの誘客促進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F
⑳ 国際交流に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E	F

<最後にご自身のことについてお聞かせください>

調査結果を統計的に分析するために必要なことをお伺いします。

問1 あなたのお住まいは何区ですか。

1 北区	2 東区	3 中央区	4 江南区
5 秋葉区	6 南区	7 西区	8 西蒲区

問2 あなたの性別を教えてください。

1 男	2 女	3 その他
-----	-----	-------

問3 あなたの年齢を教えてください。

1 18～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳
4 50～59歳	5 60～64歳	6 65～69歳
7 70～74歳	8 75歳以上	

問4 あなたのご職業を教えてください。

※複数の職業をお持ちの方は、主なものを1つだけお選びください。

1 勤め人（パートも含む）	2 自営業
3 農林水産業	4 学生
5 専業主婦（夫）	6 無職（学生、専業主婦（夫）を除く）
7 その他（ ）	

問5 あなたの世帯の家族構成は、次のうちどれにあたりますか。

1 単身	2 夫婦のみ	3 2世代世帯（親と子）
4 3世代世帯（親と子と孫）	5 その他（ ）	



ささ だん ごろう
笹田五郎

調査は以上で終了です
ご協力ありがとうございました



はなの こまち
花野も町

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて令和4年8月8日（月）までに、郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。また、お名前を記入する必要もありません。ご協力のほどよろしくお願いたします。

